

# Hyogo University of Health Sciences



## 兵庫医療大学年報

平成20・21年度



学校法人 兵庫医科大学

兵庫医療大学



## 年 報 序 文

兵庫医療大学 学 長 松田 暉

本学が平成19年4月に神戸のポートアイランドに開学して早くも3年が過ぎました。これまで、医療の現場に新しい風を、と教職員一丸となって大学作りを進めながら、学生教育に邁進してきました。母体の兵庫医科大はもとより、近隣の大学や医療機関、そして神戸市、兵庫県、ポートアイランドの住民の皆様の暖かいご支援のもと、目標に向かって順調に歩むことが出来たことに、関係各位に感謝申し上げます。

大学の年報第1刊を1年目が終わった時に出させていただきましたが、今回第2刊として開学2、3年目の2年間を振り返って見ることにしました。大学としてまだまだ未熟なところもあり、課題は多いのですが、教職員が学生と共に歩んできたこの2年間をまとめましたのでご覧頂ければ幸いです。

本学は、開学以来3学部4学科を縦軸に、共通教育センターが教養教育を実施しながら横糸の役割をはたし、さらにボーダレスの教育環境を構築して3学部間の横の連携を教員と学生が実践してきました。さらに本学の大きな特徴である兵庫医科大学との連携も進め、将来のチーム医療実践に活躍できる医療専門職を育てるべくこれまで一步一步進んできました。なかでも医科大学との合同チュートリアル学習は平成21年度には1回生間で開始し、22年度からは4回生が医科大に出向いて実施するところまで漕ぎつけました。さらに、看護学部とリハ学部の学生の臨床臨床実習では兵庫医科大学病院、篠山病院を軸に、近隣の主要な基幹病院と連携しながら進めてきました。薬学部では22年度のOSCE、CBTへの準備や実務実習先の確保も鋭意進めてまいりました。

施設面では体育館が2年目に完成し、学生のアメニティーに配慮した設備の充実、レストランの拡充も進めてきました。学生も一期生が頑張っていて、後輩が増えるとともに大学祭「海梟祭」をはじめ、クラブ活動も活発になってきました。学生数は22年度に入って1400人を越え、若者が集うオープンで活気あるキャンパスになっています。

平成21年度は新型インフルエンザが神戸地区を襲って、本学も休校、授業開始時間の変更を余儀なくされました。その経験を生かし、学生の健康面や精神面での支援を充実させ、また大学としての危機管理も整えてきました。

学生募集については競合する大学も多く、また経済不況で私学には厳しい環境が続き、新しい大学と言うことで試行錯誤もありましたが、幸いこれまで何とか乗り切ってきました。これからも我々の特徴がもっと見えるようにしながら、なお一層の努力をしなければならぬと感じています。

教育については、学生の授業評価も昨年度より開始し、教員のFD活動も活発に進めてきました。1回生へのアドバイザー制度も順調に進んで、新入生の種々の悩み、学生間の交流に貢献しています。さらに各学部でのゼミ形式のグループ指導もあり、将来の進路指導の意味でも効果が上がって来ていると感じています。また、将来の仕事への理解、就職活動支援のためキャリアデザインセンターが2年目にオープンし、学生への情報提供や就職支援を進めています。ここには、兵庫医科大学連携病院の会のご支援が大きな力になっています。

平成22年度は看護学部とリハビリテーション学部が完成年度を迎えます。いよいよ第一期生が来春卒業、国家試験が待っています。次世代の医療を担う、社会が期待する医療人の育成、と言う本学の真価が問われる時期が来ています。さらに、2学部では大学院修士課程の設置申請も済ませ、来春にスタートできることを願っております。

教職員一同、所期の目標を達成すべくこれからも一層の努力を続ける所存でありますので、関係各位の一層のご指導ご鞭撻をお願いする次第です。

## 年報第2号の刊行に当って

学校法人 兵庫医科大学 理事長 新家 莊平

“竹に節あり”との言葉通り、一昨年に引き続いて2号目の年報が上梓されることになりました。

開学初年度の初号では、その創設期に適しく、大学建学の理念に始まり、本学の特色や学内組織構造、校舎・施設設備更には教育や研究活動の基盤づくりや今後の将来構想についての要約が余すところなく網羅されていましたが、その後の2年間を対象としたこの第2号では、初めての国家試験と就職並びに大学院設置等の重要課題を1年後に控えた看護学とリハビリテーション学の両各部がその完成年度に向かってどの様な目標と事業計画を立て、どの様な成果をあげてきたか、又、薬学部においては5年次から始まる実務実習という新しいカリキュラムへの導入に向けてどの様に準備が進められてきたか等について、それぞれの進捗状況が総括されるものと思っています。

御存知の通り、六甲山系と瀬戸の海という大自然、神戸という全国的にも名高い文化都市、又、瀟洒で美しい学舎等の組み合わせにより醸し出される恵まれた教育環境の中、本学3学部は互いに協調し合うだけでなく兄弟校の兵庫医科大学との連携をも深めていくという独自のカラーを活かしつつ新進の医系専門職育成機関として順調に成長し始めておりますが、これ偏に、本学教職員の全員が“新しい大学造り”という使命感で自らを高揚しながら、高い意欲、真摯な努力、そして強い連帯感のもとに、日夜その業務に励んでいただいていること、そして、それに呼応するかの様に学生達が明るい学風のもと大学人としての誇りと自覚を持って勉学や人間形成に<sup>いそ</sup>勤しんでくれている賜物と思っています。

そして今、この様に全学をあげて2年間にわたって創り上げて来た汗の結晶は年報第2刊として各頁に飾られ、草創期における第2の竹の節として幾久しく後世代に伝えられていくことになるでしょう。

# 目 次

年報序文 学長挨拶

学 長 松田 暉

理事長挨拶 年報第2号の刊行に当たって

理事長 新家 莊平

## 目 次

I 兵庫医療大学の学事と組織 .....	1
1. 沿革 .....	1
2. 兵庫医療大学の理念 .....	2
3. 学年暦 .....	4
4. 学校法人兵庫医科大学組織図 .....	6
5. 兵庫医療大学組織図 .....	7
6. 大学協議会 .....	8
7. 学部・学科構成 .....	11
8. 役員名簿 .....	12
9. 校舎・施設設備の概要 .....	13
10. 各委員会委員一覧 .....	17
11. 委員会の取り組み .....	20
1) FD 委員会 .....	20
2) 教務委員会・教育委員会 .....	23
3) 自己点検・評価委員会 .....	25
4) 学生委員会 .....	26
5) 地域連携推進委員会 .....	29
6) 入試運営委員会 .....	30
7) 広報委員会 .....	33
8) 倫理審査委員会 .....	36
9) 動物実験委員会 .....	39
II 教育・研究活動 .....	40
1. 教育 .....	40
特色あるカリキュラム .....	40
2. 各部門の活動 .....	44
1) 薬学部 .....	44
2) 看護学部 .....	60
3) リハビリテーション学部 .....	75
4) 共通教育センター .....	84
5) 医療人育成センター .....	92
6) 臨床薬学研修センター .....	93
3. 研究施設の活動状況 .....	95
1) 先端医薬研究センター .....	95
2) 共同機器室 .....	97
3) 動物実験センター .....	99

4) RI 実験センター	101
5) 薬用植物園	102
6) 兵庫医療大学研究セミナー	103
兵庫医療大学全学教職員フォーラム	104
学校法人兵庫医科大学連携病院の会	105
7) 学外研究費の取得一覧	106
8) 教育・研究・社会活動における新聞記事	112
<b>Ⅲ. 管理・運営活動</b>	115
1. 学生の受け入れ	115
1) 入学試験状況	115
2) 学生数	117
3) 入学試験関連の広報活動	118
2. 学生の福利厚生	125
1) 奨学金制度	125
2) 学生会活動	126
3) 保健管理センター	130
3. 附属施設・活動状況	136
1) 図書館	136
2) 情報センター	138
3) キャリアデザインセンター	139
4) 地域連携実践センター	141
5) 事務部門（神戸キャンパスオフィス）	150
4. 神戸ポートアイランド4大学連携事業	153
1) ポーアイ健康・生活支援ステーション	153
2) 実務者会議	155
3) 専門部会	157
<b>Ⅳ. 写真（カラー）</b>	159
<b>V. 研究業績録</b>	163
1. 薬学部	163
2. 看護学部	191
3. リハビリテーション学部	205
4. 共通教育センター	224
5. 先端医薬研究センター	226
6. 学長	230

# I 兵庫医療大学の学事と組織

## 1. 沿革

- 昭和46年11月 学校法人兵庫医科大学寄附行為認可及び兵庫医科大学設置認可
- 昭和47年 4 月 兵庫医科大学開学
- 4 月 兵庫医科大学病院開設
- 昭和53年 3 月 兵庫医科大学大学院医学研究科設置認可
- 平成 9 年10月 兵庫医科大学篠山病院開設
- 平成11年 9 月 兵庫医科大学ささやま老人保健施設開設
- 平成18年11月 学校法人兵庫医科大学寄附行為変更認可及び兵庫医療大学設置認可
- 平成19年 4 月 兵庫医療大学開学
- 4 月 保健管理センター開設
- 6 月 医療人育成センター（西宮キャンパス）開設  
（旧：医学・医療教育研修センター）
- 10月 地域連携実践センター開設
- 10月 兵庫医療大学先端医薬研究センター開設  
（旧：医薬共同創薬研究開発センター）
- 平成20年 1 月 神戸ポートアイランドキャンパス 4 大学連携協定締結
- 4 月 動物実験センター開設
- 9 月 薬用植物園開設
- 9 月 平成21年度看護学部看護学科三年次編入学試験開始
- 10月 第 1 回兵庫医療大学大学祭（海梟祭）開催
- 10月 臨床薬学研修センター開設
- 12月 神戸ポートアイランドキャンパス 4 大学連携における単位互換に関する協定締結  
（兵庫医療大学、神戸学院大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学）
- 平成21年 3 月 兵庫医療大学体育館（アリーナ）完成
- 3 月 防災・減災及びボランティア活動に関する 5 大学連携支援協定を締結  
（兵庫医療大学、工学院大学、大妻女子大学、神戸学院大学、神戸女子大学）
- 4 月 キャリアデザインセンター開設
- 7 月 神戸夙川学院大学 大学入試センター試験の共同実施に関する協定書調印
- 9 月 RI 実験センター開設
- 平成22年 1 月 平成22年度大学入試センター試験利用入学試験（薬学部、看護学部）開始

## 2. 兵庫医療大学の理念

### 兵庫医療大学教育理念

人間への深い愛と豊かな人間性を持ち、幅広い知識と優れた技術を備え、社会とともに医療を担う医療専門職者を育成する

### 兵庫医療大学教育目標

「幅広い教養と心豊かな人格の育成」、「関連分野とのボーダレスな教育環境のもと、専門性の高い知識と技術の修得」「優れたコミュニケーション能力を基礎としたチーム医療・地域医療を担える資質の育成」及び「次世代の医療科学を担う創造性と国際性の涵養」

#### 〈薬学部〉

##### 教育理念

基礎と臨床を融合させた薬学教育とともに、医学・医療の関連分野との横断的实践教育により、人と社会の健康と幸福に広く貢献できる薬剤師を育成する。

##### 教育目的

薬学部では、「くすり」(医薬品、化学物質、手段)と「生体」(ヒト、生物／病原体、生体成分)に関する正しい知識とともに、生命の尊厳を畏敬し、人々の健康と幸福を真に願う医療専門職者としての適格な意識を備え、多様な分野で薬学的立場から全人的医療を支えることのできる薬剤師の養成を目指す。

##### 教育目標

- i) 「くすり」と「生体」及びその相互作用に対する科学的理解を深め、幅広い教養とともに薬剤師として基盤となる正しい知識を身に付ける。
- ii) 生命の尊厳を尊重する高い倫理観とともに、人々の健康と幸福を願い、その治療とケアに携わることができる豊かな人間性を養う。
- iii) ボーダレスな教育環境のもと、様々な医療専門職者の役割を理解し、連携を保ち互いに協調し、患者の病態のみならず心理的・社会的背景をも理解し、適切な薬物治療を推進する総合的実践能力を身に付ける。
- iv) 医療の高度化・多様化及び科学技術の進展に適切に迅速に対応するため、高い創造性と生涯にわたり自ら学び続ける自己開発能力を身に付ける。
- v) 個人にとって安全かつ適正な薬の使用を促すため、くすりの有効性・安全性に関する正しい知識とともにリスク管理能力を身に付ける。
- vi) 優れたコミュニケーション能力を身に付けるとともに、医療・保健衛生分野における薬剤師のあり方について学び、社会的視野を広げる。

#### 〈看護学部〉

##### 教育理念

看護学における理論的知と臨床の知が融合した豊かな教育環境のなかで、倫理観に富んだ人間愛を育み、看護の専門的な知・技・心を培うとともに、他職種と協働し、様々な療養の場における人々のクオリティ・オブ・ライフを高め、同時に、地域で生活を営む人々の最適健康状態を導き、維持、増進させる看護専門職者を育成する。



## 教育目的

看護学部は、人の生命や価値観を尊重し、基本的な看護の専門的知識・技術・態度を教授し、クオリティ・オブ・ライフの向上をめざし、最適健康状態を維持、増進させる実践力と、医療関連学部間の有機的連携をもとにしたチーム医療に必要な能力を育成するとともに、グローバルな視野で保健・医療・福祉の課題を総合的にとらえられる、感性豊かで倫理的・創造的な看護専門職者の養成を目指す。

## 教育目標

- i) 豊かな人間性を備え、人の痛み、苦しみや生命の尊厳を理解し、人がもつ権利や価値観を尊重して行動することができる。
- ii) 理論と実践から導き出された看護学に関する専門的知識と科学的根拠に基づく判断能力及び問題解決能力を身に付ける。
- iii) 対象者の安全・安楽と主体性を重視した科学に基づく専門的技術及び人の尊厳と権利を擁護するのに大切なコミュニケーション技法を身に付ける。
- iv) 医学、薬学、リハビリテーション学におけるそれぞれの専門性や役割について理解し、それぞれの職種の人々と有機的に連携協力するとともに調整できる能力を身に付ける。
- v) 地域的・国際的な視野で、保健・医療・福祉の課題を幅広くとらえ、看護職者の役割・機能を展望できる。
- vi) 自ら考え創造する態度を身に付け、生涯にわたって看護学を探究し続ける基盤をもつことができる。

## 〈リハビリテーション学部〉

### 教育理念

リハビリテーション学部は人の機能・活動・社会参加を心身の両面から支援し、幸福と共生に奉仕できることを目指す。そのために幅広い教養、高度な専門的知識と技術及び教育研究技術を育み、社会人として、またリハビリテーション専門職者として社会に貢献できる人材を育成する。

### 教育目的

リハビリテーション学部は人々の幸福と共生に奉仕する精神のもと、リハビリテーションに必要な人と社会の理解及び保健・医療・福祉に関する諸学問の知識を教授し、チーム医療実践の場においてリハビリテーション専門職者として力を発揮することができる総合的実践力、社会の多様なニーズに応え先駆的な教育・研究へ展開できる能力及び生涯にわたって自己を練成できる能力を持った人材の育成を目指します。

### 教育目標

- i) 多様な文化や価値観を受け容れる、地域的・国際的感覚及び豊かな人間性を備え、人々の幸福と共生に奉仕する精神をもって行動することができる。
- ii) 様々な医療専門職者の役割や専門性を理解し、チーム医療実践の場において他の医療専門職者と有機的に連携協力できる総合的実践力を身に付ける。
- iii) 地域での医療ケアや教育など社会の多様なニーズに応えることができ、さらに中核的な行動を担うことができるよう、生涯にわたって自己を練成できる能力を身に付ける。
- iv) リハビリテーションを実践するにあたり必要な基礎医学とともに、人の機能のみならず心理や行動をも深く理解し基礎学力として身に付ける。
- v) 効果的なリハビリテーションに必要な保健・医療・福祉の知識と確かな技術を有し、種々の課題を柔軟に解決できる能力を身に付ける。
- vi) 医療の高度化・多様化に対応した知識・技能を修得し、先駆的な教育・研究へ展開できる能力を身に付ける。



### 3. 学 年 暦

#### 平成20年度

##### 【前 期】

入学式	4月4日（金）
オリエンテーション（第1学年次）	4月4日（金）午後～8日（火）
〃（第2学年次）	4月3日（木）午後～
前期授業開始（第1学年次）	4月9日（水）
〃（第2学年次）	4月7日（月）
前期履修届提出期限（第1学年次）	4月18日（金）
〃（第2学年次）	4月11日（金）
ゴールデンウィーク（臨時休業）（第1・2学年次）	4月28日（月）
健康診断日（第1・2学年次）	5月26日（月）～30日（金）
4種ワクチン接種日（第1学年次）第1回目	4月23日（水）
〃第2回目	5月21日（水）
〃第3回目	6月18日（水）
前期単位認定試験期間（第1学年次）	7月30日（水）～8月2日（土）
〃（第2学年次）	7月28日（月）～8月8日（金）
Early Clinical Exposure（第1学年次） （実習場所：兵庫医科大学病院）	8月4日（月）～8月11日（月）
夏季休業（第1・2学年次）	8月12日（火）～9月26日（金）
前期単位認定再試験期間（第1学年次）	10月1日（水）～10月3日（金）
〃（第2学年次）	9月29日（月）～10月3日（金）

##### 【後 期】（第1・2学年次共通）

後期授業開始	10月6日（月）
後期履修届提出期限（第1学年次）	10月17日（金）
〃（第2学年次）	10月10日（金）
大学祭（第1回海梟祭）	10月10日（金）～13日（月）
法人創立記念日	11月22日（土）
冬季休業	12月29日（月）～1月2日（金）
後期授業再開	1月5日（月）
後期単位認定試験期間	2月3日（火）～2月13日（金）
後期単位認定再試験期間（第1学年次）	3月2日（月）～3月6日（金）
〃（第2学年次）	2月23日（月）～3月6日（金）
春季休業	3月9日（月）～

#### 平成21年度

##### 【前 期】

入学式	4月5日（日）
オリエンテーション（第1学年次）	4月5日（日）午後～7日（火）
〃（第2・3学年次）	4月3日（金）
前期授業開始（第1学年次）	4月8日（水）
〃（第2・3学年次）	4月6日（月）
アドバイザー懇談会・BLS講習会（第1学年次）	4月11日（土）

前期履修届提出期限（第1学年次）	4月17日（金）
〃（第2・3学年次）	4月10日（金）
〃（薬学部第3学年次の再履修者は、別途通知する）	
前期単位認定試験期間（第1学年次）	7月29日（水）～8月1日（土）
〃（第2・3学年次）	7月28日（火）～8月7日（金）
Early Clinical Exposure（第1学年次） （実習場所：兵庫医科大学病院）	8月3日（月）～10日（月）
夏季休業（第1学年次）	8月11日（火）～
〃（第2・3学年次）	8月10日（月）～
前期単位認定試験（再試験）期間（第1学年次）	9月26日（土）～30日（水）
〃（第2学年次）	9月24日（木）～30日（水）
〃（薬学部第3学年次）	9月1日（火）～9日（水）
〃（看護学部第3学年次）	9月7日（月）～11日（金）
〃（リハビリテーション学部第3学年次）	8月31日（月）～9月4日（金）

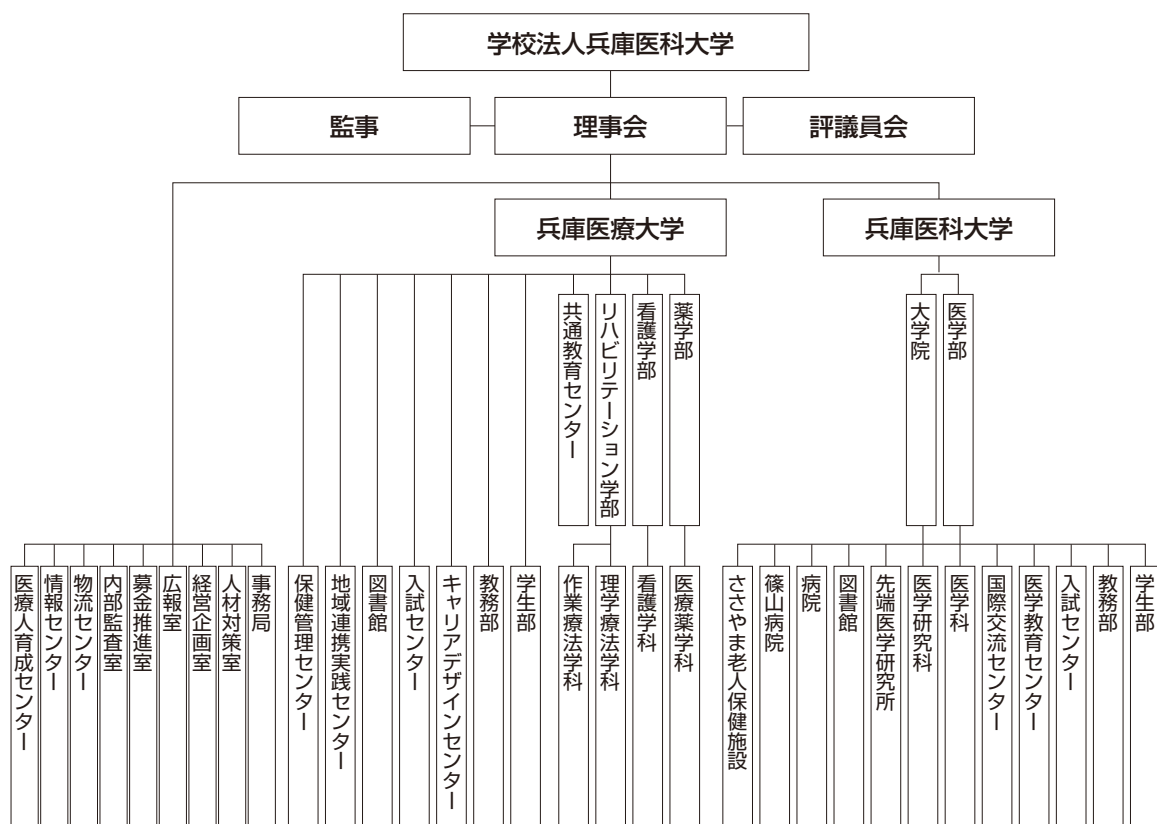
## 【後 期】

後期授業開始	10月1日（木）
〃	【※薬学部第3学年次は、9月24日（木）】
後期履修届提出期限（第1学年次）	10月16日（金）
〃（第2学年次）	10月9日（金）
後期履修届提出期間（看護学部第3学年次）	10月1日（木）～2日（金）
〃（リハビリテーション学部第3学年次）	10月26日（月）～30日（金）
〃（薬学部第3学年次の再履修者は、別途通知する）	
大学祭（第2回海梟祭）	10月9日（金）～12日（月）
〃	【※看護学部・リハビリテーション学部第3学年次は、通常通り実習を行う】
法人創立記念日	11月22日（日）
冬季休業	12月28日（月）～1月3日（日）
後期授業再開	1月4日（月）
後期単位認定試験期間（第1・2学年次）	2月1日（月）～12日（金）
〃（薬学部第3学年次）	1月22日（金）～2月5日（金）
〃（看護学部第3学年次）	別途通知する。
〃（リハビリテーション学部第3学年次）	12月17日（木）～22日（火）
後期単位認定試験（再試験）期間（第1学年次）	3月1日（月）～5日（金）
〃（第2学年次）	2月22日（月）～3月5日（金）
〃（薬学部第3学年次）	2月22日（月）～3月5日（金）
〃（看護学部第3学年次）	別途通知する。
〃（リハビリテーション学部第3学年次）	12月24日（木）～25日（金）午前
春季休業	3月8日（月）～

## ※健康診断日・4種ワクチン接種日

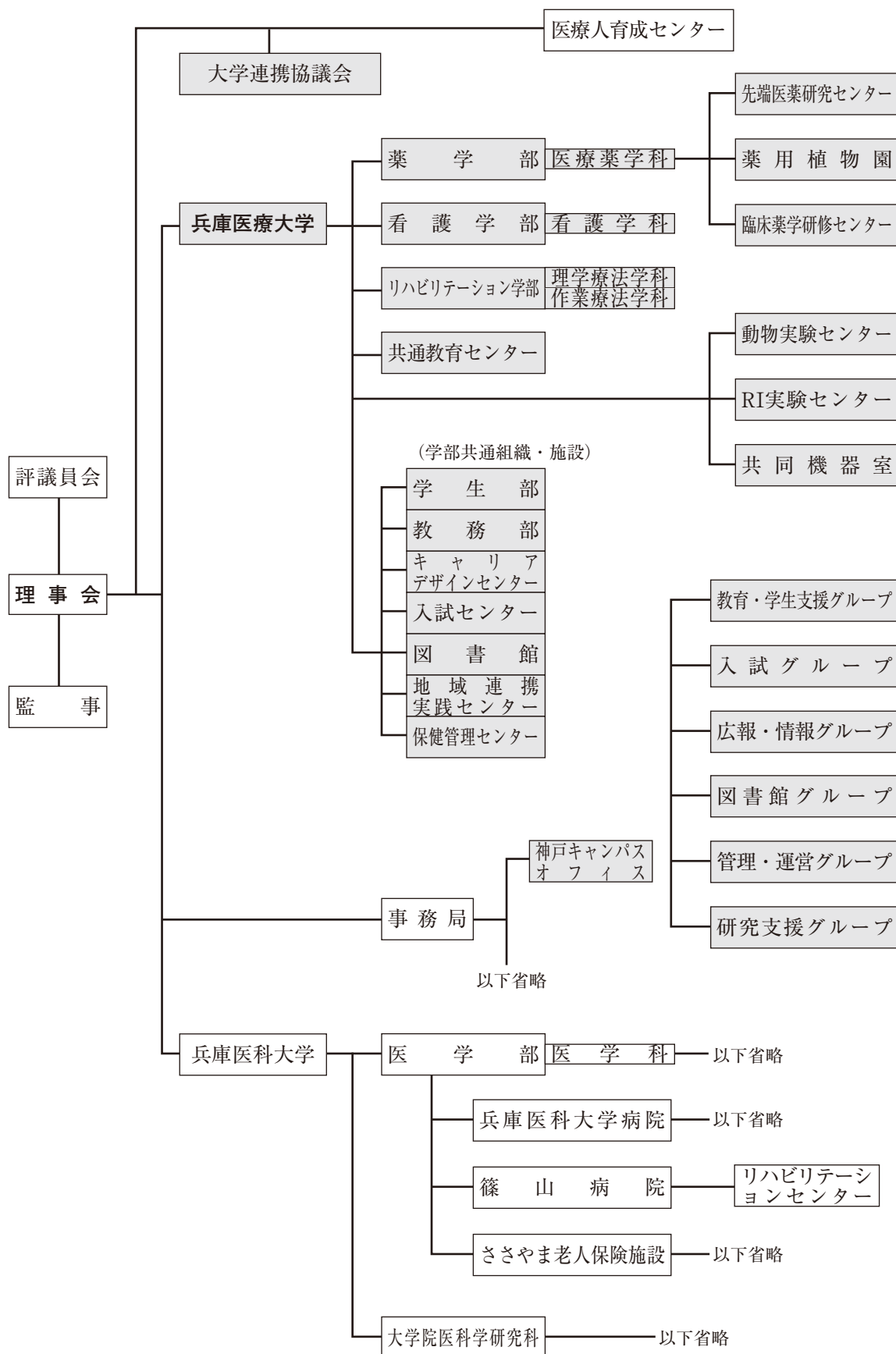
健康診断日（第1学年次）	4月11日（土）
〃（薬学部第2・3学年次）	3月26日（木）
〃（看護学部第2・3学年次）	3月26日（木）
〃（リハビリテーション学部第2・3学年次）	3月26日（木）
4種ワクチン接種日（第1学年次）第1回目	5月8日（金）
〃第2回目	6月12日（金）
〃第3回目	7月17日（金）

#### 4. 学校法人兵庫医科大学組織図





## 5. 兵庫医療大学組織図



## 6. 大学協議会

### i) 概 要

本学の最高意思決定機関として月2回開催してきた。メンバーは、学長、副学長、各学部長、共通教育センター長、GMである。審議内容は、学年暦、人事、入試要項策定から入試実施、入学判定、進級判定、諸行事、広報、安全危機管理、規定の策定など、大学としての基本的な運営の指揮、調整をとってきた。

平成20年度は兵庫医科大学との連携体制、教務委員会を教育委員会へ、体育館着工へ、センター入試導入準備、医薬共同先端医療研究センター設置、学生の細かいフォロー、などを検討した。平成21年度は、新型インフルエンザ対応、大学院設置申請準備、大学センター入試実施、入試広報の強化、高大連携の推進、地域連携事業の推進、などが特徴であった。

### ii) 活動状況

#### 平成20年度前期（要約）

1. 平成20年度1年生の履修に関する対応
2. 人事関係
  - 1) 入試センター顧問
  - 2) 動物実験センター長
  - 3) 医薬共同先端医療研究センター長
3. 学生への進級判定基準の周知
4. 平成20年度各種委員会運営と位置付
5. 平成20年度予算執行
6. 平成20年度入試説明会の実施
7. ポーアイ4大学連携オープンキャンパス
8. 戦略的大学連携支援事業申請  
神戸学院大学、神戸女子大学（短期大学を含む）、本学のポートアイランド3大学連携による文部科学省の戦略的大学連携支援事業説明があり、連携の中核となる神戸学院大学から申請することを承認した。
9. 研究生指導料の配分、科研費の分担金の配分
10. チーム医療教育の推進
11. 兵庫医療大学意思決定機能
12. 学校法人兵庫医科大学大学連携協議会議
  - 1) 学校法人兵庫医科大学医学・医療教育研修センター設置の趣旨
  - 2) 学校法人兵庫医科大学医学・医療教育研修センター規程
  - 3) 医学・医療教育研修センター運営委員会規程
  - 4) 医学・医療教育研修センターの運用と人員配置
  - 5) 医学・医療教育研修センター室の設置
  - 6) チーム医療公開討論会
13. 平成21年度学生募集要項
14. 大学祭の開催日程
15. BLS教育
16. 医学・医療教育研修センターの設置
17. ポーアイ3大学の「戦略的大学連携支援事業」申請

#### 平成20年度後期（要約）

1. 保健師助産師看護師学校養成所指定規則等改正に伴う変更承認申請
2. 「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」の応募
3. 薬草園新設工事（平成20年度事業計画）
4. 臨床薬学研修センター新設（平成20年度事業計画）
5. 体育館建設着工
6. 自己点検・評価委員会開催
7. 倫理審査委員会審査結果の公開
8. 平成22年度大学入試センター試験利用入試の導入
9. 看護学部デンマーク研修
10. 看護学部編入学試験実施要領（案）
11. 兵庫医療大学先端医薬研究センターの在り方
12. 神戸市中央区との連携事業に関する協定書
13. 戦略的大学連携支援事業「ボーアイ健康・生活支援ステーション」の設置
14. 平成21年度事業計画の策定
15. 情報センター設置検討
16. 第2回全学教職員フォーラムの開催
17. キャリアデザインセンター設置
18. 教育委員会構想  
従来の教務委員会と総合教育委員会をまとめ、教育の将来構想や企画・立案も出来る教育委員会構想の説明があり、審議の結果、基本的なコンセプトを了承した。
19. アドバイザー・担任制度
20. 兵庫医療大学将来計画（達成目標と実施計画）
21. (社)薬学教育評価機構の発足と入会
22. 感染動物実験室の管理・運営
23. 平成20年度後期成績（初期評価）発表
24. 年報の刊行と送付

#### 平成21年度前期（要約）

1. 平成21年度各種委員会委員構成
2. 留年者・仮進級者の対応
3. 平成22年度学生募集要項骨子
4. 高大連携協定等
5. 利益相反マネジメント規程等の検討
6. 大学院設置準備
7. 平成21年度事業計画と予算の決定
8. 平成21年度高校訪問の実施
9. 新入生アンケート調査結果
10. 平成23年度入学選抜実施要項の変更予定（文科省通知）
11. 病原体等安全管理委員会規程（案）
12. 新型インフルエンザ対策本部設置
13. 大学入試センター試験の実施手続きと共同実施協定
14. 臨床教育教授等に関する規程の検討
15. 環境安全委員会規程の改定と病原体等安全管理委員会規程の制定
16. 大学院設置に関する文科省第1回相談報告
17. インフルエンザ対応における学生の公欠扱い
18. 全学教員集会と懇談会の開催



19. 収支改善のための平成21年度予算見直し
20. 兵庫医療大学保護者の会（仮称）の設立
21. 自己点検・評価及び年報に関する事務対応
22. 危機管理対策・緊急連絡網
23. 個人情報保護対策
24. 安否確認システム導入の検討
25. 看護学部編入学試験の実施
26. 授業評価
27. 学校法人兵庫医科大学大学連携協議会の議題
28. 兵庫医療大学第3回保護者懇談会の開催
29. 動物実験センター分室に関する内規

#### 平成21年度後期（要約）

1. 兵庫医科大学・兵庫医療大学役職者懇談会の開催
2. 第2回兵庫医科大学連携病院の会の開催
3. 兵庫医療大学保護者会（仮称）の設立準備
4. 第2回海梟祭の開催
5. 入学試験における新型インフルエンザ対応（追試験）  
新型インフルエンザ罹患現況と傷病発生時救急マニュアル
6. 平成22年度事業計画の策定
7. 平成22年度予算編成方法と日程
8. 平成22年度学年暦等
9. 「阪神・淡路大震災（1・17）に学ぼう」の開催
10. 大学院設置準備状況と文科省相談結果
11. 平成22年度学年暦および授業時間の変更
12. 後期授業時間変更に伴う補講
13. 国際交流委員会設置
14. キャンパス周辺道路の禁煙
15. ハラスメント防止等に関する規程（案）
16. キャンパス有効利用シミュレーション中間提案
17. オフィスの業務課題と人員配置
18. 共通教育センター長選考
19. 看護学部欧州研修の実施
20. キャンパス有効利用に関する提案（WG）
21. 教員人事等
  - 1) 教員の退職
  - 2) 副学長役割分担と役職者室配置
  - 3) 学長代行
  - 4) 平成22年度大学協議会メンバー
  - 5) 教員研究室配置
22. 大学院設置認可申請
23. 進級判定結果
24. 入学試験
  - 1) 平成22年度入学手続き状況
  - 2) 平成23年度入学試験要項（案）
25. 学部横断聴講制度

## 7. 学部・学科構成

本学は、共通教育センター、薬学部、看護学部、及びリハビリテーション学部の1センター、3学部より構成されている。

共通教育センターは、これら3学部4学科の全学生に対して、医療人としての人格形成のための一般教養科目からチーム医療関連など、多彩な基礎科目と専門基礎科目を含めたボーダレスな教育を行う。

表1. 学部等の概要

学 部	学 科	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号
薬学部	医療薬学科	6	150		900	学士 (薬学)
看護学部	看護学科	4	100	(3年次) 10	420	学士 (看護学)
リハビリ テーション学部	理学療法学科	4	40		160	学士 (理学療法学)
	作業療法学科	4	40		160	学士 (作業療法学)
合 計			330	(3年次) 10	1,640	

表2. 教育課程の授業科目数

学部等の名称	授業科目の総数				卒業要件 単 位 数
	講 義	演 習	実 習	合 計	
薬学部医療薬学科	106科目	18科目	15科目	139科目	205.5単位
看護学部看護学科	50科目	50科目	13科目	113科目	126単位
リハビリテーション学部理学療法学科	72科目	22科目	23科目	117科目	128単位
リハビリテーション学部作業療法学科	89科目	24科目	13科目	126科目	131単位

表3. 教員組織の概要

学部等の名称	専任教員等 (人数)					合 計
	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
薬学部医療薬学科	18	7	9	6	13	53
看護学部看護学科	12	7	9	5	10	43
リハビリテーション学部理学療法学科	5	0	3	0	0	8
リハビリテーション学部作業療法学科	4	1	5	0	0	10
共通教育センター	6	0	4	0	0	10
合 計	45	15	30	11	23	124

## 8. 役員名簿

表1. 平成20・21年度役員一覧

役 職 名	氏 名	所 属	職 位
学長	松田 暉		理事
副学長	佐藤 禮子	看護学部	理事（教授）
共通教育センター長	末廣 謙	共通教育センター	教授
薬学部長	西原 力 ／東 純一	薬学部 薬学部	教授 教授
看護学部長	土居 洋子	看護学部	教授
リハビリテーション学部長	土肥 信之	リハビリテーション学部	教授
図書館長	末廣 謙 ／西原 力	共通教育センター 薬学部	教授 教授
学生部長	土肥 信之	リハビリテーション学部	教授
教務部長	西原 力 ／末廣 謙	薬学部 共通教育センター	教授 教授
入試センター長	磯部 孝彦 ／前田 初男	共通教育センター 薬学部	教授 教授
医療人育成センター長	鈴木敬一郎	医療人育成センター （旧：医学・医療教育センター）	教授
保健管理センター長	末廣 謙 ／岩崎 剛	共通教育センター 薬学部	教授 教授
地域連携実践センター長	土居 洋子	共通教育センター	教授
先端医薬研究センター長	西原 力	薬学部	教授
キャリアデザインセンター長	藤田 幸久	共通教育センター	教授
臨床薬学研修センター長	八野 芳巳 ／門林 宗男	薬学部	教授
ゼネラルマネージャー	菊地 良平	神戸キャンパスオフィス	次長



## 9. 校舎・施設設備の概要

### i) 兵庫医療大学概要

表1. 校舎面積（平成22年3月31日現在）

建物区分	規模・構造	延床面積（㎡）	使用区分	敷地面積（㎡）
P棟	SRC、造3階	8,753.86	管理部門、講堂、図書館、食堂、売店、グループ学習室、保健室	49,138
M棟	SRC造4階	17,025.71	講義室、学生実習室、教員研究室、カンファレンス室	
G棟	SRC造4階	9,296.26	研究室、動物実験室、RI実験室、共同医学研究室、リハビリテーションラボ、教員研究室、カンファレンス室	
G棟アリーナ（体育館）	SRC造2階	2,792.26	アリーナ、部室、多目的室	
附属棟	RC造平屋建	125.06	倉庫	
守衛所	RC造平屋建	4.20	警備員詰所	49,138
合計		37,997.35		

#### (1) M棟・G棟教員研究室

教員研究室は、M棟4階に62室、G棟4階に28室あり、平成19年度着任以降の教員がアトランダムに配置されている。また、G棟2階・3階の薬学研究室には、薬学教員が領域毎に配置されている。

#### (2) シンボルマーク

兵庫医療大学では、P棟のエントランスホールのステンドグラスと中庭中央の噴水に「ふくろう」を見ることができる。「フクロウ」には、ヨーロッパで学問の神様という意味があり、本学の目視するものを表わしていることから、大学のシンボルマークとなっている。

知の象徴であるフクロウと建学の精神

- ・人間への幅広い科学的理解の必要性に“気づく”
- ・人間への深い愛を師や学友との交流を通じて“学ぶ”
- ・社会の福祉への奉仕を標榜し実践の場へ“羽ばたく”

#### (3) シンボル彫刻 風の環「ハーモニー」

P棟1階オクタホール前におかれています大理石の白い彫刻は、武藤順九氏の作品で、風の環「ハーモニー」であります。武藤順九氏は、国際的に著名な彫刻家で、イタリアを本拠地にして大理石の環を基本コンセプトにした彫刻を世に出されています。「風の環」というシリーズで多数の作品があり、有名なものとして、バチカン公邸の「風の環・PAX2000」、インド・ブッダガヤ・マハボディ寺院の「風の環・PAX2005」があります。兵庫医療大学開学にあたり何か学風にあったモニュメントを探すなかで武藤順九氏の、風の環「ハーモニー」を得ることができました。大学の目指す、人の輪、と協調、について語りかける素晴らしいものであります。大事にしていってほしいと思います。

[学長 記]

## ii) 設備設置工事関係

平成20年度

- ・体育館の増築工事を行った。
- ・薬学部の設置要件として義務付けられている薬用植物園の造成工事を実施した。
- ・学生生活の環境整備の一環で、運動広場として野外スポーツの練習ができるように防球フェンス等の設置工事を実施した。

平成21年度

- ・図書館の利用増に伴い閲覧席増設工事、電気設備工事を実施した。

## iii) 建物・設備等の主な改修及び更新

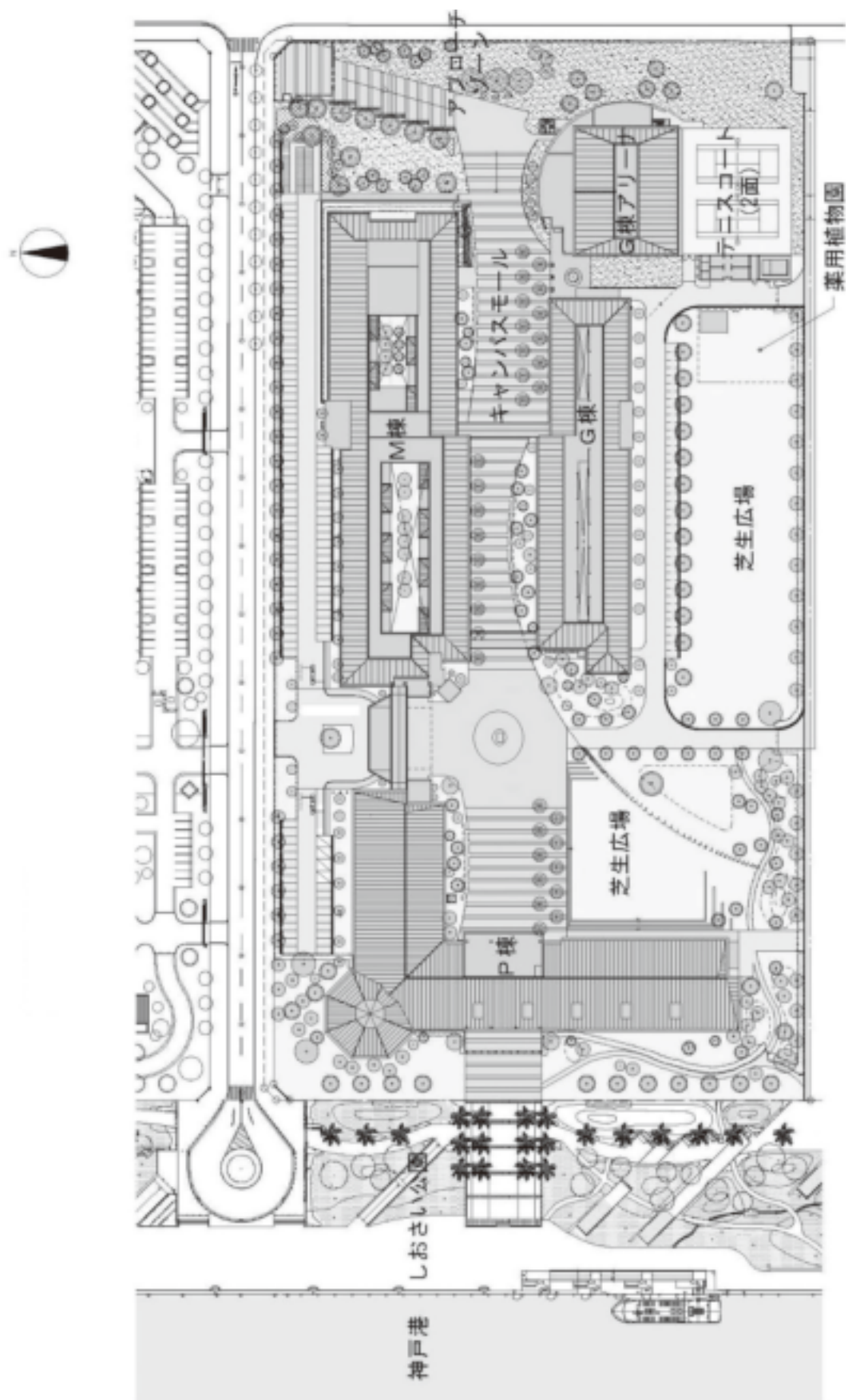
平成20年度

- ・サーバー室を365日、24時間冷房可能な空調設備工事を実施した。
- ・M棟キャリアデザインセンターの出入口及び廊下の間仕切りを開放感のある雰囲気を作り、学生が気軽に出入りできるように整備工事を実施した。
- ・体育館における女子学生の防犯対策として、更衣室、トイレに警報設備設置工事を実施した。

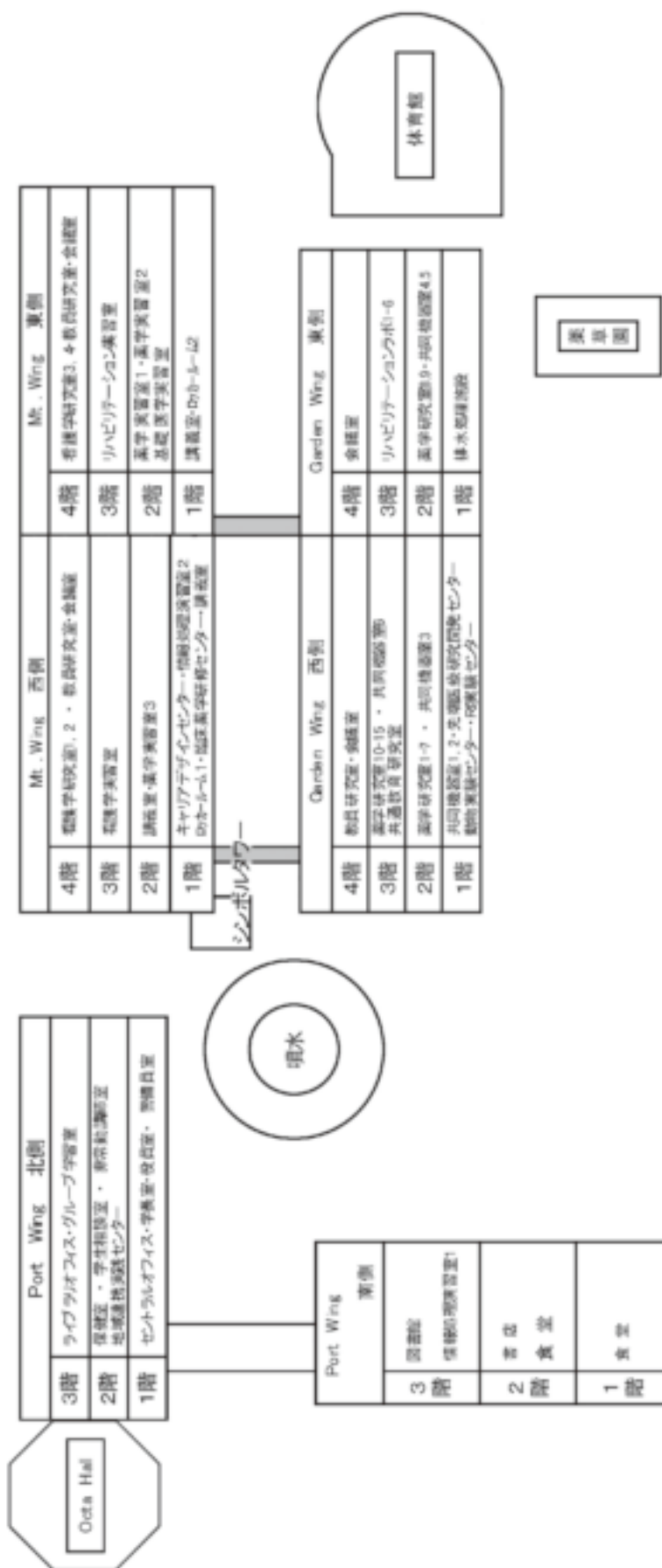
平成21年度

- ・P棟2階食堂の座席設置及び給茶器2台の増設に伴う、電気設備工事、給排水配管工事、機械設備工事を実施した。
- ・薬学部のG棟2階G-209薬学研究室内にP2実験室を2部屋設置するために建築工事、電気設備工事を実施した。
- ・リハビリテーション学部のM棟3階M-308aリハビリ準備室にエアコンと換気設備を設置するための電気設備工事、空調設備工事を実施した。更に、G棟3階G-311発達障害実験室に遊具用天井アンカーを設置するために取付工事を実施した。
- ・G棟アリーナ（体育館）にエアコンを設置するために電源用として幹線配線工事を実施した。

兵庫医療大学 校舎・建物配置図



兵庫医療大学 施設配置図





## 10. 各委員会委員一覧 (H21.4.1現在)

自己点検・評価委員会		教育委員会	
松田 暉	学長	末廣 謙	共通教育センター長
西山 信好	薬学部教授	西山 信好	薬学部教授
安屋敷和秀	薬学部教授	岩崎 剛	薬学部教授
鈴木 久美	看護学部教授	竹田千佐子	看護学部教授
秦 正哲	共通教育センター教授	網島ひづる	看護学部教授
稲富 宏之	リハビリテーション学部准教授	磯 博行	共通教育センター教授
菊地 良平	神戸キャンパスオフィス GM	北江 正幸	教務学生支援グループ M

FD 委員会		学生委員会	
佐藤 禮子	副学長	土肥 信行	リハビリテーション学部長
田中 稔之	薬学部教授	新井 信行	看護学部教授
鈴木 久美	看護学部教授	藤田 幸久	共通教育センター教授
湖海 正尋	リハビリテーション学部教授	前田 拓也	薬学部准教授
芝崎 誠司	薬学部准教授	大河原知水	薬学部准教授
森 明子	リハビリテーション学部准教授	水野 暢子	看護学部講師
紀平 知樹	共通教育センター講師	坂口 顕	リハビリテーション学部講師
西村 明子	看護学部講師	有吉 正則	リハビリテーション学部講師
高木 範子	共通教育センター講師	賀屋 光晴	共通教育センター講師
北江 正幸	教務学生支援グループ M	菊地 良平	神戸キャンパスオフィス GM
		北江 正幸	教務学生支援グループ M

医療人育成センター運営委員会		地域連携推進委員会	
鈴木敬一郎	医療人育成センター長	土居 洋子	地域連携実践センター長
岩崎 剛	薬学部教授	清宮 健一	薬学部教授
網島ひづる	看護学部教授	上原ます子	看護学部教授
P.D.ANDREW	リハビリテーション学部教授	坂本 利恵	リハビリテーション学部講師
磯 博行	共通教育センター教授	賀屋 光晴	共通教育センター講師
伊藤 斉子	リハビリテーション学部准教授 obs	橋本 幸哉	管理運営グループ M
菊地 良平	神戸キャンパスオフィス GM		

入試運営委員会		広報委員会	
前田 初男	入試センター長	青木 俊二	薬学部教授
九川 文彦	薬学部教授	秦 正哲	共通教育センター教授
藤井真理子	看護学部教授	上田 晴康	薬学部准教授
高橋 哲也	リハビリテーション学部教授	青木菜穂子	看護学部准教授
山田 大豪	リハビリテーション学部教授	松本 麻里	看護学部講師
伊東 久男	共通教育センター教授	香川 真二	リハビリテーション学部講師
芝崎 誠司	薬学部准教授	櫛辺 勇	リハビリテーション学部講師
清水 玲子	看護学部准教授	中村 高志	広報・情報グループ M
赤井 一之	入試グループ M		

倫理審査委員会		
九川 文彦	薬学部教授	
大町 弥生	看護学部教授	
野崎 園子	リハビリテーション学部教授	
伊藤 久男	共通教育センター教授	
塚田 哲之	神戸学院大学	
式 實	一般学外者	
菊地 良平	神戸キャンパスオフィス GM	

図書館委員会		
西原 力	薬学部教授	
磯部 孝彦	共通教育センター教授	
伊東 壮一	薬学部准教授	
富永 真己	看護学部准教授	
佐野 恭子	リハビリテーション学部講師	
森沢 知之	リハビリテーション学部講師 obs	
菊地 良平	図書館グループ M	

動物実験委員会		
山本 悟史	動物実験センター長	
田中 稔之	薬学部教授	
安屋敷和秀	薬学部教授	
伊東 久男	共通教育センター教授	
小西美ゆき	看護学部講師	
坂口 顕	リハビリテーション学部講師	
清宮 健一	薬学部教授	
佐加良英治	学外学識者	
住 勝実	研究支援グループ M	

情報倫理委員会		
田中 明人	薬学部教授	
野崎 園子	リハビリテーション学部教授	
土田 敏恵	看護学部准教授	
加藤 精一	共通教育センター准教授	
菊地 良平	神戸キャンパスオフィス GM	
橋本 幸哉	管理運営グループ M	
中村 高志	広報情報グループ M	

遺伝子組換え実験安全委員会		
田中 稔之	薬学部教授	
磯 博行	共通教育センター教授	
大河原知水	薬学部准教授	
尾ノ井美由紀	看護学部講師	
三浦 大作	薬学部助教	
岩崎 剛	保健管理センター長	
住 勝実	研究支援グループ M	

動物実験センター運営委員会		
山本 悟史	薬学部教授	
伊東 久男	共通教育センター教授	
上田 晴康	薬学部准教授	
平木 尚美	看護学部講師	
坂口 顕	リハビリテーション学部講師	
三浦 大作	薬学部助教	
田中 昭二	実験動物管理室	
住 勝実	研究支援グループ M	

環境安全委員会		
東 純一	薬学部長	
宮部 豪人	薬学部教授	
斎藤あつ子	薬学部教授	
末原紀美代	看護学部教授	
野崎 園子	リハビリテーション学部教授	
磯部 孝彦	共通教育センター教授	
菊地 良平	神戸キャンパスオフィス GM	

病原体等安全管理委員会		
西原 力	薬学部教授	
斎藤あつ子	薬学部教授	
松本 麻里	看護学部講師	
岩崎 剛	保健管理センター長	
住 勝実	研究支援グループ	

共同機器室運営委員会		
田中 稔之	共同機器室長	
青木 俊二	薬学部教授	
九川 文彦	薬学部教授	
住 勝実	研究支援グループ M	

放射線障害予防委員会		
藤野 秀樹	薬学部講師	
新井 信行	看護学部教授	
土肥 信行	リハビリテーション学部教授	
末廣 謙	共通教育センター長	
住 勝実	研究支援グループ	

RI 実験センター運営委員会		
藤野 秀樹	薬学部講師	
湖海 正尋	リハビリテーション学部教授	
末廣 謙	共通教育センター教授	
田中 康一	薬学部助教	
前田 拓也	管理区域責任者	
上田 寛樹	安全管理責任者	
住 勝実	研究支援グループ M	

キャリアデザイン委員会		
藤田 幸久	キャリアデザインセンター長	
西原 力	薬学部教授	
新井 信之	看護学部教授	
日高 正巳	リハビリテーション学部教授	
末廣 謙	共通教育センター教授	
南畝 晋平	薬学部講師	
坂本 浩	リハビリテーション学部講師	
林 幸男	キャリアデザイン副センター長	
北江 正幸	教務学生支援グループ M	

国際交流委員会		
辻野 健	薬学部教授	
山崎せつ子	リハビリテーション学部教授	
秦 正哲	共通教育センター教授	
戴 毅	薬学部准教授	
土田 敏恵	看護学部准教授	

キャンパス有効利用委員会		
磯 博行	共通教育センター教授	
前田 初男	薬学部教授	
末原紀美代	看護学部教授	
湖海 正尋	リハビリテーション学部教授	
高木 範子	共通教育センター講師	
橋本 幸哉	管理運営グループ M	
北江 正幸	教務学生支援グループ M	

## 11. 委員会の取り組み

### 1) FD 委員会

#### i) 概 要

兵庫医療大学ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会の目的は、教員個人及び教員組織としての教育能力を開発・改善し、兵庫医療大学の教育研究機能の向上を図ることであり、以下を具体的目標としている。①教員個々の教育力の向上、②集団・組織としての教育力の向上、③学部間の相互理解力の向上、④教員の研究力の向上及び相互協力体制による研究力の向上、⑤本学としての教育及び研究の質の向上、⑥教員と協働する職員の資質の向上。

#### ii) 委員会の構成

3 学部・共通教育センター選出教員・事務職員代表のキャンパスオフィス職員と委員長の10名により組織され、全学 FD 活動の企画・運営にあたる。また、学部・センター選出教員、キャンパスオフィス選出職員は、3 学部、共通教育センター及びキャンパスオフィスがそれぞれ独自に企画・運営する FD・SD 活動との連携を責務とする。

#### iii) 委員会の活動実績

##### (1) 全学 FD ワークショップ開催

○平成20年度

テ ー マ：「兵庫医療大学で培う学士力」

日 時：平成21年 3 月10日（火）10:00～18:00

内 容：10時～ 外部講師による特別講演「学士課程教育と学士力の育成」

（濱名 篤 関西国際大学長）、

13時～ グループ討議、

15時～ サマリ作成・発表準備、

16時～ 発表・全体討議

○平成21年度

テ ー マ：「教育成果の測定と授業改善への活用」

日 時：平成22年 3 月11日（木）9:15～17:00

内 容：9:30～ 外部講師による特別講演「PDCA サイクルとこれからの FD」

（安岡高志 立命館大学教授）、

13:00～ グループ討議、

16:30～ まとめ・評価アンケート

事前準備：ファシリテーター指名と説明会の実施

日 時：平成22年 3 月 8 日（月）10:30～12:00

##### (2) FD 委員会

○平成20年度委員会協議内容

平成20年度 FD 活動年間計画を策定するにあたり、平成19年度全学 FD ワークショップ評価を基

に、これまでの活動成果及び課題について討議し、今後も他学部や共通教育センターにおける教育内容や目標のより深い相互理解を推進する必要性は高く、このためにも全教職員を対象としたワークショップを開催していく方向性を確認し、19年度と同様形式による全学ワークショップの開催を決定した。

平成20年度は、各委員が主体的に具体的なテーマを提案することになり、協議を重ねた結果、「兵庫医療大学で培う学士力」をテーマとする開催を決める。

#### ○平成21年度委員会協議内容

平成21年度 FD 活動年間計画を策定するにあたり、平成20年度全学 FD ワークショップ評価を基に、これまでの活動成果及び課題について討議し、「学士力」について概念を共通理解し、到達目標を定めることが重要であるとの認識から、教育成果の測定（授業のあり方、GPA（Grade Point Average）の活用等）について FD 活動を進める必要性は高く、全教職員を対象としたワークショップを開催することになり、協議を重ねた結果、「教育成果の測定と授業改善への活用」をテーマとする開催を決める。

各学部・共通教育センターによる独自企画の FD 活動を推進するにあたり、FD 活動に係る基本指針を作成し共有した。

### 兵庫医療大学ファカルティ・ディベロップメント活動に係る基本指針

（平成21年 7 月 7 日 全学 FD 委員会制定）

教員個人及び教員組織としての教育能力を開発・改善し、もって本学の教育研究機能の向上と職員の資質向上の両面を図るためのファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）活動に係る基本方針を次のとおり定める。

#### 【目的】

全学 FD 委員会は、全教職員を対象として次の目的の実現のために活動を行う。

- ①個々の教員の教育力の向上
- ②集団・組織としての教育力の向上
- ③学部間（共通教育センターを含む）の相互理解力の向上
- ④教員の研究力向上及び相互協力体制による研究力の向上
- ⑤本学としての教育及び研究の質の向上
- ⑥上記の項目に関連して、職員の資質の向上

#### 【FD 活動の企画・実施】

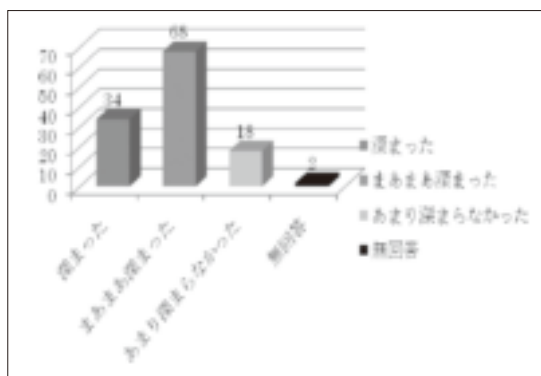
1. 全学 FD 委員会は、全教職員を対象に全学 FD ワークショップ等の全学 FD 活動を企画・立案し、大学協議会の議を経て実施する。
2. 各学部・共通教育センターから選出された全学 FD 委員は、各学部等の実情に合わせた FD 活動を各学部の教員と協働して企画・立案し、各教授会の議を経て実施する。
3. 各学部・共通教育センターの全学 FD 委員は各学部等の FD 活動について、適宜全学 FD 委員会に報告する。



#### iv) FD ワークショップの成果

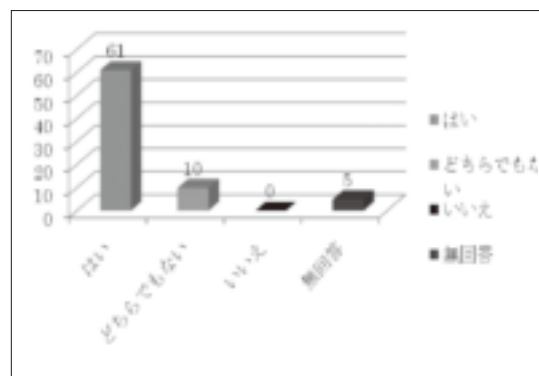
##### 平成20年度アンケート結果（抜粋）

問：「教育成果とは何か」について理解は深まりましたか。

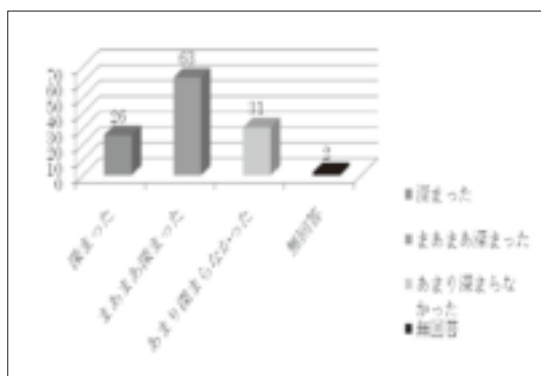


##### 平成21年度アンケート結果（抜粋）

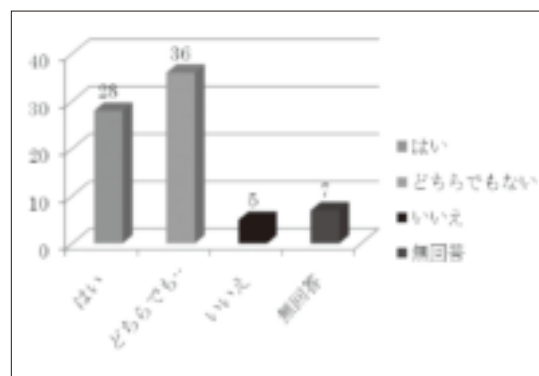
問：学士課程教育についての理解は深まりましたか。



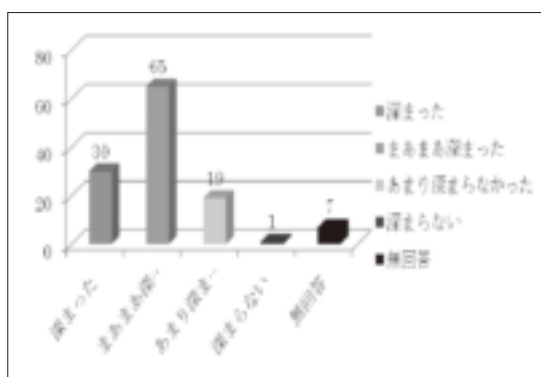
問：教育成果の測定の意義とその方法についての理解が深まりましたか。



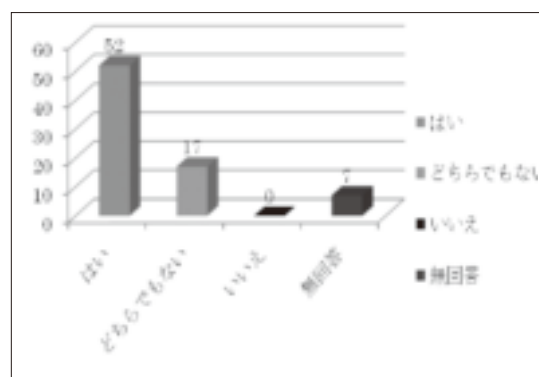
問：医療人としての「学士力」についての概念を明確にすることができましたか。



問：教育改善のためのPDCAサイクルについての理解が深まりましたか。



問：兵庫医療大学での学士力育成のために、自らの仕事の課題を考えることが出来ましたか。



## 2) 教務委員会・教育委員会

### i) 概 要

教務委員会では、本学におけるカリキュラムや兵庫医科大学との連携カリキュラム、教育実習、試験等の教務に関する基本方針や大枠など、3学部共通課題の委員会案を作成し、大学協議会上に上伸(諮問のあった場合は答申)し、具体的詳細な事項については教授会に付議するなど、学部教育に関する企画・立案及び調整を行ってきた。

また一方、本学の教育の特徴であるチーム医療を担う人材の育成を実践するための組織として、本学に設置されている総合教育委員会との医療関連分野の講義科目・内容及び臨床実習に関する企画調整を検討するなど、兵庫医科大学に設置されている医学・医療教育研修センター(現医療人育成センター)との連携を担う役割を果たしてきた。

平成21年度の医学・医療教育研修センターから医療人育成センターへの名称変更に伴い、兵庫医科大学を含む2大学4学部5学科の学生に対する統一されたコンセプトの下、密接な医療関連教育、他職種における専門性の理解を深める教育の実施を図ることとした。併せて、この場を通じ、学生間の交流、共同学習・意見交換の機会の創設を図り有効に機能させるため、教務委員会及び総合教育委員会との両方の機能を持ち合わせて、新たに教育委員会を設置した。

今後本学と医科大学との教育連携に係る事項は、教育委員会において協議のうえ、本委員会から医療人育成センター運営委員会へ上程する流れとした。

### ii) 委員会の構成

平成21年4月より、新規に発足した教育委員会では教務部長、共通教育センター教授2名、薬学部教授2名、看護学部教授2名リハビリテーション学部教授2名及び教育・学生支援グループマネージャーから構成されており、委員長には教務部長がこの任に当たっている。

### iii) 活動状況

教務委員会及び教育委員会の開催は、平成20年度には教務委員会を16回(臨時2回、持回り2回含む)、21年度は教育委員会を16回(臨時4回、持回り2回含む)開催した。以下に主に検討した協議項目のまとめを記す。

#### (1) ポートアイランド4大学連携単位互換制度

ポートアイランド4大学連携教務部会の協議内容の報告を受けて、当該単位互換制度の実施にあたり各大学において学則等の変更なしに実施可能な方策を検討のうえ、各学部及び共通教育センターにおいて当該単位互換制度に提供可能な授業科目とその条件を検討いただくよう各教務委員に指示した。既に本学から提供している「漢方医学概論」に加え、新たに各学部より複数の提供科目案が提出されたため、本学が未だどの学部も完成していないこと等の諸事情から、できるだけ本学の特色のある科目を提供すること、また提供科目数は各学部1科目程度とすること、第1学年次または第2学年次開講授業科目から提供すること、等。科目責任者が本学の専任教員である授業科目を提供することのアウトラインを定めた。

#### (2) 講義室の増設

共通教育センター授業科目「医療科学概論」において、平成21年度からは兵庫医科大学医学部と合同で4学部5学科合同授業を実施する予定となっているが、500人収容可能な講義室が本学になく当該授業計画の遂行が困難であること。また今後の学年進行に伴う開講授業科目数の増加も併せ

て勘案すると、講義室の絶対数が不足すると考えられる。このため講義室不足の緩和や既存講義室の使用改善・整備等について検討した。

### (3) チーム医療教育

大学協議会からチーム医療推進委員会だけでなく教務委員会においてもチーム医療の推進をバックアップするよう意見があったことから、授業科目の指導教員を学部間で相互に乗り入れる、等。次年度の授業科目を検討する際には、教員間のチーム医療も視野に入れて計画することとした。

### (4) 「阪神・淡路大震災（1.17）から学ぼう」

本学は神戸市内に位置する医療系総合大学であることから、医療専門職者を志す学生への教育の一環として標記行事を実施することとした。平成21年1月16日（金）の昼休憩時間を利用して12:30よりオクタホールにおいて震災時のVTR鑑賞の後、全員で黙祷を行うこととした。該当VTRの選定については、視聴のうえ協議した結果NHKビデオ「震度7・阪神大震災の教訓」シリーズのうち「ドキュメント・神戸72時間の記録」及び「こころのケアとボランティア（避難生活への支援）」を上映することとした。21年度では第1・2学年次の正規カリキュラムに含めて実施した。

### (5) ポーアイ教養科目の単位互換

文部科学省「戦略的大学連携支援事業」における「ポーアイ4大学教養科目」と本学開講授業科目については、本学では学則上開講していない科目であるため、原則として本学の学生は当該科目を正規に履修できないが、大学として該当支援事業に協力する必要があることから、学則の変更を伴わない既修得単位の読み換えを利用し対応することとした。なお、当該読み換え科目案の認定可否については各学部の教授会へ付議することとした。

### (6) 新型インフルエンザへの対応

新型インフルエンザの神戸市発生に伴い、神戸市からの要請を受けて5月16日（土）から22日（金）の期間全学休校の処置を行った。5月25日（月）には、周到的準備と防御対策を講じて全学休校を解除した。授業再開後は、37.5度以上の発熱の場合には登校禁止するとともに、感染機会の軽減等のため2週間は授業時間を90分から80分とし、授業時間帯を変更して1時限目を9時30分に5時限目終了を17時40分とした。また、リハビリテーション学部作業療法学科の1年の学生の感染者が10%を超えたことから11月25日（水）から11月29日（日）の期間を学年閉鎖とした。なお、授業時間変更等に伴う授業時間の不足分については、年度末に補講を実施した。

### (7) 平成22年度開講授業時間の変更

通学時間帯のボートライナー混雑緩和に加え、昼休憩時間の学内レストラン混雑緩和も併せて勘案のうえ1時限目の授業開始時間や各学部の時間割を検討した。

### (8) 学部横断聴講制度（仮称）の新設

学生が空コマを利用して自身の所属以外の学部学科で開講している授業科目の聴講を希望した場合、当該授業科目責任者の責任範囲で許可できる制度について検討した。

### 3) 自己点検・評価委員会

#### i) 概 要

本学では、大学開設時から学則第2条に自己点検・評価に関する条項を定め、その規定に基づき自己点検・評価委員会を設置した。兵庫医療大学における教育・研究水準の向上と活性化を図るため、本学における教育・研究並びに管理運営等の全般について自ら点検及び評価を行うことを目的としている。

#### ii) 委員会の構成

委員会は、学長、副学長、学部長、共通教育センター長、学生部長、教務部長、図書館長、キャリアデザインセンター長、入試センター長、地域連携実践センター長、教授若干名、学識経験者若干名及びゼネラルマネージャーで構成され、委員長は、学長がこの任に当たっている。

#### iii) 委員会の活動実績

##### (1) 平成20年度

- 1) 大学開設から5年目に大学基準協会の外部評価を受けることを目標に、学内の自己点検・評価体制の下に組織的活動を年度ごとに計画的に展開する。薬学教育（6年制）第3者評価が別途実施されることも踏まえ、薬学部独自の自己点検・評価も含めて全学的に実施する。年次計画は、各部会の活動計画を基に、今後、早急に策定する。
- 2) 部会の準備段階として次のとおりワーキンググループ（WG）を編成することにした。
  - ・教育部会 WG 取り纏め 佐藤：メンバー 西山（薬）、鈴木（看）、秦（共）
  - ・研究部会 WG 取り纏め 西原：メンバー 駒村（薬）、・稲富（リハ）
  - ・管理運営部会 WG 取り纏め 菊地：メンバー 土肥（リハ）、磯部（共）、末廣（共）
  - ・社会貢献部会 WG 取り纏め 土居：
- 3) 兵庫医療大学年報を開学の平成19年度版から編纂することとし、年報にその年度の研究業績集を収録する。

##### (2) 平成21年度

- 1) 各ワーキンググループ（WG）のメンバーを一部変更した。
  - ・教育部会 WG メンバー：佐藤（看）、西山（薬）、鈴木（看）、秦（共）
  - ・研究部会 WG メンバー：西原（薬）、東（薬）、安屋敷（薬）、稲富（リハ）
  - ・管理運営部会 WG メンバー：菊地（事）、土肥（リハ）、前田（共）、末廣（共）
  - ・社会貢献部会 WG メンバー：土居（看）、藤田（共）
- 2) 部会活動の計画について、
  - ・各 WG に事務局の担当者を置き対応することにした。また、年次計画を作成し、通常業務の中で必要事項を蓄積しつつ、自己点検・評価報告書のフォーマットを作成する。
  - ・自己点検・評価委員会について、薬学部の自己点検・評価と連携する。また、教育 WG は、教育委員会と連携することになった。
  - ・兵庫医療大学年報は、2年毎に作成することとし、平成20・21年度を纏めて作成する。

## 4) 学生委員会

### i) 概 要

学生委員会は、人間形成を目的として行われる課程外の教育活動および大学教育に対する適応を図り学習効果を高めることを目的とし活動を行っており、学生委員会規程に基づき、修学に係る指導・助言、学生の生活相談、学生の健康管理、奨学金に関すること、学生会活動・課外活動に関することを協議し、問題の解決に当たっている。

### ii) 委員会の構成

委員は、学生委員会規程に基づき、計11名で構成している。また、兵庫医療大学貸与奨学金の選考や、学生会、課外活動団体への対応など、継続的な調整や、詳細な検討が必要な事項については、担当委員を当て対応を行うとともに、必要に応じワーキンググループを設置し対応を行っている。

### iii) 委員会の活動実績

#### (1) 委員会の開催及び委員の活動

委員会の開催は、夏季期間を除き年11回開催してきた。また、健康診断、ワクチン接種での学生誘導や、奨学金担当委員による奨学生への面談、学生団体担当委員によるキャップ会への出席、学生会との打ち合わせへの出席、顧問懇談会での顧問に対する説明及び課外活動団体ヒアリングへの参加等、会議以外でも積極的に活動を行った。

#### (2) 主たる活動状況

##### 1) アドバイザーシステムについて

平成20年度

- ・平成19年度は43グループであったが、ECE の実施に合わせて40グループで実施した。
- ・アドバイザー経費補助金制度を実施した。
- ・平成19年度アドバイザーグループ懇談会メモを基にアドバイザーシステムの検証を行った。

平成21年度

- ・学生相談室による教員に対するコンサルテーション制度を導入した。

##### 2) 新入生・在学生に対するオリエンテーションについて

平成20年度

- ・4月3日(木) 在学生に対するオリエンテーションを実施した。
- ・4月4日(金)、4月5日(土) 新入生に対し大学生活に関するオリエンテーションを行った。
- ・各課外活動団体による勧誘が活発に行われた。

平成21年度

- ・在学生のオリエンテーションは薬学部・看護学部4月3日、リハビリテーション学部が3月26日に実施した。
- ・新入生への大学生活に関するオリエンテーションは4月5日入学式後及び4月6日に実施した。また4月11日にはアドバイザーグループ懇談会、健康診断、BLS 講習会を実施した。

#### (3) 健康管理とワクチン接種について

平成20年度

- ・健康診断は平成19年度同様複数実施日を設ける方法で実施した。



- ・ワクチン接種は、ECE までのスケジュールがタイトであったため、入学者に抗体検査を医療機関で行い、証明書を提出してもらうことによって、ワクチン接種スケジュールを緩める方法をとった。これにより、第1回目のワクチン接種を4月中に実施することができた。ただ、学生から提出のあった証明書が各医療機関によって、検査方法や基準値が異なるなどの問題が発生した。

#### 平成21年度

- ・健康診断については、平成20年度まで複数日で実施していたが、結局、授業等の関係で出席できる日が限定されてしまうことから、学生への周知や誘導の利便も踏まえ、平成21年度より在学学生は進級発表日に、新入生はオリエンテーションに合わせて実施した。この日程については、シラバスやハンドブック等の予定にも記載したため、未受診者等も少なく、円滑に実施することができた。
- ・ワクチン接種については、前年度入学時に抗体検査証明書を提出してもらう方法をとったが、検査方法や基準値が各病院等で異なりその対応がかなり煩雑なものとなったため、入学後オリエンテーションにて抗体検査を実施する方法に変更した。
- ・ワクチン接種日程については、健康財団との調整や、ECE までの抗体獲得期間日程等の調整を行った結果、ある程度ゆとりをもった状態で実施することができた。
- ・卒煙教室「ばたばた卒煙教室～煙草を吸わない貴方が好き！」を保健管理センター主催で開催した。卒煙教室は今後も継続的に実施して行くことになった。

### (4) メンタルヘルスと学生相談室の活動について

#### 平成20年度

- ・学生と相談員との交流を行い、学生相談室の存在を身近に感じてもらえるよう、6月と11月の2回学生相談室イベントを実施した。イベントでは心理テストやコラージュなどを行った。
- ・箱庭療法セットの導入を行った。

#### 平成21年度

- ・昨年度に引き続き、学生と相談員との交流を行い、学生相談室の存在を身近に感じてもらえるよう、6月と11月の2回学生相談室イベントを実施した。イベントでは心理テストやコラージュなどを行った。
- ・教職員が学生や保護者に対応する際のマニュアルとして作成した、「教職員サポートハンドブック」を4月に配布した。またこれに合わせて、教員からの相談を受け、コンサルテーションを行うことになった。
- ・相談員が一般学生との面識を持つ機会を設けるため、一般学生の往来するロビーにソファ等を設置し、湯茶サービス等を行う、「くつろぎスペース ひだまり」を設置した。

### (5) 学生団体への支援について

#### 平成20年度

- ・課外活動実施場所の確保のため、ニチイ学館と交渉し、ニチイ学館体育館の使用が可能となった。また、学内施設の貸し出しや学外施設使用に対する補助制度を設け、学生の課外活動を支援した。
- ・共通教育センター賀屋講師の協力により、熱中症講習会を開催した。
- ・愛校心の高揚と課外活動団体の側面的補助を目的とし、課外活動奨励賞を設けた。表彰は大学祭にて行った。

- ・ 3月に竣工する体育館の運用及び備品等の購入に向けて、ワーキンググループを中心に検討を行った。また、体育館それぞれの施設に対して、施設を使用する課外活動団体からなる使用者会を立ち上げ、学生とともに運用等を検討した。

平成21年度

- ・ 学生会からの要望を受け、G棟裏リザーブ用地にブルペンを設置した。また、試合形式の練習が行えるよう、グラウンド確保のため調整を行った。
- ・ 学生会との協議の結果、学生一人当たり2,500円の資金援助を行うことになった。なお、この資金援助は経年的に行うことになった。
- ・ 熱中症講習会を保健管理センター主催で賀屋講師の協力により実施した。

## (6) 学生団体の活動について

平成20年度

- ・ 学生会費の徴収を開始した。
- ・ 第1回海梟祭を開催した。
- ・ 第2回クリスマスイルミネーション点灯式を行った。
- ・ 体育館の竣工イベントとしてスポーツ大会を行った。

平成21年度

- ・ 第2回海梟祭を開催した。
- ・ 第1回スポーツ大会を実施した。
- ・ 第3回クリスマスイルミネーション点灯式を行った。

## (7) その他の取組について

- ・ 平成19年度に引き続き、20・21年度も学生の実生活実態調査を実施した。聴取したデータは、顧問懇談会や保護者懇談会、委員会等での基礎データとして利用した。

## 5) 地域連携推進委員会

### i) 概 要

本学では、地域との連携を推進するために地域連携推進委員会を設置している。委員は、地域連携実践センター長と薬学部・看護学部・リハビリテーション学部・共通教育センターの教授会で選出された各1名の教員及び管理・運営グループマネージャーの6名で構成されている。委員会は地域連携実践センターの運営を通じて、地域連携に関するイベント等の企画・実施を協議し、公開講座と健康相談を中心に活動を開始している。地域連携実践センターは、島内近隣の方々の健康維持増進回復のために、本学教員のもつ専門知識や技術を披露し、活用いただく目的で開学当初から意図して企画され準備してきた。

公開講座・個別健康相談は、平成20年11月8日（土）開催の公開講座以降は、文部科学省「戦略的大学連携支援事業」の「ボーアイ4大学による連携事業 ―安全・安心・健康のための総合プログラムを軸として―」として開催している。

このボーアイ4大学とは、兵庫医療大学、神戸学院大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学です。立地条件や各大学の利点を生かすことで、高度な研究・教育を行いつつ、4大学のより効率のよい安定した大学運営を実現させ、地域社会とともに生きることを目的としている。

文部科学省による平成20年度大学改革推進事業「戦力的大学連携支援事業」に採択されたボーアイ4大学による連携事業では、「ボーアイ4大学連携推進センター」を神戸学院大学に設置し、兵庫医療大学にはセンターの下部組織として「ボーアイ健康・生活支援ステーション」を設置し「ボーアイ健康推進プロジェクト」の事業を行っている。この事業は、兵庫医療大学と神戸女子大学、神戸女子短期大学が中心になっている。

このボーアイ健康推進プロジェクトにおける兵庫医療大学の事業は、「公開講座・健康相談」及び「地域交流プロジェクト」の2つのプロジェクトを実施している。

### ii) 活動状況

公開講座については、地域連携推進委員会が中心になって薬学部・看護学部・リハビリテーション学部の各学部と共通教育センターが順に企画し運営している。「ボーアイ健康推進プロジェクト」の兵庫医療大学の事業は、「公開講座・個別健康相談」及び「地域交流プロジェクト」を地域連携実践センターが主体となって実施している。また、公開講座と同時のタイミングに個別健康相談を受けております。公開講座のテーマを中心に先生方が集まり、一般的な健康や病気に関する相談を幅広く受けることができるよう、本学の教員数名が控えている。

地域交流プロジェクトは、地域の方々の健康の維持・増進・回復のために本学教員が主体的に企画したプロジェクトです。テーマに応じて数回のシリーズで開催するなど、参加者の方々に満足いただけるよう新しい試みをしながら取り組んでいる。

### iii) 活動内容

公開講座・個別健康相談の活動状況については、Ⅲ. 管理・運営活動 3. 付属施設・活動状況 4) 地域連携実践センターの項（142頁の表1～6. 及び図1～9. を参照）に掲載する。

## 6) 入試運営委員会

### i) 概 要

兵庫医療大学開学後に、入試センター長、3学部及び共通教育センター教授等を構成委員とする入試運営委員会を設置し、入学者選考要領の作成及び入学試験実施に関する業務等だけでなく、志願者数及び入学者数の確保を図るための最善な入試制度について協議してきた。

その結果、平成20年度入学試験では、薬学部において推薦入学試験併願制及び一般入学試験前期B日程を追加することとした。また、平成21年度入学試験では、薬学部において指定校推薦入学制度及び推薦入学試験併願制B日程を、作業療法学科において一般入学試験前期B日程を新たに追加するとともに、看護学部三年次編入学試験を実施することとした。平成20年度入学試験、平成21年度入学試験及び看護学部三年次編入学試験の日程及び募集人員等は次のとおりである。

### ii) 活動状況

#### (1) 平成20年度入学試験

##### 1) 推薦入学試験（専願制）

募 集 人 員：薬 学 部 約20名

看護学部 約30名

リハビリテーション学部理学療法学科 約10名

リハビリテーション学部作業療法学科 約10名

選 抜 方 法：全学部共通 外国語、小論文、調査書

試 験 日：平成19年11月10日（土）

合格発表日：平成19年11月16日（金）

##### 2) 推薦入学試験（併願制）

募 集 人 員：薬学部 約20名

選 抜 方 法：薬学部 外国語、小論文、調査書

試 験 日：平成19年12月1日（土）

合格発表日：平成19年12月7日（金）

##### 3) 一般入学試験（前期A日程）

募 集 人 員：薬 学 部 約60名

看護学部 約60名

リハビリテーション学部理学療法学科 約25名

リハビリテーション学部作業療法学科 約25名

選 抜 方 法：薬 学 部 外国語、数学、理科

看護学部 外国語、国語、理科

リハビリテーション学部理学療法学科 外国語、数学、理科

リハビリテーション学部作業療法学科 外国語、国語、理科

試 験 日：平成20年2月2日（土）

合格発表日：平成20年2月13日（水）

4) 一般入学試験（前期 B 日程）

募集人員：薬学部 約40名

選抜方法：薬学部 外国語、理科

試験日：平成20年2月16日（土）

合格発表日：平成20年2月22日（金）

5) 一般入学試験（後期日程）

募集人員：薬学部 約10名

看護学部 約10名

リハビリテーション学部理学療法学科 約5名

リハビリテーション学部作業療法学科 約5名

選抜方法：薬学部 外国語、数学、理科

看護学部 外国語、国語、理科

リハビリテーション学部理学療法学科 外国語、小論文、理科

リハビリテーション学部作業療法学科 外国語、小論文、理科

試験日：平成20年3月1日（土）

合格発表日：平成20年3月7日（金）

(2) 平成21年度入学試験

1) 推薦入学試験（専願制）

募集人員：薬学部 約20名

看護学部 約30名

リハビリテーション学部理学療法学科 約10名

リハビリテーション学部作業療法学科 約15名

選抜方法：全学部共通 外国語、小論文、調査書

試験日：平成20年11月15日（土）

合格発表日：平成20年11月26日（水）

2) 推薦入学試験（薬学部指定校推薦入学制度）

募集人員：薬学部 10名

合格発表日：平成20年11月28日（金）

3) 推薦入学試験（併願制 A 日程）

募集人員：薬学部 約10名

選抜方法：薬学部 外国語、小論文、調査書

試験日：平成20年11月16日（日）

合格発表日：平成20年11月26日（水）

4) 推薦入学試験（併願制 B 日程）

募集人員：薬学部 約10名

選抜方法：薬学部 外国語、小論文、調査書

試験日：平成20年12月6日（土）

合格発表日：平成20年12月12日（金）



5) 一般入学試験（前期 A 日程）

募集人員：薬学部 約60名

看護学部 約65名

リハビリテーション学部理学療法学科 約25名

リハビリテーション学部作業療法学科 約12名

選抜方法：薬学部 外国語、数学、理科

看護学部 外国語、国語、理科

リハビリテーション学部理学療法学科 外国語、数学、理科

リハビリテーション学部作業療法学科 外国語、国語、理科

試験日：平成21年1月31日（土）

合格発表日：平成21年2月17日（火）

6) 一般入学試験（前期 B 日程）

募集人員：薬学部 約30名

リハビリテーション学部作業療法学科 約8名

選抜方法：薬学部 外国語、理科

リハビリテーション学部作業療法学科 外国語、数学、理科

試験日：平成21年2月1日（日）

合格発表日：平成21年2月17日（火）

7) 一般入学試験（後期日程）

募集人員：薬学部 約10名

看護学部 約5名

リハビリテーション学部理学療法学科 約5名

リハビリテーション学部作業療法学科 約5名

選抜方法：薬学部 外国語、数学、理科

看護学部 外国語、国語、理科

リハビリテーション学部理学療法学科 外国語、小論文、理科

リハビリテーション学部作業療法学科 外国語、小論文、理科

試験日：平成21年2月28日（土）

合格発表日：平成21年3月10日（火）

8) 看護学部三年次編入学試験

募集人員：看護学部 約10名

選抜方法：看護学部 外国語、専門科目、面接

試験日：平成20年9月13日（土）

合格発表日：平成20年9月19日（金）

## 7) 広報委員会

### i) 概 要

広報委員会は、主に大学案内の作成やホームページ、オープンキャンパス、高大連携及び入学試験に係る広報活動を担うことを役割としている。委員会では、下記の事項に関して協議し、課題解決にあたることを目的として活動している。

- 1 本学の大学広報の企画・立案に関すること
- 2 入試広報施策の企画・立案及び実施に関すること
- 3 大学のホームページの運用方針及び内容の企画・立案に関すること
- 4 法人の広報関連部署及び広報戦略との連携、協調、情報の共有等に関すること
- 5 その他本学の広報全般に関すること

### ii) 委員会の構成

当委員会は、薬学部教員2名、看護学部教員2名、リハビリテーション学部教員2名、共通教育センター教員1名及び広報・情報グループマネージャーを含む8名の委員をもって構成される。

平成20年度は、前年度に引き続き松田暉学長が委員長を務めたが、21年度からは委員改選に伴い薬学部の青木俊二教授が委員長の任に就いた。

### iii) 委員会の活動実績

月1回の委員会を開催し、その中で上記概要に記載の事項について協議してきた。同委員会は協議機関であるとともに、オープンキャンパス等イベントの企画・運営、大学案内やWebサイト等各種広報媒体の企画・編集・制作、高等学校への出張講義・ガイダンスやキャンパス見学会・体験実習の企画調整・実施等を行う実動部隊であり、各委員は日常的にこれらの業務に携わっている。

#### (1) オープンキャンパス

##### 1) 平成20年度

6月22日(日)、7月19日(土)、8月9日(土)・10日(日)・23日(土)・24日(日)の計6日間開催した。8月23日(土)・24日(日)の2日間は、当該年度からの新たな試みとして、ポートアイランド4大学による同日開催によるイベントとした。各開催日の参加者は表1.の通り、高校生ベースでは合計延べ1,601名であった。

##### 2) 平成21年度

7月18日(土)、8月8日(土)・9日(日)・22日(土)・23日(日)の計5日間開催した。8月22日(土)・23日(日)の2日間は、前年度に引き続き、ポートアイランド4大学による同日開催によるイベントとした。各開催日の参加者は表2.の通り、前年度に比して開催日は1日削減したが、参加者は前年度を上回り、高校生ベースで合計延べ1,678名となった。

##### 3) その他

新たな学生募集広報イベントとして、平成21年5月31日(日)に薬学部及び兵庫医科大学病院による薬学部を目指す生徒対象の学生募集イベントを企画したが、実施直前から新型インフルエンザの大流行による影響で、止む無く開催を中止した。

## (2) 大学案内等の制作

平成21・22年度学生募集用大学案内を制作した。この制作にあたっては、内容を刷新するとともに、Web サイトとのトーンの統一や、コンテンツ流用によるコストメリット創出のため、両媒体の制作者を統一した。その他、イベント動員、出願促進のためのダイレクトメールを制作した。

表 1. 平成20年度オープンキャンパス参加者数

6月22日

志望学科	受験生数	同伴者数	合 計
医 療 薬 学 科	28	31	59
看 護 学 科	77	44	121
理学療法学科	73	37	110
作業療法学科	17	14	31
合 計	195	126	321

7月19日

志望学科	受験生数	同伴者数	合 計
医 療 薬 学 科	34	24	58
看 護 学 科	116	59	175
理学療法学科	55	40	95
作業療法学科	7	9	16
合 計	212	132	344

8月9日

志望学科	受験生数	同伴者数	合 計
医 療 薬 学 科	71	51	122
看 護 学 科	130	64	194
理学療法学科	88	80	168
作業療法学科	31	18	49
合 計	320	213	533

8月10日

志望学科	受験生数	同伴者数	合 計
医 療 薬 学 科	63	48	111
看 護 学 科	126	94	220
理学療法学科	65	37	102
作業療法学科	17	17	34
合 計	271	196	467

8月23日

志望学科	受験生数	同伴者数	合 計
医 療 薬 学 科	81	52	133
看 護 学 科	94	41	135
理学療法学科	63	34	97
作業療法学科	25	21	46
合 計	263	148	411

表 2. 平成21年度オープンキャンパス参加者数

7月18日

志望学科	受験生数	同伴者数	合 計
医 療 薬 学 科	27	29	56
看 護 学 科	137	89	226
理学療法学科	71	50	121
作業療法学科	33	29	62
合 計	268	197	465

8月8日

志望学科	受験生数	同伴者数	合 計
医 療 薬 学 科	42	31	73
看 護 学 科	155	114	269
理学療法学科	109	70	179
作業療法学科	33	33	66
合 計	339	248	587

8月9日

志望学科	受験生数	同伴者数	合 計
医 療 薬 学 科	55	53	108
看 護 学 科	184	128	312
理学療法学科	92	53	145
作業療法学科	24	30	54
合 計	355	264	619

8月22日

志望学科	受験生数	同伴者数	合 計
医 療 薬 学 科	90	68	158
看 護 学 科	136	79	215
理学療法学科	64	39	103
作業療法学科	34	25	59
合 計	324	211	535

8月23日

志望学科	受験生数	同伴者数	合 計
医 療 薬 学 科	101	93	194
看 護 学 科	172	101	273
理学療法学科	97	84	181
作業療法学科	22	25	47
合 計	392	303	695

8月24日

志望学科	受験生数	同伴者数	合 計
医 療 薬 学 科	120	106	226
看 護 学 科	122	83	205
理学療法学科	67	51	118
作業療法学科	31	29	60
合 計	340	269	609

5日間合計

志望学科	受験生数	同伴者数	合 計
医 療 薬 学 科	315	274	589
看 護 学 科	784	511	1,295
理学療法学科	433	296	729
作業療法学科	146	142	288
合 計	1,678	1,223	2,901

6日間合計

志望学科	受験生数	同伴者数	合 計
医 療 薬 学 科	397	312	709
看 護 学 科	665	385	1,050
理学療法学科	411	279	690
作業療法学科	128	108	236
合 計	1,601	1,084	2,685

### (3) ホームページ（大学公式 Web サイト）のリニューアル

大学公式 Web サイト（<http://www.huhs.ac.jp/>）を再構築し、平成20年12月よりリニューアルした。再構築においては、新たにコンテンツマネジメントシステム（CMS）を導入し、Web ブラウザで簡易的にコンテンツを直接更新できるなど、機動的なサイト運営が可能な構成とした。また、コンテンツ面においても、リニューアルにあたり、教員と学生との対談や学外実習の体験談、フォトギャラリー及び Web キャンパスツアーなど、新たなコーナーを開設した。

### (4) 大学合同進学相談会への参加

進学情報業者等主催による大学合同進学相談会に参加し、オープンキャンパス等イベントへの誘導、入試相談等による出願促進を行った。平成20・21年度の参加会場等については、Ⅲ管理・運営活動 1 学生の受け入れ 3) 入学試験関連の広報活動の項（118頁、表1～2、参照）に掲載する。

### (5) 高等学校・予備校教員対象入試説明会

次年度学生募集要項の確定に合わせて、高等学校及び予備校の教員を本学キャンパスに招き、次年度入学試験の説明会を行った。平成20年度からは、新たな試みとして、希望者対象の授業参観をプログラムに組み込んだ。20年度は48校、21年度には36校から参加があった。

### (6) 高校訪問の実施

平成20・21年度ともに、全教職員を動員して、近畿地区、中国・四国地区の高等学校を訪問し、当該年度の入試説明、オープンキャンパス告知とともに大学の PR を行った。

### (7) 高大連携への取組

高等学校内での進学ガイダンス、大学キャンパスでのキャンパス見学とあわせた模擬講義、体験実習等を実施した。多くは進学情報業者主催のものであるが、高等学校からの直接依頼によるものも増えつつある。平成20・21年度の活動実績は、Ⅲ管理・運営活動 1 学生の受け入れ 3) 入学試験関連の広報活動の項（121頁、表3～6、参照）に掲載する。

また、高等学校との積極的な交流、連携を図るため、これら模擬講義、体験実習等の内容をパッケージ化し、問合せ、申込方法とともに Web サイトに情報公開し、教員対象説明会にて告知するなど、積極的な広報展開を実施している。

## 8) 倫理審査委員会

### i) 概 要

当委員会は、平成20年5月に設置され、兵庫医療大学及び関連する医療施設並びに研究施設で行われる、人間を直接対象とした臨床研究や疫学研究、観察研究及びその他医療に関する研究が、ヘルシンキ宣言の趣旨に沿って倫理的配慮のもとに行われることを目的としている。

研究責任者等から申請された実施計画の内容について、学長の諮問に基づき倫理的、社会的観点から、研究等の対象となる個人の人權の擁護、研究等の対象となる者に理解を求め同意を得る方法、研究等によって生じる個人への不利益並びに危険性に対する配慮及び補償、医療並びに社会への貢献度の予測、等の点に留意して審査する。

### ii) 委員会の構成

委員は、副学長、各学部長から1名、薬学部の教授1名、看護学部の教授1名、リハビリテーション学部の教授1名、共通教育センターの教授1名、人文社会科学の学外学識経験者1名、一般の立場を代表する学外の者1名、事務局の代表者1名で構成している。

### iii) 委員会の活動実績

平成20年度では、計6回の倫理審査委員会を開催し、研究課題名24件（薬学部2件、看護学部10件、リハビリテーション学部11件、共通教育センター1件）を承認した。また、平成21年度においては、計6回の倫理審査委員会を開催し、研究課題名36件（薬学部4件、看護学部17件、リハビリテーション学部14件、その他1件）を承認した。審査結果の詳細を表1～2.に示す。

表1. 平成20年度倫理委員会審議研究題名承認一覧

審査日	所 属	職名	氏 名	研究課題名	実施期間
6月26日	看護学部	教授	鈴木 久美	乳がん対象者との協働による一般女性と看護職のための乳がん予防啓発プログラム ―乳がん検診及び自己検診に関するヒアリング調査―	H20.07.01～ H20.09.30
6月26日	看護学部	講師	平木 尚美	「高齢者を介護する人のための介護支援プロジェクト」の参加者が感じている介護負担の実態調査	H20.06.20～ H23.03.31
7月18日	リハビリテーション学部	教授	野崎 園子	パーキンソン病嚥下障害に対するリズム訓練に関する多施設共同研究	H20.07.01～ H21.08.31
7月18日	リハビリテーション学部	教授	野崎 園子	パーキンソン病患者の在宅トレッドミル訓練による歩行改善効果の検討	H20.07.01～ H22.03.31
7月24日	リハビリテーション学部	教授	野崎 園子	Duchenne 筋ジストロフィー患者の口腔機能の自然経過に関する多施設共同研究	H20.08.01～ H21.07.31
9月18日	リハビリテーション学部	教授	川口浩太郎	加圧空気処置が骨格筋酸素動態および呼吸循環動態に及ぼす影響に関する研究	H20.09.22～ H21.03.31
9月25日	リハビリテーション学部	教授	野崎 園子	Myotonic Dystrophy (MD) のホットパック併用口腔期嚥下訓練効果に関する多施設共同研究	H20.10.01～ H21.12.31
9月25日	共通教育センター	教授	磯 博行	新開発ロッキングチェアの快適性、機能性、安全性に関する研究	H20.10.01～ H21.03.31
9月25日	リハビリテーション学部	講師	香川 真二	3軸加速計を用いた歩行加速度データと歩行周期の特定	H20.10.01～ H22.03.31
9月25日	リハビリテーション学部	教授	高橋 哲也	間欠的足底刺激に対する反応性筋収縮による廃用性筋力低下予防装置の開発と臨床応用	H20.10.01～ H22.03.31
11月27日	看護学部	教授	網島ひづる	外来科学療法をうける肺がん患者の生活を支援する情報提供・相談システム開発と評価	H20.12.15～ H21.03.25



審査日	所 属	職名	氏 名	研究課題名	実施期間
11月27日	看護学部	教授	鈴木 久美	乳がん対象者との協働による一般女性と看護職のための乳がん予防啓発プログラム開発 ―子育て中の母親のための乳がん啓発教育プログラムの開発とその評価―	H21.01.10～ H21.03.31
11月27日	看護学部	助教	平岡 玲子	がん患者が体験している痛みに対する自己コントロール力を高める看護援助プログラム	H21.01.20～ H21.03.31
11月27日	看護学部	助手	佐藤真由美	子宮がん手術後続発性下腿リンパ浮腫のためのセルフケア介入プログラムの開発	H21.01.05～ H22.10.30
1月22日	看護学部	准教授	富永 真己	新卒看護早期離職の経済学的評価と早期離職の予測因子及びサポートシステム構築に関する研究	H21.01.26～ H22.03.31
1月22日	看護学部	教授	土田 敏恵	《看護の安全性を高める新しい看護業務識別ならびに手指衛生遵守促進システムの開発》 継続研究『臨床看護師が手指衛生実施を判断する基準とその影響因子』	H21.02.01～ H21.03.31
1月22日	看護学部	助教	高山 京子	がん臨床研究に参加する患者のセルフ・アセスメント能力向上のための教育用ツール開発	H21.02.01～ H22.03.31
1月22日	薬学部	講師	前田真貴子	禁煙補助薬の個別化適正確立のためのゲノム薬理学的研究	H21.02.06～ H24.03.31
2月4日	薬学部	講師	前田真貴子	禁煙補助薬の個別化適正確立のためのゲノム薬理学的研究	迅08018
2月4日	リハビリテーション学部	教授	川口浩太郎	加圧空気処置が骨格筋酸素動態および呼吸循環動態に及ぼす影響に関する研究	H20.09.22～ H21.09.30
2月9日	リハビリテーション学部	教授	野崎 園子	パーキンソン病嚥下障害に対するリズム訓練に関する多施設共同研究	H20.07.01～ H21.08.31
2月9日	リハビリテーション学部	教授	野崎 園子	Myotonic Dystrophy (MD) のホットパック併用口腔期嚥下訓練効果に関する多施設共同研究	H20.10.01～ H21.12.31
3月26日	看護学部	助教	高山 京子	がん化学療法に伴う貧血症状のアセスメントツールの有用性に関する研究	H21.04.03～ H21.12.31
3月26日	リハビリテーション学部	教授	野崎 園子	パーキンソン病患者の在宅トレッドミル訓練による歩行改善効果の検討	H20.07.01～ H22.03.31
5月28日	看護学部	教授	新井 信之	精神障害者施設利用者と実習生との間でなされる「語り」のメリット	H21.09.01～ H21.11.20
5月28日	看護学部	教授	土居 洋子	看護理論の教授方法と学習過程の評価	H21.07.15～ H23.12.31
5月28日	看護学部	助手	笠原 知春	ベットから車いすへの移乗介助動作が腰部に与える負担の検討	H21.08.01～ H22.03.01
5月28日	リハビリテーション学部	教授	野崎 園子	パーキンソン病における嚥下機能の定量的評価 ―多施設共同研究―	H21.05.01～ H22.09.30
5月28日	リハビリテーション学部	教授	野崎 園子	摂食・嚥下障害のある在宅患者の食に関する調査 ―多施設共同研究―	H21.05.01～ H22.05.30
5月28日	リハビリテーション学部	教授	野崎 園子	脊髄小脳変性症の嚥下機能の検討 ―多施設共同研究―	H21.05.01～ H22.09.30
5月28日	看護学部	講師	平木 尚美	「高齢者を介護する人のための介護支援プロジェクト」の参加者が感じている介護負担の実態調査	H21.05.16～ H23.03.31
6/3持回り	看護学部	助教	高山 京子	がん臨床試験に参加する患者のセルフ・アセスメント能力向上のための教育用ツール開発	H21.02.01～ H22.03.31
7月23日	看護学部	講師	土田 敏恵	加速度センサを利用した新しい手指衛生教育方法の検証	H21.08.01～ H22.03.31
7月23日	リハビリテーション学部	教授	野崎 園子	神経内科・筋ジストロフィー病棟見学による、学生の疾患に対する考え方の変化	H21.07.01～ H23.05.30
7月23日	看護学部	教授	鈴木 久美	「C型慢性肝炎患者の心身のセルフマネジメントを促す心理教育的グループ介入プログラムの開発」 ―ペグインターフェロン・レボテール併用療法を受けているC型慢性肝炎患者が体験している困難と対処―	H21.08.20～ H21.12.31
7月23日	看護学部	助教	佐藤真由美	子宮がん手術後続発性下腿リンパ浮腫のためのセルフケア介入プログラムの開発 その2:セルフケア介入プログラムの臨床適用	H21.08.18～ H22.09.30

審査日	所 属	職名	氏 名	研究課題名	実施機関
7月23日	看護学部	講師	西村 明子	周産期における父親のうつ状態の推移と危険因子 —社会的要因と生物学要因の重要性—	H21.08.01～ H23.03.31
7月23日	看護学部	講師	平木 尚美	認知症高齢者グループホームの終末期ケアにおける 看護連携システムの開発	H21.07.28～ H22.03.31
7月23日	看護学部	講師	平木 尚美	老人クラブ活動に参加する高齢者の認知症に関する 認識調査	H21.07.28～ H22.03.31
7月23日	看護学部	助教	山田 千春	身体拘束を実施した経験が自己に与える影響 —介護保険施設で高齢者のケアを行っている職員の 語りから—	H21.12.01～ H23.03.31
9月2日	看護学部	教授	鈴木 久美	「C型慢性肝炎患者の心身のセルフマネジメントを 促す心理教育的グループ介入プログラムの開発」 —ベグインターフェロン・リバビリン併用療法を 受けているC型慢性肝炎患者が体験している困難と 対処—	H21.08.20～ H21.12.31
9月24日	リハビリ テーション学部	講師	森 明子	下肢深部静脈血栓症予防に関する検討 —姿勢の違いによる下肢血行動態の変化について—	H21.09.28～ H22.09.30
9月24日	看護学部	准教授	富永 真己	新卒看護師の職業性ストレスと離職意向に関する 縦断研究：地域間における比較	H21.09.28～ H22.03.31
9月24日	薬学部	教授	東 純一	認知症疾患個別化治療推進を目的とする薬効ゲノ ム情報に基づく科学的基盤の構築	H21.09.28～ H25.03.31
9月24日	看護学部	助教	平岡 玲子	がん患者が体験している痛みに対する自己コント ロール力を高める看護援助プログラム —2．看護援助プログラムの実施と評価—	H22.01.04～ H22.03.31
9月24日	リハビリ テーション学部	講師	森 明子	職業意識に対するアンケート調査 —専門職を目指す学生の場合—	H21.09.28～ H22.09.30
9月24日	薬学部	教授	斎藤あつ子	アジア地域における赤血球内寄生原虫症に関する 疫学調査研究	H21.09.28～ H23.03.31
9月24日	薬学部	教授	斎藤あつ子	血液寄生原虫感染症の診断治療法の開発ならびに 予防法の確立に関わる研究	H21.09.28～ H23.03.31
11月2日	薬学部	講師	前田真紀子	禁煙補助薬の個別化適正投与法確率のためのゲノ ム薬理学的研究	H21.11.04～ H24.03.31
11月26日	リハビリ テーション学部	講師	香川 真二	運動イメージによる脳卒中片麻痺患者の痙性抑制 効果の検討	H22.01.01～ H23.12.31
11月26日	リハビリ テーション学部	講師	坂口 顕	温熱療法の可能性を広げる～運動療法との併用に よる筋委縮進行抑制効果	H21.12.01～ H23.03.31
11月26日	リハビリ テーション学部	講師	坂口 顕	杖の高さは歩行に影響を与える —高齢者の歩行分析（解析）による検討—	H21.12.01～ H23.03.31
11月26日	リハビリ テーション学部	講師	森沢 知之	他運動的下肢体幹運動および努力性横隔膜呼吸運 動が腸管運動に及ぼす影響	H21.12.01～ H23.03.31
1月28日	看護学部	助教	山田 千春	身体拘束を実施した経験が自己に与える影響 —介護保険施設で高齢者のケアを行っている職員の 語りから—	H21.12.01～ H23.03.31
1月28日	リハビリ テーション学部	講師	山田 哲	車椅子推進介助による介助者の歩行動作および関 節トルクの変化	H22.03.01～ H24.03.31
3月25日		学長	松田 暉	心不全に対する埋め込み型補助人工心臓による社 会復帰を目指した新たな治療法の導入	H22.04.01～ H24.03.31
3月25日	リハビリ テーション学部	教授	野崎 園子	誤嚥予防のための在宅メトロノーム嚥下訓練 —長期効果の検討—	H22.03.26～ H24.03.31
3月25日	リハビリ テーション学部	教授	野崎 園子	リスバリドンによる嚥下障害の病態に関する共同 研究	H22.03.26～ H23.03.31
3月25日	看護学部	助教	藤田 優一	入院する小児の転倒転落リスクアセスメントツ ールの作成に関する研究	H22.03.26～ H23.03.31
3月25日	リハビリ テーション学部	講師	森 明子	患者を講師として導入した学内教育の試み	H22.03.26～ H24.03.31

## 9) 動物実験委員会

### i) 概 要

本委員会は、兵庫医療大学における動物実験に関する事項を審議し、科学的にはもとより、動物福祉、環境保全、並びに動物実験に携わる者の安全確保等の観点から、適正な動物実験の実施を図ることを目的とする。

### ii) 委員会の構成

委員は、動物実験等に関して優れた識見を有する者として、各学部及び共通教育センターの教員よりそれぞれ3名以内、学識経験を有する教員1名、実験動物管理者、兵庫医療大学動物実験センター長及び管理・運営グループ マネージャーで構成する。

### iii) 委員会の活動実績

動物実験の在り方を倫理面から審議する機関として、平成20年7月に「動物実験委員会」を設置し現在に至っている。

平成18年6月に告示された「研究機関等における動物実験に関する基本方針」（文部科学省）に基づき Refinement（苦痛の軽減）、Replacement（代替法の利用）、Reduction（必要最小数の利用）、「3R」に配慮しながら、適切に審査を行っている。平成20・21年度に実施した審査は表1～2に示す通りである。

表1. 平成20年度審査

審査内容	審査件数	承認件数
動物実験責任者	10	9
動物実験実施者	23	20
実験室設置許可	9	7
動物実験計画書	24	13
実習室動物実験に知事許可	1	1

表2. 平成21年度審査

審査内容	審査件数	承認件数
動物実験責任者	5	5
動物実験実施者	20	20
実験室設置許可	6	6
動物実験計画書	25	18
動物実験計画変更	9	9
実習室動物実験一時許可	1	1

### iv) 実験動物慰霊祭の実施

平成21年1月並びに平成22年1月オクタホールにおいて、全教職員・学生を対象に実験動物慰霊祭を举行し、本学における研究及び教育のために犠牲となり、生命科学の研究に貢献された諸霊に対し心から慰霊の言葉を捧げた。

- ・平成21年1月23日 第1回実験動物慰霊祭を举行した。
- ・平成22年1月22日 第2回実験動物慰霊祭を举行した。

## Ⅱ 教育・研究活動

### 1. 教 育

#### 特色あるカリキュラム

##### i) 概 要

社会はいま、高度医療や先進医療を求めるとともに、人の心を大切にする医療、信頼されるチーム医療、そして地域に密着した医療を求めている。この様な社会の期待に応えるため、新設大学のメリットを活かした学部横断型の教育を取り入れるなど、充実した臨床実習や「チーム医療」科目などを軸とした教育プログラムにより、医療を通じて社会に貢献できる医療人（医療専門職者）の育成を目指している。

兵庫医療大学における教育のキーワードは、現代医療の要でもある「チーム医療の実現」である。このチーム医療の担い手を育成するために、薬学部・看護学部・リハビリテーション学部の3学部をボーダレスに結び、伝統ある兵庫医科大学の医学部や附属病院、及び関連医療機関と密接な連携を図り、学部を超えた教育・実習環境を提供している。

将来の医療の担い手を育成し医療のスペシャリストとして、幅広い知識と専門的な技術は勿論のこと、恵まれた環境で「豊かな人間性」と「優れたコミュニケーション力」を育む教育プログラムを目標としている。

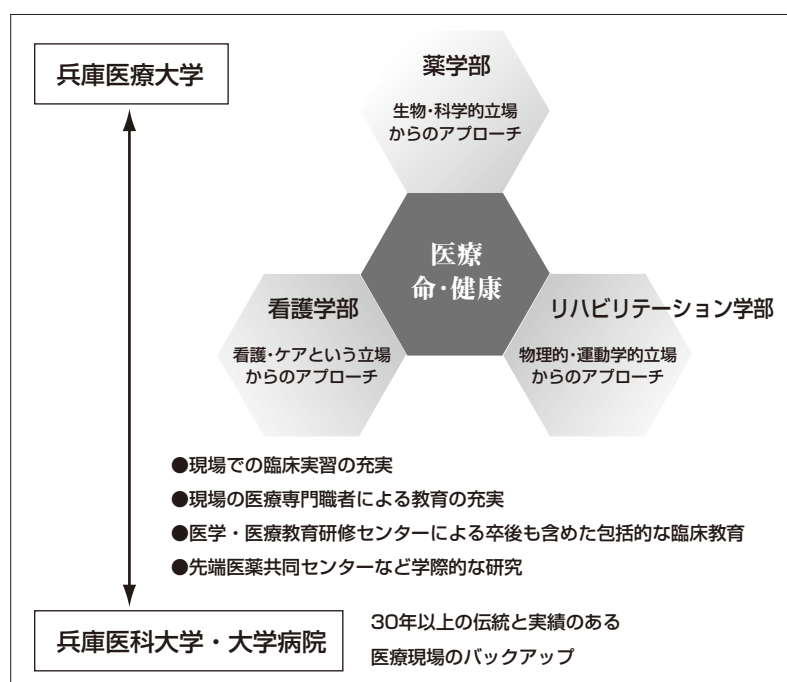


図1. 医療への3方向からのアプローチと医科大学・大学病院のバックアップ

##### ii) 学びの特徴

###### (1) 共通教育センターによる学び

兵庫医療大学は、医療系3学部からなる総合医療大学であるとともに、同一法人が併設する医師養成に30年以上の実績を持つ兵庫医科大学の姉妹校でもある。



本学が医療総合大学として取り組む特色ある教育の中に、共通教育センターによる教育がある。共通教育センターは、各学部における専門領域のための導入科目を担当し、科学的な基礎知識と幅広い教養、合同授業によるコミュニケーション力を多彩な授業で、医療の基礎知識を身につけるなど専門領域への橋渡しの役割を果たしている。

共通教育センターによる授業の大半は、学部の枠を超えた3学部合同形式で行っている。この授業を通じて自然な交流が生まれ、将来の職域を超えた他職種の理解がチーム医療への貴重な素地となって行くと考ええる。

## (2) 実践につながる学部合同講義

本学の最も特徴的な科目は、チーム医療をテーマとした学部合同科目である。総合医療大学である特徴を活かし、薬学部や看護学部、リハビリテーション学部の仲間と3学部合同講義を受けたりグループ学習したりすることで、チーム医療の実践に必要な他の専門職種に対する理解とコミュニケーション能力を養っている。

第1学年次の医療科学概論では、学部混成少人数グループによるグループ演習とともに、夏休み前には兵庫医科大学病院で早期臨床体験実習を実施している。また兵庫医科大学医学部も交えた4学部合同演習も行っている。これは医科大学の併設姉妹校として、複数の医療系学部を持つ本学ならではのもので、入学後間もない段階から他の職種を目指す学生とともに医療について考え、また現場を体験することで将来チーム医療を支える力を身に付ける学習をしている。



図2. 医学部生とともに学ぶ4学部での学び

## (3) チーム医療教育

本学では開学当初よりチーム医療を担う人材の育成に積極的に取り組んでおり、特に基礎分野、専門基礎分野では各分野の専門家を結集し、合同で行う講義・演習・実習を設定している。医療科学概論やチーム医療概論、チーム医療論演習では、薬学部、看護学部、リハビリテーション学部の3学部合同で受講する。

チーム医療については兵庫医科大学病院との連携協力により、患者さんとその家族を中心とするベストな治療やケアをについて、現職医師や看護師、薬剤師の様々な職種と具体的事例を交え意見を交わし、お互いの職種への理解し尊敬し合うことに繋がっている。

そこで育まれるコミュニケーション力は、チーム医療の実践に欠かすことのできない貴重な素地となっている。また早期から医療現場を体験することは学生にとって貴重な経験となっている。

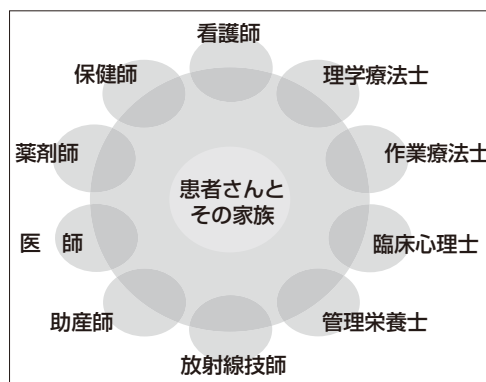


図3. 一つの医療チームとして治療・ケアにあたる

## (4) 臨地実習

第3学年次後期から4学年次前期において臨地実習を集中的に実施している。兵庫医科大学病院などの恵まれた環境で展開する臨地実習では、卓越した看護実践能力をもつ看護職者の実践内容に触れ、どのような看護職者になりたいのか、またどんな場で活躍したいのか、自分の将来像をイメージしながら学ぶことができる。



### iii) 学びのキーワード

#### (1) チュートリアル学習

平成21年度より、兵庫医科大学医学部生を加えた合同チュートリアル教育を実施した。姉妹大学との連携をフル活用することで、優れたコミュニケーション能力、他分野への豊富な知識や理解を身につけることができる。さらに4学部が総力を結集し、ボーダレスな環境のもとで行われおり、次世代の医療科学を担う人材を育成している。

#### (2) 早期臨床体験実習

第1学年次の夏休み前に実施する兵庫医科大学病院での早期臨床体験実習は、入学後早期に行われる実習で本学の教育プログラムの大きな特徴の一つである。早い段階で病棟や病院内薬剤部、リハビリテーション部に入り、各専門職者の役割や患者さんへの係わりなどについて実体験をもって学びます。将来の自分の姿をイメージすることで、今後の学びへのモチベーションを高めるとともに医療人としての自覚を養っている。

共通教育センターは、医療現場に入るにあたっての必要な知識や心構え、さらには感染症対策などの事前準備から、実習中・実習後の学びまでの全てをサポートしている。

#### (3) オムニバス講義

第2学年次のチーム医療概論では、チーム医療の具体的な内容や意義、各医療専門職者の役割などについて学んでいる。各学部の専任教員や兵庫医科大学の教職員により、オムニバス形式で講義（薬学概論、看護論、総合リハビリテーション論）が行われており、医療現場での実際について各学部の専任教員がその専任領域を他学部の学生に向けて行っている。

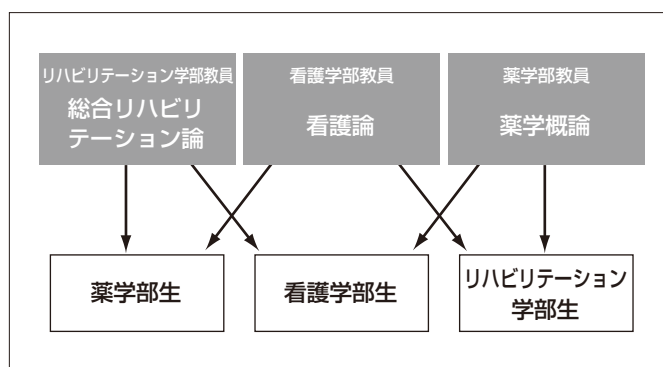


図4. 各学部の専任教員によるオムニバス講義

各専門領域のスペシャリストが身近に存在しているという、医療総合大学のメリットが活かされた講義を実施している。

### iv) 学部の枠を超えた学び

第1学年次の医療科学概論では、学長をはじめ各学部の専任教員などによる医療全般の入門講義を受講している。そして3学部混成の少人数グループでのチュートリアル学習後、夏休み前に兵庫医科大学病院で早期臨床体験実習に臨む。一部のプログラムでは兵庫医科大学医学部の学生と一緒に学ぶ。

第2学年次でのチーム医療概論では、各学部の専任教員や兵庫医科大学教職員により、オムニバス形式での行われる授業でチーム医療の具体的な内容や意義、各医療専門職者の役割などについて学んでいる。

第4学年次のチーム医療論演習では、チーム医療についての学びを総括し、兵庫医科大学病院の現職医師や看護師、薬剤師が具体例を交えて講義を行っている。3学部混成小人数グループを編成しグループワークを行っている。そこでは将来の職域を問わない自然な交流が生まれている。

#### v) 医療人としての学びの姿勢

大学での勉強とそれ以前の勉強の違いは、学ぶ内容だけでなく「学ぶ姿勢」にある。高校までの与えられる勉強とは異なり、自分自身で学ばなければならない。特に医療人は、一生が学びの場でもある。

本学ではまず、全学部混合で小グループを作り、身近で具体的なストーリーを読み、問題点を挙げて討議し、発表し合うという形式の授業を行っている。学生たちはとまどいながらも熱心に議論を重ね、資料を調べ、問題を解決しようとする。そのプロセスの中で、医療人にとって必要なこと、人との関わりにおいて大切なことを学びとっている。

この他にも共通教育センターでは、早期臨床体験実習や特徴的な専門基礎科目などの医療系学問・実習の基礎を担当し、専門科目へとつなげる役割を担っている。本学での学びが実り多きものになるように、共通教育センターはその基礎をしっかりと固めるサポートを実践している。

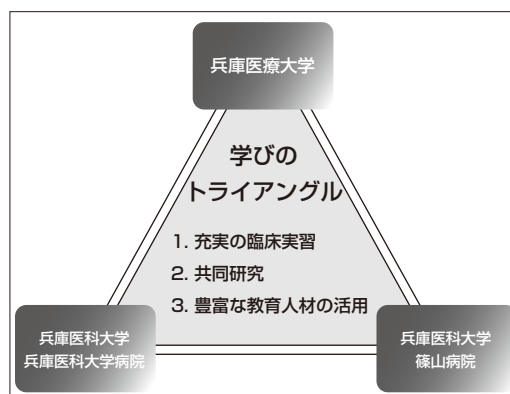


図5. 2の病院と医科大学との連携トライアングル

## 2. 各部門の活動

### 1) 薬 学 部

#### i) 薬学部の方針

平成19年の開学以来3ヵ年が経過し、薬学部6年次までの1/2の学生が就学し、学生数が512名になった（平成21年5月現在）。内定していた教員も大半が着任し、漸く、学部内に活気が満ち溢れてきた。この間、学生のみならず教員も新課程の講義・実習や学内外で次々に起こる様々な課題に対し試行錯誤を繰り返しながらも、着実に新設大学として体をなすようになってきた。

平成18年から薬学教育6年制課程がスタートし、本学部でもこれまでに、第1学年次から第4学年次までのカリキュラムを教養教育科目と専門科目とを有機的に関連づけ、薬学教育モデル・コアカリキュラムの到達目標を網羅する効率的で一貫したものとなるように配慮し、この3年間、到達目的にかなう教育を実施してきた。さらに、第1学年次には3学部全学生がボーダレスで、兵庫医科大学病院において「早期臨床体験学習」を経験させている。チーム医療科目としては、第1学年次に兵庫医科大学も含めた4学部合同のチュートリアル学習、第2学年次にはチーム医療概論の講義を実施した。カリキュラム外の薬学部独自の科目として、2年次以降の学生を対象に「長期密着型ゼミナール」を開講している。これは、講師以上の教員が担当するゼミナールに学生を配属し、1年間を通してゼミナール毎のテーマに基づき、学内だけでなく学外でも活動を行う。本ゼミナールは、学生が専門的な知識・技術を学ぶだけでなく、学年を越えた学生間ならびに教員と学生間での交流を図るもので、全人教育を意図するものである。

全国的に昨年（平成21年）には、実務実習を受ける為の第1回「薬学共用試験」が実施された。今年度は本学薬学部学生にも「薬学共用試験」が課せられる。このため、知識および問題解決能力を評価する客観試験（CBT:Computer Based Testing）及び技能・態度を評価する客観的臨床能力試験（OSCE:Objective Structured Clinical Examination）対策を講じてきた。E-learning システムによる学生の自主的学習システムを構築し、学生のモチベーションを高める工夫もこらしている。さらに、平成23年度より病院・薬局実務実習が実施されるが、学内に実務実習委員会を設置し、教員の指導計画や学生の意識調査など学内の対策とともに、病院・薬局実務実習近畿地区調整機構と連絡をとりつつ、着実なる計画進行を行っている。また、講義・実習棟1階にある臨床薬学研修センターの2階部分について拡充整備を完了し、SPさんの募集・教育実施とともに、実務実習事前学習やOSCEへの対応にも万全の体制が整った。

研究面では、本学の教員は広く全国から公募され、教育に対する情熱と同時に研究志向の高い候補者の中から選ばれていて、兵庫医科大学はもちろん他大学との共同研究等ですでに成果を生みつつある。本学薬学部は、薬剤師資格を有しかつ高度な研究能力を有する研究者の養成が必須であると考えていて、薬学部完成年度に向けて大学院設置検討委員会を立ち上げた。薬学部内に設置されている先端医薬研究センターの充実が喫緊の課題である。さらに、科学研究費などの外部資金獲得状況も順調で、平成21・22年度の全国私立大学の科研費獲得ランキング（各大学のトータルの件数）は522校中96位であり、近畿の薬系大学ランキング所属8学部中では3位と健闘している。

以上、本学の特徴である兵庫医科大学との密接な連携の下、以下の方針に従って、医療チームの一員として信頼され、「くすり」を通じて人の健康と社会の福祉に貢献できる薬剤師を育てることを目標とし、年次ごとの到達目標を達成してきた。

ア. 兵庫医療大学薬学部は、「くすり」について基礎から最先端までの知識（サイエンス）と技能（アート）を身に付け、温かい心（ハート）を涵養する。

イ．強い好奇心は幅広いサイエンスの習得に、向上心はアートの日々進歩に必須である。

ウ．毎日、他学部生と同じキャンパスで講義を受けたり歓談したりすることが、将来のチーム医療の礎になる。

エ．姉妹校である兵庫医科大学病院の臨床現場で実習することにより、患者さんを中心にしたチーム医療を実感し、コミュニケーション能力も修得する。

オ．温かい心はコミュニケーションをスムーズに進め、患者さんを理解する最大の力になる。

カ．最も大切なことは、自分自身の健康を保つことである。健康ならば夢を語り、努力することによって必ずや夢は実現できる。

このような志を維持し、この新しい学舎に集う薬学生と教官のみならず、他学部とも共有しつつ、更には近隣のポートアイランド4大学、神戸学院大学・神戸夙川学院大学・神戸女子大学との協力互恵・切磋琢磨をすることにより、兵庫医療大学薬学部の新しい歴史を創造できると信じるものである。

## ii) 教員組織

薬学部は6つの専門分野で教員組織を構成している。すなわち化学系基礎薬学、生物系基礎薬学、衛生薬学、医療薬学、臨床薬理学、未来医療薬学の専門分野である。教員は平成19年度着任者20名(平成22年3月31日退職者1名)、20年度着任者17名(平成21年3月31日退職者1名)、平成21年度着任者10名である。表1．に平成21年度の教員の氏名、専門分野などの教員一覧を示す。

表1．平成20・21年度薬学部教員一覧

領 域	職 位	氏 名	専門分野	着任年月日
基礎薬学 (化学系) 9名	教 授	前田 初男	生体分析化学	H19. 4. 1
	教 授	青木 俊二	天然薬物学	H19. 4. 1
	教 授	宮部 豪人	有機化学	H19. 4. 1
	准教授	芝崎 誠司	応用生化学	H19. 4. 1
	講 師	甲谷 繁	物理化学	H19. 4. 1
	助 教	塚本 効司	生体分析化学	H19. 4. 1
	助 教	吉岡 英斗	有機化学	H20. 4. 1
	助 教	中野 博明	構造生物学	H20. 4. 1
	助 手	岩岡恵実子	天然薬物学	H19. 4. 1
基礎薬学 (生物系) 7名	教 授	田中 稔之	免疫学	H19. 4. 1
	教 授	山本 悟史	機能形態学	H19.10.1
	准教授	上田 晴康	免疫学	H20. 4. 1
	准教授	大河原知水	生化学	H20. 4. 1
	助 教	大野 喜也	免疫学	H20. 4. 1
	助 教	是金 敦子	生化学	H19. 4. 1
	助 手	小暮 洋子	神経科学	H21. 4. 1

領 域	職 位	氏 名	専 門 分 野	着任年月日
衛生薬学 8名	教 授	西原 力	衛生化学	H19. 4. 1
	教 授	清宮 健一	毒性学	H20. 4. 1
	教 授	斎藤あつ子	微生物学	H21. 4. 1
	准教授	前田 拓也	微生物学	H19. 4. 1
	講 師	長野 基子	微生物学	H20. 4. 1
	助 教	佐藤江利子	衛生化学	H19. 4. 1
	助 教	三浦 大作	毒性学	H20. 4. 1
	助 教	大森 志保	微生物学	H21. 4. 1
医療薬学 13名	教 授	西山 信好	薬理学	H19. 4. 1
	教 授	安屋敷和秀	薬理学	H21. 4. 1
	教 授	駒村 和雄	医療薬学	H20. 4. 1 (H21. 3. 31退職)
	教 授	岩崎 剛	医療薬学	H20. 4. 1
	教 授	辻野 健	医療薬学	H21. 10. 1
	教 授	九川 文彦	薬物動態学	H20. 4. 1
	准教授	戴 毅	漢方医学	H20. 4. 1
	准教授	伊藤 壮一	薬剤・製剤学	H20. 4. 1
	講 師	南畝 晋平	薬物動態学	H21. 10. 1
	助 教	田中 康一	薬理学	H19. 10. 1
	助 手	小淵 修平	薬理学	H21. 4. 1
	助 手	芝田 宏美	薬物治療学	H19. 4. 1
	助 手	森家 望	薬物動態学	H20. 4. 1
臨床薬剤学 3名	教 授	八野 芳巳	医薬品情報学	H19. 4. 1 (H22. 3. 31退職)
	教 授	門林 宗男	臨床薬剤学	H21. 10. 1
	助 教	竹下 治範	臨床薬学	H19. 4. 1
未来医療薬学 7名	教 授	田中 明人	創薬化学	H19. 4. 1
	教 授	東 純一	ゲノム薬理学	H21. 4. 1
	講 師	前田真貴子	ゲノム薬理学	H19. 4. 1
	講 師	上田 寛樹	創薬薬剤学	H20. 4. 1
	講 師	藤野 秀樹	薬物動態学	H20. 4. 1
	助 教	清水 忠	創薬化学	H20. 4. 1
	助 教	伊藤 崇志	医療薬学	H21. 4. 1

### iii) 学生の受け入れ

#### (1) 在籍者状況

平成20・21年度における学生の進級認定数等の状況については、表2～3. に示す通りである。



表 2. 平成20年度進級認定数等の状況

学年次	収容定員数	学生数	進級者	留年者	退学者	除籍者
1	150	195	178	11	6	0
2	150	173	153	19	1	0
総 計	300	368	331	20	7	0

表 3. 平成21年度進級認定数等の状況

学年次	収容定員数	学生数	進級者	留年者	退学者	除籍者
1	150	161	142	10	9	0
2	150	197	160	35	2	0
3	150	154	147	6	0	0
総 計	450	512	449	51	11	0

## (2) 学生支援

留年者（休学による留年者を含む）、休・退学者の状況は、次の通りであった。

- ・平成20年度：留年者1年生2名、休学者10名、退学者7名
- ・平成21年度：留年者1年生11名、2年生20名、休学者15名、退学者11名

留年、休・退学に至るケースでは、各講義・実習において欠席が目立つ、教員にほのめかす、といった兆候が多くの場合認められるため、各科目責任者の情報提供を受けて、まずこれらを把握次第、担任や学生委員が個人面談を行い、状況確認を行った。そのうち休・退学に至らないまでも各講義・実習において欠席が目立つ学生については、各科目責任者が欠席時の補講を行う、個別指導を行う、資料を配布するなど適宜ケアを行った。また各単位認定試験で合格点に満たない学生に関しても、科目によっては適宜補講を行うなどのケアを行った上で、再試験を受験させた。このような常時のケアを行っているにもかかわらず、学期中において各講義・実習の出席状況が改善されない、学期末において単位認定試験の初期または最終評価が合格点に満たない科目が複数あるような学生に対しては、その状況を把握次第、担任及び学生委員が学生と保護者を交えた面談を行い、学生に学業継続の意志があるならば、大学での指導に加え、保護者にも指導に加わってもらい、学生の生活及び学業への取り組み方について抜本的な改善を試みた。学年末において進級判定結果が留年となった場合も、担任及び学生委員が学生と保護者を交えた面談を行い、学生の学業継続の意志を確認した上で、大学及び保護者による指導により学生の生活及び学業への取り組み方について抜本的な改善を試みた。一方、面談において学生に学業継続の意思がなく、保護者同意の上で進路変更等の希望が示された場合、所定の退学手続きを行った。休学に関しては、進路再考や療養など様々な理由があり、ケースバイケースで関係者が判断し、必要に応じて手続きを行った。なお、休学期間の終了前には、学生委員が当該学生や保護者の意志確認を行い学部教授会審議の上、休学延長または復学等の手続きを行い、復学時には相応のケアを行った。

## iv) 教育活動

### (1) 薬学部教育課程の編成の考え方及び特色

教育課程については、日本薬学会による「薬学教育モデル・コアカリキュラム」及び薬学教育の改善・充実に関する調査協力者会議最終報告書別冊に示された「実務実習モデル・コアカリキュラム」を基本とし、本学の教育理念、本学部の特色等を踏まえ、1) 基礎分野、2) 専門基礎分野、3) 専門分野から構成しており、それぞれの考え方及び特色については以下に示す通りである。

なお、これらの必要な要素を踏まえ、6年間における必要取得単位数は、205.5単位以上とし、大学設置基準に定められる卒業の要件である186単位（薬学関係：臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの）を満たすものとする。

## (2) 教育課程と授業内容

### 1) 教育課程

第1学年次から第4学年次までのカリキュラムは教養教育科目と専門科目を有機的に関連づけ、薬学教育モデル・コアカリキュラムの到達目標を網羅する効率的で一貫したものとなるように配慮した。それに加えて、第4学年次までのカリキュラムには「チュートリアル」、「医薬品安全性学」、「医薬品情報学」、「コミュニティファーマシー」、「医療安全管理」、「臨床検査学」、「診察法、診断学」などの科目を特色ある必修科目として配することで、第5・6学年次の「実務実習」やチーム医療研修にスムーズに取り組めるように工夫した。第5学年次では病院および薬局における「実務実習」で薬剤師としての技能・知識・態度の基盤を身につけるとともに、「研究実習」でリサーチマインドを養うこととした。また、第6学年次では、それぞれの学生が希望する進路に応じて、多様な選択科目群の中から適切な授業を取捨できるように配慮するとともに、第5学年次よりもさらに高度な実務能力および研究能力を涵養するために、「チーム医療研修」及び「研究研修」を開講することとした。

教養教育の充実は平成14年2月21日の中央教育審議会答申「新しい時代における教養教育の在り方について」を代表とする一連の答申のみならず、6年制薬学部教育を推進した中央教育審議会答申（平成16年2月18日「薬学教育の改善・充実について」）でも指摘された事項である。本学では、教養教育をその分野の特性に応じて①基礎分野と②専門基礎分野にカテゴライズして設定することにより、前項「薬学部医療薬学科の特色」で記載した、患者本位、人間重視の精神の涵養による患者とのコミュニケーション能力の習得、他の医療職者との連携によるチーム医療についての技術・知識・態度の習得及び少人数教育による自学自習の習慣・能力の習得を目的とした、きめ細かく充実した教養教育の編成を可能とした。

### 2) 基礎分野

第1～2学年次に基礎英語科目を必修として配し、基礎英語能力を身に付けさせる。第3～4学年次に専門分野の中で薬学専門科目として配する専門英語科目とあわせて、4年間を通じて必修の英語科目を配当することで、医療現場や調査研究等において抵抗なく英語で対応できる高い英語コミュニケーション能力の素地を養う。また、医療専門職者として求められる豊かな人間性を育むため、人文科学、自然科学、社会科学分野における多様な教養科目及び第2外国語を配し、必要単位数を19単位以上に設定することにより幅広い教養を身に付けさせる。

### 3) 専門基礎分野

第1学年次に「化学」、「物理学」、「生物学」、「情報科学」、「統計学」、「基礎実習」など、薬学専門科目への準備教育として必須の導入科目とともに、「心理学」、「行動科学（臨床心理学を含む）」、「生命・医療倫理学」を必修科目とすることで、医療の担い手として欠かすことのできない崇高なヒューマニティを形成する科目を配置する。また高校時代に未修あるいは不足であった生物・物理に関しては選択必修科目として入門科目を開講し、その補完的教育を行う。さらに必修科目である「医療科学概論」を通じて医療人としての心がけを早期に涵養するよう工夫した。第2学年次には必修科目である「医療コミュニケーション論」、「チーム医療概論」を通して医療職としての基本技能並びに幅広い視野と態度を身に付けさせる。また、選択科目として高度なコンピュータ知識を求める学生に対し「応用情報科学」を開講する。第3学年次では本学看護学部専任教員による「看護

論」並びに本学リハビリテーション学部専任教員による「総合リハビリテーション論」を必修科目として配置することにより、第2学年次で学んだ「チーム医療概論」の内容をさらに深めることができる。また、少人数によるチュートリアル学習を必修科目とすることで、自己問題発見・解決能力を身に付けることができる。さらに第4学年次には、必修科目である「チーム医療論演習」の履修により、第2学年次より積み上げてきた一連のチーム医療に関する講義科目の総まとめを行う。その一方で、個々の患者がおかれた社会的・経済的環境を理解するための科目として「医療社会保障論」を配した。以上の4年間に互る当該教育科目の必要単位数を31単位と設定することで充実した専門基礎分野の学習を担保する。

#### 4) 専門分野

専門分野は前項「薬学部医療薬学科の特色」で記載したヒトの体のしくみ、病気に対する理解を深める臨床的医学知識の習得及び薬剤師としての高度な専門性の習得を目的とした科目を配置した。

##### ①専門科目

薬剤師としての高度な専門性を習得するための必須の専門科目として「物理化学」、「無機・錯体化学」、「有機化学」、「分析化学」、「公衆衛生学」、「病原微生物学」、「衛生化学」、「医薬品化学」、「生物化学」、「薬用資源学」、「天然薬物学」、「毒性学」、「免疫学」、「放射化学」などの講義並びに実習科目を開講し、薬剤師養成の基盤となる基礎薬学科目をその内容の深化に伴う形で第1～3学年次に配した。また、医療薬学科目として「薬理学」、「薬物治療学」、「感染症治療学」、「化学療法学」、「漢方治療学」、「薬物動態学」、「薬剤学」、「製剤科学」、「医薬品安全性学」及び関連する実習科目を基礎薬学科目の習得後の第3～4学年次に配した。さらに、薬剤師としての実務能力を高めるための必修科目として、「医薬品情報学」、「コミュニティーファーマシー」、「薬剤経済学」を長期実務実習前の第4学年次に配した。

ヒトの体のしくみ、病気に対する理解を深める充実した臨床的医学知識を習得するための必修の専門科目として、「生理化学」、「生理・解剖学実習」、「病理学概論」、「漢方医学入門」、「臨床検査学」、「診察法、診断学」をその内容に応じて早期の第1学年次から第4学年次まで継続的に配した。

さらに高度な専門性を確実に身に付ける目的の必修科目として、「医薬品開発学」、「ゲノム科学と医薬品開発」、「臨床ゲノム薬理学」、「医療安全管理」を第4学年次に配した。

一方、学生の多様な進路を保証するために、多様な選択科目を第4学年次に用意し、これらの科目は各学生の意識や希望職種の変化にも対応して第6学年次にも受講できるようにした。これらの選択科目は単に進級あるいは卒業要件としてのみでなく、それぞれの学生の個人としての資質を磨き、能力や適性を伸ばすために積極的に、また希望進路に即した科目を自主的に受講するように指導する。また、「薬事関係法規・薬事制度」は学生が社会に出る直前で意識の高い第6学年次に必修科目として配した。

##### ②実務実習

病院2.5ヶ月、薬局2.5ヶ月の実務実習を行う。実習の事前には現役薬剤師である実務家教員が、薬学実務実習教育施設（模擬薬局等）を使い、医療現場で実習を行うに際して必要となる知識・技能・態度を教授する5週間の実務実習事前学習を行う。また、必要に応じて随時、兵庫医科大学病院にて実務に関する疑問点が解決できるようなシステムを構築する。この事前実習及び実務実習により、卒業後、直ちに医療に参画できる臨床薬剤師としての素養を育成する。

##### ③研究実習

第5学年次において病院・薬局実務実習がない学生（約50名）を対象にその期間（約3ヶ月）に「研究実習」を行う。この「研究実習」は少人数の学生（約40名）を対象にして薬学部専任教

員の個別指導の下、それぞれの研究課題に取り組み、基礎的な技能を含む専門知識、問題発見・解決能力及びチームとしての取り組み姿勢を習得させる。本科目の履修により研究的視野を持ち合わせた薬剤師としての基礎的態度を育成する。

#### ④チーム医療研修及び研究研修

第6学年次には、各自の希望職種及び修学レベルに応じて「チーム医療研修」及び「研究研修」を選択必修科目として実施する。「チーム医療研修」は薬学部実務家教員が兵庫医科大学キャンパス内に設置予定の総合臨床教育センターにおいて、兵庫医科大学の病院薬剤部と臨床系研究室の協力のもとに実施する。具体的には、学生は主たる一つの、あるいは主たる一つに従たる一つを加えての計二つの病棟にて約半年間に渡って、患者や他の医療職種者とのコミュニケーション、実務家薬剤師による服薬指導の補助、病棟で行われる医療活動への補助的参加、症例検討会などの医学・医療学的活動への参加、他の医療職種者の活動の見学を行うことで、チーム医療の実態を体験するとともに、病院薬剤師になるためのより深い実践的トレーニングを受ける。また、兵庫医科大学医学部が行う卒前臨床実習（クリニカル・クラークシップ）を受講している第5・6学年次の医学部学生が担当する「受け持ち患者」を「チーム医療研修」受講者も固定的に担当することにより、チーム医療の主要な担い手である医師とのコミュニケーション能力をお互いが学生の時期から涵養する。これにより臨床現場においてより高度な医療専門職者として活躍するために必要な知識と技能を修得する。一方、「研究研修」は薬学部各研究室で兵庫医科大学の基礎系研究室や先端医学研究所の協力のもとに第5学年次の「研究実習」を更に発展させた内容で行なう。これらの研修の成果は発表会で報告するものとする。この発表会は各自の経験・情報を共有化させるとともにコミュニケーション能力の向上にも寄与する。これらの研修科目は、第5学年次までの集大成教育としてだけでなく、学生の職能支援教育としても位置付けることができる。

上記のように設定された第6学年次までのカリキュラムの全体像を学生に理解してもらうために、新学期に学年ごとに履修ガイダンスを行い、一人ひとりの履修届けをチェックする。また、全学生にシラバス、学生便覧を配布し、万全の指導体制を確立する。

また、第1学年次から第3学年次への進級及び第4学年次から第5学年次への進級に際し、下記の要件を課すことにより、学生の堅実な履修状況を担保する。

下表4. のとおり、第2学年次終了時までには基礎分野19単位、専門基礎分野23単位、専門分野46単位以上修得することを進級要件とする。

表4. 第1学年次から第3学年次への進級要件

区 分	必 修	選 択	合 計
基 礎 分 野	8	11 以上	19 以上
専門基礎分野	22	1	23
専 門 分 野	46 以上	0	46 以上
合 計	76 以上	12 以上	108 以上

下表5. のとおり、第4学年次終了時までには基礎分野19単位、専門基礎分野31単位、専門分野108.5単位以上修得し、さらに、大学間共用試験（CBT、OSCE）において大学の定める一定水準以上の成績に達することを第5学年次への進級要件とする。



表 5. 第 4 学年次から第 5 学年次への進級要件

区 分	必 修	選 択	合 計
基 礎 分 野	8	11 以上	19 以上
専門基礎分野	30	1	31
専 門 分 野	106.5以上	2 以上	108.5以上
合 計	144.5以上	14 以上	158.5以上

### (3) 薬学部における教育課程の特色

#### 1) 多様な臨床系科目による医療に関する幅広い知識の修得

他 2 学部及び兵庫医科大学との連携により、医学部における人体解剖実習見学の実施、薬学部専任教員である臨床系医師による「薬物治療学」「診察法、診断学」「臨床検査学」や兼担、兼任医師による「救急・災害医療」等の臨床医学系科目、看護学部・リハビリテーション学部教員による「看護論」「総合リハビリテーション論」など、医療関連科目を充実し、ボーダレスな教育環境のもとに学生の視野を広げ、医療に関する広範な知識を身に付けさせる。

2) 高いコミュニケーション能力を備え、ここが通う医療を実践し得る医療専門職としての素養育成医療倫理、医療コミュニケーション、心理に関する科目を学習することにより個の尊厳や患者とのコミュニケーション方法、人間の価値や多様性について理解させる。

また、「早期体験学習」において医療現場の臨場感を早期に体感させることにより、医療に対するモチベーションを高める。

#### 3) 学部合同科目によるチーム医療の一員としての素養と豊かな人間性の涵養

本学に同時に設置される看護学部、リハビリテーション学部と薬学部の 3 学部混合による「医療科学概論」「チーム医療概論」「チーム医療論演習」を必修科目とすることによって、他学部の学生との交流を深め、チーム医療の一翼を担うための素養を培うとともに多彩な教養科目により豊かな人間性を養う。

#### 4) 科学者としての薬剤師の基礎となる「くすり」に関する専門知識と、高度な技術の修得

有機化学、物理化学、生化学などの基礎知識を確実に修得するとともに、製剤や創薬に関連する科目など薬剤師として必要になる実践的な科目を重点的に配置する。また、「最先端機器分析科学」や最先端テクノロジーに基づいた「糖鎖生物学」等の科目も配置し、ゲノム情報に基づく医薬品開発やテーラーメイド薬物治療等についても理解を深める。

#### 5) 生きた臨床実務教育による質の高い臨床能力の育成

卒業後ただちに医療に参画できる臨床薬剤師を育成するため、5 週間の実務実習事前学習、2.5 ヶ月の病院実務実習及び 2.5 ヶ月の薬局実務実習を実施する。

実務実習事前学習では模擬薬局等の薬学実務実習教育施設を利用して、兵庫医科大学病院をはじめとする病院及び保険薬局の現役薬剤師である実務家教員による指導により、患者の特性に適した調剤、製剤や、インシデント・アクシデント報告の実例及びリスクマネジメント、病棟における服薬指導、かかりつけ薬局の機能と意義、在宅医療への取り組み、治験コーディネーターの役割と業務など、高い専門知識を身に付けさせる。

これらの現場のサポートにより、臨床に強く、患者の安全確保とクオリティ・オブ・ライフ向上に貢献する薬剤師として必要な能力を養成する。

#### 6) 薬学的健康維持・増進方法を理解し、地域の保健医療に貢献し得る資質の育成

機能性食品、環境微生物などを対象とした健康科学や予防医学、環境衛生に関する科目を配し、健康食品やサプリメントなどの有効性と安全性のほか、環境と健康の関係について学習する。薬学



的見地からの疾病の治療・予防という身体的健康のみならず、社会面、精神面を含め、地域住民の薬や病気及び健康維持・増進に関する相談に応えられる知識、能力を育成する。

#### (4) 授業実施内容

各授業科目は、平成14年8月に公表された「日本薬学会 薬学教育モデル・コアカリキュラム」に準じて構成している。第1学年次には3学部共通の基礎分野科目を多く配当している。

授業科目は、講義や演習、スモール・グループ・ディスカッション (SGD)、実習などさまざまな形態をとって行なった。「医療科学概論」においては、講義形式の授業に加えて、SGDによるグループ討議と発表を行った後に、学生10名程度の少人数に分かれて兵庫医科大学病院の病棟等におけるアーリー・クリニカル・エクスポージャーを実施し、最後に学生による発表会を実施した。また、平成20年度からは、医療現場の多種多様な情報を肌を通して習得する目的で、1学年時生全員が小グループに分かれ、地域の薬局および病院での見学実習を実施した。また、国家試験対策のため下記特別講義・模擬試験を開講した。

平成20年9月1日～9月9日	夏期講習（2学年生）
平成20年2月16日	模試（2学年生）
平成21年8月18日	国家試験対策模試（3学年生）
平成21年9月3日～9月11日	夏期講習（2学年生）
平成21年9月10日～9月18日	夏期講習（3学年生）
平成21年11月12日	CBT 模擬試験（3学年生）

#### (5) 成績評価法

成績評価は優、良、可の評価を合格とし、不可は不合格としている。各評価段階の目安は、100点満点としたとき、優は100点～80点、良は79点～70点、可は69点～60点とし、59点以下を不可とした。この評価は、試験、課題レポート、出席状況を加味して担当教員から提出され、薬学部教授会で最終確認・認定を行った。

##### 1) 学生と教員の交流

薬学部では、平成20年4月から自由科目として「長期密着型ゼミナール」を毎週木曜日の午後全てを用いて開講した。その目的は、①ゼミナールに配属された少人数の学生達とともに1年を通して一緒に活動することにより、担当教員が学習面ならびに生活面から個々の学生を密着ケアすること、並びに②経済産業省の定義する社会人基礎力「前に踏み出す力（アクション）」、「考え抜く力（シンキング）」及び「チームで働く力（チームワーク）」を涵養できる場を学生達に提供することである。

この目的を達成するため、チーム医療コース、地域・社会医療コース、及び医薬基盤（創薬）コースという三つのテーマ内で講師以上の教員一人一人が、知恵を絞りに絞って、平成20年度は24ゼミナールを、21年度は26ゼミナールを開講した。それらのゼミナールへの配属方法は以下のように設定した：2年生と3年生は1年毎に原則異なるゼミナールに所属し、4年生から6年生までの3年間は同一のゼミナールに所属する；それぞれのゼミナールへの配属者数は1学年当たり10名+ $\alpha$ とし、必ず全てのゼミナールに1名を配属する。この配属方法に従い、開講されたゼミナールへ、平成20年度は2年生172名が、平成21年度は2年生181名と3年生164名が配属された。以下に平成20・21年度の開講ゼミナールを示す（表6～11.）。

表 6. 平成20年度開講ゼミナール【チーム医療コース】

ゼミナール名	担当教員	学生数
医療情報処理	伊藤壮一・中野博明	2
リウマチ診療における薬剤師の役割	岩崎 剛・芝田宏美	2
プレゼンテーション・スキルを磨こう	上田晴康	1
アメリカ合衆国における臨床薬剤師の活躍	九川文彦・森家 望	1
医療機器を学ぼう	甲谷 繁	7
EBM（根拠に基づく医療）入門	駒村和雄	1
医療コミュニケーション入門	山本悟史	11

表 7. 平成20年度開講ゼミナール【地域・社会医療コース】

ゼミナール名	担当教員	学生数
動物（ペット）薬剤師（仮称）について考える	清宮健一・三浦大作	12
感染症対策について考える	長野基子	3
環境と化学物質・微生物	西原 力・佐藤江利子	5
一般用医薬品、サプリメント、特定保健食品研究会	西山信好・田中康一	11
ボランティア活動など通して社会、医療の世界を学ぶ	八野芳已・竹下治範	6
微生物制御の基礎と応用	前田拓也	9
医療ユニバーサルデザイン	前田初男・石崎真紀子	10
目指せ TOEIC600点！+α	前田真貴子	12

表 8. 平成20年度開講ゼミナール【地域・社会医療コース】

ゼミナール名	担当教員	学生数
「がん」について勉強しよう！	青木俊二・岩岡恵美子	12
テーラーメイド医療	上田寛樹	3
病気について学ぼう	大河原知水	8
新しい生理活性ペプチドの創製と制御	芝崎誠司・塚本効司	12
薬食同源～漢方薬の真髄に触れよう～	戴 毅・岩岡恵美子	10
バーチャル製薬企業体験～創薬から薬まで～	田中明人・清水 忠	10
寺子屋「免疫生物学」	田中稔之・大野喜也	13
くすりの研究開発について学ぼう	藤野秀樹・森家 望	1
分子変換	宮部豪人・吉岡英斗	10

表9. 平成21年度開講ゼミナール【チーム医療コース】

ゼミナール名	担当教員	学生数
遺伝子に親しもう	東 純一・伊藤崇志	10
メディアを使った医療系薬学入門	安屋敷和秀・小渕修平	10
免疫疾患を考える～From Bench to Bed Side～	岩崎 剛・芝田宏美	10
プレゼンテーション・スキルを磨こう	上田晴康	11
アメリカ合衆国における臨床薬剤師の活躍	九川文彦・森家 望	4
医療機器と薬剤のコラボレーション	甲谷 繁	15
医療コミュニケーション入門	山本悟史・小暮洋子	19

表10. 平成21年度開講ゼミナール【地域・社会医療コース】

ゼミナール名	担当教員	学生数
動物（ペット）薬剤師（仮称）について考える	清宮健一・三浦大作	20
ニュースから感染症を学ぶ	斎藤あつ子・大森志保	3
スローフード研究会	芝崎誠司・塚本効司	18
感染症対策について考える	長野基子	6
環境と化学物質・微生物	西原力・佐藤江利子	6
一般用医薬品、サプリメント、特定保健食品研究会	西山信好・田中康一	18
ボランティア活動など通して社会、医療の世界を学ぶ	八野芳巳・竹下治範	13
微生物制御の基礎と応用	前田拓也	5
医療ユニバーサルデザイン	前田初男・石崎真紀子	17
禁煙支援活動に参画しよう	前田真貴子	22

表11. 平成21年度開講ゼミナール【地域・社会医療コース】

ゼミナール名	担当教員	学生数
「がん」について勉強しよう！	青木俊二・岩岡恵美子	8
製剤化の基礎と応用について考える	伊藤壮一・中野博明	18
生体材料について考える	上田寛樹	13
病気について学ぼう	大河原知水	16
難治性疼痛治療へ向けての漢方薬シーズの探索	戴 毅・岩岡恵美子	11
バーチャル製薬企業体験～創薬から薬まで～	田中明人・清水 忠	18
寺子屋「免疫生物学」	田中稔之・大野喜也	16
くすりの研究開発について学ぼう	藤野秀樹・森家 望	12
分子変換	宮部豪人・吉岡英斗	26

ゼミナール担当教員は、個々の専門性やネットワークを活かして、学外施設への体験見学ツアー、ボランティア活動、研究室での本格的な実験、問題解決型グループ学習、苦手科目対策演習などを組み込んで、この2年間、非常に充実した長期密着ゼミナールを実施した。これらの活動は、学生達にも非常に好評であったことは言うまでもない。特に、2年目の長期密着型ゼミナールでは、3

年生は先輩として自覚を持つように、2年生は同級生だけでなく先輩からも学ぶようになり、学年を越えたゼミナール活動の特徴を思惑通りに引き出せた。その結果、長期密着型ゼミナールの開講目的を十二分に達成できたと考える。しかし、自由科目である長期密着型ゼミナールに対する学生達の取組み姿勢には少なからず温度差があったことは否めない。この問題点を個々の担当教員の熱意と創意工夫により解決し、平成22年度以降の長期密着型ゼミナールを、基礎知識・技能並びに社会人基礎力をより効果的に涵養できる場として学生達に提供する所存である。

尚、平成20年度と21年度の活動については報告書を作成し、本学薬学部生だけでなく、保護者並びに高等学校へも配布し、薬学部における特色あるカリキュラムとして長期密着型ゼミナールについて周知している。

## 2) 兵庫医科大学病院薬剤部との交流

開学後、門林部長を中心として病院薬局実務実習についての実情と課題について本学講義室で講演していただき、兵庫医科大学薬剤部との懇談の会をもってきた。また、薬学部教員による薬剤部体験見学（薬剤部・含サテライト薬局）の見学実習を毎年行い懇談した。平成21年1月17日に兵庫医科大学にて兵庫医療大学教員と兵庫医科大学薬剤部職員との親睦会が開催された。また、平成20年度から開講された長期密着ゼミナールの学生によるサテライト薬局や治験管理業務の見学実習を行なった。

## v) 研究活動

### (1) 研究費の取得状況

#### 1) 科学研究費補助金

薬学部における科学研究費補助金は、平成20年度では17件、総額24,930,000円、21年度には12件、総額17,400,000円が採択された。詳細については、2 研究施設の活動状況 7) 学外研究費の取得一覧の項（106頁、表1～2. 参照）に掲載する。

#### 2) 厚生労働省科学研究費補助金

平成21年度における厚生労働省科学研究費補助金は、3件、総額17,782,000円が採択された。詳細については、7) 学外研究費の取得一覧の項（109頁、表3. 参照）に掲載する。

#### 3) その他の研究補助金

平成20・21年度における受託研究助成金及び共同研究については、平成20年度では21件、総額31,549,000円、21年度は23件、総額46,970,200円であった。詳細については、7) 学外研究費の取得一覧の項（110頁、表5～10. 参照）に掲載する。

## vi) 社会貢献

### (1) 高大連携活動

高等教育において教育の一貫性は重要なものであり、また低学年時から専門分野の魅力をわかりやすく伝え興味を喚起することは非常に重要である。このような観点から、薬学部では開学当初から積極的に高大連携講義の開催に取り組んできた。以下に平成20・21年度における実績を挙げる。（表12～17.）

#### 1) 複数回連続型高大連携講義

##### ア. 兵庫県明石南高校「薬学基礎」講義

標記日時に担当教員が兵庫県立明石南高校にてそれぞれのテーマに基づいて100分間の講義を行った。

表12. 平成20年度兵庫県明石南高校「薬学基礎Ⅰ」講義

回	月 日	タイトル	担当教員
第1回	4月15日	「薬学ってどんな学問？」	青木 俊二
第2回	5月13日	「くすりってどこに効くの??」	西山 信好
第3回	6月6日	「くすりって何からできているの、どんな形？」	塚本 効司
第4回	6月17日	「レセプターや酵素って何?—タンパク質の構造—」	田中 明人
実習—1	8月25日	「点滴ボトルの中身はなに? 血液と混ぜるとどうなる？」	山本 悟史
実習—2	8月26日	「色って何だろう? 光の分散」	甲谷 繁
第5回	9月16日	「くすりってどうやって探すの？」	青木 俊二
第6回	10月7日	「頭痛薬を飲むと何でアタマ痛が治る？」	田中 康一
第7回	10月28日	「かぜ薬の中身を調べてみよう！」	田中 康一
第8回	11月11日	「抗生物質って何？」	前田 拓也
第9回	11月25日	「飲んだクスリは、どこへ行く？」	前田真貴子
第10回	1月13日	「遺伝子と病気・くすりの関係」	前田真貴子
第11回	1月27日	「漢方薬って、普通のくすりとは何が違うの？」	戴 毅
第12回	2月10日	「くすりを使うとき、ウソ、ホント？」	竹下 治範
第13回	2月17日	「薬局見学」	青木 俊二

表13. 平成21年度兵庫県明石南高校「薬学基礎Ⅰ」講義

回	月 日	タイトル	担当教員
第1回	4月21日	「薬学ってどんな学問？」	青木 俊二
第2回	5月12日	「くすりってどこに効くの??」	上田 晴康
第3回	6月2日	「くすりって何からできているの、どんな形？」	塚本 効司
第4回	6月16日	「レセプターや酵素って何?—タンパク質の構造—」	田中 明人
第5回	9月16日	「くすりってどうやって探すの？」	青木 俊二
第6回	9月29日	「頭痛薬を飲むと何でアタマ痛が治る？」	田中 康一
第7回	10月13日	「かぜ薬の中身を調べてみよう！」	田中 康一
第8回	11月10日	「抗生物質って何？」	上田 晴康
第9回	11月24日	「遺伝子と病気・くすりの関係」	前田真貴子
第10回	1月12日	「漢方薬って、普通のくすりとは何が違うの？」	戴 毅
第11回	1月26日	「くすりを使うとき、ウソ、ホント？」	竹下 治範
第12回	2月9日	「薬局見学」	青木 俊二

・平成21年度「薬学基礎Ⅱ」

前期・後期の二期に分け、それぞれのテーマについて調査、考察、グループディスカッション、発表及びレポート作成を行った。



表14. 兵庫県明石南高校「薬学基礎Ⅱ」講義〈前期〉医療ユニバーサルデザインについて考える

回	月 日	内 容	担当教員
第1回	4月17日(金)	「イントロダクション」	前田 初男
第2回	5月29日(金)	「自主学習成果ディスカッション」	前田 初男
第3回	6月26日(金)	「レポート草案ディスカッション」	前田 初男
第4回	9月11日(金)	「プレゼンテーションおよびレポート提出」	前田 初男

表15. 兵庫県明石南高校「薬学基礎Ⅱ」講義〈後期〉「がん」について考えてみよう！

回	月 日	内 容	担当教員
第1回	9月25日(金)	「イントロダクション」	青木 俊二
第2回	10月16日(金)	「自主学習成果ディスカッション」	青木 俊二
第3回	11月13日(金)	「レポート草案ディスカッション」	青木 俊二
第4回	12月4日(金)	「プレゼンテーションおよびレポート提出」	青木 俊二

イ. 私立百合学院中学「ステップタイム」講義

標記日時に青木および上田（晴）が百合学院中学にて実習講義を行った。なお、この講義は JST サイエンスパートナーシッププログラムに採択された。

表16. 私立百合学院中学「ステップタイム」講義

回	月 日	内 容	担当教員
第1回	11月5日(木)	「軟膏作りに挑戦！」	青木 俊二 上田 晴康
第2回	11月19日(木)	「くすりの溶け方観察」	青木 俊二 上田 晴康
第3回	11月26日(木)	「生薬当てクイズ」	青木 俊二 上田 晴康

ウ. 私立百合学院高校出張講義

標記日時に青木が百合学院高校にて講義を行った。なお、この講義は JST サイエンスパートナーシッププログラムに採択された。

表17. 私立百合学院高校出張講義

回	月 日	内 容	担当教員
第1回	2月17日(水)	「薬学ってどんな学問？」	青木 俊二

(2) 単回出張講義

標記日時に担当教員が高校に出張し、50分の模擬講義または分野紹介、学部学科紹介の講義を行った。分野紹介では主に卒後の進路のイメージ作り、学部学科紹介では主に薬学部での学びの内容紹介を中心に講義を行った。

表18. 平成20年度単回出張講義

回	月 日	場 所	内 容	担当教員
第 1 回	5 月14日	兵庫県立加古川北高校	分野理解	青木 俊二
第 2 回	7 月16日	兵庫県立神戸高塚高等学校	学部学科理解	青木 俊二
第 3 回	9 月13日	大阪医歯学院	分野理解	青木 俊二 上田 晴康
第 4 回	10月16日	私立箕面自由学園	学部学科理解	青木 俊二
第 5 回	12月11日	兵庫県立明石南高校	模擬講義	青木 俊二
第 6 回	1 月21日	私立大阪青凌高校	分野理解	青木 俊二
第 7 回	2 月 5 日	大阪府立桜塚高校	学部学科理解	青木 俊二
第 8 回	2 月 9 日	神戸市立神戸西高等学校	学部学科理解	青木 俊二
第 9 回	3 月11日	兵庫県立神戸高塚高校	模擬講義	青木 俊二

表19. 平成21年度単回出張講義

回	月 日	場 所	内 容	担当教員
第 1 回	7 月14日	兵庫県立尼崎高等学校	模擬講義	上田 晴康
第 2 回	7 月15日	兵庫県立尼崎小田高等学校	分野理解	上田 晴康
第 3 回	9 月11日	兵庫県立明石清水高等学校	分野理解	上田 晴康
第 4 回	9 月30日	兵庫県立柏原高等学校	学部学科理解	上田 晴康
第 5 回	10月 5 日	大阪府立八尾翠翔高等学校	学部学科理解	青木 俊二
第 6 回	10月 6 日	大阪府立吹田東高等学校	模擬講義	青木 俊二
第 7 回	10月14日	兵庫県立西宮北高等学校	分野理解	青木 俊二
第 8 回	10月29日	私立樟蔭高等学校	学部学科理解	青木 俊二
第 9 回	12月16日	兵庫県立加古川北高等学校	分野理解	青木 俊二
第10回	12月22日	神戸市立神戸西高等学校	分野理解	上田 晴康
第11回	1 月20日	私立大阪青凌高校	分野理解	青木 俊二
第12回	3 月 4 日	兵庫県立宝塚東高等学校	模擬講義	青木 俊二
第13回	3 月 4 日	兵庫県立三田西陵高等学校	模擬講義	上田 晴康
第14回	3 月 8 日	兵庫県立明石清水高等学校	模擬講義	上田 晴康

## vii) その他の活動

### (1) 薬学部 FD セミナーの開催

薬学部教員の教育能力の向上を目的として、下記の薬学部 FD セミナーを開催した。

日 時：平成21年 2 月12日（木）午後 5 時より

場 所：M487会議室

テーマ：薬学生の薬剤師教育

講 師：坂本正徳 先生（九州保健福祉大学・薬学部・教授）

### (2) 薬学部 FD ワークショップの開催

薬学部で行われる授業の改善を目標にして、下記のワークショップを開催した。

日 時：平成21年 9 月10日（木）午後 5 時より

場 所：M487会議室

テーマ：薬学部授業の改善

ワークショップ概要：薬学部での実践例に基づいて、授業改善を目標に討論した。

ア．授業アンケートについて

イ．授業改善にむけた工夫・実践例・チェックリスト案の提示

ウ．優れた授業の実践にむけた討論

### (3) 模擬患者養成事業

平成22年度から薬学部第4学年次生には、実務実習事前学習が開講し、この中にある患者接遇（医療面接）では、学生は模擬患者さん（Simulated Patients；SP）を相手に、患者接遇の実習を行うことになる。この実習に必要なSPさんの養成事業を薬学部OSCE実施準備委員会SP企画部会が中心となって実施した。平成20年度にSPさんについての説明会を4回行い、33名のSPさんに登録を頂いた。平成21年度から毎月1回の割合で、薬学部全教員が参加したSP養成講習会を実施した。

### (4) 薬学OSCEプラクティスの実施

薬学部の6年制の移行に伴い、実務実習を病院及び薬局で行う第5学年次の進級を前に、医学部同様に全国共用試験として、CBT（Computer-Based Testing；知識及び問題解決能力を評価する客観試験）とOSCE（Objective Structured Clinical Examination；技能・態度を評価する客観的臨床能力試験）が科せられるようになった。本学では、平成22年度（12月26日）に初めて全国共用試験を導入する予定で、これに先駆け、平成22年3月4日本学キャンパスにおいてOSCEプラクティスを実施した。薬学部教員と薬学部3年生が参加し、本学のSPさん、兵庫医科大学病院・笹山病院薬剤部、他大学薬学部及び地元薬剤師会から、評価者としてご参加頂き、無菌操作、薬剤調整、調剤監査、患者接遇、情報提供の6つの課題の試験を予定通りに実施することができた。

## 2) 看護学部

### i) 学部の概要

兵庫医療大学は、社会的ニーズを踏まえ、看護学部は、本学の教育理念である「人間への深い愛と豊かな人間性を持ち、幅広い知識と優れた技術を備え、社会とともに医療を担う医療専門職者を育成する」をベースとして、人々の健康の維持増進を図り、病気を癒し、苦痛を和らげ、生存への意欲を高めるように、人々に仕える人材を育成する。保健医療の領域で中心的な役割を担う看護職者を育成し、有能な人材の輩出により医療への貢献を目指す。併せて実践の科学である看護学を深め、高度な実践能力をもつ看護職者を育成し、さらに看護学分野の教育研究の発展に寄与することを目指す。

看護学部教育課程は、「看護の対象となる人々を深く理解するとともに多様な価値観を大切にし、高い倫理性に富んだ感性豊かな人間性を育成する」、「保健医療福祉を包括的な視野で捉えることのできる力と保健医療福祉が連携する中での看護学の役割・機能をしっかりと捉え、看護学における実践力の基盤を学士課程で育成する」ことを目指し編成されている。

そのため教育課程は、「21世紀の大学像と今後の改革方策について」にある教養教育の重視、教養教育と専門教育との有機的連携の確保を図るとともに、本学の理念、学部の教育目的を踏まえ、基礎分野と専門基礎分野、専門分野の3分野から構成されている。

### ii) 学部の教育組織

看護学部は、基盤看護学、療養支援看護学、家族支援看護学、生活支援看護学の4つの専門領域で教員組織を構成している。教員は平成19年度着任者17名、20年度着任者19名（7月、3月退職者2名）、21年度着任者は5名（3月退職者2名）である。表1. に平成21年度専任教員の氏名、専門分野などの教員一覧を示す。

表1. 平成21年度看護学部専任教員一覧

専門領域	職位	氏名	専門分野	着任年月日
基盤看護学 9名	教授	土居 洋子	基礎看護学（理論）	H19年4月1日
	教授	竹田千佐子	基礎看護学（技術）	H19年4月1日
	准教授	土田 敏恵	基礎看護学（感染）	H19年4月1日
	講師	水野 暢子	基礎看護学（技術）	H19年4月1日
	助教	岡 みゆき	基礎看護学（理論）	H20年1月1日
	助教	増田富美子	基礎看護学（技術）	H19年4月1日
	助教	土屋 智洋	基礎看護学（技術）	H19年4月1日
	助教	荻野 待子	基礎看護学（看護マネジメント）	H20年4月1日
	助手	笠原 知春	基盤看護学（技術）	H19年4月1日
療養支援看護学 14名	教授	佐藤 禮子	がん看護学	H19年4月1日
	教授	網島ひづる	成人看護学（急性）	H20年4月1日
	教授	鈴木 久美	成人看護学（慢性）	H19年4月1日
	教授	新井 信之	精神看護学	H20年4月1日
	准教授	大田 直実	成人看護学（急性）	H20年4月1日
	准教授	清水 玲子	成人看護学（慢性）	H21年4月1日
	講師	小西美ゆき	成人看護学（急性）	H21年4月1日
	講師	小関 真紀	成人看護学（急性）	H19年4月1日 (H21年3月退職)

専門領域	職位	氏名	専門分野	着任年月日
療養支援看護学 14名	講師	松本 麻理	成人看護学（慢性）	H20年 4 月 1 日
	講師	山本 則子	精神看護学	H20年 4 月 1 日 (H21年 7 月退職)
	助教	平岡 玲子	成人看護学（急性）	H20年 4 月 1 日
	助教	高山 京子	がん看護学	H19年 4 月 1 日
	助教	大谷 利恵	精神看護学	H20年 4 月 1 日
	助教	佐藤真由美	成人看護学（慢性）	H20年 4 月 1 日 (H22年 3 月退職)
家族支援看護学 7 名	教授	藤井真理子	小児看護学	H19年 4 月 1 日
	教授	末原紀美代	母性看護学	H21年 4 月 1 日
	講師	石原 あや	小児看護学	H20年 4 月 1 日
	講師	西村 明子	母性看護学	H19年 4 月 1 日
	助教	飯尾 祐加	助産学	H19年 4 月 1 日
	助教	藤田 優一	小児看護学	H20年 4 月 1 日
	助教	勝田真由美	母性看護学	H20年 4 月 1 日
生活支援看護学 10名	教授	大町 弥生	老年看護学	H20年 4 月 1 日
	教授	上原ます子	地域看護学	H21年 4 月 1 日
	准教授	富永 真己	地域看護学	H19年 4 月 1 日
	准教授	青木菜穂子	在宅看護学	H20年 4 月 1 日
	講師	平木 尚美	老年看護学	H20年 4 月 1 日
	講師	尾ノ井美由紀	地域看護学	H20年 4 月 1 日 (H22年 3 月退職)
	助教	山田 千春	老年看護学	H20年 4 月 1 日
	助教	藤村 一美	地域看護学	H20年 4 月 1 日
	助手	廣嶋 泰子	老年看護学	H20年 4 月 1 日
	助手	松本 佳子	地域看護学	H21年 4 月 1 日

### iii) 学生の受け入れ

#### (1) 学生募集と入学者選抜

看護学部では多様な学生を得るために、平成20・21年度では、推薦入学試験、一般入学試験（前期 A 日程）及び一般入学試験（後期日程）を行った。さらに21年度には看護学部第3学年次編入学試験を実施した。各入学試験の定員は以下の通りである。

表 2. 学生の受入れ状況

入試制度	平成20年度	平成21年度
推薦入学試験	30名	30名
一般入学試験（前期日程）	60名	65名
一般入学試験（後期日程）	10名	5 名
3 年次編入学試験	—	10名



今日の少子化問題や看護系大学の増加の下では、とりわけ兵庫県では看護学部・学科が11大学と多く、受験生の確保が困難な状況にある。その中で優秀な学生を確保するために、平成20年度では推薦入学定員を15名増員し30名とした。また21年度では、一般入学試験（前期 A 日程）の志願者数の確保のために、一般入学定員を65名に増やした。

選抜方法については、推薦入学試験では、調査書を重視しつつ、基礎的な語学力、文章作成力を総合的に評価するために、外国語（150点満点）、小論文（100点満点）、調査書（100点満点）の3教科とした。また一般入学試験は、前・後期日程ともに外国語、国語、理科とした。

受験者数は、平成20年度では推薦入学試験131名、一般入学試験（前期 A 日程）426名、後期日程90名、21年度においては、推薦入学試験165名、一般入学試験（前期 A 日程）458名、後期日程88名と、ほぼ受験人数は確保されていた。また合格者の入学率を平成20年度と21年度を比較すると、前期日程では38.5%から49.7%に、後期日程では45.5%から75%へと増加傾向にあるが、看護系大学の増加は必至の情勢であり、安閑としてはおられない状況にある。今後も社会・経済情勢を視野に入れながら、志願者数及び入学者数の確保を図っていく必要がある。

## (2) 学生在籍者の状況

学生数については、平成20年度新入生は103名（3名退学者）、平成21年度の新入生は109名であった。学生の出身地区別では、20年度入学生では、兵庫県出身者が72人（69.9%）、21年度では65名（59.6%）であった。

表 3. 平成20年度進級認定数等

学部・学科	学年	学生数	進級者	留年者	退学者	除籍者
看護学部 看護学科	1	103	100	0	3	0
	2	112	111	1	0	0
計		215	211	1	3	0

表 4. 平成21年度進級認定数等

学部・学科	学年	学生数	進級者	留年者	退学者	除籍者
看護学部 看護学科	1	109	109	0	0	0
	2	101	96	3	2	0
	3	115*	114	1	0	0
計		325	319	4	2	0

\*第3学年次には、編入学生4名含む。

## iv) 教育活動

### (1) 教育課程と開講授業実施内容

#### 1) 基礎分野

基礎分野は、専門基礎分野、専門分野を学習していく上での基礎となる必要な知識の修得を目的として、平成14年2月に出された中央教育審議会答申「新しい時代における教養教育の在り方について」を踏まえ、「人間と言葉」、「人間と文化」、「人間と社会」、「人間と科学」の人間を軸とした4領域で構成し科目を配置してある。

平成20・21年度は、「人間と言葉」科目では必修6科目（6単位）・選択3科目、「人間と言葉」以外の科目では必修4科目（8単位）・選択18科目を開講した。20年度から、「ドイツ語、韓国語、中国語（1年次通年開講）」を複数選択することが可能となり、20・21年度ともに4名の学生が2

科目（4単位）を修得している。

#### 看護学部学士課程入門チュートリアル

大学での学び方を理解し、主体的に学ぶ姿勢を身につけることをねらい、平成21年度より新入生を対象に入門チュートリアルを開講した（単位化はしていない）。

目 的：入門チュートリアルを通して作文とレポート・論文との違いを理解し、適切なレポートが作成できる。

日 程：4月13日（月曜日V限）～5月18日（月曜日V限） 計5回

方 法：1グループ7～8名のチュートリアルグループに分かれて学習（チューター教員2名）

内 容：入門チュートリアルガイダンス、グループディスカッション、個別レポート作成、グループごとの発表

指定図書：河野哲也（2008）；レポート・論文の書き方入門第3版、慶応義塾大学出版会

#### 2）専門基礎分野

専門基礎分野は、基礎分野の知識を活用しながら、医学・保健学・福祉学などの近接領域の知識や技術を教授し、専門分野を学習する上で欠くことのできない基礎的知識を「人間と健康」、「環境と健康」、「人間と環境」、「チーム医療」の4領域で体系化している。平成20年度は必修16科目（21単位）・選択5科目を、21年度は必修17科目（22単位）・選択7科目を開講した。

#### 3）専門分野

専門科目は、基礎分野、専門基礎分野の科目を基盤に、また看護学のメタパラダイム概念をもとに、「基盤看護学」、「療養支援看護学」、「家族支援看護学」、「生活支援看護学」及び「総合」科目の5領域で体系化しており、平成21年度からは各科目の臨地実習（基盤看護学・療養支援看護学・家族支援看護学（助産学以外）・生活支援看護学）を開始した。

平成20年度は必修20科目（22単位）・選択4科目（4単位）を、21年度は必修35科目（52単位）・選択科目7科目（7単位）を開講している。

### (2) 看護学臨地実習内容

#### 1）期間、使用施設

看護基礎教育において看護実践能力を育成するには、看護学臨地実習の充実が不可欠である。この臨地実習は、学内で学習した知識・技術・態度を、実践を通して統合する場であるとともに、看護職者に求められる対人関係、判断力・倫理性などを身につける場でもある。看護学臨地実習の配当年次は、第1学年次から第4学年次にわたるが、平成20年度は第1～2学年次を対象に、21年度は第1～3学年次を対象に臨地実習を実施した。

表 5. 看護学臨地実習

実習科目名	実習場所	単位数	配当年次
基盤看護学 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅲ	兵庫医科大学病院 兵庫医科大学病院	1単位 1単位 1単位	第1学年前期 第1学年後期 第2学年後期
療養支援看護学 成人看護学実習Ⅰ(急性) 成人看護学実習Ⅱ(慢性) 精神看護学実習	兵庫医科大学病院 兵庫医科大学病院 医療法人社団正仁会 明石土山病院	3単位 3単位 2単位	第3学年後期～第4学年前期 第3学年後期～第4学年前期 第3学年後期～第4学年前期
家族支援看護学 母性看護学実習 小児看護学実習 助産学実習(選択)	兵庫医科大学病院 兵庫医科大学病院、幼稚園	2単位 2単位 7単位	第3学年後期～第4学年前期 第3学年後期～第4学年前期 第4学年後期(選択制)
生活支援看護学 老年看護学実習 地域看護学実習  在宅看護学実習	介護老人保健施設 健康福祉事務所、保健所・ 市町保健センター、事業所 訪問看護ステーション	3単位 3単位 1単位	第3学年後期～第4学年前期 第3学年後期～第4学年前期 第3学年後期～第4学年前期
総合 統合看護実習		3単位	第4学年後期

## 2) 実習ガイダンス等

## ①看護学臨地実習(第3学年次)履修に関するガイダンス

- ・平成21年4月3日及び9月14日～10月2日(実習前教育期間)に看護学臨地実習履修の前提条件、看護学臨地実習における看護学生の態度、看護学臨地実習中の厳守すべき事項及び各看護学臨地実習科目の目的・目標等についてガイダンスを実施した。

## ②兵庫医科大学臨地実習指導者対象会議

- ・平成20・21年度臨地実習に係る指導者会議、指導者研修会及び指導者懇談会を表6～7.のとおりに実施した。

表 6. 平成20年度臨地実習指導に係る活動

開催日時	開催場所	会議及び内容	出席者
9月3日(水) 17:00 ～ 19:30	兵庫医療大学 M487A M487B	平成20年度臨地実習指導者会議 ・臨地実習指導者会議開催の趣旨説明 ・平成19年度実習評価 (基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ) ・平成20年度基礎看護学実習について (基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) ・平成21年度看護学臨地実習計画について、意見交換	兵庫医科大学病院看護部 兵庫医療大学看護学部教員

表 7. 平成21年度臨地実習指導に係る活動

開催日時	開催場所	会議及び内容	出席者
9月2日(水) 9:00 ～ 17:00	兵庫医科大学 4-1 講義室	平成21年度兵庫医科大学看護学臨地 実習指導者研修会 ・看護学教育の一方法としての看護学臨 地実習における指導方法を学ぶ ・兵庫医療大学看護学臨地実習の概要、 看護学臨地実習指導方法	兵庫医科大学病院看護部 病棟看護師長・主任 臨地実習指導者
9月14日(月) 14:00 ～ 18:30	兵庫医療大学 M487A M487B	平成21年度兵庫医療大学学外実習施 設看護学臨地実習指導者懇談会 ・兵庫医療大学看護学臨地実習の概要	兵庫医療大学学外実習施設 指導者 兵庫医療大学看護学教員

## (3) 保健師助産師看護師学校養成所指定規則等の一部を改正する省令

保健師助産師看護師学校養成所指定規則等の一部を改正する省令（平成20年文部科学省・厚生労働省令第1号）が公布され、平成20年4月1日からの施行（平成21年度入学生から新カリキュラム適用）に伴い、表8～9. に示す通りカリキュラムを改正した。

表 8. 旧カリキュラム（平成19・20年度入学生）

科目名	単位数	配当学年	開講年度
基礎看護学実習Ⅰ（早期体験実習）	1	1年	平成19・20年度
基礎看護学実習Ⅱ（生活援助）	1	1年	平成19・20年度
基礎看護学実習Ⅲ（看護過程）	1	2年	平成20・21年度
総合看護	3	4年	平成22・23年度

表 9. 新カリキュラム（平成21年度入学生～）

科目名	単位数	配当学年	開講年度
基礎看護学実習Ⅰ（生活援助）	1	1年	平成19・20年度
基礎看護学実習Ⅲ（看護過程）	1	2年	平成20・21年度
総合看護	3	4年	平成22・23年度

## (4) 進級要件

進級要件に関しては、看護学部拡大教授会、教育委員会、大学協議会の審議を経て明文化し、各学年のガイダンス時において看護学部教育委員より学生へ説明している。

## (5) 実習室整備

看護学部には4施設の看護学実習室（基礎看護学実習室、成人看護学実習室、助産／母性・小児看護学実習室、精神・地域・在宅・老年看護学実習室）が整備され、看護実践能力の向上及び基礎看護技術の習得を図るための視聴覚教材や高学年学生の ACLS トレーニングモデル及び、医療現場で必要な看護技術に関する設備など、備品購入計画に従い各看護学実習室スキルス・ラボラトリーの整備をしている。

## 1) 基礎看護技術 DVD 教材の作成及び貸出

「基礎看護技術Ⅰ（生活援助）」の基礎看護技術について手順及びポイントを追加した DVD を

作成し、自宅でも復習が可能なよう貸出を実施している。

## 2) 学内ネットワーク利用による視聴覚教材の配信

学内の情報処理室や図書館に配備している Web 端末より、DVD コンテンツが閲覧できるよう整備した。

## 3) 基礎看護技術習得のための自学自習状況

基礎看護学領域では「主体性をもった学生」の育成を目指し、“納得できるまで看護技術を練習できる”自己学習サポート体制を整備し、基礎看護学実習室の開放や及び時間外における学生指導を実施している。

## (6) 平成21年度 兵庫医療大学看護学部後期授業評価結果

平成21年度後期より、本学専任教員が授業科目責任者である講義科目のすべてを対象として、授業評価(表10.)を全学生に実施した。看護学部では看護基礎科目、看護専門基礎科目が対象となり、授業科目は12科目であった。

授業評価の結果(各項目の平均値)をレーダーグラフに示す。また科目別項目別の評点の平均値を図2折れ線グラフに示す。

授業についての評価15項目は、概ね良好な調査結果を得た。学生の授業に対する取組み4項目に関しては、項目3(授業時間以外の学習)以外は良好な結果を得た。

この項目3は、他の18項目と比較し極端に低値を示しており、授業時間以外の自学自習がされていないことを顕著に示している。

今後、自学自習を推進していくためには、シラバスの見直しと活用方法の検討を行い、学部全体の問題として教員と学生が協働し、組織的に取り組む必要がある。また、科目による課題が偏ることで、学生が同時に複数の課題を抱え、学生に過大な負担を与えているという現状もある。各教員が連携し、どのようにして学習意欲の向上と学習習慣の確立を指導するか検討する必要がある。

表10. 評価項目

兵庫医療大学授業評価
【あなたの授業科目への取組みについて】
1. この授業科目に意欲的に取り組みましたか
2. この授業科目にどのくらいの割合で遅刻もせずに出席しましたか
3. この授業科目のために、授業時間以外の学習を1週間に何時間くらい行いましたか
4. この授業科目では私語を交わすこともなく、受講態度はよかったですと思いますか
【授業について】
5. 教員は、初めの授業で授業科目の目標や成績評価について適切に示しましたか
6. 授業の内容は、シラバス(教育要項)のとおりに進められましたか
7. 教科書、参考書やプリント(資料)等の補助教材は、授業内容の理解に役立ちましたか
8. 黒板・視聴覚機器の使い方は適切でしたか
9. 授業の内容はよく理解できましたか
10. 授業内容の組み立て方や、時間配分は適切でしたか
11. 教員は、学生の理解の程度を把握して授業を進めていましたか
12. 質問しやすい雰囲気がありましたか、または、教員はあなたの質問に丁寧に対応してくれましたか
13. 教員は、あなたが提出したレポートや宿題に対して適切な対応(アドバイス・評価など)をしましたか
14. 教員の声・話し方は聞き取りやすかったですか
15. 教員は、学生が授業に集中できるような環境づくりに努めていましたか
16. 教員の授業に対する熱意・意欲を感じましたか
17. この授業により、知識が得られ自分の考えを深めることができましたか
18. この授業により刺激を受け、さらに学びを広げたいと思いましたか
19. 総合的に判断して、この授業は満足できるものでしたか



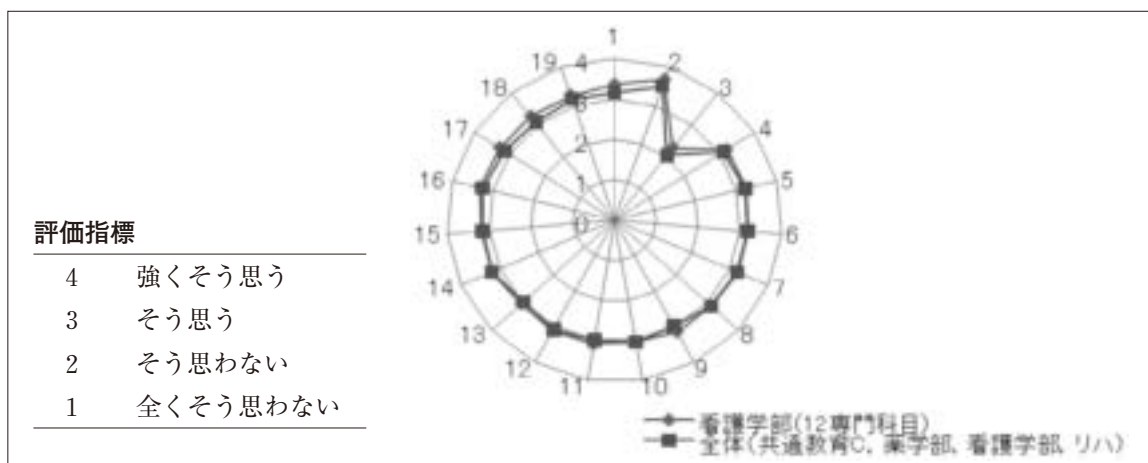


図1. 看護学部専門科目と全体平均の比較

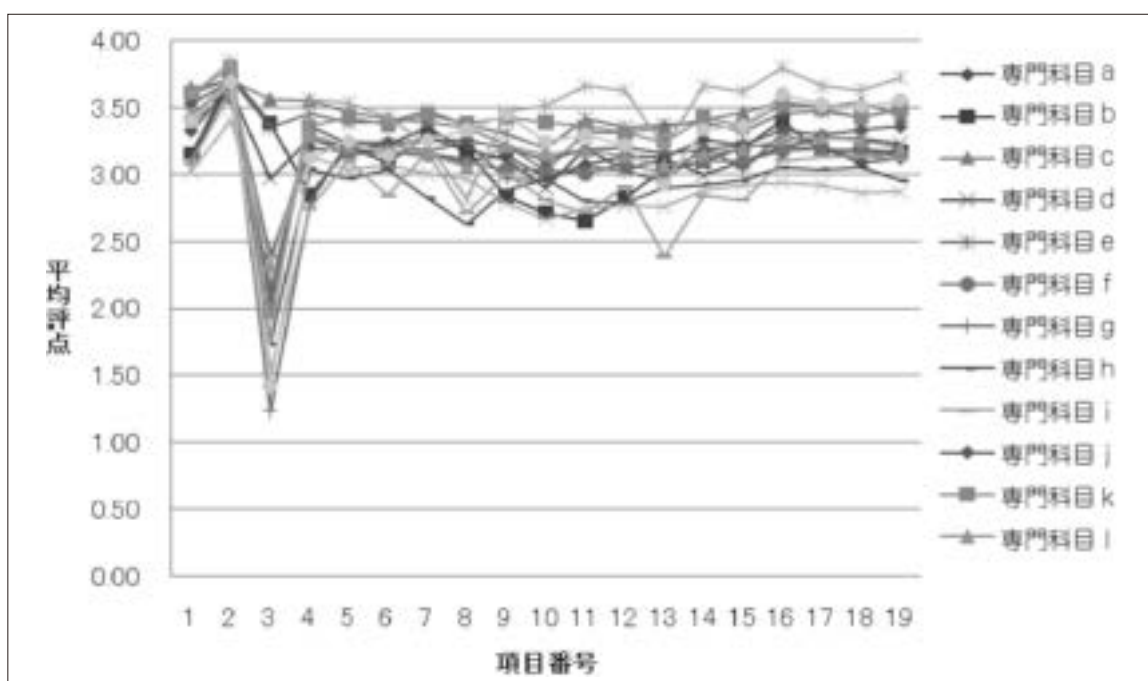


図2. 科目別項目別評点

## v) 研究活動

### (1) 研究費の取得状況

#### 1) 科学研究費補助金

看護学部における科学研究費補助金は、平成20年度では12件、総額19,140,000円、21年度には12件、総額14,500,000円が採択された。詳細については、2. 研究施設の活動状況 7) 学外研究費の取得一覧の項(106頁、表1～2. 参照)に掲載する。

#### 2) その他の研究補助金

各財団法人からの研究補助金は、平成21年度では2件、総額2,200,000円が採択された。詳細については、7) 学外研究費の取得一覧の項(110頁、表6. 参照)に掲載する。

## (2) 研究セミナーの実施

本学における看護学部教員の教育・研究能力の向上及び教員の交流を目的として、医療大学研究セミナーに参加し、平成20年度では2テーマ、21年度は1テーマについて発表した。詳細については、2. 研究施設の活動状況 6) 兵庫医療大学研究セミナーの項(103頁、表1～2. 参照)に掲載する。

## (3) その他の活動

### 1) 看護学部FD研究会

看護学部教員の教育・研究能力の向上を目的とし、下記の内容で本学において実施した。

平成20年度

日 時：平成21年3月2日(月) 13:30～16:30

テーマ：学生の主体的な学びを育む教授—学習方法—PBL とチュートリアル—

講 師：小山 真理子 教授(神奈川県立保健福祉大学)

平成21年度第1回

日 時：平成22年2月22日(月) 14:00～17:30

テーマ：大学のブランド力を高めるための戦略について

目 的：本学看護学部のブランド力向上をめざし、ブランド力に関する基本概念(ブランド力とは何か、ブランド力は何で決まるのか)及びブランド力を高めるための戦略の実際について、実践的取り組みをしている講師を招聘し、講義を通してブランド力について理解し、また討議を通して教員個々が看護学部のブランド力の向上をめざした教育活動に役立てることができることを目的とする。

プログラム：

①講師：定藤 繁樹 教授(関西学院大学副学長、経営戦略研究教授)

講演テーマ：大学のブランド力を高めるための戦略について

②グループディスカッション及びグループ発表

平成21年度第2回

日 時：平成22年3月3日(水) 13:30～17:30

テーマ：兵庫医療大学看護学部の卒業時到達目標について

目 的：兵庫医療大学看護学部のユニーク性のある卒業時到達目標を討論・作成し、作成した卒業時到達目標について全教員のコンセンサスの基に、実施に向けた看護学部教員の教育力を高める。

プログラム：

①到達目標ワーキンググループによるプレゼンテーション

発表テーマ：「本学看護学部の卒業時到達目標案について」

②グループディスカッション及びグループ発表

## vi) 社会活動

### (1) オープンキャンパス、模擬講義等

#### 1) オープンキャンパス

兵庫医療大学のオープンキャンパスは、平成20年度に6回、21年度には5回開催した。看護学部志望の受験生向けに看護学部ガイダンス、キャンパスツアー、在学生交流、教員相談コーナー等を企画し、実施した。看護学部志望の受験生のオープンキャンパス参加者数は、平成20年度665名、21

年度784名であった。オープンキャンパスでの活動状況については、I 兵庫医療大学の学事と組織  
11. 委員会の取り組み 7) 広報委員会の項(34頁、表1～2. 参照)に掲載している。

表11. 看護学部オープンキャンパス・プログラム内容(平成20年度)

回	月 日	テーマ	看護学部プログラム内容
第 1 回	6 月22日	「卒業後の将来像」	〈全回共通〉 ・看護学部ガイダンス（看護学部の教育目標、特徴、教育課程について説明） ・教員個別相談（入試、大学生活、実習、卒業後の進路等について個別相談） ・在学生交流（受験や大学生活などについて個別相談） ・キャンパスツアー
第 2 回	7 月19日	「講義体験」	
第 3 回	8 月 9 日	「実習体験」	
第 4 回	8 月10日		
第 5 回	8 月23日	4 大学合同開催 「チーム医療を体験」	〈第 1 回〉 「こんな看護がしてみたい！」 ～看護学部教員による看護師・保健師・助産婦の仕事の内容、やりがいについての話  〈第 2 回〉 模擬講義「がん看護ってなあに？」 〈第 3・4 回〉 「実習体験」 ・聴診器を使ってみよう（基礎看護学実習室） ・救急蘇生を体験してみよう（成人看護学実習室） ・高齢者体験（精神・地域・在宅・老年看護学実習室） ・妊婦体験（助産・母性・小児看護学実習室）
第 6 回	8 月24日		

表12. 看護学部オープンキャンパス・プログラム内容(平成21年度)

回	月 日	テーマ	看護学部プログラム内容
第1回	7月18日	「ひと足お先に 兵庫医療大学生！」	〈全回共通〉 ・看護学部ガイダンス(看護学部の教育目標、特徴、教育課程について説明) ・教員個別相談(入試、大学生活、実習、卒業後の進路等について個別相談) ・在学生交流(受験や大学生活などについて個別相談) ・キャンパスツアー ・実習室見学・実習体験 「感染予防のテクニックを学ぼう！」「聴診器を使ってみよう」 (基礎看護学実習室) 「心臓マッサージにチャレンジ！」(成人看護学実習室) 「性格テストをやってみよう～あなたは看護職に向いている？」 「あなたの食事カロリー大丈夫？」 「50年後の自分を体験してみよう！」 (精神・地域・在宅・老年看護学実習室) 「赤ちゃん抱っこ体験」「妊婦体験にチャレンジ」 (助産・母性・小児看護学実習室)
第2回	8月8日		
第3回	8月9日		
第4回	8月22日	4大学合同開催 「チーム医療を学ぼう！」	〈第1・2回のみ〉 「伝えたい！看護の魅力」 ～兵庫医科大学病院の現職看護師による医療現場や看護実践についての話
第5回	8月23日		

## 2) 高等学校における模擬講義

看護学部が行った高等学校における模擬講義数は、平成20年度、21年度各々19校であった。高校の依頼や対象学年に合わせて、看護専門職とその役割、看護専門職への道のり、看護学などの内容の講義を行った。

表13. 平成20年度校内ガイダンス・模擬授業の実施状況

回	実施日	高 校 名	種 別	対象学年
1 回	7 月11日	兵庫県立川西北陵高等学校	学部学科分野理解	1 年生
2 回	7 月11日	兵庫県立西宮南高等学校	学部学科分野理解	1・2 年生
3 回	7 月11日	啓明学院高等学校	模擬授業	2 年生
4 回	7 月17日	神戸龍谷高等学校	看護系統説明	2 年生
5 回	10月 3 日	兵庫県立柏原高等学校	模擬授業	2 年生
6 回	10月 3 日	兵庫県立宝塚高等学校	模擬授業	2・3 年生
7 回	10月 6 日	兵庫県立東播磨高等学校	模擬授業	2 年生
8 回	10月28日	樟蔭高等学校	系統説明	2 年生
9 回	10月29日	神戸常盤女子高等学校	職業理解	1 年生
10回	10月30日	大阪府立旭高等学校	模擬授業	2 年生
11回	11月18日	兵庫県立西宮今津高等学校	模擬授業	1 年生
12回	12月10日	兵庫県立甲北高等学校	分野理解	1 年生
13回	12月11日	兵庫県立三木高等学校	模擬授業	2 年生
14回	12月17日	関西大倉高等学校	学部学科分野理解	1 年生
15回	12月19日	兵庫県立姫路別所高等学校	学部学科理解	2 年生
16回	12月19日	兵庫県立伊丹高等学校	模擬授業	1・2 年生
17回	2 月19日	大阪府立箕面高等学校	学部学科分野理解	1 年生
18回	2 月23日	兵庫県立高砂南高等学校	模擬授業	1 年生
19回	3 月 5 日	兵庫県立舞子高等学校	模擬授業	1 年生

表14. 平成21年度校内ガイダンス・模擬授業の実施状況

回	実施日	高 校 名	種 別	対象学年
1 回	6 月23日	兵庫県立西宮今津高等学校	模擬授業	1 年生
2 回	6 月25日	大阪府立池田高等学校	看護分野別	2 年生
3 回	6 月25日	兵庫県立加古川南高等学校	看護分野別	2 年生
4 回	7 月 8 日	兵庫県立加古川北高等学校	看護分野別	1 年生
5 回	7 月14日	兵庫県立舞子高等学校	看護分野別	1 年生
6 回	7 月14日	兵庫県立神戸高塚高等学校	看護分野別	2 年生
7 回	7 月15日	兵庫県立川西北陵高等学校	看護分野別	2 年生
8 回	7 月16日	兵庫県立尼崎高等学校	看護分野別	1 年生
9 回	7 月16日	兵庫県立明石南高等学校	看護・医療系	2 年生
10回	9 月 2 日	兵庫県立宝塚西高等学校	看護分野別	1 年生
11回	9 月25日	兵庫県立宝塚高等学校	模擬授業	2 年生

回	実施日	高 校 名	種 別	対象学年
12回	11月11日	兵庫県立西宮今津高等学校	模擬授業	2 年生
13回	11月30日	兵庫県立高砂南高等学校	看護・医療系	1 年生
14回	12月21日	兵庫県立伊丹高等学校	模擬授業	1・2 年生
15回	1 月15日	神戸市立須磨高等学校	模擬授業	1 年生
16回	2 月 4 日	兵庫県立東灘高等学校	体験実習／職業理解	1 年生
17回	3 月10日	兵庫県立舞子高等学校	模擬授業	1 年生
18回	3 月10日	兵庫県立西脇高等学校	看護分野別	2 年生

### 3) 来校見学会

看護学部の見学を希望した高等学校数は、平成20・21年度では各々7校であった。高校の依頼に応じて、聴診や血圧測定等の体験実習のほか、在校生の演習見学を実施した。

表15. 平成20年度見学会実施状況

	高等学校名	実施日	種 別	対象者	参加者
1	兵庫県立甲北高等学校	6 月18日	施設見学／体験実習	2 年生	20名
2	兵庫県立武庫荘総合高等学校	6 月27日	施設見学／体験実習	1 年生	22名
3	城西高等学校	10月22日	施設見学／体験実習	1 年生	8 名
4	兵庫県立伊丹北高等学校	10月28日	施設見学／体験実習	2 年生	約30名
5	神戸市立神港高等学校	12月16日	施設見学／体験実習	1 年生	10名
6	三田松聖高等学校	12月17日	施設見学／体験実習	1 年生	10名
7	兵庫県立東灘高等学校	12月19日	施設見学／体験実習	1 年生	7 名

表16. 平成21年度見学会実施状況

	高等学校名	実施日	種 別	対象者	参加者
1	滋賀県立八幡高等学校	4 月24日	施設見学(学校説明含む)／体験実習	2 年生	21名
2	大阪府立箕面高等学校	5 月 8 日	施設見学(学校説明含む)／体験実習	3 年生	6 名
3	兵庫県立武庫荘総合高等学校	6 月26日	施設見学(学校説明含む)／体験実習	2 年生	22名
4	兵庫県立伊丹北高等学校	10月27日	施設見学(学校説明含む)／体験実習	1 年生	21名
5	兵庫県立三木東高等学校	11月 2 日	施設見学(学校説明含む)／体験実習	1 年生	10名
6	神戸市立神港高等学校	12月16日	施設見学(学校説明含む)／体験実習	1 年生	18名
7	兵庫県立東灘高等学校	12月18日	施設見学 (学校説明含む)	1 年生	約15名

### 4) 高大連携推進事業

兵庫医療大学と兵庫県立伊丹西高等学校は、大学教育と高等学校教育の連携に資するために連携教育に関する協定を締結し、平成21年4月1日より兵庫県立伊丹西高等学校に新設された「総合ヒューマン類型」コースの「特別講座」(第1学次開講)及び「総合ヒューマン基礎」(第2学年次開講)の科目を連携し実施した。

21年度に開講された「特別講座」(第1学年次開講)において、看護学部は以下の講義及び体験実習を担当し実施した。



- ・実施日：平成21年7月7日
- ・対象者：兵庫県立伊丹西高等学校「総合ヒューマン類型」コース 1年生32名
- ・内 容：講義「看護とは～看護専門職とその役割、看護専門職への道のりについて～」  
体験実習「聴診・血圧測定」
- ・時間数：50分授業を2回
- ・場 所：兵庫医療大学講義室及び成人看護学実習室

## (2) 学士課程入門チュートリアル

本学部では初年次教育の一環として平成21年度から入門チュートリアルを実施している。目的は、看護学部に入学者第1学年次生が入門チュートリアルを通して作文とレポート・論文との違いを理解し、適切なレポートが作成できるよう4つの到達目標を設定し、グループディスカッションを用いて5回で展開した。学生を1グループ7～8人に分け、2人の教員を配置した。また、グループディスカッションでは学生が主体的に進めるよう司会及び書記を学生が担当した。到達目標の評価は、チュートリアル終了後にリフレクションシートを用いて目標を達成できたかどうか学生が自己評価し、それを基に教員が個別にフィードバックを行った。

入門チュートリアルの教員評価は、到達目標、方法、回数などほぼ適切という肯定的評価であり、継続したほうがよいという意見であった。しかし、課題として到達目標のレベルや回数、使用教材などの改善点があげられ、次年度はこれらの課題を検討したうえで実施する。

## (3) 卒業時の到達目標ワーキンググループ

看護学部では、第一期卒業生を送り出す総括の平成22年度が始まるのに先立ち、看護学部拡大教授会の議を経て、卒業時の到達目標を設定することとなった。4名からなるワーキンググループにより到達目標案の作成を行った。看護学部FD研究会のグループワークのテーマとして、内容、用語の解釈、文章表現等の討議を行った。看護学部における卒業時の到達目標としている。以下にその概要を記す。

### 卒業時の到達目標

1. 人間の権利の擁護と倫理に関する目標
2. 看護専門職者として看護を提供するうえで必要な内容であると同時に、看護を学ぶ大学生として身につける力（学士力）に関する目標
3. 看護専門職者として実践に必要な能力の獲得に関する目標
4. 看護専門職者として保健・医療・福祉における協働と連携する能力に関する目標
5. さまざまな人々が様々な場で生活しているという視点（グローバルな視点）に関わる目標
6. 自己研鑽に関する目標

これらは、看護学部の6項目の教育目標に対応させた。また各領域（基盤看護、療養支援看護、家族支援看護、生活支援看護）で、看護の特性や対象に応じた教科目標への移行ができる表象レベルでの表現とした。

今後は、学生・教員が共有する目標として、卒業時の評価を経て精選していくことになっている。さらに卒業時の到達目標は、平成22年度の第4学年次生に提示するとともに、看護学部保護者会でも説明をしていく予定である。

#### (4) 国家試験研究会

平成21年4月9日開催の看護学部教授会において、国家試験対策の現状を明らかにし、学部生の国家試験合格率100%を目途とした方策を立てることを目的とする国家試験研究会教員部会及び学生部会が設立された。教員部会教員6名、学生部会学生25名（1年生11名、2年生6名、3年生8名）が選出され、全学部生への国家試験研究会の主旨説明を行った（平成21年7月3日）。教員部会の開催（平成21年6月4日、7月2日、平成22年3月30日）と合同部会の開催（平成21年8月7日、9月24日、12月25日）を重ね、課題及び達成目標を全学部生・学部教員間で共有し、模擬試験を実施した。

- (1) 課題：国家試験の構造分析、合格を目指した動機付けと情報提供、看護学部教育内容との整合性、現状分析、国家試験対策の企画と運営、両部会の協働
- (2) 達成目標：学生が基礎知識を獲得し、苦手分野を克服するとともに、臨地実習からの学びを深め実践力を身につけるために、教員部会は、①学生が自学自習に向けて自己の年間学習計画を立案することができる ②学生の弱点や問題がわかる ③学生の弱点を中心に国家試験学習に主体的に取り組む体制・学習環境を整える ④学生の弱点を更に強化する ⑤学生が自らの学習を振り返り、万全の体制で国家試験に臨むことができるよう生活調整を指導するという達成目標を立てた。
- (3) 模擬試験：看護師模擬試験（平成21年11月21日：3年生対象 基礎力チェック）  
 （平成22年01月06日：3年生対象）  
 （平成22年03月05日：2年生対象 科目別強化）  
 保健師模擬試験（平成22年02月12日：3年生対象）

#### (5) ブランドカワーキンググループ

兵庫医療大学看護学部が、他大学との差別化を図ってより優秀な学生を確保し発展するための方策が必要である。ブランディングプロジェクトは、兵庫医療大学看護学部のブランドの明確化と、ブランド力を高めるための計画を立案し推進していくことを目的に平成21年9月に発足した。

大学のブランドとは、ステークホルダー（利害関係者）の感じる価値イメージである。平成21年度は、まず兵庫医療大学看護学部のブランドコンセプトが「ヒューマニティと創造性あふれる看護職者を育成する（看護学部のミッション）」であること、対象となるステークホルダーと価値イメージに影響する因子について教員間に周知した（図3参照）。

また平成22年2月に「本学看護学部のブランド力を高めるための戦略について」をテーマにしたFD研究会を開催し、教員個々がブランド力の理解を深め、看護学部のブランド力向上を目指した活動について考える機会を設けた。

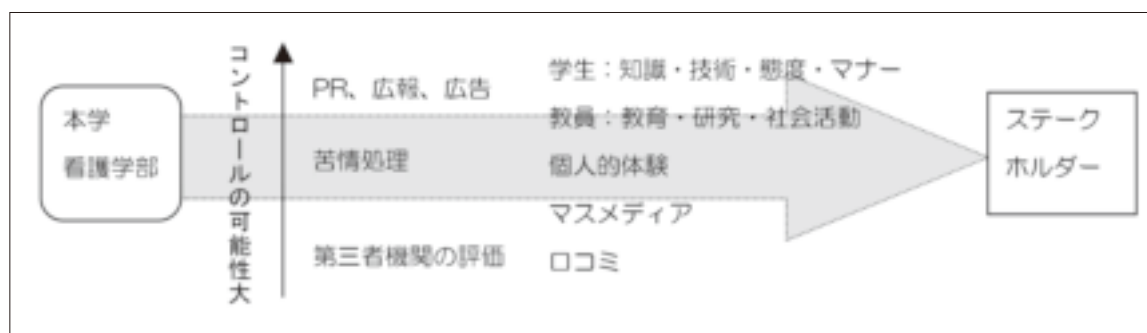


図3. ステークホルダーと価値イメージに影響する因子

## (6) デンマーク研修

平成22年3月13日から10日間第3回デンマーク研修を行った。目的は①デンマークにおける医療・福祉・教育の実際を通し、「福祉の現状と問題点」、「看護役割と看護活動」を理解する。②デンマークの民主主義に基づく医療・福祉を学ぶことにより、日本の看護・福祉の現状や問題点について考える機会とする。③人間の健康に関する意識・行動に直接的に係わる看護者の役割とはなにかを明確にする機会とする。④異文化に触れることにより、グローバルな視野を持ち、今後の学習の糧とする。

参加者は、看護学部第1学年次生6名・第2学年次生5名で、基盤看護学教員4名が引率した。研修先は、日欧文化交流学院（ボーゲンセ市）を基点に幼稚園、重度身体障害者入居施設、看護大学（University College Lillebalt）、高齢者センター、Middelfart 病院精神病棟認知症対策班、家庭医及び州立総合病院（Regionshospitalet）であった。

学生たちは税金の用途や民主主義と平等の意味、自己決定と自立について、大学で学ぶということ、医療・福祉環境は文化に大きく影響を受けること、幸せとは何なのかなど実体験を基に考えを深めることができた。

### 3) リハビリテーション学部

#### i) リハビリテーション学部の推移と今後の方針

医療の質が問われている現在、リハビリテーションが急性期医療から、回復期医療及び維持期医療まで広く必要とされるようになってきた。また、在宅地域ケアにおいても、ますます進む高齢化により、リハビリテーションの必要性が増してきている一方、必要な人材はまだ不足が続いている。

これらの背景を踏まえ、本学部においても建学の精神のもと、教育理念と目標を制定し、高度な専門性と豊かな人間性及び課題解決能力を備えた人材の育成を開学以来行ってきた。

現在、本学リハビリテーション学部は完成年度を迎え、第1～4学年次が揃った。また、平成21年度には未就任であった教員も予定通り赴任し、全教員が揃い、充実した体制となった。教育の視点から、開学からこれまでに振り返り、更なる発展を目指し、今後の方針についても検討が必要な時期に来ている。

先ず、入学試験であるが、高校教員への入試説明会等で感じるが、リハビリテーションのニーズへの理解は格段に向上してきている。理学療法学科について言えば、開学当時のようなフィーバーはなくなり、入学可能な学力も周知され、落ち着いてきた。倍率は今後も現在程度で推移すると考えている。作業療法学科の応募が少ないのは全国的傾向であるが、作業療法そのものが受験生によく理解され、作業療法に適性のある学生が入学するようになり、今後一定の受験生を確保できると考えている。今後の地域ケア重視の医療福祉が進めば進むほど人材が必要とされることを考えると、受験生が極端に減ることは考えにくい。

教育カリキュラムについては3年生までは、既に何度かカリキュラムを繰り返してきたが、大きな問題もなく進んでいる。これまで、開学時からの予定に沿って教育してきたが、現任の教員間で教育分野がオーバーラップしているなど、教員間の教育内容の整合性について、もう少し工夫する必要がある。具体的には、来年から、すなわち2周年目は、各科目の連携と統合により教育の質の更なる向上を目指し、まず専門教育の分野から整理統合を行いつつカリキュラム改変が必要である。また、平成21年度後期授業科目（講義）より学生による授業評価を導入し、個々の授業における質の向上にも取り組んでいるところである。

研究面でも多くの教員が動き出している。また来年度の大学院設置はそれを後押しするであろう。

以上、学部全体としては、常に前進し、よりよい教育、研究の発展を目指したい。

#### ii) 学部の教育組織

リハビリテーション学部では、平成20・21年度に13名の専任教員が新たに着任した。教員の専門分野、着任状況等については表1～2. に示す。

リハビリテーション学部長：土肥 信之

理学療法学科長：P. D. Andrew

作業療法学科長：山田 大豪

表 1. 理学療法学科教員一覧

職 位	氏 名	専 門 分 野	着 任 日
教 授	P. D. Andrew	運動学	平成19年 4 月 1 日
教 授	川口浩太郎	運動器理学療法学・スポーツ理学療法学	平成19年 4 月 1 日
教 授	高橋 哲也	内部障害理学療法学	平成20年 4 月 1 日
教 授	日高 正巳	地域理学療法学	平成19年 4 月 1 日
教 授	野崎 園子	神経内科学	平成20年 4 月 1 日
講 師	坂口 顕	物理療法学	平成19年 4 月 1 日
講 師	山田 哲	バイオメカニクス学	平成20年 4 月 1 日
講 師	香川 真二	義肢装具学	平成20年 4 月 1 日
講 師	森 明子	臨床運動学	平成21年 4 月 1 日
講 師	森沢 知之	内部障害理学療法学	平成21年 4 月 1 日

表 2. 作業療法学科教員一覧

職 位	氏 名	専 門 分 野	着 任 日
教 授	土肥 信之	リハビリテーション医学	平成19年 4 月 1 日
教 授	山田 大豪	精神障害作業療法学	平成19年 4 月 1 日
教 授	山崎せつ子	身体障害作業療法学	平成20年 4 月 1 日
教 授	湖海 正尋	精神医学	平成20年 4 月 1 日
准教授	伊藤 斉子	発達障害作業療法学	平成19年 4 月 1 日
准教授	稲富 宏之	精神障害作業療法学	平成20年 4 月 1 日
講 師	有吉 正則	発達障害作業療法学	平成19年 4 月 1 日
講 師	櫛辺 勇	身体障害作業療法学	平成19年 4 月 1 日
講 師	佐野 恭子	身体障害作業療法学	平成20年 4 月 1 日
講 師	坂本 浩	日常生活援助・精神障害作業療法学	平成21年 4 月 1 日
講 師	坂本 利恵	老年期障害作業療法学	平成21年 4 月 1 日
講 師	奥谷 研	精神障害作業療法学	平成21年 4 月 1 日

### iii) 学生の受け入れ

#### (1) 理学療法学科

##### 1) 学生募集の状況

理学療法学科では、推薦入学試験、一般入学試験（前期 A 日程）及び一般入学試験（後期日程）が行われている。平成20・21年度ともに定員は推薦入学試験理学療法学科10名、一般入学試験（前期 A 日程）25名、一般入学試験（後期日程）理学療法学科 5 名である。

##### 2) 入学者選抜の状況

推薦入学試験の試験科目は、外国語、小論文、調査書（高等学校長が発行する調査書の国語・外国語・数学・理科の評定平均をそれぞれ 5 倍）である。一般入学試験前期 A 日程の試験科目は、外国語、数学、理科（化学または生物）である。また、後期日程の試験科目は外国語、小論文、理科（化学または生物）である。平成21年度受験者数は推薦入学試験では92名（平成20年度116名で前年度比－20.7%）、一般入学試験前期 A 日程では225名（平成20年度256名で前年度比－12.17%）、一



般入学試験後期日程は、36名（平成20年度57名で前年度比－36.8％）であった。

### 3）在籍者の状況

平成21年度末の在籍者数は、124名である。そのうち20年度の入学学生数は39名、21年度の入学学生数は46名である。学生の出身地区は、兵庫県が78名、大阪府が23名で、全体の81％を占めている。

## (2) 作業療法学科

### 1）学生募集の状況

作業療法学科では、平成20年度は推薦入学試験、一般入学試験前期 A 日程及び一般入学試験後期日程が行われており、定員は推薦入学試験10名、一般入学試験前期 A 日程25名、一般入学試験後期日程 5 名である。平成21年度は推薦入学試験、一般入学試験前期 A 日程及び一般入学試験後期日程、そして新たに設定された一般入学試験前期 B 日程が行われており、定員は推薦入学試験15名、一般入学試験前期 A 日程12名、前期 B 日程 8 名、一般入学試験後期日程 5 名である。

### 2）入学者選抜の状況

推薦入学試験の試験科目は、外国語、小論文、調査書（高等学校長が発行する調査書の国語・外国語・数学・理科の評定平均をそれぞれ 5 倍）である。一般入学試験前期 A 日程の試験科目は、外国語、国語、理科（化学または生物）、前期 B 日程は外国語、数学、理科（化学または生物）、後期日程は外国語、小論文、理科（化学または生物）である。平成20年度の受験者数は推薦入学試験では48名、一般入学試験前期 A 日程68名、一般入学試験後期日程15名であり総概数131名、21年度では推薦入学試験では50名、一般入学試験前期 A 日程59名、前期 B 日程49名、後期日程15名であり総概数173名である。

### 3）在籍者の状況

平成21年度末の在籍者数は134名である。そのうち20年度の入学学生数は40名、21年度の入学学生数は55名である。

学生の出身地区は、兵庫県が84名、大阪府が20名で、全体の77.6％を占めている。

## iv) 教育活動

### (1) 理学療法学科

#### 1）授業及び臨床実習

理学療法学科では、平成20年度から第 1 学年次科目と並行して、解剖学や生理学などの多くの専門基礎科目が第 2 学年次科目として開講された。また、9 月には初期臨床実習も行われ、20年度後期からは専門科目も開講された。平成21年度からは多くの専門科目が第 3 学年次科目として開講され、9～10月にかけて 2 週間にわたる病院での理学療法評価学実習が行われた。平成22年 1 月からは総合臨床実習も行われた。各臨床実習の目的、概要、到達目標を表 3. に、平成21年度の臨床実習実績を表 4. に示す。

表 3. 各臨床実習の目的、概要、到達目標

(第 1 学年次：見学実習)

目 的	リハビリテーションの各部門の業務内容を知り、専門職がチームを形成して、各々の役割を担っていることを理解する。
概 要	兵庫医科大学病院リハビリテーション部、篠山病院リハビリテーションセンターの見学を 1 日ずつ行う。なお、見学に際しては、十分な事前学習を行い、見学後にはレポートを作成する。
到達目標	見学実習では、臨床現場に赴き、治療場面を観察したり治療の補助することを通して、理学療法の業務内容を理解するとともに、チーム医療の一翼を担う専門職であることも理解する。見学という受け身的な実習ではなく、医療専門職者との相互的な関わりの中で見学実習を行う。

(第 2 学年次：初期臨床実習)

目 的	理学療法に関連する各現場における理学療法士の役割・専門性を理解する。
概 要	2 年次前期終了後に兵庫県立総合リハビリテーションセンター（中央病院、特別養護老人ホーム、職業能力開発施設、身体障害者更生施設、肢体不自由児療護施設など）、JICA など理学療法に関連する施設を 1 日または半日ずつ見学する。
到達目標	初期臨床実習では、理学療法に関連するいくつかの異なった現場を訪れ（通して）、各現場における理学療法士の役割・専門性を理解するとともに、社会資源についても理解する。

(第 3 学年次：理学療法評価学実習)

目 的	実際の症例について学び、臨床現場で症例を通して、各種評価法（徒手筋力測定や関節可動域測定に限らず、患者（対象者）の問題点を明らかにするための情報収集手段すべてを含む）の実施、問題点の把握、理学療法プログラムの立案を行う。
概 要	カルテ、指導者などから患者（対象者）の基本的な情報を入手し、問診・視診・徒手検査など一連の理学療法評価法を実施し患者（対象者）の状態を把握する。得られた情報から患者（対象者）の問題点を把握し、理学療法プログラムを作成する。2 週間にわたって臨床現場でこのプロセスを体験的に研く。2 週間という限られた時間での実習のため、クリニカル・クラークシップを積極的に導入する。
到達目標	この実習では、実際の臨床現場で患者（対象者）と接することに慣れ、学内で学んだ各種評価法（徒手筋力測定や関節可動域測定に限らず、患者（対象者）の問題点を明らかにするための情報収集手段すべてを含む）を患者（対象者）に適応してみる。また、得られた各種評価法の結果から問題点を抽出し、どのような理学療法を行えばよいか、臨床実習指導者が納得できる推論を展開できるようになる。

(第 4 学年次：総合臨床実習)

目 的	実際の症例について学び、臨床現場で症例を通して臨床実習指導者の下、理学療法を行う。
概 要	第 3 学年次の理学療法評価学実習の延長として、臨床現場 2 箇所各現場にて 8 週間ずつ実習。臨床実習指導者の指導の下、理学療法評価に基づく理学療法プログラムを立案した上でそのプログラムを実際に行ってみる。総合臨床実習でも積極的にクリニカル・クラークシップを導入する。
到達目標	総合臨床実習では臨床実習指導者の指導の下、患者（対象者）に対して評価に基づく理学療法を実際に行う。臨床実習指導者が、患者（対象者）のニーズを満たすものであると認めるレベルの理学療法を展開できるようになる。

表 4. 平成21年度臨床実習の活動状況

臨床実習の種類	実習期間と実習施設
見 学 実 習	第1学年次 5日間（オリエンテーション、レポート作成を含む） 実習場所：兵庫医科大学病院 兵庫医科大学篠山病院リハビリテーションセンター
初 期 臨 床 実 習	第2学年次 5日間（オリエンテーション、レポート作成を含む） 実習場所：兵庫県立総合リハビリテーションセンター（中央病院、特別養護老人ホーム、職業能力開発施設、身体障害者更生施設、肢体不自由児療護施設など） JICA 兵庫、人と防災未来センター
理学療法評価学実習	第3学年次 2週間を1回 平成21年9月28日～平成21年10月10日 または 平成21年10月12日～平成21年10月24日 実習場所：兵庫医科大学病院、兵庫医科大学ささやま医療センター他16施設
総 合 臨 床 実 習	第3または4学年次 8週間を2回 平成22年1月11日～平成22年3月6日 または 平成22年4月5日～平成23年5月29日 または 平成22年6月7日～平成22年7月31日 実習場所：兵庫医科大学病院、兵庫医科大学ささやま医療センター他32施設

## 2) 学生支援

理学療法学科の休学者、退学者については、平成20年度休学者2名、21年度休学者2名、退学者2名であった。これらの学生に対しては、休学、退学前に学生本人、保護者と教員が密な連絡を取り対応した（表6～7. 作業療法学科と一括して表示）。

## 3) 補習・補充教育の体制

平成22年1月から総合臨床実習が行われているが、この期に実習へ行っていない学生に対し、各教員が学生に合わせた補習を行い、次年度4月からの総合臨床実習に備えた。

## (2) 作業療法学科

### 1) 教育課程

作業療法学科の教育課程は、本学の教育理念及び学部・学科の教育目的を踏まえ、基礎分野・専門基礎分野・専門分野の3分野で構成されている（必修95科目122単位、選択26科目10単位以上、自由4科目5単位、卒業要件132単位）。平成20年度を経て21年度は、第1～3学年次生に対して、必修87科目、選択20科目、自由5科目が提供された。平成20年度を経て21年度の授業は、教育課程に則り第1～3学年次生に対し実施した。学内授業では、引き続き非常勤講師を招聘し講義内容を深めるとともに、近隣施設で授業成果を実践する試みも行った。

### 2) 臨床実習

平成20・21年度に実施された臨床実習の概略は、表5. の通りである。

表 5. 作業療法学科 臨床実習

実習科目	実習領域および施設	単位数	実習時期
見学実習 (理学療法学科) (と合同で実施)	兵庫医科大学病院 兵庫医科大学篠山病院	1 単位	第 1 学年次前期
初期臨床実習	・身体障害領域 平成20年度 29施設 平成21年度 26施設 ・発達障害・老年期障害領域 平成20年度 12施設 平成21年度 21施設 ・精神障害領域 平成20年度 17施設 平成21年度 17施設  ※兵庫医科大学病院、兵庫医科大学篠山病院を含む	1 単位	第 1 学年次後期 (2 日間×3 期)
評価実習・ 地域臨床実習	・身体障害・発達障害領域 平成21年度 30施設 ・老年期障害領域 平成21年度 24施設 ・精神障害領域 平成21年度 23施設  ※兵庫医科大学病院、兵庫医科大学篠山病院を含む	6 単位	第 3 学年次後期 (2 週間×3 期)
総合 臨床実習Ⅰ (身体)	・身体障害・発達障害・老年期障害領域 平成21・22年度 26施設 (予定)  ※兵庫医科大学病院、兵庫医科大学篠山病院を含む	8 単位	第 3 学年次後期～ 第 4 学年次前期 (8 週間)
総合 臨床実習Ⅱ (精神)	・精神障害領域 平成21・22年度 28施設 (予定)  ※兵庫医科大学病院を含む	8 単位	第 3 学年次後期～ 第 4 学年次前期 (8 週間)

第 1 学年次「見学実習」と「初期臨床実習」は、例年通り、平成20・21年度とも実施された。いずれも実習施設との連絡を密に行い、発生した課題については早期の検討・解決を図る様に努めているところである。

また、平成21年度からは、第 3 学年次後期「評価実習・地域臨床実習」、ならびに第 3 学年次後期～第 4 学年次前期「総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ」の第 1 期が開始された。これらの実習は、学生にとって、授業で学んだ知識と技術を実践し、医療人としての自覚を高めるための非常に重要な機会である。したがって、作業療法学科では、実習前後の教育体制として、以下の対応を行った。

- ・実習開始前に、臨床場面を想定した評価技術試験を行った。
- ・教員が全ての実習施設を各期 1 回以上訪問し、臨床実習指導者との関係を密にし、実習の状況を詳細に把握した。
- ・評価実習・地域臨床実習に関し、実習指導者による評定値が低かった学生に対して、実習終了後に個別指導を行った。
- ・総合臨床実習に関しては、当該学生の約 3 分の 1 の学生が実習期間を大学で過ごすことになる

ため、その期間の自己学習について定期的に指導を行った。

### 3) 進級関連

平成20年度は休学1名（第2学年次）、退学3名（第1学年次）であった。内3名は進路に関する問題に起因していた。その結果、進級者は各々43名、37名であった。平成20年度進級認定者等の状況については表6. に示す。

平成21年度では、休学2名（第3学年次2名）、退学1名（第2学年次）、この他に同学年に留まった学生8名（第3学年次2名、第2学年次1名、第1学年次5名）であった。その結果、進級者は各々39名、36名、50名であった。平成21年度進級認定者等の状況については表7. に示す。

同学年に留まった8名に関して、その原因分析と今後の状況把握を重要視している。また、休学者、長期欠席者とは、本人と、それが困難な場合には家族と、教員が連絡をとり合い、復学へと導くよう努めている。今後この支援体制を強化していく。

表6. 平成20年度進級認定数等

学部・学科	学年	学生数	進級者	留年者	退学者	除籍者
リハビリテーション学部 理学療法学科	1	40	38	2	0	0
	2	41	40	1	0	0
リハビリテーション学部 作業療法学科	1	40	37	0	3	0
	2	44	43	1	0	0
計		165	158	4	3	0

表7. 平成21年度進級認定数等

学部・学科	学年	学生数	進級者	留年者	退学者	除籍者
リハビリテーション学部 理学療法学科	1	48	45	2	1	0
	2	39	36	1	2	0
	3	40	40	0	0	0
リハビリテーション学部 作業療法学科	1	55	50	5	0	0
	2	38	36	1	1	0
	3	43	39	4	0	0
計		263	246	13	4	0

### v) 広報活動

平成20年度には21校、平成21年度には28校の高等学校に対して、リハビリテーション学部教員による校内ガイダンスや模擬授業を行った（表8～9.）。特に平成21年度には、職業理解の早期促進を目的として、1年生を対象とした活動が増加している。

表8. 平成20年度校内ガイダンス・模擬授業等一覧

	高 校 名	実施日	種 別
1	大阪府立三島高等学校	2008/7/7	分野理解
2	兵庫県立須磨友が丘高等学校	2008/7/10	学部学科分野理解
3	兵庫県立明石高等学校	2008/7/14	模擬授業
4	兵庫県立尼崎稲園高等学校	2008/9/22	分野職業理解



	高 校 名	実施日	種 別
5	園田学園高等学校	2008/10/21	職業理解
6	兵庫県立明石清水高等学校	2008/10/24	学部学科理解
7	兵庫県立篠山鳳鳴高等学校	2008/10/29	学部学科分野理解
8	兵庫県立太子高等学校	2008/10/31	学部学科分野理解
9	兵庫県立赤穂高等学校	2008/11/4	模擬講義
10	大阪府立香里丘高等学校	2008/11/5	学部学科分野理解
11	兵庫県立伊川谷高等学校	2008/11/17	職業理解（クラス単位）
12	兵庫県立高砂南高等学校	2008/12/1	学部学科分野理解
13	兵庫県立播磨南高等学校	2008/12/15	系統説明
14	神戸野田高等学校	2008/12/15	系統説明
15	尼崎市立尼崎高等学校	2008/12/16	学部学科分野理解
16	園田学園高等学校	2008/12/17	模擬授業
17	兵庫県立三田西陵高等学校	2008/12/19	学部学科分野理解
18	神戸学院大学付属高等学校	2009/1/21	学部学科分野理解
19	兵庫県立社高等学校	2009/3/6	模擬授業
20	兵庫県立尼崎高等学校	2009/3/9	系統説明
21	兵庫県立津名高等学校	2009/3/11	系統説明

表 9. 平成21年度校内ガイダンス・模擬授業等一覧

	高 校 名	実施日	種 別
1	大阪府立三島高等学校	2009/6/18	2年生/リハビリテーション分野別
2	大阪府立豊島高等学校	2009/7/2	2年生/リハビリテーション分野別
3	兵庫県立御影高等学校	2009/7/8	1年生/リハビリテーション分野別
4	兵庫県立須磨友が丘高等学校	2009/7/9	2年生/リハビリテーション分野別
5	兵庫県立明石高等学校	2009/7/13	模擬授業/2年生
6	兵庫県立東播磨高等学校	2009/7/13	2年生/リハビリテーション分野別
7	大阪府立山田高等学校	2009/7/14	2年生/リハビリテーション分野別
8	兵庫県立香寺高等学校	2009/7/15	2年生/リハビリテーション分野別
9	兵庫県立上郡高等学校	2009/7/16	2年生/リハビリテーション分野別
10	兵庫県立太子高等学校	2009/9/25	模擬授業/2年生
11	兵庫県立尼崎稲園高等学校	2009/9/28	1年生/リハビリテーション分野別
12	大阪府立吹田東高等学校	2009/10/1	模擬授業/1年生
13	兵庫県立網干高等学校	2009/10/2	2年生/リハビリテーション分野別
14	兵庫県立須磨友が丘高等学校	2009/10/2	1年生/リハビリテーション分野別
15	兵庫県立明石高等学校	2009/10/7	1年生/リハビリテーション分野別
16	兵庫県立明石北高等学校	2009/10/8	リハビリテーション分野別
17	樟蔭高等学校	2009/10/29	2年生/リハビリテーション分野別
18	兵庫県立赤穂高等学校	2009/11/17	2年生/リハビリテーション分野別
19	神戸学院大学附属高等学校	2009/12/9	2年生/リハビリテーション分野別

	高 校 名	実施日	種 別
20	園田学園高等学校	2009/12/16	模擬授業/2年生
21	兵庫県立三田西陵高等学校	2009/12/16	2年生/リハビリテーション分野別
22	兵庫県立川西明峰高等学校	2010/2/3	模擬授業/2年生/1年生
23	兵庫県立高砂南高等学校	2010/2/8	模擬授業/1年生
24	兵庫県立篠山鳳鳴高等学校	2010/2/17	1年生/リハビリテーション分野別
25	兵庫県立明石南高等学校	2010/2/22	1年生/リハビリテーション分野別
26	兵庫県立福崎高等学校	2010/3/10	2年生/リハビリテーション分野別
27	兵庫県立舞子高等学校	2010/3/10	模擬授業/1年生
28	兵庫県立西脇高等学校	2010/3/10	2年生/リハビリテーション分野別

さらにリハビリテーション学部では、高大連携活動の一環として、兵庫県立伊丹西高等学校との連携講座を、平成21年度より開始した（実施日：平成21年10月20日）。対象は、同校の「総合ヒューマン類型コース（看護・医療・福祉・保育に係る大学・専門学校への進学を目指すコース）」を選択する1年生である。平成21年度は、本学の実習室などを会場に、理学療法・作業療法に関するガイダンス、体験実習、模擬講義などの機会を提供した。

本講座は、高校生活における学習意欲の向上や将来の目標設定への一助になるものと期待される。次年度以降も、対象学年の拡大や内容の充実を図りながら、継続して開催する予定である。

## vi) 研究活動

### (1) 研究費の取得状況

#### 1) 科学研究費補助金

リハビリテーション学部における科学研究費補助金は、平成20年度では3件、総額4,830,000円、21年度には3件、総額2,820,000円が採択された。詳細については、2. 研究施設の活動状況 7) 学外研究費の取得一覧の項（106頁、表1～2. 参照）に掲載する。

#### 2) 厚生労働省科学研究費補助金

平成21年度における厚生労働省科学研究費補助金は、1件、総額600,000円が採択された。詳細については、7) 学外研究費の取得一覧の項（109頁、表3. 参照）に掲載する。

### (2) 研究セミナーの活動状況

本学におけるリハビリテーション学部教員の教育・研究能力の向上及び、情報交換を行い教員の交流を深めるため、医療大学研究セミナーに参加した。平成20年度は第6回2名、第9回1名が、3テーマを発表した。21年度では第13回において1テーマを発表している。詳細は、2. 研究施設の活動状況 6) 兵庫医療大学研究セミナーの項（103頁、表1～2. 参照）に掲載する。

#### 4) 共通教育センター

##### i) 共通教育センターの概要及び方針

兵庫医療大学は平成19年4月、薬学部医療薬学科、看護学部看護学科、リハビリテーション学部理学療法学科及び作業療法学科の3学部4学科で開学したが、これに伴い各学科における幅広い教養教育及び本学の中心的理念であるボーダレスな教育体制を支える目的で共通教育センターが設立された。平成20年度より第2代センター長として末廣謙教授が就任した。

当共通教育センターでは、医療人としての基礎的な教育とともに、大学生としての基本的な能力、いわゆる学士力の養成を担うべく、①大学生にふさわしい勉強法を学び、②医療現場をできる限り早期に体験し将来への動機づけを高め、③正しい知識や情報収集と選択力を身につけ、④総合的な判断力や⑤情報を発信する能力を涵養する教育に取り組んでいる。そしてこれらの項目を達成するために、各教科のなかで学士力のどの要素を重点的に教育するかの目標を明確に定め、基礎科目を中心とした講義だけではなく第1学年次対象のチュートリアル教育や早期臨床体験実習の計画、実施にも当たっている。

##### ii) 教員組織

表1. 平成20・21年度共通教育センター専任教員一覧

職位	氏名	主な担当教科	着任年月日
教授	末廣 謙	医療科学概論、内科学、疾病治療論	平成19年4月1日
教授	磯 博行	心理学、行動科学、人間発達学	平成19年4月1日
教授	磯部 孝彦	化学、有機化学、基礎実習	平成19年4月1日
教授	伊東 久男	生物学、形態機能学、解剖学実習	平成19年4月1日
教授	秦 正哲	英語発音、英文読解、英語文法	平成19年4月1日
教授	藤田 幸久	化学、物理化学	平成19年4月1日
講師	加藤 精一	情報科学、応用情報科学	平成19年4月1日
講師	賀屋 光晴	スポーツ健康科学、体育科学理論・実習	平成19年4月1日
講師	紀平 知樹	生命・医療倫理学、哲学、倫理学	平成21年4月1日
講師	高木 範子	英語発音、英文読解、英語文法	平成19年4月1日

##### iii) 教育活動

共通教育センターでは、全学部の基礎分野の科目を中心に担当している。科目内容は、英語、国語表現、数学、第2外国語、情報科学、体育、音楽、美術から哲学、社会学、人間発達学、カウンセリング論など多岐にわたっている。さらに生物学、化学、物理学、解剖学、行動科学、医療科学概論などの専門基礎分野の科目も担当している。

授業は主に第1学年次生が対象であり、センター長はじめ共通教育センターの専任教員と多数の非常勤講師がこれらを担当した。

##### (1) 医療科学概論・チーム医療概論（末廣謙教授）

本学における教育理念の根幹をなすボーダレスな教育として最も特徴的なのは全学部学生を対象とした医療科学概論である。表2. に示すように学長、副学長、各学部長を中心として総論的な系統講義を全学部第1学年次生が全員同時に受講し、その後小グループに分かれて講義内容に沿って定めら

れたテーマについてグループ討議を行った。討議の成果は、その後に設けられたグループ発表会において発表した。

講義の最後2回は兵庫医科大学病院において行われた早期臨床体験実習（Early Clinical Exposure ; ECE）のガイダンスを兼ねて、兵庫医科大学病院看護部の部長、副部長に出講を依頼し、兵庫医科大学病院の概要、実習に際しての心構え等についての講義を行った。

また、第2学年次生対象のチーム医療概論においては、チーム医療についての理念や歴史、実際についての講義を行い、グループ討論において学生がチーム医療を理解できるように努めている。

## (2) グループ討議及び発表テーマ

各グループには、①医療者としての心構え、②先進医療、③医療の倫理、④疾病構造の変化、⑤医療のありかた、⑥高齢社会と医療、⑦感染症の制御、⑧健康生活支援等について5分間の発表の後、担当教員や他の学生からの質疑を行った。学生には各テーマについての理解を深める意義はあったものと考えられる。

表2. 医療科学概論

回	講義・実習内容	担当教員
1回	医療専門職を目指すにあたって	松田 暉
2回	健康生活支援	佐藤 禮子
3回	医療の歴史	松田 暉
4回	医療システムと保険医療制度	末廣 謙
5回	チーム医療	末廣 謙
6回	医療安全	末廣 謙
7回	感染症との闘いと薬	西原 力
8回	高齢者ケアシステムとリハビリテーション	土肥 信之
9回	先進医療と生命倫理	松田 暉
10回	チュートリアル教育について	磯 博行
11回	チュートリアル	末廣 謙（オーガナイザー）
12回	チュートリアル	末廣 謙（オーガナイザー）
13回	チュートリアル	末廣 謙（オーガナイザー）
14回	チュートリアル発表会	末廣 謙（オーガナイザー）
15回	チュートリアル	末廣 謙（オーガナイザー）
16回	チュートリアル	末廣 謙（オーガナイザー）
17回	総括	松田 暉、末廣 謙
18回	兵庫医大病院について	山田 繁代
19回	早期臨床体験実習（兵庫医科大学病院）	末廣 謙（オーガナイザー）
20回	早期臨床体験実習（兵庫医科大学病院）	末廣 謙（オーガナイザー）
21回	早期臨床体験実習（兵庫医科大学病院）	末廣 謙（オーガナイザー）
22回	早期臨床体験実習（兵庫医科大学病院）	末廣 謙（オーガナイザー）
23回	早期臨床体験実習（兵庫医科大学病院）	末廣 謙（オーガナイザー）
24回	グループ発表	末廣 謙（オーガナイザー）
25回	医学部との合同チュートリアル	末廣 謙（オーガナイザー）
26回	医学部との合同チュートリアル	末廣 謙（オーガナイザー）

### (3) 早期臨床体験実習 (Early Clinical Exposure ; ECE) (末廣謙教授)

この教育企画は、早期に医療の実際に直接触れ医療者としての自覚を培い、勉学のモチベーションを高めることを目標とし、3学部学生が混合グループを編成し合同で実施した。本学における教育のキーワードは現代医療の中心でもある「チーム医療」で、すぐれた医療者を育成するためにボーダーレスな教育の実施を目指しているが、ECE はまさにこの実践であり、また第1学年次よりこの様に大規模な臨床体験ができることは兵庫医科大学を母体とした本学ならではの企画であった。表3. に平成21年度 ECE 全体日程表 (Group1～Group80) を示す。

実習は、病棟実習と病院施設見学を各1日ずつとし、学生を80グループに分け4日間で行った。病棟実習では学生一人に対して病棟の看護師が一人対応する方式でわずか1日ではあったが、医療の基本である病棟業務を体験した。また、病院施設見学では、薬剤部及びリハビリテーション部でそれぞれ1時間ずつ担当職員から大学病院中央部門の概略についての説明を受けて施設を見学し、残りの時間でグループ毎に放射線部、PET センター、地域連携センター、栄養部など中央診療施設の見学を行った。この実習は、兵庫医療大学に入学して初めて白衣を身につけ、3学部合同で病院実習を行ったことで学生たちには今後の勉学を方向付けるよい成果があったと思われる。

表3. 平成21年度 ECE 全体日程表 (Group1～Group80)

	8月3日 (月)	8月4日 (火)	8月5日 (水)	8月6日 (木)	8月7日 (金)	8月10日 (月)
9:00—16:00 病棟見学	—	1a～10b	11a～20b	21a～30b	31a～40b	グループ発表 9:00～16:00  兵庫医療大学 (オクタホール)
9:00—9:30 病院の説明	1a～5b	11a～15b	21a～25b	31a～35b	—	
9:30—10:30 施設見学	1a～3a 薬剤 3b～5b リハ	11a～13a 薬剤 13b～15b リハ	21a～23a 薬剤 23b～25b リハ	31a～33a 薬剤 33b～35b リハ	—	
10:30—11:30 施設見学	3b～5b 薬剤 1a～3a リハ	13b～15b 薬剤 11a～13a リハ	23b～25b 薬剤 21a～23a リハ	33b～35b 薬剤 31a～33a リハ	—	
13:00—13:30 病院の説明	6a～10b	16a～20b	26a～30b	36a～40b	—	
13:30—14:30 施設見学	6a～8a 薬剤 8b～10b リハ	16a～18a 薬剤 18b～20b リハ	26a～28a 薬剤 28b～30b リハ	36a～38a 薬剤 38b～40b リハ	—	
14:30—15:30 施設見学	8b～10b 薬剤 6a～8a リハ	18b～20b 薬剤 16a～18a リハ	28b～30b 薬剤 26a～28a リハ	38b～40b 薬剤 36a～38a リハ	—	



表 4. チーム医療概論

回	講義・実習内容	担当教員
1 回	チーム医療について	松田 暉
2 回	チーム医療としての感染制御	竹末 芳生
3 回	チーム医療と薬剤師	八野 芳己
4 回	栄養サポートチーム	福田 能啓
5 回	リハビリテーションにおけるチーム医療	土肥 信之
6 回	看護におけるチーム医療	土居 洋子
7 回	チーム医療に関するグループ討議 (1)	末廣 謙
8 回	チーム医療に関するグループ討議 (2)	末廣 謙

#### (4) 内科学Ⅰ、内科学Ⅱ、疾病治療論Ⅰ、疾病治療論Ⅱ（末廣謙教授）

疾病治療論Ⅰでは、看護学部第2学年次対象で前期30時間。内科系各疾患について、解剖学、生理学など基礎医学的事項に基づいた病因、病態生理を理解し疾病に的確に対応する知識と技量について学習することを教育目標として開講した。教科書は奈良信雄編：「ナースの内科学」（中外医学社）を用いて解説を加え、学期末の筆記試験により成績を評価し、合格した者に2単位を付与した。

疾病治療論Ⅲでは、看護学部第2学年次対象で前期30時間のうち、リハビリテーション学部湖海正尋教授担当の精神医学領域以外の16時間を老年医学として末廣が担当した。教育目標は老化現象、老化に伴う精神機能の変化についての基礎的知識、及び高齢者に特有な病態に関する事項についての学習であった。学期末の筆記試験により成績を評価し、合格した者に2単位を付与した。

内科学Ⅰでは、リハビリテーション学部理学療法学科及び作業療法学科第2学年次対象で前期30時間。リハビリテーションの実施にあたって必要な医学一般の基礎的事項について、内科学総論を通じて学説し学習することを教育目標とした。教科書として寺野彰、菅谷仁編：「シンプル内科学」（南江堂）を採用した。学期末の筆記試験により成績を評価し、合格した者に1単位を付与した。

内科学Ⅱでは、リハビリテーション学部理学療法学科及び作業療法学科第2学年次対象で後期30時間。リハビリテーションの実施にあたって必要な医学一般の基礎的事項を内科疾患の各論を通じて概説し学習することを教育目標とした。教科書として寺野彰、菅谷仁編：「シンプル内科学」（南江堂）を採用した。学期末の筆記試験により成績を評価し、合格した者に1単位を付与した。

#### (5) 化学、物理化学Ⅰ、化学基礎実習（藤田幸久教授）

基礎科目「化学」（薬学部第1学年次前期）の担当に当たって、薬学コアカリキュラムの内容を十分に検討し、薬学専門教育のための導入教育にふさわしい講義用テキスト（ページ数81）を作成した。講義は作成したテキストに基づいて進め、講義毎に当日の重要課題を「小テスト」として実施して、学生の理解とその整理を助けるように務めた。

また、薬学部専門科目「物理化学Ⅰ（化学熱力学）」を担当し、教科書として「化学熱力学中心の基礎物理化学」（杉原剛介、井上亨、秋貞英雄（著）、学術図書出版）を使用した。より基礎的な項目は、適時講義用資料を作成して配布した。また講義毎に当日の重要課題を「小テスト」として実施して、学生の理解とその整理を助けるように務めた。

化学基礎実習（薬学部 第1学年次）のうち実習項目「天秤を用いた基本操作の習得」を担当した。薬学部学生に、化学実験において最も基本的な操作である「電子分析天秤」と「マイクロピペッター」の正しい使用法を習得させるために実習教育を行った。

また、実験データの解析法として、算術平均、標準偏差、分散あるいはヒストグラムの作成などの統計処理法の指導も行った。

#### (6) 心理学、人間発達学、行動科学（臨床心理学を含む）（磯博行教授）

「心理学」は、第1学年次前期に開講（薬学部とリハビリテーション学部は必修科目、看護学部は選択科目）、また「人間発達学」は第1学年次後期に開講（リハビリテーション学部は必修科目、薬学部と看護学部は選択科目）している。

「行動科学（臨床心理学を含む）」は、薬学部では第1学年次後期に必須科目として、またリハビリテーション学部と看護学部では第2学年次前期に開講している。薬学部とリハビリテーション学部は必修科目、看護学部では選択科目となっている。本学のモットーである「ボーダレス」、「チーム医療」という言葉を体現するよう、全学部生が一堂に会して講義を受けるよう配慮している。

これらの3科目は、学期、学年の進行とともに内容は応用的となり、また相互に関連している。まず「心理学」において、知覚、学習、記憶、認知、発達、人格、社会など、人間の基本的な能力や行動様式について学ぶ。さらに、第1学年次後期もしくは第2学年次前期の「行動科学（臨床心理学を含む）」は「心理学」のアドバンスドコースである。

「行動科学」分野では、「心理学」で学んだ基本を元に個人が社会に適応して、うまく、良く生きて行くための方法について学ぶ。さらに「臨床心理学」分野は兵庫医科大学臨床心理部長を経験した大和田健夫非常勤講師が担当し、臨床現場での患者の心理について学ぶ。

また、「人間発達学」は人の一生をたどる心理学である。幼児期、青年期、成人期、老年期と人はいかにどのように精神的に成長をとげるのか、個体発生と系統発生から考察する。「人間発達学」の後半には高齢者の諸問題についてグループ学習を行い、仲間と議論し、意見をまとめる。

#### (7) 生物学入門、生物学、形態機能学、解剖学、解剖学実習（伊東久男教授）

前期は1週間あたり6～9コマ、後期は1週間あたり7コマの授業・実習を担当した。前期は、リハビリテーション学部第1学年次の「解剖学」と看護学部の「形態機能学1（運動器・神経系）」の講義を授業の準備から評価まで、すべて一人で担当した。またリハビリテーション学部第2学年次の「解剖学実習」において医学部担当の解剖学講座の教授を補佐し、医科大学での解剖実習や学内での顕微鏡実習を行った。さらに医学部第1学年次の「哺乳動物のからだ」の非常勤講師としてラットの解剖実習を担当した。後期は、薬学部第1学年次の「生物学」、リハビリテーション学部第1学年次の「解剖学」、看護学部第1学年次の「形態機能学2（循環器・内臓系）」の計4コマを、前期同様、準備から評価まで、すべて一人で担当した。これに加えて後期は、薬学部の「基礎実習」でマウスの解剖実習を毎週3コマ、11～12名の学生を対象に指導した。以下に本学における必修科目での授業への取り組みの概要を纏める。

薬学部の生物学は、生物系薬学の準備教育と位置づけ、マウスの解剖実習とリンクさせた解剖生理学的・実験動物学的内容に重点を置いて授業を組み立てた。また遺伝学、分子生物学や進化学などの幅広い生物学的話題にも言及した。

看護学部の形態機能学では、看護技術や病態理解のための準備教育として「正常な人間」を科学的に理解することを目的とし、視聴覚教材や模型を多用して学生の理解力向上に務めた。授業の終盤には学生を西宮に連れて行き、医学部の学生の解剖実習の様子を見学させ、互いの学部学生の交流を深めさせる企画も試みた。

リハビリテーション学部の解剖学は、専門科目の土台作りと位置づけ、運動器や神経系を中心として授業を組み立てた。模型や実物の標本をできる限り教材に取り入れるとともに、毎回演習問題を実

施・採点・返却し、学生の理解度の確認に務めた。

#### (8) 化学、有機化学Ⅰ、基礎実習（磯部孝彦教授）

前期は看護学部を選択科目の「化学」とリハビリテーション学部を選択必修科目の「化学」を同時限に講義を行った。「コ・メディカル領域の化学」を教科書として、内容に合わせ不足分はプリントを配布して講義資料とした。講義終了は15分前に当日の内容についての練習問題を解かせ、理解を深めるようにした。シラバスにあるように無機、物理、有機化学や放射線及び環境の問題にもふれている。

後期は薬学部の専門科目「有機化学Ⅰ」を1年目は「マクマリーの有機化学概説」、2年目は「ベーシック薬学教科書シリーズ5 有機化学」を用いて講義を行った。内容は混成軌道、アルカン、アルキンなどの炭化水素などの命名や反応、また、立体異性体のRS表示については分子模型やパソコンを用いて詳しく説明した。この講義でも講義終了は15分前には練習問題をさせ、理解を深めるようにした。

薬学部の「基礎実習」は週に1回となった。各テーマの担当者によって、やり方は統一していないが、基本的には1グループが1ないし2週で1テーマを完了することになっている。私が担当したテーマは「無機陽イオンの定性分析」でろ過、加熱、溶液の希釈などといった基本的技術の習得を目的とする実習であった。

#### (9) 英語科目（秦正哲教授）

「英文読解（異文化コミュニケーション）」の授業では、2000語レベルの英文を正確に理解する能力を習得すること、及び異文化コミュニケーションに関する理解を深めることを目標に定めた。英文要約や本文に関する英問英答等、英語の4技能を関連付けた総合的な読解演習を行った。さらに、英文読解能力を向上させるために英英辞典の使用法習得を目指した。

「英文読解（科学英語入門）」の授業では、2000語レベルの英文を正確に理解する能力を習得すること、及び科学分野における論理的展開法の基本について理解することを目標に定めた。英文要約や本文に関する英問英答等、英語の4技能を関連付けた総合的な読解演習を行った。さらに、英文読解能力を向上させるために英英辞典の使用法習得を目指した。

#### (10) 体育実技、体育科学理論（賀屋光晴講師）

体育実技は、平成20年度薬学部と看護学部には通年科目として、リハビリテーション学部には前期科目として開設され、ニチイ学館・神戸ポートアイランドセンターの体育館にて実施した。薬学部のA・BとC・Dは火曜日に、看護学部は水曜日に、そしてリハビリテーション学部は木曜日に授業を行った。授業に際しての大学とニチイ学館との往復には、それぞれ専用バスを利用した。平成21年度では、薬学部と看護学部には通年科目として、リハビリテーション学部には前期科目及び後期後半科目として開設され、G棟アリーナにて実施した。薬学部のA・BとC・Dは火曜日に、看護学部とリハビリテーション学部は水曜日に授業を行った。

それぞれのクラスは非常勤講師2名を含めた3名の教員で担当した。授業では最初の2週で体力測定を行い、その後クラスを3グループに分けてバレーボール、バドミントン、卓球を3週間ずつのローテーションにて実施した。後期種目はバスケットボール、ショートテニス、卓球として4週間ずつのローテーションとした。

平成20年度卓球選択となったグループは、1週目は卓球を行なったが、2週目はサウンドテーブルテニス、3週目はボッチャ、そして4週目は車椅子体験を行なった。また前期、後期とも最後の3週

はそれぞれの種目を自由選択させた。平成21年度卓球選択となったグループは、1・2週目は卓球を行なったが、3週目はサウンドテーブルテニス、4週目はバタックを行なった。また前期、後期とも最後の2週はそれぞれの種目を自由選択させ、また最終週には再び体力測定を行なった。

また、体育科学理論は、後期科目としてリハビリテーション学部と薬学部に開設され、健康・体力、運動と身体への反応、身体エネルギー代謝、筋収縮、トレーニング法、疲労・怪我とその対処法、スポーツマッサージとテーピング法などについての講義を行った。

#### (11) 情報科学（加藤精一講師）

大学における学習や情報化社会で情報を取り扱っていく上で必要な、情報機器による情報伝達手段、表現手法の基礎を身につけ、またこれら情報機器やインターネットの仕組みについて学ぶことを教育目標とした。具体的には教育用PCを用い、インターネットの仕組みやソフトウェアを利用する上で問題について実習を通じて理解させ、文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトウェアを複合的に利用してレポートの作成や報告ができるよう指導を行った。

#### (12) 英語科目（高木範子講師）

前期に「英語発音」（必修・3学部第1学年次生対象）及び「科学英語」（選択・看護学部第3学年次生・リハビリテーション学部第3学年次生対象）を開講し、後期に「英語文法」（必修・3学部第1学年次生対象）と「科学英語」（必修・薬学部第2学年次生対象）を開講した。

「英語発音」の授業では、視聴覚教材を活用して英語音声学理論の基礎を体系的に習得し、学んだ知識に基づいて、英語の運用能力を向上させることを目標とした。英語の音素、音声変化、アクセント、イントネーション等について学習した後、発音練習や聴解練習、スピーチ及びポスタープレゼンテーション等の演習を行った。

「英語文法」の授業では、実際のコミュニケーションの場面において英語文法が果たす機能に関する理解を深めるため、はじめに英語文法を体系的に習得し、その上で学んだ知識に基づいて、英語の運用能力を向上させる訓練を行った。

「科学英語」の授業では、医療に関する基礎レベルの英会話を聴き、また医療に関する基礎レベルの英文を読み、内容を正確に理解する能力を習得することを目標に定めた。また病気の症状を英語で伝える方法や尋ねる方法を学習した。

#### (13) 生命・医療倫理学、哲学、倫理学（紀平知樹講師）

「生命・医療倫理学」では、まず倫理学の基本的な概念の理解とある問題についての倫理的判断のあり方を学生が理解できるように説明を行っている。その後、生命医療倫理の基本となる生命倫理の四原則（自律尊重、善行、他者危害、正義）の概念について説明した。そして、医療行為の基本となる医療者－患者関係、及び健康・疾患、病気概念について説明した。これらの基本概念を踏まえた上で、安楽死、尊厳死、臓器移植などの現代社会において特に際立った倫理的問題に関する判断を学生自身が考えるようにしながら授業を行っている。

「哲学」では、哲学史の歴史に関する情報ではなく、むしろ問題を哲学的に考えるための思考法（クリティカル・シンキング）を学生が取得するようにしている。この思考法は、情報の信頼性を吟味することや、ある事柄の根拠になっているものが何かを明らかにするなど、学生が自主的に学習を行うにあたっても必要な能力である。

「倫理学」では、現代社会において登場してきた様々な倫理的問題を解説しながら、学生自身が倫理的なものの見方や判断力を身につけるように指導している。特に情報、生命、環境、経済の四つの



分野を取り上げながら、現代社会の特徴を解説しながら、その特徴と密接に関係している倫理的問題を取り上げ、視聴覚教材なども利用しながら授業を行っている。

#### (14) 共通教育センター実験室（G棟3階）（磯部孝彦教授）

ブラジル産生薬 Cipo cabeludo を材料にして、メタノール及びクロロホルムでの抽出、濃縮後シリカゲルカラムクロマトグラフィーによる分離の実験を行った。

### iv) 研究活動

#### (1) 研究費の取得状況

##### 1) 科学研究費補助金

共通教育センターにおける科学研究費補助金は、平成21年度では1件、総額700,000円が採択された。詳細は、2. 研究施設の活動状況 7) 外部研究費の取得一覧の項（108頁、表2. 参照）に掲載する。

##### 2) その他の研究補助金

科学技術振興機構の「企業研究者活用型基礎研究推進事業」は、企業の研究者が大学や公的研究機関などの場において研究を実施し、今後の発展が期待される基礎研究テーマに取り組むことで、企業研究者の研究活動の維持、大学等での基礎研究の推進を目的としており、平成21年度に1件総額6,026,000円が採択された。詳細は、7) 学外研究費の取得一覧の項（110頁、表4.）に掲載する。

### v) 社会貢献

共通教育センターにおける平成20・21年度の社会貢献の活動状況は、表5. に示す通りである。

表5. 社会貢献の活動状況

活動名	担当・講師	活動の概要
大阪府立池田高等学校、 学校協議会委員	教授 磯部 孝彦	高校の教育方針が適切かどうか、運営がうまく機能しているかどうかなどについて、高校側の報告や計画について意見を述べる。
4大連携・公開講座	講師 加藤 精一	介護に関する情報収集「インターネットにふれてみよう！」
世界天文年記念 世界同時七夕記念講演会	講師 加藤 精一	「ガリレオがみた宇宙」
最先端科学の体験型 学習講座（ELCAS）	講師 加藤 精一	京都大学における、高校生向け講座



## 5) 医療人育成センター

### i) 概 要

平成19年4月、医学、医療の進歩及び社会の変化に即応し、兵庫医療大学と兵庫医科大学が連携して医療専門職者の臨床教育を包括的に推進するために、学校法人兵庫医科大学連携協議会が設置された。同年に設置された医学・医療教育センターを前身とした医療人育成センターは、平成21年4月から西宮キャンパス内の総合研修棟（旧兵庫医科大学附属看護専門学校の校舎）を拠点に本格的に活動を開始した。

### ii) 活動内容

医療人育成センターは、職種間、卒前卒後の垣根を取り払い、ボーダレスな感覚で深い知恵と確実な技術、チーム医療の精神と高い倫理観を持った医療人を育成することを目的としている。

メンバーは、看護資格を有する専任職員3名と専任事務職員1名が在籍し、医師、看護師、薬剤師、リハビリテーション技師をはじめとする医療人とその学生を対象に、シミュレーション教育、スキルスラボの運営管理、医療大学と医科大学間の連携、卒前・卒後教育の連携、コミュニケーション教育、早期臨床体験実習、初任者研修などを通じて学校法人兵庫医科大学における医療人育成への幅広い取り組みを実施している。

### iii) スキルスラボの主な設備機器

- ・衛生的手洗実習設備 8 台
- ・電動ベッド 6 台
- ・イチロー人形（心音呼吸音学習）
- ・心肺蘇生実習用人形
- ・静脈注射皮下注射シミュレーター
- ・眼底診察シミュレーター
- ・直腸診シミュレーター
- ・内診シミュレーター
- ・沐浴人形など

### iv) 実習・研修の受入れ状況

表 1. 平成21年度施設利用者

利用施設名	利 用 者	備 考
兵庫医療大学学生	延べ 1,467名	
兵庫医療大教員	延べ 62名	
看護専門学校	延べ 121名	尼崎看護専門学校、 神戸看護専門学校
平成22年度看護師募集に係る病院見学者への施設紹介	延べ 83名	

## 6) 臨床薬学研修センター

### i) 概 要

臨床薬学研修センターは、実際の薬局・医療現場を模して作られた最新のトレーニングセンターである。臨床現場と同様に処方箋受付から調剤実務、処方解析、患者さんへの服薬指導などの実習が行える施設としてキャンパス内に設置されている。平成20年8月より内装工事並びに設備工事が行われ、10月中旬に完成し設置経費による設備品が設置され完成した。研修センター室内は大きく以下の4セクションに分かれている。

セクション1は「調剤トレーニングエリア」、「患者対応トレーニングエリア」で、処方箋受付から、錠剤監査、疑義照会、薬袋作成、固形剤・半固形剤・液剤などの内用・外用剤、レセプト作成等の実習、また薬剤受付に伴う患者対応の実践も行うエリアである。

セクション2は「無菌操作トレーニングエリア」で、無菌操作や製剤機器の使用法から注射剤、点眼剤、点鼻・点耳薬などの無菌調整及び滅菌法、栄養輸液剤、抗がん剤などの無菌的混合調整等の実習を行うエリアである。

セクション3は「薬品試験、TDM（血中薬物濃度測定）トレーニングエリア」等の医薬品の品質試験の実習を行うほか、薬品配合変化や薬物血中濃度測定試験などの実習を行うエリアである。

セクション4は「クリニカルトレーニングエリア」、「DI（医薬品情報）トレーニングエリア」で、薬剤情報提供の実習、処方解析（処方内容、意図の把握など）、薬歴評価等の実習を基に、病棟室、服薬指導室にて服薬指導の実習を行う。また、実際の医療現場により近い状況を作り出すため、本学が独自に養成しているSP（模擬患者）を対象にしたOSCE版実習を行うエリアである。平成20年度に設置した設備機器を表1.に示す。

表1. 臨床薬学研修センターにおける設備機器一覧

セクション1	
	分包機パックメイト（PN-SL21V） 6 台
	錠剤半切器（HP-TCH） 6 台
	薬袋発行機（IPSIO SP C810-ME）
	錠剤分包機（YS-TR-130FDX）
	散剤分包機（YS-93SR）
	薬用保冷库（MPR-414F）
	製氷機（FM-120F-50）
	小型自動分割包機（CPX-Ⅲ）
	集塵機付散薬調剤台（可動式 SPC-1200-1(G)-C） 6 台
	水剤台（可動式 SSW-1200-3-(G)-C） 6 台
	錠剤台（可動式 SLLT-1200-2-C） 6 台
	軟膏外用台（可動式 SSA-1200-1-C） 5 台
	注射薬用棚アンプル調剤台（特注 SSC-1200-1-C） 2 台
	予薬カート 2 台
	注射薬カート 2 台、他

セクション 2	
	安全キャビネット (SG-303-TK) 4 台
	クリーンベンチ (NCC-900D-TK) 12台
	手洗いユニット (NW-3000)
	可動式手洗い (NW60/60-S)、他
セクション 3	
	パーティクルカウンター (KL-04)
	電子天秤 (GH-300) 2 台
	乾燥パン型造粒機 DPZ-01R (1-6162-11)
	クリーンベンチ (VS-1906S)
	蒸留水製造装置 (PRB-002A 型)
	小型高速冷却遠心機 (M201-IVD)
	蛍光分光光度計
	分光光度計
	液体クロマトグラフ
	遠心分離機 (AX-310)
	遠心濃縮機 (CC-105)
	デジタル粘度計 (LVDV-1Prime)
	人工気象器
	検体・試薬保管用冷蔵庫 (RC-ME50)
	フレーム中央実験台 (2400×1EFW-405-24)、他
セクション 4	
	マルチメディカルチェアベッド (2 モータ SD-5500) 2 台
	血圧計 (TM2655VP-TM9325-T)
	臨床トレーニング用機器 電動循環式・上肢注射訓練模型 (M117-3台付) 3 台
	トレーニング用ロボット レサシアン・スキルレポータモデル (M161)
	レセプトシステム調剤メルフィン
	電子薬歴システム調剤メルフィン
	散薬監査システム (YS-PC-DX-SB) 5 台
	臨床薬学研修センター調剤実習室 PC システム
	HD 対応編集システム (カノーブス RXCD-M6TL)
	面談ブース (特注 可動式)、他

### 3. 研究施設の活動状況

#### 1) 先端医薬研究センター

##### i) 概 要

本センターは、医薬・医療に関する最先端の開発研究を行い、疾病の予防及び治療に寄与することを目的に、本学薬学部施設として設置され、平成19年秋から以下の2プロジェクト（研究室）が研究活動を開始した。なお、平成20年度研究報告会並びに招待講演会を下記の通り実施した。

##### ○先端医薬研究センター平成20年度研究報告会（第11回大学セミナー）

日 時：平成21年3月30日（月）15:00—16:30

場 所：M-114

第2研究室 『細胞・遺伝子治療薬の開発』

概要紹介：プロジェクトリーダー 教授 後藤章暢

研究報告：「泌尿器科癌に対する新規遺伝子治療法の開発を目指して」

センター員 助教 寺尾秀治

第1研究室 『新規認知症治療薬開発』

概要紹介：プロジェクトリーダー 教授 西崎知之

研究報告：「認知症治療剤創出を目指した創薬研究 ～高純度光学活性誘導体の選択合成～」

センター員 助手 清水 忠

##### ○先端医薬研究センターセミナー（招待講演）〈司会：後藤章暢 教授〉

日時：平成21年12月15日（火）17:30—18:30

場所：M-106

演者：樋口昌宏 教授（米国アーカンサス医科大学）

演題：ミトコンドリア変化による移転等のガン憎悪の誘導とそのメカニズム

##### ii) 研究概要

##### ○創薬探索研究室『新規認知症治療薬開発』プロジェクトリーダー 西崎知之 教授

西崎知之、田中明人、清水 忠、永田 徹、矢口貴博、菅野武史、馬淵美雪、稲垣美和

##### (1) 光学活性 DCP-LA 全合成

抗認知症を目指し合成された DCP-LA は従来ラセミ体で評価されてきた。しかし、現在ラセミ体は各光学活性体の混合物として評価されるため、一般にそのままでは創薬対象となりにくい。そのため、4種類の DCP-LA 光学活性体（ $\alpha$ 、 $\alpha$ 体、 $\alpha$ 、 $\beta$ 体、 $\beta$ 、 $\alpha$ 体、 $\beta$ 、 $\beta$ 体）をすべて分割合成し、高活性誘導体を同定し、当該光学活性体をもって具体的な創薬対象とする計画である。

DCP-LA は図1に構造式を示すようにシンプルな構造を有しているため、光学選択合成の足がかりとなる部分構造が無く、4種類の選択合成は困難を極めたが、Lipase を用いた酵素反応を用い実施し、高純度の光学活性誘導体の合成に成功した。現在、4種類の誘導体すべてに関する薬理評価（in vivo を含む）を行っている。

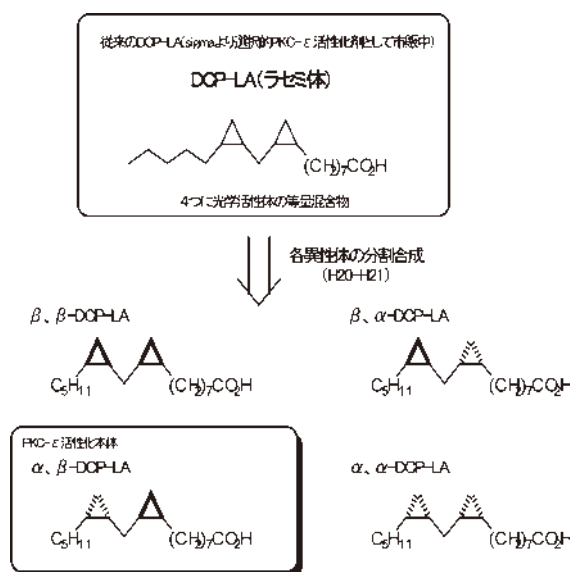


図1. DCP-LA の化学構造

## (2) DCP-LA ターゲット探索

現在、開発研究を継続するためには、ターゲットの同定および、合理的な薬理メカニズムが求められる。一方、DCP-LA を初めとする、不飽和脂肪酸およびその誘導体はこれまで直接創薬ターゲットとなることは少なく、そのターゲット探索の前例が少ない。また、DCP-LA は特に高い疎水的性質を有するため、投与後様々な器官やたんぱく質と相互作用を行うことが推定され、一般にターゲット同定が困難とされてきた。

アフィニティ樹脂は蛋白質や核酸などの親水的なりガンドのターゲット探索に多くの実用例があるが、一般医薬品のように疎水的な化合物では、1) 疎水性に基づく多量の特異的蛋白吸着の存在、2) 拮抗実験が実施できない、3) アフィニティ樹脂合成の困難性などが要因となり、これまでほとんど成功例が無いのが現状である。

今回、DCP-LA を独自開発アフィニティ樹脂用固相担体 AquaFirmus (つくば家田化学販売) に DCP-LA を固定化したアフィニティ樹脂を合成し、ラット脳から調整したライゼートを用いることにより、DCP-LA 特異的結合蛋白質 NSF の同定に成功した。

○先進医療探索研究室『細胞・遺伝子治療薬の開発』プロジェクトリーダー 後藤章暢 教授

新世代ウイルスベクターの開発ならびにベクター大量生産基盤技術の開発

後藤章暢、前田真貴子、寺尾秀治、ビシュヌ アチャラ、児玉知子、鈴木 透、日和佐一弘、和田義孝、小野義春、武中 篤

近年の分子生物学の進歩は目覚しく、その医療への応用も急速に進んでいる。本研究室では、21世紀の新しい治療法として大きな期待が集められている先端医療の臨床応用に向けた translational research として、様々な疾患に対する細胞、遺伝子治療に関する研究開発を中心に行っている。以下に主な業績を列記する。

- (1) トランスレーショナルリサーチとして、臓器特異性プロモーターを組み込んだ非増殖型アデノウイルスベクターを用いたホルモン抵抗性前立腺癌転移巣に対する遺伝子治療臨床研究の臨床データの解析を行い、QOL に関する有用性が確認された。同様の臨床研究を多施設共同研究として申請中である。
- (2) 遺伝子治療における抗腫瘍効果を高めるため、標的癌細胞において特異的に増殖能を有する制限増殖型アデノウイルスベクターを作製し、標的癌細胞に対する抗腫瘍効果の検討を行い、有意な成果が得られた。
- (3) 進行癌に対する遺伝子導入効率を向上させるため、ファイバー改変型アデノウイルスベクターを用いた遺伝子導入効率の向上の試み、膀胱癌細胞に対する抗腫瘍効果の有用性が認められた。
- (4) 非特異的免疫能を有する  $\gamma\delta$  T 細胞を *ex vivo* で大量培養し、標的癌細胞に対する抗腫瘍効果を検討し、臨床試験に応用可能な結果を得た。
- (5) マウスに対し遺伝子治療を行い、同時に2つのトレーサー（フッ素18標識フルオロデオキシグルコース（ $[18F]$ FDG）及びフッ素18で標識したグアニン誘導体（ $[18F]$ FHBG）を用いた PET を施行することで、現在最終結果を解析しているが、予備実験では PET を用いた遺伝子治療における治療効果と遺伝子導入効率の評価システムの開発につながる結果が認められた。
- (6) 腎臓癌患者から得た手術検体を用いてプロテオーム解析を行うことで、腎臓癌に対する新規腫瘍マーカー候補となり得る物質の探索を行い、数種の候補物質が確認された。現在健常者の検体での比較を行い、最終的な新規腫瘍マーカーの選定に取り組んでいる。
- (7) 神戸医療産業都市構想と連携し、産学官連携による地域産業界及び兵庫医科大学先端医学研究所の連携による細胞治療製剤プロセッシングシステム開発にむけた細胞培養における最適条件の設定などのソフト面の基礎研究を行い、次世代 CPC に応用可能な結果を得ている。



## 2) 共同機器室

### 概 要

本学の研究・教育活動を推進するための共同利用施設として、高度な研究機器を配した共同機器室がG棟に設置されている。これまでに核磁気共鳴装置やフローサイトメーターをはじめとする研究機器が導入され、ライフサイエンスを広くカバーする研究環境の整備が着実に進められている。

共同機器室は研究活動の場を提供するばかりでなく、本学研究者の活発な交流や次世代の医療科学を担う学生の教育にも重要な役割を担うことが期待されている。共同機器室の管理・運営は共同機器室運営委員会と共同機器室利用者が連携してこれにあたっている。

平成20・21年度に設置した研究設備機器を表1. に示す。

表1. 共同機器室研究設備機器一覧（平成22年3月31日現在）

共同機器室 1	
	超伝導フーリエ変換核磁気共鳴装置 (NMR)
	・ NMR system PS600 型 (600MHz) (Varian 社)
	・ JNM-ECX400PKS 型 (400MHz) (日本電子株)
共同機器室 2	
	・ 生体成分相互作用解析装置 Biacore3000システム (Biacore 社)
共同機器室 3	
	・ 共焦点レーザー顕微鏡 FV1000-D (オリンパス社)
	・ 正立蛍光顕微鏡 BX51-FL (オリンパス)
	・ Ca <sup>2+</sup> イメージング装置 Fura2レシオイメージングシステム (浜松フォトニクス社)
	・ フローサイトメーター FACS Aria II (ベクトンディッキンソン社)
	・ P2実験室 (細胞)
共同機器室 4	
	・ サーマルサイクラー PCR system 9700 (Applied Biosystems 社)
	・ Real Time PCR Step One Plus-01 (Applied Biosystems 社)
	・ レーザースキャナ型イメージアナライザー Typhoon Trio (GE 社)
	・ CCD カメラ型イメージアナライザー Image Quant 400 (GE 社)
	・ 卓上超遠心機 Optima Max-XP (ベックマン社)
	・ 高速冷却遠心機 Avanti HP-30I (ベックマン社)
	・ 多本架け冷却遠心機 CF12RX (日立工機社)
	・ 倒立ルーチン顕微鏡 CKX41 (オリンパス社)
	・ 実体顕微鏡 SZ61 (オリンパス社)、SZX10 (オリンパス社)
	・ 振動刃ミクロトーム VT1200S (ライカ社)
	・ ポリトロンホモジナイザー PT3100/PT1200E (kinematica 社)
	・ 超音波破碎装置 Model 250D-Advanced (Branson 社)
	・ 遺伝子導入装置 Xcell コンプリートシステム (バイオラッド社)

共同機器室 5	
	・超低温フリーザー（-80℃）MDF-U383（三洋電機社）低温室 P2実験室（微生物）
	・液体窒素製造装置 elan2（MMR technologies 社）
共同機器室 6	
	・超高精度 LC-MS MSシステム ESI-Q TOF/LC-MSシステム（ブルカーダルトロニクス社）
	・高速液体クロマトグラフ・三次元分析システム LaChrom Elite 三次元分析システム（日立ハイテク社）
	・高速液体クロマトグラフ・分取分析用システム LaChrom Elite 分取分析用システム（日立ハイテク社） *紫外吸収検出器セットと示差屈折検出器セットの2セット
	・フーリエ変換赤外分光光度計 FT/IR-4100（日本分光社）
	・旋光度計 P-2100（日本分光社）
	・吸光/蛍光プレートリーダー SpectraMax M2e（Molecular Devices 社）
	・発光プレートリーダー SpectraMax L Dual Injectors（Molecular Devices 社）
	・ウルトラマイクロ天秤 XP26（メトラートレド社）
	・（バス、減圧ポンプ、冷却水循環装置付き）R-210V（ビュッヒ社）
	・接触還元装置（水素発生装置付き）CH-100（石井理化機器）

### 3) 動物実験センター

#### i) 概 要

本センターは、動物愛護管理法、実験動物飼養保管基準及び動物実験基本指針を厳密に遵守し、適正な実験動物の飼養と動物実験を行うための支援的機能をもつ施設として運営されている。実験動物学を科学的基盤とした薬理学的実験、生理機能実験、行動実験などのバイオサイエンス研究を行う研究者に利用されており、疾病の病態解明や難病の治療法開発などを支援している。

- ・実験動物の飼養（保管）届出済証 第08-01号（神戸市保健所）
- ・特定外来生物飼養 許可番号09000064（近畿地方環境事務所）
- ・公私立大学実験動物施設協議会会員

#### ii) 活動実績

平成20・21年度における動物実験センター及び動物実験センター運営委員会の活動実績について、以下の表1～4. に示す。

表1. 平成20・21年度活動実績

実施年月		活 動 事 項
平成20年度	4月	自動給水装置、自動洗浄装置、飼育ラック、飼育ケージの設置、動物実験用備品アンケート実施 洗濯乾燥機設置に伴うガス管等の配管工事終了
	5月	動物実験用備品アンケート集計・購入備品案決定
	6月	動物実験センター規程施行 動物実験センター運営委員会規程施行 動物実験センター監査（神戸市保健所） 実験動物の飼養（保管）届出済証受領
	7月	動物実験センター運営委員会発足 センター長に山本悟史教授（薬学部）が就任 実験動物管理者に伊東久男教授（共通教育センター）が就任 田中リーダー（管理・運営グループ 動物実験センター担当）着任
	8月	飼養者に加藤氏（株ケーエーシーより派遣）着任 実験用備品搬入開始 SPFエリアに昆虫（スズメバチ、ゲジ）の侵入を確認、ボイラー室に昆虫（アリ）の侵入を確認、防虫トラップの設置依頼 時限機能付き照明装置の動作不良を確認、調整を依頼 ケージウォッシャーの動作不良を確認、調整を依頼 パーティションの隙間を確認、工事依頼
	9月	排気口防虫トラップ設置工事終了 ネズミ返し設置工事終了 局所排気装置設置工事終了 センター内の燻蒸消毒終了 飼育用備品・センター運営に関する備品の搬入開始 飼育設備動作トライアル開始（自動給水、電気系統等の動作確認）
	10月	動物実験センター利用手引の立案・作成 飼育設備動作トライアル終了 共同機器室5（G211）（感染動物エリア）の整備開始、陰圧飼育ラックを設置

実施年月		活 動 事 項
平成20年度	11月	動物実験センター利用者説明会開催 動物飼育開始
	2月	感染動物エリアの安全キャビネットを移設
	3月	共同機器室5（G211）（感染動物エリア）を「動物実験センター分室」に名称変更
平成22年度	4月	特定外来生物飼養許可（近畿地方環境事務所） 微生物モニタリング（SPF エリア、CONV エリア）を実施、陰性を確認 動物実験センター分室に電子錠を設置 動物実験センター利用者ビデオ説明会開催
	5月	特定外来生物（ウシガエル）飼育開始
	6月	公私立大学実験動物協議会総会に出席
	7月	微生物モニタリング（SPF エリア）を実施、陰性を確認
	8月	動物実験センター分室の実験動物飼養許可（神戸市）
	10月	微生物モニタリング（SPF エリア、CONV エリア）を実施、陰性を確認
	1月	分室エリアにガス管を配管 微生物モニタリング（SPF エリア）を実施、陰性を確認
	3月	分室エリア：設備動作トライアル開始 分室エリア：エアコン稼働に伴う結露・漏水事故（G107）に対処 分室エリア：天井リーラーコンセント移設 SPF エリア：局所排気装置を増設 動物実験センター利用手引改訂 動物実験センター分室利用手引作成 動物実験センター分室に関する内規制定

表 2. 動物実験センター利用者数

期間（平成20～21年度）	利用者数
施設利用者総数	1,175人
SPF エリア利用者数	108人

表 3. 搬入実験動物実績

搬入実験動物数	マウス	ラット	モルモット	ウシガエル
平成20年度	272匹	118匹		
平成21年度	641匹	292匹	9匹	53匹

表 4. 使用ケージ実績

使用ケージ数	SPF マウス	CONV マウス	SPF ラット	CONV ラット	組換え マウス	モルモット
平成20年度	365	1,276	154	1,161	161	0
平成21年度	14,575	1,777	0	1,629	907	105

## 4) RI 実験センター

### i) 概 要

本実験センターは、放射性同位元素（RI）等を用いた研究及び教育並びに放射線管理に必要な施設・設備機器を配備する共同利用施設である。本施設には非密封 RI の取扱を目的とした実験室及び測定室の他、RI 管理を目的とした汚染検査室、貯蔵室、洗浄室及び保管廃棄室がある。また本施設では、液体シンチレーションカウンタやサーベイメーター等の RI 測定装置類の他、管理区域内外の物品移動を制限していることから試料調製、保存に必要な汎用機器類を備えている。

### ii) 活動状況

平成21年度は RI 実験センターの施設稼動に必要な放射線障害予防、放射線管理運営体制の整備並びに放射線業務従事者の教育訓練を行った。先ず平成21年 4 月に兵庫医療大学放射線障害予防規程、同 RI 実験センター規程、同 RI 実験センター運営委員会規程を制定した。次いでこれらの規程により、本学 RI 実験センターに放射線取扱主任者、施設管理責任者、安全管理責任者、管理区域責任者を配置して管理体制の整備を図った。RI 実験センター運営委員長、RI 実験センター運営委員を選任して RI 実験センターの運営体制の整備を行った。更に、8 月末日までに RI 実験センターの施設点検を終了し、9 月 1 日より RI 実験センターを稼動した。

また、平成21年度は17名の教職員を放射線業務従事者として登録し、9 月 9 日に RI 取扱に関する新規教育訓練を実施した。10月 1 日に文部科学省科学技術学術政策局原子力安全課放射線規制室より通達された『管理下でない放射性同位元素等に関する一斉点検の実施及び報告依頼について（21科原安第10号）』に対応した。すなわち、平成22年 2 月15日までに全教職員を対象とした学内ヒアリング並びに全放射線業務従事者を対象とした学内調査を実施し、3 月末日に、21科原安第10号通達に該当する放射性同位元素が管理区域内外で発見されなかったことを文部科学省へ報告した。

今後、RI 実験センター稼動により、本学における研究推進力がさらに向上することが期待される。



## 5) 薬用植物園

### i) 概 要

天然物、特に薬用植物に由来する化合物は現在でも医薬品としての活用が多数見られ、また、漢方薬として利用する生薬の年間使用量は莫大なものがある。従って、薬学教育において医薬品原料となる薬用植物や漢方生薬の原植物を知ることは大変重要であり、それらの育成維持及び観察教育に薬用植物園は不可欠である。

本学でも開学時より、大学敷地内南東部に約600㎡の薬用植物園用地を確保し、さらに用地内に床面積約50㎡の温室を建築・設置するなど「薬学部附属薬用植物園」の整備を進めている。以下に平成20・21年度の整備状況を示す。

### ii) 整備状況

平成20年度

敷地内に栽培用畝及び防風植栽樹栽培地を整備し、土壌改良を実施した。

平成21年度

高温・直射光忌避植物栽培のための寒冷紗を設置した。

### iii) 栽培植物

日本薬局方収載生薬の基原植物を中心に、現在約100種の薬用植物を栽培している。以下にそのリストを示す。(50音順)

アカネ	アカメガシワ	アキノワスレグサ	アシタバ	アマ
アマチャ	アミガサユリ	アンズ	イブキジャコウソウ	ウイキョウ
ウコン	ウツボグサ	ウマノスズクサ	ウメ	ウンシュウミカン
エビスグサ	エンジュ	オウレン	オオバコ	オケラ
オミナエシ	カキ (マメガキ)	ガジュツ	カラスビシャク	カリン
カワラナデシコ	カワラヨモギ	キササゲ	キハダ	キンミズヒキ
クコ	クサノオウ	クスノキ	クチナシ	クヌギ
クララ	クロタネソウ	クロモジ	クワ	ケジギタリス
ゲンノショウコ	コガネバナ	ゴシュユ	コノテガシワ	サイカチ
ザクロ	サボンソウ	サンザシ	サンシュユ	サンショウ
ジギタリス	シナマオウ	シナレンギョウ	シャクヤク	ジャノヒゲ
ジロポウエンゴサク	セネガ	センキュウ	センダン	センナ
ダイダイ	タケニグサ	タチバナ	タムシバ	タラノキ
チガヤ	チャ	ツワブキ	テンダイウヤク	トウキ
トウネズミモチ	トクワイカリソウ	トクサ	ドクダミ	トチュウ
ナツメ	ナンテン	ニガキ	日本ハッカ	ニワトコ
スルデ	ノイバラ	ハシリドコロ	ハトムギ	ハブソウ
ハマゴウ	ハマナス	ハマボウフウ	ビャクブ	ヒヨス
ビワ	ヘラオオバコ	ハウノキ	ボタン	マルバアイ
ミシマサイコ	ムラサキ	モモ	ヤブツバキ	ヤマザクラ
ヤマノイモ	レモングラス	ワタ		

## 6) 兵庫医療大学研究セミナー

### i) 概 要

このセミナーの開催は、兵庫医療大学における3学部と共通教育センターにより教員の研究面での交流を深めるため、情報交換を行いお互いに相手を知ることが重要である趣旨から、大学創立当初より学部交代で開催することとし継続している。平成20・21年度の兵庫医療大学研究セミナーの活動状況の詳細を表1～2. に示す。

### ii) 活動状況

表1. 平成20年度兵庫医療大学研究セミナー

回	開催日時	場所	担当部署	講演テーマ	講演担当	参加者
第6回	5月26日(月) 17時～18時	M 114	リハビリテーション学部	1. 「心の理論」高次テスト(日本版)開発に関わる研究成果 ―アスペルガー症候群と高機能自閉症の支援のために―	(准教授) 伊藤 斉子	38名
				2. 知的障害を持つ母親の子育てに対する想いと母親役割の変遷	(講師) 有吉 正則	
第7回	7月29日(火) 17時～ 18時30分	M 114	看護学部	1. 特定機能病院8施設の新卒看護師の離職意向に関する要因の検討 ―職業性ストレス、職業準備性及び主観健康度の影響―	(准教授) 富永 真己	41名
				2. 兵庫医科大学病院における平成19年度新卒看護師の職業性ストレスと離職意向に関する調査結果	(准教授) 富永 真己	
				3. 調査結果に基づく平成20年度新卒看護師への指導の実際	兵庫医科大学病院看護部(次長) 山田 明	
第8回	11月17日(月) 17時～18時	M 114	薬学部	1. いわゆる環境ホルモン研究の今昔	衛生化学分野(教授) 西原 力	41名
				2. 光触媒の利用法:医療・環境・基礎科学への発展に向けて	物理化学分野(講師) 甲谷 繁	
第9回	12月8日(月) 17時～18時	M 106	リハビリテーション学部	神経疾患の摂食・嚥下障害―チーム医療の中の臨床研究	(教授) 野崎 園子	34名
第10回	3月23日(月) 17時～18時	M 106	共通教育センター	電波で宇宙を観る(退職記念講演会)	(教授) 前田耕一郎	62名
第11回	3月30日(月) 15時～17時	M 114	先端医薬研究センター	1. 概要紹介「細胞・遺伝子治療薬の開発」研究報告「泌尿器科癌に対する新規遺伝子治療法の開発を目指して」	(教授) 後藤 章暢 (助教) 寺尾 秀治	43名
				2. 概要紹介「新規認知症治療薬開発」研究報告「認知症治療薬創出を目指した創薬研究」～高純度光学活性誘導体の選択合成～	(教授) 西崎 知之 (助手) 清水 忠	

表 2. 平成21年度兵庫医療大学研究セミナー

回	開催日時	場所	担当部署	講演テーマ	講演担当	参加者
第12回	5月18日(月) 18時～19時	M114	看護学部	1. 産科に携わる医療職の職務満足 —産婦人科医師、助産師、看護師の職務満足に影響する要因の検討—	(助教) 飯尾 祐香	44名
第13回	10月19日(月) 17時～18時30分	M106	リハビリテーション学部	1. 心肺運動負荷試験と心臓リハビリテーション —「呼気ガス分析装置による評価からチームアプローチまで」	(教授) 高橋 哲也	20名

## 兵庫医療大学全学教職員フォーラム

## i) 概 要

全学教職員フォーラムは、本学の教育や大学運営における全学的な取り組みを推進する目的で、開学当初より全教職員が参加してフォーラムディスカッションを実施している。

## ii) 活動状況

平成20年度における第2回全学教職員フォーラムでは「兵庫医療大学を特色ある大学にするための提言」をテーマとして、表1. に示すとおり教職員6名が講演を行った。

表 1. 第2回全学教職員フォーラム 講演内容 (平成20年度)

回	開催日時	場所	講演テーマ	講演担当	参加者
第2回	12月15日(月) 17:30～19:00	M113	テーマ: 「兵庫医療大学を特色ある大学にするための提言」	司会 共通教育センター 教授 末廣 謙	122名
			1. 特色ある大学をめざして	共通教育センター 教授 藤田幸久	
			2. 地域連携における大学の役割	看護学部 教授 大町弥生	
			3. 問題基盤型学習 (PBL) への挑戦経験	リハビリテーション学部 教授 山崎せつ子	
			4. 神戸キャンパスにおける情報伝達のルールについて	キャンパスオフィス リーダー 宿院輝久	
			5. 前田の考え	薬学部 教授 前田初男	
			6. まとめ	学長 松田 暉	

表 2. 第3回全学教職員フォーラム 講演内容 (平成21年度)

回	開催日時	場所	講演テーマ	講演担当	参加者
第3回	7月30日(木) 16:30～17:30	M201	学長講演 最近の医療情勢について	学長 松田 暉	114名

平成21年度における第3回全学教職員フォーラムでは、松田学長が「最近の医療情勢について」をテーマとして、ドイツ (ベルリン) での心臓弁膜症の国際会議出席報告に始まり、「臓器移植の現状と改正された法律と今後の展望」、「先端医療についての紹介 (再生医療、補助人工心臓、経カテーテ

ル大動脈弁埋め込み術など)」、「医療崩壊の背景と今後」、最後に「医療専門職者制度の新たな動き(Nurse Practitioner, Physician Assistant)」などの講演を行った。

## 学校法人兵庫医科大学連携病院の会

### i) 概 要

兵庫医科大学連携病院の会は、兵庫医科大学と連携する近隣病院が人事の交流等により相互の活性化を促進し、組織的な連携を強めることで大学と連携病院に在籍する医師の臨床教育・研修・研究及び診療技術の向上を図ることや、効率的で有効な学生教育に資すること及び地域医療の向上に寄与すること等を目的に設置された。

従来、「兵庫医科大学連携病院の会」として兵庫医科大学に本会を設置していましたが、兵庫医科大学と連携病院との連携を明確にするため、会の名称を「学校法人兵庫医科大学連携病院の会」に変更し、併せて原則年1回の開催とした。

### ii) 活動状況

第2回目となる学校法人兵庫医科大学連携病院の会は、平成21年11月27日（金）に本学内のオクタホールにおいて開催され、119施設の連携病院から120名の方々のご参加をいただいた。

今回の会議は、「これからの医療専門職の役割」をテーマに、兵庫医科大学 波田学長の挨拶に始まり、本学 松田学長及び各学部教員から「学生教育から見たこれからの医療」について、また兵庫医科大学病院及び連携病院の各看護部長から「医療現場の実情と展望」についてのプレゼンテーションがあり、兵庫医科大学病院 太城病院長の進行によりパネルディスカッションが行われ、医療現場の実情や様々な苦労談とともに、その解決に向けた取り組みなどについて意見交換を行った。

表1. 第2回学校法人兵庫医科大学連携病院の会 講演内容

回	開催日時	場所	講演テーマ	講演担当	参加者
第 2 回	11月27日(金) 17:00~18:30	オクタ ホール	パネルディスカッション 「これからの医療専門職者の役割」	司会 兵庫医科大学 学長 松田 暉	120名
			1. イントロダクション 〈チーム医療から見た今後の展望〉	兵庫医科大学 学長 松田 暉	
			2. 学生教育から見た各専門職の 将来 〈薬学部の立場から〉	兵庫医科大学薬学部 教授 東 純一	
			3. 学生教育から見た各専門職の 将来 〈看護学部の立場から〉	兵庫医科大学看護学部 教授 上原ます子	
			4. 学生教育から見た各専門職の 将来 〈リハビリテーション学部の立 場から〉	兵庫医科大学 リハビリテーション学部 教授 土肥 信之	
			5. 医療現場の実情と展望 〈専門看護師・認定看護師の活用〉	兵庫医科大学病院 看護部長 山田 繁代	
			6. 医療現場の実情と展望 〈コ・メディカルの病院経営参加〉	協立会協立病院 看護部長 中塚 圭子	
			総合討論	司会 兵庫医科大学病院 病院長 太城 力良	

## 7) 学外研究費の取得一覧

### 概 要

#### 1) 科学研究費補助金

平成20年度科学研究費補助金は、32件が採択され総額60,810,000円（うち直接経費48,900,000円、間接経費11,910,000円）の交付があった。平成21年度科学研究費補助金については、30件が採択され総額55,483,582円（うち直接経費44,364,294円、間接経費11,119,288円）の交付があった。平成20・21年度科研費交付の詳細については表1～2. に示す。

表1. 平成20年度科学研究費補助金交付一覧

研究種目	研究課題名	所属部局	職名	研究代表者	交付額(円)
特定領域研究	リンパ節特異的な細胞動員シグナルによる制御性細胞の組織特異的動員と自己応答性制御	薬学部	教授	田中 稔之	4,800,000
基盤研究(B)	外来通院がん患者の主体性を育成・支援する看護実践能力および外来看護実践方法の開発	看護学部	教授	佐藤 禮子	2,500,000
基盤研究(B)	乳がん体験者との協働による一般女性と看護職のための乳がん予防啓発プログラム開発	看護学部	教授	鈴木 久美	3,800,000
基盤研究(B)	外来化学療法を受ける肺がん患者の生活を支援する情報提供・相談システムの開発と評価	看護学部	教授	網島ひづる	3,200,000
基盤研究(C)	ヘルスケアにつなげる光触媒型活性酸素パッチの開発	薬学部	講師	甲谷 繁	500,000
基盤研究(C)	認知症高齢者グループホームにおける終末期ケアの研修プログラムの開発	看護学部	講師	平木 尚美	500,000
基盤研究(C)	神経因性疼痛発現における新規イオンチャネルの解析	薬学部	教授	山本 悟史	1,500,000
基盤研究(C)	ラジカル種の特性を活用した新規合成法の開拓	薬学部	教授	宮部 豪人	1,000,000
基盤研究(C)	パーキンソン病マウス神経障害における $\text{Na}^+/\text{Ca}^{2+}$ 交換系の役割	薬学部	准教授	伊藤 壮一	900,000
基盤研究(C)	EC-SODの抗酸化作用と生活習慣病の動脈硬化予防	薬学部	准教授	大河原知水	1,700,000
基盤研究(C)	新卒看護師の職業性ストレスと離職意向に関する縦断研究：地域間における比較	看護学部	准教授	富永 真己	1,200,000
基盤研究(C)	知的障害者・児の肥満予防および改善プログラムの開発に関する研究	看護学部	講師	尾ノ井美由紀	1,300,000
基盤研究(C)	光切断リンカーを利用した生理活性物質ターゲット探索方法の開発	薬学部	教授	田中 明人	700,000
基盤研究(C)	内因性血管新生阻害物質活性化を標的とした天然由来新規抗がんリード化合物の創製	薬学部	教授	青木 俊二	1,900,000
基盤研究(C)	「心の理論」高次テスト（日本版）は高機能広汎性発達障害の補助診断法として有効か？	リハビリテーション学部	准教授	伊藤 斉子	1,900,000



研究種目	研究課題名	所属部局	職名	研究代表者	交付額(円)
基盤研究(C)	アストロサイトにおける酸化ストレスによる DNA 修復酵素とヌクレオシド輸送体の変化	薬学部	助教	田中 康一	1,700,000
基盤研究(C)	ユビキタス・ネットワークシステムを活用した感染制御技術の向上	看護学部	講師	土田 敏恵	1,100,000
基盤研究(C)	炎症性メディエーターによる DRG ニューロンの感作メカニズム	薬学部	准教授	戴 毅	1,500,000
特別研究 促進費	子宮癌手術後続発性下腿リンパ浮腫のためのセルフケア介入プログラムの開発	看護学部	助教	佐藤真由美	1,700,000
萌芽研究	酸化ストレスを可逆的に捕捉できる Redox 応答型蛍光プローブの設計	薬学部	教授	前田 初男	1,300,000
萌芽研究	中高年男性のパタニティブルーズとうつ病発症との関連に関する研究	看護学部	講師	西村 明子	500,000
萌芽研究	C 型慢性肝炎患者のセルフマネジメントを促す心理教育的グループ介入プログラムの開発	看護学部	教授	鈴木 久美	900,000
若手研究 (スタートアップ)	グルタミン酸を特異的に検出する蛍光プローブの開発	薬学部	助教	塚本 効司	1,350,000
若手研究 (スタートアップ)	生理活性脂肪酸を基盤とした新規抗認知症治療剤の創製および作用メカニズムの解明	薬学部	助教	清水 忠	1,340,000
若手研究 (スタートアップ)	血小板減少症治療薬インターロイキン-11を用いた心不全発症予防戦略の確立	薬学部	助手	前田真貴子	1,340,000
若手研究 (スタートアップ)	間欠的足底圧刺激に対する反応性筋収縮による廃用性筋力低下予防装置の開発と臨床応用	リハビリ テーション学部	教授	高橋 哲也	1,030,000
若手研究 (スタートアップ)	がん患者が体験している痛みに対する自己コントロール力を高める看護援助プログラム	看護学部	助教	平岡 玲子	1,340,000
若手研究(B)	～温熱療法の可能性を広げる～運動療法との併用による筋萎縮予防効果	リハビリ テーション学部	講師	坂口 顕	1,900,000
若手研究(B)	がん臨床試験に参加する患者のセルフ・アセスメント能力向上のための教育用ツール開発	看護学部	助教	高山 京子	1,100,000
若手研究(B)	スクラップアンドビルトに基づく、蛋白質と遺伝子を併用した線維症治療用材料の開発	薬学部	講師	上田 寛樹	1,300,000
若手研究(B)	Pex19p によるペルオキシソーム膜タンパク質輸送メカニズムの解明	薬学部	助手	中野 博明	900,000
若手研究(B)	PET 癌検診へのアプローチ：低分子 <sup>68</sup> Ga 標識プローブおよび <sup>111</sup> C 標識法の開発	薬学部	助教	吉岡 英斗	1,200,000
合 計				32件	48,900,000

表 2. 平成21年度科学研究費補助金交付一覧

研究種目	研究課題名	所属部局	職名	研究代表者	交付額(円)
特定領域研究	リンパ節特異的な細胞動員シグナルによる制御性細胞の組織特異的動員と自己応答性制御	薬学部	教授	田中 稔之	4,800,000
基盤研究(B)	外来化学療法を受ける肺がん患者の生活を支援する情報提供・相談システムの開発と評価	看護学部	教授	網島ひづる	1,200,000
基盤研究(B)	心不全に対する埋め込み型補助人工心臓による社会復帰を目指した新たな治療法の導入	その他	学長	松田 暉	4,000,000
基盤研究(B)	乳がん早期発見のための乳房セルフケア促進プログラムの開発と妥当性の検討	看護学部	教授	鈴木 久美	5,800,000
基盤研究(C)	ラジカル種の特性を活用した新規合成法の開拓	薬学部	教授	宮部 豪人	900,000
基盤研究(C)	新卒看護師の職業性ストレスと離職意向に関する縦断研究：地域間における比較	看護学部	准教授	富永 真己	1,000,000
基盤研究(C)	知的障害者・児の肥満予防および改善プログラムの開発に関する研究	看護学部	講師	尾ノ井美由紀	700,000
基盤研究(C)	光切断リンカーを利用した生理活性物質ターゲット探索方法の開発	薬学部	教授	田中 明人	400,000
基盤研究(C)	内因性血管新生阻害物質活性化を標的とした天然由来新規抗がんリード化合物の創製	薬学部	教授	青木 俊二	1,000,000
基盤研究(C)	自然の資本化に関する現象学的研究―「持続可能な開発」の倫理に向けて	共通教育センター	講師	紀平 知樹	700,000
基盤研究(C)	「心の理論」高次テスト（日本版）は高機能広汎性発達障害の補助診断法として有効か？	リハビリテーション学部	准教授	伊藤 斉子	900,000
基盤研究(C)	アストロサイトにおける酸化ストレスによる DNA 修復酵素とヌクレオシド輸送体の変化	薬学部	助教	田中 康一	1,200,000
基盤研究(C)	ユビキタス・ネットワークシステムを活用した感染制御技術の向上	看護学部	講師	土田 敏恵	1,500,000
基盤研究(C)	子宮癌手術後続発性下腿リンパ浮腫のためのセルフケア介入プログラムの開発	看護学部	助教	佐藤真由美	2,300,000
基盤研究(C)	炎症性メディエーターによる DRG ニューロンの感作メカニズム	薬学部	准教授	戴 毅	1,000,000
基盤研究(C)	光触媒による新規複合型レッドックス反応の開発	薬学部	講師	甲谷 繁	1,800,000
基盤研究(C)	HGF アンタゴニスト（NK4）による骨膜増殖の制御	薬学部	教授	岩崎 剛	1,900,000
基盤研究(C)	認知症高齢者グループホームの終末期ケアにおける看護連携システムの開発	看護学部	講師	平木 尚美	1,900,000
挑戦的萌芽研究	C 型慢性肝炎患者のセルフマネジメントを促す心理教育的グループ介入プログラムの開発	看護学部	教授	鈴木 久美	1,000,000
挑戦的萌芽研究	近赤外蛍光イメージングに資する新規蛍光色素の戦略的开发	薬学部	教授	前田 初男	900,000

研究種目	研究課題名	所属部局	職名	研究代表者	交付額(円)
挑戦的萌芽研究	周産期における父親のうつ状態の推移と危険因子—社会的要因と生物学的要因の重要性—	看護学部	講師	西村 明子	600,000
若手研究 (スタートアップ)	TSP1遺伝子多型情報を心不全β遮断薬個別化医療に応用するための科学的基盤の構築	薬学部	講師	南畝 晋平	624,294
若手研究 (スタートアップ)	生理活性脂肪酸を基盤とした新規抗認知症治療剤の創製および作用メカニズムの解明	薬学部	助教	清水 忠	1,200,000
若手研究 (スタートアップ)	血小板減少症治療薬インターロイキン-117を用いた心不全発症予防戦略の確立	薬学部	講師	前田真貴子	1,200,000
若手研究 (スタートアップ)	間欠的足底圧刺激に対する反応性筋収縮による廃用性筋力低下予防装置に開発と臨床応用	リハビリテーション学部	教授	高橋 哲也	520,000
若手研究 (スタートアップ)	がん患者が体験している痛みに対する自己コントロール力を高める看護援助プログラム	看護学部	助教	平岡 玲子	620,000
若手研究(B)	～温熱療法の可能性を広げる～運動療法との併用による筋萎縮予防効果	リハビリテーション学部	講師	坂口 顕	1,400,000
若手研究(B)	PET 癌検診へのアプローチ：低分子68Ga標識プローブおよび11C標識法の開発	薬学部	助教	吉岡 英斗	1,100,000
若手研究(B)	がん臨床試験に参加する患者のセルフ・アセスメント能力向上のための教育ツール開発	看護学部	助教	高山 京子	1,100,000
若手研究(B)	慢性閉塞性肺疾患患者の憎悪予防のための自己管理を促す心理教育的介入プログラム開発	看護学部	講師	松本 麻里	1,100,000
合 計				30件	44,364,294

## 2) 厚生労働省科学研究費補助金/委託費

平成21年度厚生労働科学研究費補助金/委託費は、3件が採択され総額18,382,000円の交付があった。詳細を表3.に示す。

表3. 平成21年度厚生労働科学研究費補助金/委託費

研究事業名	研究課題名	所属部局	職名	研究者	交付額(円)
循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業	禁煙治療薬による喫煙関連疾患予防法の再評価と効果的な禁煙指導法の確立と普及のための他施設共同臨床試験	薬学部	教授	東 純一 (代表者)	14,000,000
循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業	禁煙治療薬による喫煙関連疾患予防法の再評価と効果的な禁煙指導法の確立と普及のための他施設共同臨床試験	薬学部	講師	前田真貴子 (分担者)	
政策創薬総合研究事業(ヒューマンサイエンス総合研究事業)	ファーマコゲノミクス情報に基づいた医薬品の有効性及び安全性評価系の開発と医薬品開発への応用	薬学部	教授	東 純一 (分担者)	3,782,000
精神・神経疾患研究委託事業	筋ジストロフィーの臨床試験実施体制構築に関する研究	リハビリテーション学部	教授	野崎 園子 (分担者)	600,000
合 計				3 件	18,382,000

3) 独立行政法人科学技術振興機構

平成21年度 JST 企業研究者活用型基礎研究推進事業ライフサイエンス分野の補助金は、1 件（総額6,026,000円）が採択された。詳細を表 4. に示す。

表 4. 平成21年度科学技術振興機構

補助者	研究課題名	所属部局	職名	研究代表者	補助金(円)
企業研究者活用型基礎研究推進事業ライフサイエンス分野	新しい行動科学的うつ病動物モデルを利用した抗うつ薬評価系の開発	共通教育センター 株式会社 行医研	教授	磯 博行	6,026,000

4) その他平成20・21年度研究助成金

その他財団法人及び企業等からの受託研究、共同研究など学外研究費の取得については、平成20年度では取得件数22件、総額36,549,000円、21年度の取得件数は23件、総額53,470,200円であった。学外研究費の詳細な取得状況については表 5～10. に示す。

表 5. 平成20年度研究助成金

財 団 名	所属部局	職名	研究代表者	助成額(円)
財団法人一般用医薬品セルフメディケーション振興財団	薬学部	教授	八野 芳巳	800,000
財団法人ひょうご科学技術協会	薬学部	教授	宮部 豪人	1,000,000
財団法人臨床薬理研究振興財団	薬学部	講師	前田真貴子	2,000,000
財団法人病態代謝研究会	薬学部	教授	宮部 豪人	1,000,000

表 6. 平成21年度研究助成金

財 団 名	研究課題名	所属部局	職名	研究代表者	助成金(円)
財団法人医科学応用研究財団	筋特異的ユビキチンリガーゼの制御を基盤とした筋萎縮性疾患の新たな治療法の開発	薬学部	助教	伊藤 崇志	1,000,000
財団法人ユニバーサル財団	高齢者の介護予防のための備えに関する研究	看護学部	助手	松本 佳子	1,000,000
財団法人がん研究振興財団	がん患者のがん罹患原因・罹患時期の捉え方と治療への取り組みの姿勢との関連に関する研究	看護学部	講師	小西美ゆき	1,200,000

表 7. 平成20年度受託研究

委託企業等	所属部局	職名	研究代表者	委託費(円)
財団法人石川県産業創出支援機構	薬学部	教授	駒村 和雄	5,714,000
(株)リバース・プロテオミクス研究所	薬学部	教授	田中 明人	1,000,000
アステラス製薬(株)	薬学部	教授	田中 明人	8,400,000

表 8. 平成21年度受託研究

委託企業等	所属部局	職名	研究代表者	委託費(円)
アステラス製薬(株)	薬学部	教授	田中 明人	3,000,000
独立行政法人医薬基盤研究所	薬学部	教授	青木 俊二	10,000,000
社団法人日本化学工業協会 (LRI 研究)	薬学部	教授	田中 稔之	1,280,000
大正製薬(株)	薬学部	教授	東 純一	3,000,000
アステラス製薬(株)	薬学部	教授	田中 明人	3,000,000

表 9. 平成21年度受託研究

委 託 者	研究課題名	所属部局	職名	研究代表者	委託額
(株)市場	「新開発ロッキングチェアの快適性、機能性、安全性に関する研究	共通教育センター	教授 教授	磯 博行 山田 大豪	300,000

表10. 平成21年度共同研究

共同研究先企業等	所属部局	職名	研究代表者	共同研究費
科研製薬(株)	薬学部	教授	田中 明人	2,990,000
アステラス製薬(株)	薬学部	教授	田中 明人	10,000,200
生化学工業(株)	薬学部	教授	田中 稔之	1,000,000
(株)オフテクス	薬学部	教授	田中 明人	3,000,000





## 神戸・ポートアイランドの4大学が協定

# 教育、地域活動で連携

**単位互換や合同講座も**

神戸三大学は神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学と、ポートアイランドに所在する神戸ポートエコノミクス大学と、計4大学が、教育、地域活動で連携する協定を結んだ。単位互換や合同講座の実施、共同研究、学生交流などを行う。協定は、2020年1月30日、ポートアイランドの神戸ポートエコノミクス大学で調印された。



調印式に出席した神戸大学学長（左から）と神戸学院大学学長、神戸国際大学学長、神戸ポートエコノミクス大学学長。

## 人形と接する「ドールセラピー」

### 兵庫医療大講師ら調査



**認知症高齢者に効果**

神戸市立看護大学、神戸学院大学、神戸国際大学の3大学が、認知症高齢者のケアに「ドールセラピー」が効果的であることを調査した。調査は、認知症高齢者のケアに「ドールセラピー」が効果的であることを調査した。調査は、認知症高齢者のケアに「ドールセラピー」が効果的であることを調査した。

## 単位互換や合同講座も

神戸三大学は神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学と、ポートアイランドに所在する神戸ポートエコノミクス大学と、計4大学が、教育、地域活動で連携する協定を結んだ。単位互換や合同講座の実施、共同研究、学生交流などを行う。協定は、2020年1月30日、ポートアイランドの神戸ポートエコノミクス大学で調印された。

## 医師不足の実情報告

神戸市立看護大学、神戸学院大学、神戸国際大学の3大学が、認知症高齢者のケアに「ドールセラピー」が効果的であることを調査した。調査は、認知症高齢者のケアに「ドールセラピー」が効果的であることを調査した。調査は、認知症高齢者のケアに「ドールセラピー」が効果的であることを調査した。

## 医療用手洗い 監視センサー

### 京都の研究所など開発



京都府立医科大学、京都府立医科大学、京都府立医科大学の3大学が、医療用手洗いの監視センサーを開発した。センサーは、医療用手洗いの監視センサーを開発した。センサーは、医療用手洗いの監視センサーを開発した。

平成20年 8月20日 神戸新聞  
看護学部 平木 尚美 講師

平成20年 7月27日 毎日新聞 朝刊 看護学部 土田 敏恵



平成21年11月2日 神戸新聞 朝刊  
リハビリテーション学部 野崎 園子 教授



平成21年11月16日 神戸新聞 夕刊  
看護学部 看護学演習風景 (兵庫医療大学)



平成20年6月2日 朝日新聞 朝刊  
薬学部 青木 俊二 教授



## Ⅲ. 管理・運営活動

### 1. 学生の受け入れ

#### 1) 入学試験状況

表 1. 薬学部平成20年度入学試験

区 分	平成20年度入学試験					
	推薦入学試験		一般入学試験			計
	専願制	併願制	前期 A 日程	前期 B 日程	後期日程	
募集人員	約20	約20	約60	約40	約10	150
出願者数	38	67	290	210	100	705
受験者数	38	66	285	148	95	632
合格者数	25	47	161	66	16	315
入学者数	25	40	73	43	12	193

表 2. 薬学部平成21年度入学試験

区 分	平成21年度入学試験							
	推薦入学試験				一般入学試験			計
	専願制	指定校 推 薦	併願制 A 日程	併願制 B 日程	前 期 A 日程	前 期 B 日程	後期日程	
募集人員	20	10	10	10	60	30	10	150
出願者数	55	5	83	77	300	192	94	806
受験者数	55	5	77	76	293	184	74	764
合格者数	20	5	18	17	150	52	23	285
入学者数	19	5	11	15	72	17	11	150

表 3. 看護学部平成20・21年度入学試験

区 分	平成20年度入学試験				平成21年度入学試験			
	推薦入学 試 験	一般入学試験		計	推薦入学 試 験	一般入学試験		計
	専願制	前期 A 日程	後期日程		専願制	前期 A 日程	後期日程	
募集人員	約30	約60	約10	100	30	65	5	100
出願者数	131	434	97	662	167	461	90	718
受験者数	131	426	90	647	165	458	88	711
合格者数	30	150	17	197	31	145	8	184
入学者数	30	64	9	103	31	72	6	109

表 4. リハビリテーション学部理学療法学科平成20・21年度入学試験

区 分	平成20年度入学試験				平成21年度入学試験			
	推薦入学 試 験	一般入学試験		計	推薦入学 試 験	一般入学試験		計
	専願制	前期 A 日程	後期日程		専願制	前期 A 日程	後期日程	
募集人員	約10	約25	約5	40	10	25	5	40
出願者数	117	263	58	438	92	227	37	356
受験者数	116	259	57	432	92	225	36	353
合格者数	11	52	7	70	11	59	10	80
入学者数	11	24	4	39	11	27	8	46

表 5. リハビリテーション学部作業療法学科平成20・21年度入学試験

区 分	平成20年度入学試験				平成21年度入学試験				
	推薦入学 試 験	一般入学試験		計	推薦入学 試 験	一般入学試験			計
	専願制	前期 A 日程	後期日程		専願制	前期 A 日程	前期 B 日程	後期日程	
募集人員	約10	約25	約5	40	15	12	8	5	40
出願者数	48	68	17	133	51	59	50	17	177
受験者数	48	67	15	130	50	59	49	15	173
合格者数	12	43	11	66	19	32	31	5	87
入学者数	12	21	7	40	19	22	11	3	55

表 6. 看護学部三年次編入学試験

区 分	平成21年度編入学試験
募集人員	約10
出願者数	16
受験者数	15
合格者数	11
入学者数	4



## 2) 学 生 数

表 1. 平成20年度学生数（4月1日現在）

学 部	学 科	第 1 学年次	第 2 学年次	計
薬 学 部	医 療 薬 学 科	195	173	368
看 護 学 部	看 護 学 科	103	112	215
リ ハ ビ リ テーション学部	理学療法学科	40	41	81
	作業療法学科	40	44	84
計		378	370	748

表 2. 平成21年度学生数（4月1日現在）

学 部	学 科	第 1 学年次	第 2 学年次	第 3 学年次	計
薬 学 部	医 療 薬 学 科	161	197	153	511
看 護 学 部	看 護 学 科	109	101	115	325
リ ハ ビ リ テーション学部	理学療法学科	48	39	40	127
	作業療法学科	55	38	43	136
計		373	375	351	1,099

※看護学部第3学年次には、編入学生4名を含んでいます。

### 3) 入学試験関連の広報活動

表 1. 平成20年度進学相談会参加会場一覧

日 時	場所	会 場 等	相談会名
4 月16日	奈良	ホテル日航奈良 (4F 飛天の間)	大学・短期大学進学相談会 (前期近畿地区)
4 月20日	大阪	梅田スカイビル タワーウエスト (10F 梅田アウラホール)	医療・福祉系進学相談会
4 月24日	姫路	じばさんビル	大学入試・入学説明会
4 月25日	天王寺	天王寺 MiO (12F MiO ホール)	医歯薬・看護・医療系進学相談会
4 月25日	神戸	神戸国際展示場	進路発見相談フェスタ (関西)
4 月26日	大阪	梅田スカイビル (3F 梅田ステラホール)	医療系・福祉系キャリア・デザイン・ガイダンス
5 月 2 日	神戸	生田神社会館	進学相談会
5 月 8 日	福山	福山ニューキャッスルホテル (3F 光耀の間)	大学・短期大学進学相談会 (前期中国地区)
5 月 9 日	洲本	洲本市文化体育館 (1F コミュニティアリーナ)	大学・短期大学進学相談会 (前期近畿地区)
5 月10日	神戸	三宮研修センター	医歯薬・看護・医療系進学相談会
5 月10日	大阪	梅田スカイビル タワーウエスト	春季 医療・教育・福祉・健康系オール学校ガイダンス
5 月26日	岡山	岡山コンベンションセンター (3F コンベンションホール)	大学・短期大学進学相談会 (前期中国地区)
5 月27日	広島	基町クレド (11F NTT クレドホール)	大学・短期大学進学相談会 (前期中国地区)
5 月27日	姫路	ホテル日航姫路 (3F 光琳の間)	大学・短期大学進学相談会 (前期近畿地区)
5 月28日	呉	呉阪急ホテル (4F 皇城の間)	大学・短期大学進学相談会 (前期中国地区)
6 月 2 日	高知	高知新阪急ホテル (3F 花の間)	大学・短期大学進学相談会 (前期四国地区)
6 月 3 日	新居浜	リーガロイヤルホテル新居浜 (2F 伊予の間)	大学・短期大学進学相談会 (前期四国地区)
6 月 4 日	松山	松山市総合コミュニティセンター (2F メインアリーナ)	大学・短期大学進学相談会 (前期四国地区)
6 月 5 日	高松	全日空ホテルクレメント高松 (3F 飛天・玉藻の間)	大学・短期大学進学相談会 (前期四国地区)
6 月 6 日	徳島	ホテルクレメント徳島 (4F クレメントホール)	大学・短期大学進学相談会 (前期四国地区)
6 月 8 日	大阪	天王寺 MiO (12F MiO ホール)	前期近畿地区
6 月 8 日	大阪	梅田スカイビル	看護・医療系進学相談会
6 月11日	神戸	神戸サンボーホール	春季 国公立大学・短期大学・専門学校進学ガイダンス
6 月13日	京都	マリアージュグランデ	医歯薬・看護・医療系進学相談会
6 月14日	京都	京都市勧業館 (みやこめっせ) (B1F 第1 展示場)	進学サミット2008
6 月15日	大阪	梅田スカイビル タワーウエスト (10F 梅田アウラホール)	進学サミット2008
6 月15日	大阪	梅田・毎日新聞ビル (B1F オーバルホール)	看護医療系学校合同説明会 (学校博)
6 月17日	神戸	クラウンプラザ神戸 (10F ザ・ボールルーム)	大学・短期大学進学相談会 (前期近畿地区)
6 月17日	山口	サンルート国際ホテル山口 (2F クリスタル)	大学・短期大学進学相談会 (前期山口地区)
6 月17日	姫路	ホテル日航姫路	春季 国公立大学・短期大学・専門学校進学ガイダンス
6 月20日	岩国	シンフォニア岩国 (2F 多目的ホール)	大学・短期大学進学相談会 (前期山口地区)

日 時	場所	会 場 等	相談会名
6月21日	大阪	梅田スカイビル タワーウエスト (10F 梅田アウラホール)	薬学部進学相談会
7月13日	大阪	梅田スカイビル タワーウエスト (10F 梅田アウラホール)	医療系学部・大学セミナー&進学ガイダンス
7月14日	奈良	奈良商工会議所	国公立大学・短期大学進学相談会
7月15日	明石	明石市立産業交流センター	国公立大学・短期大学進学相談会
7月19日	大阪	大阪城ホール	大学フェア2008
7月20日	大阪	大阪国際会議場 (3F イベントホール)	全国国公立・有名私大相談会2008
7月26日	神戸	兵庫県看護協会会館	看護系大学・看護師学校養成所進学説明会
8月31日	大阪	梅田スカイビル10F ステラホール	保護者向け相談会
9月19日	豊岡	豊岡市民プラザ (7F ホットステージ)	大学・短期大学進学相談会 (後期近畿地区)
9月25日	福岡	ソラリア西鉄ホテル (8F 彩雲の間)	大学・短期大学進学相談会 (後期九州・山口地区)
9月25日	姫路	ホテル日航姫路 (3F 光琳の間)	大学・短期大学進学相談会 (後期近畿地区)
9月26日	北九州	リーガロイヤルホテル小倉 (3F エンパイアルーム)	大学・短期大学進学相談会 (後期九州・山口地区)
9月27日	大阪	大阪城ホール内 城見ホール	全国医歯薬科大学受験相談会
9月29日	広島	基町クレド (11F NTT クレドホール)	大学・短期大学進学相談会 (後期中国地区)
9月29日	高知	高知会館 (2F 白鳳の間)	大学・短期大学進学相談会 (後期四国地区)
9月30日	福山	福山ニューキャッスルホテル (3F 光耀の間)	大学・短期大学進学相談会 (後期中国地区)
9月30日	松山	松山市総合コミュニティセンター (1F 企画展示ホール)	大学・短期大学進学相談会 (後期四国地区)
10月1日	高松	香川県県民ホール (北館5F 多目的大会議室)	大学・短期大学進学相談会 (後期四国地区)
10月1日	岡山	岡山コンベンションセンター (3F コンベンションホール)	大学・短期大学進学相談会 (後期中国地区)
10月2日	徳島	徳島県郷土文化会館 (4F 大会議室)	大学・短期大学進学相談会 (後期四国地区)
10月14日	東京	新宿エルタワー	全国医歯薬科大学受験相談会

表 2. 平成21年度進学相談会参加会場一覧

日程	場所	会 場	相談会名
4月13日	天王寺	天王寺 MiO (12F MiO ホール)	医歯薬・看護・医療系進学相談会
4月15日	姫路	ホテル日航姫路	大学入試・入学説明会2009
4月19日	大阪	梅田スカイビル タワーウエスト (10F 梅田アウラホール)	医療・福祉系進学相談会2009
4月20日	大阪	大阪府立総合体育館	大学入試・入学説明会2009
5月1日	神戸	生田神社会館	進学相談会
5月9日	神戸	生田神社会館	医歯薬・看護・医療系進学相談会
5月9日	大阪	梅田スカイビル タワーウエスト	春季 医療・教育・福祉・健康系オール学校 ガイダンス
5月13日	豊岡	豊岡市民体育館	大学・短期大学進学相談会（前期近畿地区）
5月14日	洲本	洲本市文化体育館 (1F コミュニティアリーナ)	大学・短期大学進学相談会（前期近畿地区）
5月25日	岡山	岡山コンベンションセンター (3F コンベンションホール)	大学・短期大学進学相談会（前期中国地区）
5月26日	福山	福山ニューキャッスルホテル (3F 光耀の間)	大学・短期大学進学相談会（前期中国地区）
5月27日	広島	基町クレド (11F NTT クレドホール)	大学・短期大学進学相談会（前期中国地区）
5月28日	呉	呉阪急ホテル (4F 皇城の間)	大学・短期大学進学相談会（前期中国地区）
6月1日	高知	高知新阪急ホテル (3F 花の間)	大学・短期大学進学相談会（前期四国地区）
6月2日	新居浜	リーガロイヤルホテル新居浜 (2F 伊予の間)	大学・短期大学進学相談会（前期四国地区）
6月3日	松山	松山市総合コミュニティセンター (2F メインアリーナ)	大学・短期大学進学相談会（前期四国地区）
6月4日	高松	全日空ホテルクレメント高松 (3F 飛天・玉藻の間)	大学・短期大学進学相談会（前期四国地区）
6月5日	徳島	ホテルクレメント徳島 (4F クレメントホール)	大学・短期大学進学相談会（前期四国地区）
6月6日	大阪	梅田スカイビル (3F 梅田ステラホール)	キャリアガイダンス（教育・体育・栄養・看護・薬学系）
6月7日	大阪	天王寺 MiO (12F MiO ホール)	大学・短期大学進学相談会（前期近畿地区）
6月12日	京都	マリアージュグランデ	医歯薬・看護・医療系進学相談会
6月13日	京都	京都市勧業館（みやこめっせ） (B1F 第1展示場)	進学サミット2009
6月14日	大阪	梅田スカイビル タワーウエスト (10F 梅田アウラホール)	進学サミット2009
6月15日	神戸	神戸サンボーホール	春季 国公立大学・短期大学・専門学校進学 ガイダンス
6月15日	奈良	なら100年会館	大学・短期大学進学相談会（前期近畿地区）
6月16日	神戸	生田神社会館	大学・短期大学進学相談会（前期近畿地区）
6月16日	姫路	ホテル日航姫路	春季 国公立大学・短期大学・専門学校進学 ガイダンス
6月16日	山口	サンルート国際ホテル山口 (2F クリスタル)	大学・短期大学進学相談会（前期山口地区）
6月18日	岩国	シンフォニア岩国 (2F 多目的ホール)	大学・短期大学進学相談会（前期山口地区）
6月20日	大阪	梅田スカイビル タワーウエスト (10F 梅田アウラホール)	薬学部進学相談会
6月21日	大阪	梅田スカイビル	看護・医療系進学相談会
7月10日	大阪	大阪府立体育館	進路パーク

日程	場所	会 場	相談会名
7月12日	大阪	梅田スカイビル タワーウエスト (10F 梅田アウラホール)	医療系学部・大学セミナー&進学ガイダンス
7月14日	明石	明石市立産業交流センター	国公立大学・短期大学進学相談会
7月14日	姫路	ホテル日航姫路 (3F 光琳の間)	大学・短期大学進学相談会 (前期近畿地区)
7月15日	神戸	神戸国際展示場	進路パーク
7月18日	東京	新宿	薬学部進学相談会
7月19日	大阪	大阪国際会議場 (イベントホール)	全国国公立・有名私大相談会2009
7月19日	大阪	大阪城ホール	大学フェア2009
7月25日	神戸	兵庫県看護協会会館	看護系大学・看護師学校養成所進学説明会
9月16日	姫路	ホテル日航姫路 (3F 光琳の間)	大学・短期大学進学相談会 (後期近畿地区)
9月24日	福岡	ソラリア西鉄ホテル (8F 彩雲の間)	大学・短期大学進学相談会 (後期九州・山口地区)
9月25日	北九州	リーガロイヤルホテル小倉 (3F エンパイアルーム)	大学・短期大学進学相談会 (後期九州・山口地区)
9月29日	徳島	徳島県郷土文化会館 (4F 大会議室)	大学・短期大学進学相談会 (後期四国地区)
9月30日	松山	松山市総合コミュニティセンター (1F 企画展示ホール)	大学・短期大学進学相談会 (後期四国地区)
10月1日	高知	高知会館 (2F 白鳳の間)	大学・短期大学進学相談会 (後期四国地区)
10月2日	高松	アルファあなぶきホール (小ホール棟5F)	大学・短期大学進学相談会 (後期四国地区)
10月3日	大阪	大阪城ホール内 城見ホール	全国医歯薬科大学受験相談会
10月5日	岡山	岡山コンベンションセンター (3F コンベンションホール)	大学・短期大学進学相談会 (後期中国地区)
10月6日	広島	基町クレド (11F NTTクレドホール)	大学・短期大学進学相談会 (後期中国地区)
10月7日	福山	福山ニューキャッスルホテル (3F 光耀の間)	大学・短期大学進学相談会 (後期中国地区)

表 3. 平成20年度校内ガイダンス・模擬授業等一覧

	高 校 名	実施日	種 別	担当部署
1	兵庫県立北須磨高等学校	2008/5/7	医療系進学希望者対象	広報
2	大阪市立東高等学校	2008/5/22	学校別オープン形式	広報
3	兵庫県立西宮今津高等学校	2008/5/27	分野別理解	広報
4	私立三田松聖高校	2008/6/3	学部・学科別	広報
5	宣真高等学校	2008/6/4	分野理解オープン形式	広報
6	神戸市立神戸西高等学校	2008/6/11	学校別	広報
7	兵庫県立赤穂高等学校	2008/6/13	学校別	広報
8	園田学園高等学校	2008/6/18	学校別オープン形式	広報
9	兵庫県立加古川北高等学校	2008/6/25	学校別	広報
10	大阪青凌高等学校	2008/6/25	学校別	広報
11	兵庫県立三木北高等学校	2008/6/25	学部学科分野理解	広報
12	兵庫県立伊丹高等学校	2008/6/27	学校別	広報
13	兵庫県立宝塚高等学校	2008/6/27	学校別	広報
14	神戸学院大学附属高等学校	2008/7/2	学校別	広報
15	兵庫県立西宮北高等学校	2008/7/5	学校別	広報
16	兵庫県立芦屋高等学校	2008/7/10	学校別	広報



	高 校 名	実施日	種 別	担当部署
17	兵庫県立鈴蘭台高等学校	2008/7/11	学校別	広報
18	兵庫県立神戸高塚高等学校	2008/7/14	学校別	広報
19	園田学園高等学校	2008/7/15	学校別・入試対策	広報
20	兵庫県立姫路飾西高等学校	2008/7/15	学部学科分野理解	広報
21	私立摂陵高等学校	2008/7/16	学校別ブース形式	広報
22	西宮市立西宮高等学校	2008/7/16	学校別	広報
23	大阪府立山田高等学校	2008/7/16	入試相談会	入試
24	兵庫県立御影高等学校	2008/7/17	学校別	広報
25	大阪府立刀根山高等学校	2008/7/17	学校別	広報
26	兵庫県立伊川谷高等学校	2008/9/8	看護・医療技術系統説明	広報
27	兵庫県立西宮高等学校	2008/9/10	看護・理学作業系統説明	広報
28	兵庫県立明石高等学校	2008/10/8	リハビリ（医療含）系統説明	広報
29	兵庫県立舞子高等学校	2008/10/15	学校別	広報
30	兵庫県立川西名峰高等学校	2008/10/24	分野別理解	広報
31	兵庫県立宝塚西高等学校	2008/10/29	学部学科分野理解	広報
32	私立三田松聖高等学校	2008/11/18	学校別	広報
33	神港学園神港高等学校	2008/11/20	学部学科分野理解	広報
34	私立兵庫県播磨高等学校	2008/12/9	学校別	広報
35	神戸商業高等学校	2008/12/18	学校別	広報
36	兵庫県立高砂高等学校	2008/12/19	学校別	広報
37	兵庫県立神戸高塚高等学校	2008/12/19	学校別	広報
38	大阪府立山田高等学校	2009/3/5	学校別	広報
39	兵庫県立明石清水高等学校	2009/3/9	学校別	広報
40	兵庫県立福崎高等学校	2009/3/9	オープン形式	広報
41	兵庫県立須磨友が丘高等学校	2009/3/9	学校別	広報
42	兵庫県立有馬高等学校	2009/3/11	学校別	広報
43	私立大阪国際大和田高等学校	2009/3/12	学校別	広報

表４．平成21年度校内ガイダンス・模擬授業等一覧

	高 校 名	実施日	種 別	担当部署
1	兵庫県立加古川南高等学校	2009/5/14	学校別/3年生	広報
2	私立三田松聖高等学校	2009/6/5	1年生/看護・医療系	広報
3	神戸常盤女子高等学校	2009/6/19	学校別/2年生	広報
4	兵庫県立柏原高等学校	2009/6/22	学校別/3年生	広報
5	大阪府立豊島高等学校	2009/6/23	学校別/3年生	広報
6	私立園田学園高等学校	2009/6/24	学校別オープン形式/3年生	広報
7	兵庫県立加古川北高等学校	2009/6/24	学校別/3年生	広報
8	兵庫県立伊丹高等学校	2009/6/25	学校別/3年生	広報
9	伊丹市立伊丹高等学校	2009/6/26	学校別オープン形式/3年生	広報

	高 校 名	実施日	種 別	担当部署
10	兵庫県立宝塚高等学校	2009/6/26	学校別/3年生	広報
11	神戸学院大学付属高等学校	2009/7/1	学校別/3年生	広報
12	兵庫県立明石南高等学校	2009/7/9	学校別/3年生	広報
13	西宮市立西宮高等学校	2009/7/9	学校別/3年生	広報
14	大阪府立千里青雲高等学校	2009/7/10	学校別/3年生	広報
15	兵庫県立神戸高塚高等学校	2009/7/13	学校別/3年生	広報
16	兵庫県立川西北陵高等学校	2009/7/13	学校別/3年生	広報
17	兵庫県立西宮南高等学校	2009/7/14	学校別/3年生	広報
18	兵庫県立芦屋高等学校	2009/7/15	学校別/3年生	広報
19	大阪府立市岡高等学校	2009/7/24	学校別オープン形式	広報
20	兵庫県立北条高等学校	2009/8/24	学校別/1年生	広報
21	大阪府立阪南高等学校	2009/10/22	学校別/2年生	広報
22	一般入試説明会（広島）	2009/11/7	3年生/2年生/1年生/保護者	広報
23	神戸常盤女子高等学校	2009/11/18	学校別オープン形式/2年生	広報
24	兵庫県立神戸鈴蘭台高等学校	2009/11/18	2年生/看護・医療系	広報
25	兵庫県立舞子高等学校	2009/11/18	学校別/学校別オープン形式/ 3年生/2年生	広報
26	神戸龍谷高等学校	2009/12/17	学校別/2年生	広報
27	淡路三原高等学校	2009/12/18	2年生/薬学分野別/ リハビリテーション分野別	広報
28	兵庫県立神戸高塚高等学校	2009/12/21	学校別/2年生	広報
29	兵庫県立山崎高等学校	2010/2/16	1年生/薬学分野別/看護分野別/ リハビリテーション分野別	広報
30	大阪府立山田高等学校	2010/3/1	学校別/2年生	広報
31	奈良県立添上高等学校	2010/3/5	学校別/2年生	広報
32	兵庫県立須磨友が丘高等学校	2010/3/9	学校別/2年生	広報
33	兵庫県立武庫荘総合高等学校	2010/3/9	学校別/2年生	広報

表 5. 平成20年度見学会実施報告一覧

	高校名 or 団体名	実施日	種 別	
1	兵庫県立太子高等学校	4月24日	施設見学	
2	兵庫県立甲北高等学校	6月18日	施設見学／体験実習	看護学部・リハ学部体験
3	兵庫県立武庫荘総合高等学校	6月27日	施設見学／体験実習	看護学部・リハ学部体験
4	帝塚山学院高等学校	7月8日	施設見学／体験実習	薬学部体験
5	大阪府立中央高等学校	9月12日	施設見学／体験実習	薬学部体験
6	育英高等学校	10月4日	施設見学	
7	兵庫県立香寺高等学校	10月10日	施設見学	
8	私立中高進路指導研究会	10月10日	施設見学	
9	城西高等学校	10月22日	施設見学／体験実習	看護学部体験

	高校名 or 団体名	実施日	種 別	
10	兵庫県立伊丹北高等学校	10月28日	施設見学／体験実習	看護学部体験
11	神戸市立神港高等学校	12月16日	施設見学／体験実習	看護学部・リハ学部体験
12	三田松聖高等学校	12月17日	施設見学／体験実習	看護学部体験
13	兵庫県立東灘高等学校	12月19日	施設見学／体験実習	看護学部体験

表 6. 平成21年度見学会実施一覧

	高校名 or 団体名	実施日	種 別	
1	滋賀県立八幡高等学校	4 月24日	施設見学(学校説明含む) ／体験実習	看護学部体験
2	大阪府立箕面高等学校	5 月 8 日	施設見学(学校説明含む) ／体験実習	看護学部・リハ学部体験
3	兵庫県立武庫荘総合高等学校	6 月26日	施設見学(学校説明含む) ／体験実習	看護学部・リハ学部体験
4	開星高等学校	10月 7 日	施設見学(学校説明含む)	
5	兵庫県立香寺高等学校	10月 9 日	施設見学(学校説明含む)	
6	開明高等学校	10月22日	施設見学(学校説明含む) ／体験実習	リハ学部体験
7	兵庫県立伊丹北高等学校	10月27日	施設見学(学校説明含む) ／体験実習	看護学部体験
8	兵庫県立伊川谷高等学校	10月28日	施設見学(学校説明含む)	
9	兵庫県立三木東高等学校	11月 2 日	施設見学(学校説明含む) ／体験実習	リハ学部体験
10	仁川学院高等学校	11月 6 日	施設見学(学校説明含む)	薬学部体験
11	兵庫県立神出学園	12月 2 日	施設見学(学校説明含む)	
12	神戸市立神港高等学校	12月16日	施設見学(学校説明含む) ／体験実習	看護学部・リハ学部体験
13	兵庫県立東灘高等学校	12月18日	施設見学(学校説明含む)	
14	兵庫県立相生産業高等学校	3 月 5 日	施設見学(学校説明含む)	

## 2. 学生の福利厚生

### 1) 奨学金制度

#### 奨学金の貸与状況

本学における各種奨学金（日本学生支援機構奨学金、兵庫医療大学奨学金、兵庫医科大学病院貸与奨学金（返還免除特典付）、兵庫医科大学篠山病院奨学金（返還免除特典付））の貸与を受けている学生の割合は、平成20年度では全学生の46%、21年度は50%となり、奨学金へのニーズは予想以上に高いものとなっている。

上記の兵庫医科大学篠山病院奨学金制度は、兵庫医療大学に在学する学生を対象とし平成20年度に新設された。大学卒業後に兵庫医科大学篠山病院、ささやま老人保健施設において看護師・助産師の業務に従事しようとする学生に対し貸与している。

また、平成21年度には、奨学金返還の自覚促進サポートとして、学費の金額以上の奨学金の貸与を受けている学生を対象に、各学生部委員が面談を行い指導している。平成20・21年度における奨学金制度の利用状況は図1～2. に示す。

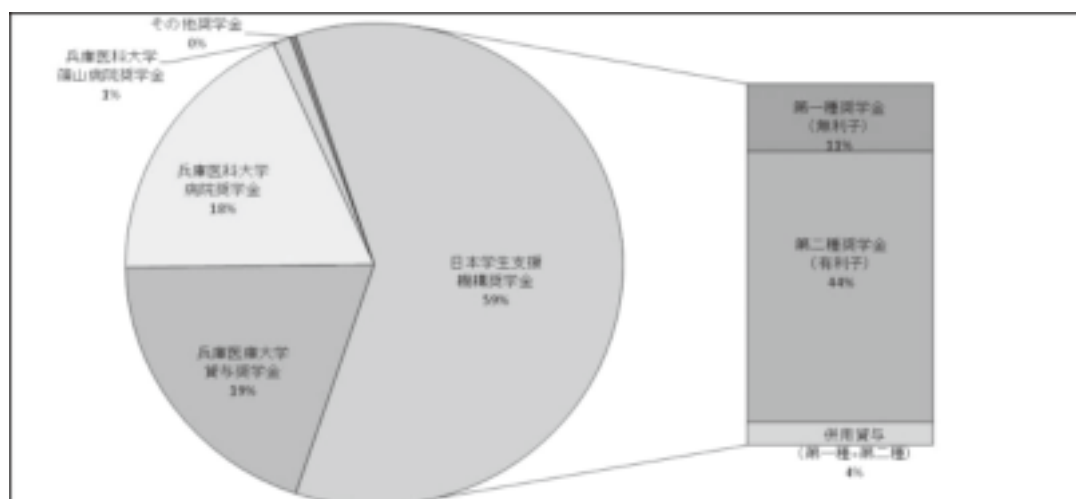


図1. 平成20年度奨学金採用者種類別割合（延人数）

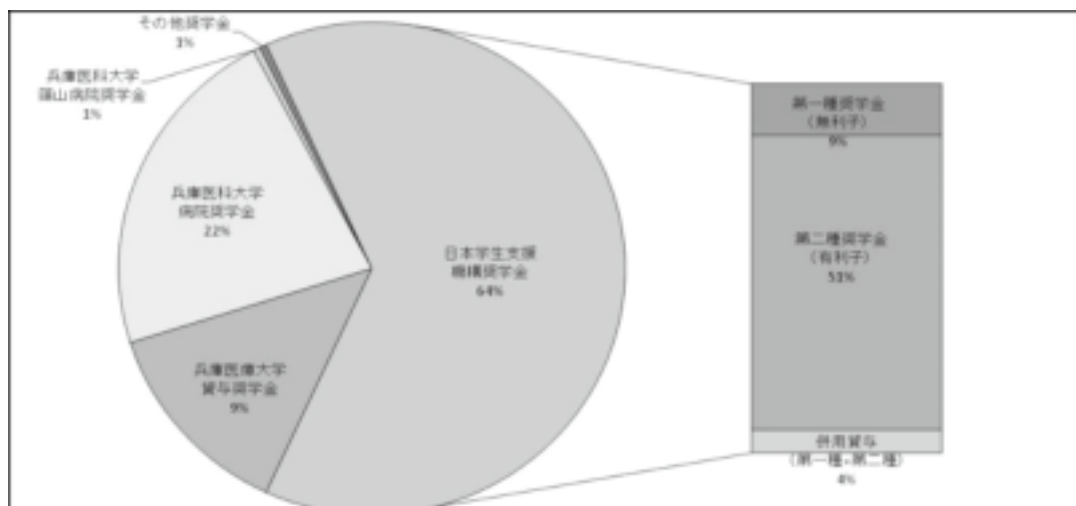


図2. 平成21年度奨学金採用者種類別割合（延人数）

## 2) 学生会活動

### i) 課外活動の概要

課外活動の参加状況については、平成19年度では281名、20年度478名、21年度601名の学生が課外活動に参加しており、参加人数は年々増加している。しかし、在学学生数の比率からすると19年度の75%から20年度では62%、21年度55%と年々減少している。

学部別の参加人数では、在学学生数の比率からも薬学部の学生が一番多く、学年別の参加人数では第2学年の学生が一番多い結果となった。課外活動状況の詳細を図1～3. に示す。

### ii) 公認課外活動団体

平成21年度時点で、学生組織2団体、部活動団体11団体、同好会活動19団体の計32団体が公認を受けて活動した。

平成20年度に3団体が部活動団体に昇格し、20・21年度とも5団体が新たに公認課外活動団体となった。大学公認課外活動団体及び所属人数を表1. に示す。

### iii) 公認課外活動団体の活動場所

平成20年4月よりニチイ学館体育館を時間借りし、公認課外活動団体の活動場所支援を行った。また、7月より公認活動団体に対し、学内の各施設（講義室、オクタホール）の貸出及び、8月より学外施設の使用に対する補助制度を設け、各団体への支援を実施した。

平成20年度において、体育館設置に関するワーキンググループを学生委員会にて設置し、体育館の使用に関すること、備品、什器に関すること等の検討を行った。学生の課外活動における主な施設を表2. に示す。

体育館（G棟アリーナ）については、平成21年3月より使用可能となり、毎月開催される使用者会にて利用計画を協議の上、公認課外活動団体が優先して使用している。

### iv) 学生会行事・イベントの活動状況

平成20年度については、4月の入学式に合わせて公認課外活動団体による勧誘、6月には学生総会を開催した。また、年度初めより大学行事实行委員会が結成され、10月に第1回目となる兵庫医療大学大学祭「海梟祭」を開催した。

第1回海梟祭と合わせて、優れた成績を讃え、愛校心の高揚と課外活動の側面的補助を目的とし、課外活動奨励賞を学生委員会に設け、平成20年度は学生会創設グループ、大学行事实行委員会創設グループ、水泳部を表彰した。

また、学生会費徴収についても支援を行い、平成20年度は直接口座振込にて対応したものの21年度には委託徴収する運びとなった。

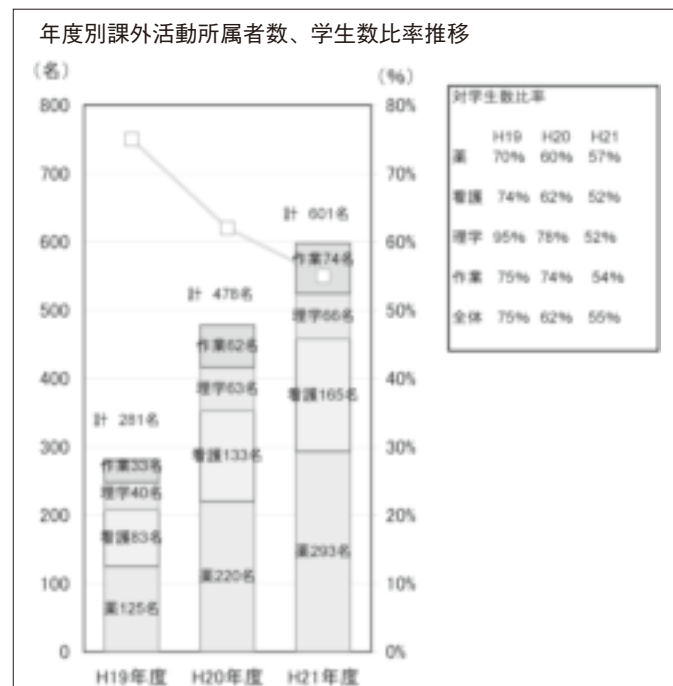


図1. 年度別課外活動所属者数、学生数比率推移



平成21年3月には、体育館（G棟アリーナ）使用開始を記念して学生会主催のスポーツ大会を開催した。

平成21年度には上記以外にも、新入生歓迎会を4月に開催した。また、学生委員会として情報の交換、指導上の協力を得ることを目的とし、公認課外活動団体の顧問に対し、顧問相談会を開催した。平成20・21年に実施した行事については表3. に示す。

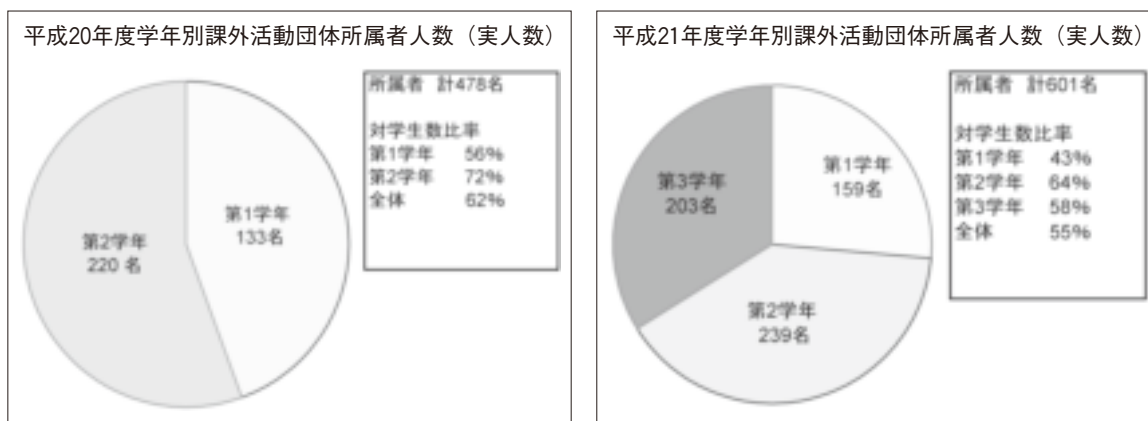


図2. 学年別課外活動所属者人数（実人数）

表1. 大学公認課外活動団体一覧

団体区分	団体名称	所属 人数	顧問（指導者）	
			所 属	氏 名
学生会組織	兵庫医療大学 学生会	19		
	兵庫医療大学 大学行事实行委員会	44		
計		63		
部活動団体	兵庫医療大学 アーチェリー部	15	薬学部	田中 明人 教授
	兵庫医療大学 バスケットボール部	15	共通教育センター リハビリテーション学部	賀屋 光晴 講師 森 明子 講師
	兵庫医療大学 バトミントン部	25	共通教育センター	伊藤 久男 教授
	兵庫医療大学 野球部	29	薬学部 薬学部	前田 初男 教授 上田 晴康 准教授
	兵庫医療大学 テニス部	24	薬学部	青木 俊二 教授
	兵庫医療大学 サッカー部	26	薬学部	田中 稔之 教授
	兵庫医療大学 水泳部	25	リハビリテーション学部	川口浩太郎 教授
	兵庫医療大学 ソフトテニス部	27	リハビリテーション学部	有吉 正則 講師
	兵庫医療大学 軽音楽部	67	共通教育センター	磯 博行 教授
	兵庫医療大学 Jazz バンド部	29	薬学部	前田 拓也 准教授
	兵庫医療大学 芸術研究部	11	薬学部	芝崎 誠司 准教授
計		293		
同好活動団体	HUHS バスケットボールサークル	61	リハビリテーション学部	香川 真二 講師
	Huhs バレーボールサークル	75	看護学部	西村 明子 講師
	兵庫医療大学 フットサルサークル	48	リハビリテーション学部	山田 大豪 教授
	兵庫医療大学 卓球サークル	9	リハビリテーション学部	日高 正巳 教授
	兵庫医療大学 テニスサークル	72	薬学部	大野 喜也 助手
	兵庫医療大学 ダンスサークル	30	リハビリテーション学部	佐野 恭子 講師

団体区分	団体名称	所属 人数	顧問（指導者）	
			所 属	氏 名
同好活動団体	兵庫医療大学 ラグビーサークル	9	薬学部	中野 博明 助手
	兵庫医療大学 ボランティアサークル	12	リハビリテーション学部	Paul Douglas Andrew 教授
	兵庫医療大学 漫画研究サークル	18	看護学部	水野 暢子 講師
	兵庫医療大学 映画鑑賞サークル	21	薬学部	藤野 秀樹 講師
	兵庫医療大学 天文サークル	23	共通教育センター	加藤 精一 講師
	兵庫医療大学 陶芸サークル	12	リハビリテーション学部	櫛辺 勇 講師
	兵庫医療大学 写真サークル	9	薬学部	山本 悟史 教授
	兵庫医療大学 医療研究サークル	13	共通教育センター	藤田 幸久 教授
	兵庫医療大学 書道華道茶道サークル	12	リハビリテーション学部	伊藤 斉子 准教授
	兵庫医療大学 ソフトボールサークル	17	リハビリテーション学部	山崎せつ子 教授
	兵庫医療大学 E.S.S サークル	5	共通教育センター	高木 節子 講師
	兵庫医療大学 器械運動	8	リハビリテーション学部	山田 哲 講師
	兵庫医療大学 空手サークル	10	薬学部 薬学部	岩岡恵美子 助手 上田 寛樹 講師
計		464		
総 計		820		

表 2. 公認課外活動団体活動場所一覧

施設区分	施 設 名	
学内施設	Garden Wing Arena	アリーナ、多目的ホール 1・2
		スタジオ
		工作室、アトリエ
		共同施設（スクエア・ミーティングルーム・ピロティ）
	テニスコート	
	グラウンド	
	バスケットゴール（野外）	
	講義室	
	オクタホール	
学外施設	実習室	
	学内構内スペース	図書館、M 棟 4 F バルコニー、レストラン前
	兵庫医科大学	
	ニチイ学館 体育館	
	学外屋内施設	スタジオ（三宮近辺）
		プール（ポートアイランド島内）
		体育館（三宮近辺）
		公民館（三宮近辺）
	学外屋外施設	テニスコート
		グラウンド
		フットサルコート
	その他	個人制作、海・山・川

表 3. 平成20・21年度学生会・課外活動関連行事

(平成20年度)			(平成21年度)		
月	日	行 事 内 容	月	日	行 事 内 容
4 月	4～11日	課外活動新入生勧誘	4 月	6 日 5～7 日	新入生歓迎会 課外活動新入生勧誘
5 月			5 月		
6 月	30日	学生会総会	6 月	24日	学生会総会
7 月			7 月		
8 月			8 月	7 日	顧問相談会
9 月			9 月		
10月	11～12日	第 1 回兵庫医療大学大学祭 (海梟祭)	10月	10～11	第 1 回兵庫医療大学大学祭 (海梟祭)
11月			11月	30日	臨時学生総会
12月	4 日 10日	クリスマスイルミネーション 点灯式 学生会役員選挙	12月	1 日 8 日	スポーツ大会 クリスマスイルミネーション 点灯式 学生会役員選挙開始
1 月	14日	臨時学生総会	1 月		
2 月			2 月		
3 月	6 日 12～13日	G棟アリーナ設置セレモニー、 スポーツ大会 公認課外活動団体更新・昇格 ヒアリング	3 月	16～18日	公認課外活動団体更新・昇格 ヒアリング

### 3) 保健管理センター

#### i) 施設の概要

当センターは保健室と学生相談室の2部門より構成され、学生を対象として体調の変化やこころのなやみの相談に応じている。定期健康診断や予防接種などが主な業務であるが、学内の感染症の集団発生や事故の予防、そして学生の健康管理やメンタルヘルスケアの積極的支援を心がけている。病気や事故の際には当センターを当然利用することになるが、本来これらの事柄は発生しないことが望ましい。病気になるまでに何らかの徴候を自覚した時点で気楽に当センターに相談してもらえるように努めている。

#### ii) 保健室

スタッフ：医師1名 保健師1名（平成21年度6月より保健師2名体制）

##### (1) 健康診断

第1学年次から第3学年次の健康診断を兵庫県健康財団に全面委託して内科診察、胸部X線直接撮影、身体計測（身長・体重・BMI）、視力測定を実施した。健康診断時に健康調査票（既往歴、現病歴、アレルギー等）を記入させ、必要のある学生には医師・保健師による面談を行い健康管理に役立てた。健康診断の結果は、セントラルオフィスで返却した。平成20年度健康診で、胸部X線直接撮影の未受診者1名については、医療機関で検査を実施させ、証明書提出させた。健康診断未受診者のもう1名は長期欠席である。平成21年度の健診受診率は100%であった。要精密検査者には面談で、精密検査を勧め、精密検査の結果を確認した。学生の定期健康診断の実施状況を表1～2.に示す。

日時：

平成20年度

5月26日（月）～30日（金）の5日間 12:00～16:50

平成21年度

3月26日（木） 9:00～17:00

4月11日（土） 10:50～16:10

会場：地域連携実践センター

実施医療機関：兵庫県健康財団

表1. 平成20年度学生定期健康診断実施者数

学 部	対 象 者	健康診断		胸部X線直接撮影	
		実施者数	受診率	実施者数	受診率
薬学部	362	362	100.0	361	99.8
看護学部	212	212	100.0	212	100.0
リハビリテーション学部	163	162	99.4	162	99.4

※対象者に休学者を省く

表 2. 平成21年度学生定期健康診断実施者数

学 部	対 象 者	健康診断		胸部 X 線直接撮影	
		実施者数	受診率	実施者数	受診率
薬学部	505	505	100.0	505	100.0
看護学部	324	324	100.0	324	100.0
リハビリテーション学部	260	260	100.0	260	100.0

※対象者に休学者を省く

## (2) 抗体検査・ワクチン接種

病院実習の感染予防対策として、平成20年度は入学前に水痘・ムンプス・麻疹・風疹の4種ウィルスの抗体検査（水痘・ムンプス・麻疹・風疹：EIA 法）を医療機関で施行し、抗体陰性者及び擬陽性者には早期臨床実習までに学内でワクチンを接種した。ワクチン接種は兵庫県健康財団に委託し、学内で施行した。体調不良等により学内で実施できなかった学生は医療機関で接種した。ワクチン接種後の確認抗体検査は統一した基準での免疫状態の確認が必要となることから、全員本学で実施した。

ワクチン接種により抗体を獲得できなかった場合、第2学年次に再度ワクチン接種を実施した。2回接種しても陽性とならなかった場合も希望者には第3学年次においてワクチン接種を実施した。学年が上がるごとに抗体陽性率が上昇していることからワクチン接種が有用であると思われる。ワクチン接種の趣旨への理解が得られ休学者や長期欠席者以外の全学生に接種することができた。ワクチン接種後の抗体陽性状況を表3. に示す。

日時：

平成20年度

ワクチン接種：4月23日（水）12:00～16:50

5月21日（水）12:00～16:50

6月18日（水）12:00～13:00

確認抗体検査：11月18日（火）14:00～16:50

11月25日（火）13:00～15:50

平成21年度

抗体検査：4月6日（月）13:00～17:00

ワクチン接種：5月8日（金）12:30～16:00

6月12日（金）16:00～18:20

7月17日（金）12:00～13:00

確認抗体検査：10月22日（木）12:30～16:30

10月29日（木）12:30～16:30

会場：地域連携実践センター

実施医療機関：兵庫県健康財団

表 3. 各学年のワクチン接種後の抗体陽性率

（平成22年3月末現在）

	麻 疹	風 疹	水 痘	ムンプス
1 年（平成21年度生）	99.5 (98.0)	99.0 (93.7)	98.4 (93.7)	89.6 (75.7)
2 年（平成20年度生）	100.0 (80.6)	99.5 (84.1)	99.8 (88.4)	95.8 (76.0)
3 年（平成19年度生）	100.0 (41.8)	100.0 (89.2)	99.5 (80.4)	98.0 (49.5)

※（ ）は各学年の入学時の抗体陽性率。



### (3) 保健室利用者状況

保健室利用者は4月、5月に次いで6月が多い。この時期は抗体検査やワクチン接種関連の説明が多く、「面談・説明」の件数が多い。平成21年度は、学生数の増加や新型インフルエンザの流行があり、「面談・説明」が更に多くなり、利用者数の合計も前年を上回った。平成20・21年度における保健室利用状況を表4. に示す。

表4. 平成20・21年度症状別保健室利用者数

年 月		内 科	外 科	その他	相 談	ベッド 休 養	医療機 関搬送	救急車 搬 送	面談・ 説 明	測 定	その他	合 計
平成 20 年 度	4 月	23	29	15	9	7	1	0	461	45	53	643
	5 月	49	25	20	4	26	0	1	182	28	46	381
	6 月	39	44	24	8	16	0	0	90	11	87	319
	7 月	53	44	28	5	23	1	0	60	11	74	299
	8 月	11	8	5	2	7	0	0	15	0	29	77
	9 月	12	5	14	0	6	0	0	4	11	16	68
	10月	52	32	17	1	17	1	0	17	9	64	210
	11月	32	15	23	2	12	0	0	74	17	55	230
	12月	44	21	11	1	25	0	0	42	7	106	257
	1 月	73	16	10	2	22	0	0	72	15	177	387
	2 月	23	10	6	1	0	0	0	44	5	60	149
	3 月	3	6	1	1	2	0	0	24	0	32	69
	合計	414	255	174	36	163	3	1	1,085	159	799	3,089
平成 21 年 度	4 月	43	40	32	8	24	0	0	331	5	135	618
	5 月	51	29	11	7	13	0	0	209	5	56	381
	6 月	77	57	42	8	38	0	0	193	61	101	577
	7 月	69	51	42	9	27	0	0	106	56	103	463
	8 月	12	7	10	0	8	0	0	50	11	19	117
	9 月	14	9	14	1	7	0	0	140	15	27	227
	10月	54	33	18	3	14	0	0	221	69	48	460
	11月	73	22	21	2	16	0	0	276	59	52	521
	12月	52	34	8	1	7	0	0	220	41	37	400
	1 月	42	17	6	0	11	0	0	156	54	39	325
	2 月	18	8	6	2	2	0	0	69	11	16	132
	3 月	10	7	4	1	0	0	0	50	1	6	79
	合計	515	314	214	42	167	0	0	2,021	388	639	4,300

### (4) 一次救命救急対策

#### 1) 事故発生時の状況

平成21年10月、体育の授業中に男子学生1名が倒れ、心肺停止となった。体育の担当教員が、直ちに心臓マッサージを開始し、その場に居合わせた学生や教員とで救急車を要請、AEDを装着し電気ショックを行った。その後、人口呼吸施行中に意識が回復し、救急車（医師同乗）で市内某病

院へ搬送され、後遺症もなく救命した。保健管理センタースタッフ（医師・保健師）は現場急行し、保健管理センター長は、主治医と連絡をとり病状を把握し、退院後適宜面談した。また、現場に居合わせた学生達の精神的な影響を配慮し、不安等があれば保健室・学生相談室を利用するように指示した。

## 2) 対策

教職員対象のBLS講習会が行われ、「傷病者発生時救急マニュアル」を作成した。学内のAEDは、レストランにも増設され、計6台となった。また、AEDの設置場所は、赤い看板で表示し、学内案内地図にも設置場所を図示した。緊急時に使用できる非常用内線電話が10か所に設置され、保健師等には救急連絡用の携帯電話を貸与した。緊急時の車椅子は4か所に設置し、緊急用担架（通常はベンチとして使用）も8か所に設置した。

## 3) その他

卒煙教室を平成21年11月25日に地域連携実践センターで開催した。呼気中一酸化炭素濃度測定器（マイクロスモーカーライザー）を1ヵ月間レンタルし、卒煙個別指導も実施した。測定目的で来室する学生が多かった為、マイクロスモーカーライザーを備品として平成22年2月に購入し、随時、保健室で測定できるようになった。

保健だよりを作成し、平成20年度から年4回（春・夏・秋・冬）発行している。また、有志の学生スタッフも協力している。

### iii) 新型インフルエンザ対策について

#### (1) 感染状況

平成21年5月16日に新型インフルエンザ（A/H1N1）が神戸市内で確認され、神戸市から休校要請があり、5月16日～22日まで全学休校となった。また、11月にはリハビリテーション学部作業療学科1年で16%のインフルエンザ及び疑いの自宅待機者を認め、該当学科1年は11月25日～29日まで学年閉鎖となった。インフルエンザA型に罹患した学生の保健室への報告は、平成21年度5～6月で25名、8～3月では203名で、計228名であった。

#### (2) 対策

- ア 新型インフルエンザ対策本部設置（5月16日）
- イ 発熱相談室の設置（5月25日～6月15日）地域連携実践センター（P棟2階）
- ウ 発熱やインフルエンザ罹患の報告対応：37.5度以上の発熱や新型インフルエンザ感染を疑われる症状がある場合は、保健室（夜間・休日は警備室）へ電話連絡するよう通知
- エ 学外実習中の発熱、インフルエンザ疑い者の報告対応：「兵庫医療大学臨床実習許可基準」作成
- オ 出席停止措置の事務手続き：登校時に提出された罹患届（診断書添付）を保健管理センター長が確認し出席停止期間を認定
- カ 学内の感染情報の把握と学内の情報提供：「受付報告」、「受付管理台帳」作成
- キ 行政との連絡調整：保健所への「インフルエンザ発生状況 連絡票」報告
- ク 学内感染予防対策：手指消毒用アルコール、うがい用イソジンガーグル、紙コップをM棟とP棟の1階および保健管理センター前にあるトイレの洗面所に設置
- ケ 備蓄品の調達：サージカルマスク、消毒用アルコール、イソジンガーグル等
- コ インフルエンザ関連の行政や官公庁からの情報収集
- サ インフルエンザ関連の通知や情報を大学ホームページ・グループウェア（Web掲示板）・学内所定掲示板で周知

#### iv) 学生相談室

スタッフ：2名

##### (1) 学生相談室利用状況

平成20年4月より相談員2名体制になり、開室日も月・火・木の週3日になった。平成20年度の相談室利用件数は137件で、利用件数は前年度よりも大幅に増加した。21年度相談室利用件数は93件であった。学生相談は、相談内容によっては、1～2回で終わるケースがある一方、長引くケースもあるが、初めて来談する学生数は年々増加の傾向にある。相談内容を区分別にみると、「入学時の不適応感」、「友人関係」、「異性問題」、「将来に対する不安や漠然とした不安、抑うつ感」、「学業、学校生活に関すること」などがみられた。また、当大学の特徴的なこととしては、医療専門職を育成する大学であることから、将来の進路の方向性の明らかな学生が多いにもかかわらず、入学してから不適応感を感じたり、自信をなくしたりといった相談や、授業のカリキュラムについていけない悩みがみられた。同じ学科の学生が同じ講義を受講し、また実習等もあるため、グループの中での対人関係についての悩みの相談もみられた。平成20・21年度の学生相談室の利用状況を表5～6.に示す。

表5. 平成20年度相談室利用状況

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
就職や将来の進路	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	5
異性問題	0	2	6	7	2	4	11	8	7	6	1	1	55
授業など学業	2	0	3	1	1	0	0	0	1	6	5	3	22
友人等との対人関係	3	11	18	3	0	0	0	0	1	0	1	0	37
性格	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
経済問題(家計・学費・ローン等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
価値観	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健康	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
課外活動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家族や家庭内のこと	0	0	0	1	0	1	2	2	0	0	0	0	6
その他	1	4	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	8
合 計	7	17	29	17	3	5	15	11	9	13	7	4	137

表6. 平成21年度相談室利用状況

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
就職や将来の進路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
異性問題	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
授業など学業	7	3	2	1	0	0	2	1	2	2	1	0	21
友人等との対人関係	2	2	6	2	0	2	1	0	0	1	0	0	16
性格	5	3	7	2	0	1	3	2	1	1	0	2	27
経済問題(家計・学費・ローン等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
価値観	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健康	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
課外活動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家族や家庭内のこと	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
その他	6	1	11	2	1	0	0	2	2	0	0	0	25
合 計	20	11	27	7	1	4	6	5	5	4	1	2	93

## (2) 学生相談室イベントの開催

平成20年度より毎年、学生相談室主催のイベントを春と秋の年2回行うようになった。こうした相談室のイベントは、学生と相談員との交流により、学生相談室の存在を身近に感じてもらい、学生が悩んだ時に気軽に相談室を利用できるような環境作りを目的としている。春には、新入生も入ってくることから、自分の性格傾向に気づき、学生生活に役立ててもらう目的で心理テストを用いた内容を企画した（心理テストは2年続けて同じ内容のものを使用した）。学生たちは自己理解に対する関心が高く、毎回和やかな雰囲気ながらも、真面目に取り組んでいた。秋には、自分の世界を表現する過程を楽しみながら体験することで言葉にはならない自分の世界を味わい、気持ちをリフレッシュしてもらうことを目的としたコラージュの制作を行った。毎回、学生たちは和やかに歓談しながら、一枚の紙の中で切り抜いた異質な図柄に出会う偶然を楽しんだり、自分なりの意味づけをしてくれていたようであった。学生相談室が実施したイベント活動を表7～8. に示す。

表7. 平成20年度学生相談室イベント

開催日	時間	場所	内容	参加者
6月3日（火）	16:15～17:45	地域連携実践センター	「私ってどんな性格？」	29名
6月5日（木）	16:15～17:45			
11月11日（火）	14:40～17:00	地域連携実践センター	「コラージュを楽しもう」	23名
11月20日（木）	13:00～14:30 14:40～16:20			

表8. 平成21年度学生相談室イベント

開催日	時間	場所	内容	参加者
5月26日（火）	14:40～16:10	地域連携実践センター	「自分の性格知りたいと思いませんか？」	33名
5月28日（木）	14:40～16:10			
11月10日（火）	14:50～16:20	食堂2階	「ほっといっぷく コラージュで遊ぼう」	10名
11月12日（木）	13:20～15:40			

## (3) その他の活動

### 1) 箱庭療法セットの導入

平成20年12月箱庭療法セットが導入され、学生の相談環境がより整えられた。

### 2) 教職員サポートハンドブック

開学して間もない大学であることから、教職員が学生や保護者に応対する時のサポートとして、「教職員サポートハンドブック」の作成を平成20年度より取り組んできたが、平成21年3月に完成し、4月に教職員へ配布した。

### 3) 教職員のハラスメントの窓口

平成22年2月、教職員のハラスメントの相談窓口として、学生相談室相談員が受け付けることとした。

### 3. 附属施設・活動状況

#### 1) 図 書 館

##### i) 図書館の概要

兵庫医療大学附属図書館は、本学創立と同時に設立され薬学部、看護学部、リハビリテーション学部の共通図書館として、教員の研究活動への最新情報を提供する役割を担っており、蔵書や閲覧席の充実を図るなど大学完成年度に向けて順次整備を進めている。

図書館は、P棟3階に位置し、面積は約2,500㎡、閲覧座席数368席、図書の保管能力は約20万冊、グループ学習室20室（7～10名）が併設されるなど恵まれた環境にある。平成21年度末現在における蔵書数は、単行書15,290冊（洋書1,540冊含む）、製本雑誌967冊（洋雑誌566冊）、視聴覚資料1,257点、合わせて17,514冊（点）となっている。

平成21年には株式会社紀伊國屋書店より芸術品：「2009 MOON（円の記憶・6月）」橋本敦史作が寄贈され、6月25日に披露セレモニーが挙行政され、現在図書館ブラウジングゾーンに設置している。

##### ii) 図書館設備の整備

平成21年度には、閲覧座席・グループ学習室とも試験期間中には満席となることが多く混雑を解消するため、学生からの要望により窓側に閲覧席を72席増設した。座席数は368席となり学生数の約27％を確保している。

平成21年度は図書購入費削減により、図書資料の受入冊数が20年度に比べると大幅に減少した。雑誌は、416種（洋雑誌145種含む）所蔵している。電子ジャーナルは、約3,000誌を閲覧可能とし、電子ジャーナルパッケージ3種、データベースは9種導入している。

また、中置書架後方に、国試対策本を集約した国試対策コーナーを設置した。平成20・21年度における図書資料の受入状況を表1.に示す。

##### iii) 図書館委員会の活動

平成20年度には、図書館委員会において本学図書館が蔵書する図書資料の資料集書基準や寄贈図書資料の受入基準及び、図書資料の取扱基準等について検討した。

平成21年度においては、新型インフルエンザの神戸市発生に伴う緊急対応により5月18～23日までの6日間が全学休校となったため休館措置をとった。

また、学生から要望のあった試験期間中における土曜日・日曜日・祝日等の休日開館について、午前9時～午後5時までを開館することにした。

##### iv) 図書館の利用状況

本学における図書館利用対象者が、学生・教職員併せて397人増加に対し、入館者数は前年度に比べ33,996人増と劇的な伸びを見せ、年間入館者数が初めて10万人を超えた。貸出冊数についても1万冊を超え、学年進行とともに学生・教職員の意欲的な学習・研究の一端を担っていると考えられる。平成20・21年度における図書館の利用状況は表2～4.に示す。



表 1. 平成20・21年度図書資料の受入状況

年 度	単行書		製本雑誌		視聴覚資料		合 計
	和 書	洋 書	和 書	洋 書	和 書	洋 書	
平成20年度	5,040	542	180	264	334	0	6,360
平成21年度	1,397	100	158	265	56	0	1,976
合 計	6,437	642	338	529	390	0	8,336

表 2. 平成20・21年度 図書館の利用状況

年 度	開館日	利 用 者		入館者 (延数)	貸 出		複 写 枚 数
		学生数	教職員数		冊 数	人 数	
平成20年度	280	1,103	281	84,685	7,008	2,281	2,190
平成21年度	277	1,436	345	118,681	10,945	3,435	6,190

表 3. 平成20・21年度グループ学習室の利用状況

年 度	授業での利用 (コマ数)	個別利用 (時間)
平成20年度	70	31.5
平成21年度	102	81.0

表 4. 平成20・21年度図書館の相互利用

年 度	依 頼				受 付			
	複 写	貸 借	閲 覧	照 会	複 写	貸 借	閲 覧	照 会
平成20年度	574	12	0	0	115	3	1	3
平成21年度	447	8	2	3	595	5	4	3

図書館に併設されているグループ学習室20室の利用は、平成21年度では20年度に比べ授業での利用が32コマ、個別利用は50時間余りが増加した。試験直前から試験期間中にかけて満室となることが多くなり、学生のグループ学習の利用に大いに貢献している。

また、実技実習において姉妹校である兵庫医科大学で本学学生が図書館を利用する。また、医大生がチュートリアル教育で本学に來学し本学図書館を利用するなど、両大学の学生が相互に図書館を利用するケースが増加している。

#### v) 学習支援・研究支援

平成21年度より、全学部第1年次学生に向けて情報学授業4コマを図書館員が担当し、図書館の利用と文献情報検索の基礎を解説した。看護学部については、第3～4年次学生対象の授業において同様の文献情報検索を解説している。

相互利用による他大学図書館等への文献複写依頼及び貸借依頼は、主に教員が利用しており学生の申込みはなかった。相互利用の受付では、21年度は前年度に比べ480件余り増加しており、学外者への学術情報の提供に大きく貢献している。

## 2) 情報センター

### i) 施設の概要

情報センターは平成21年1月に学長直轄の組織として出発し、各学部・共通教育センターからそれぞれ1名選出された教員、広報・情報グループの事務職員で構成される組織である。本センターは、兵庫医療大学の情報ネットワークを含む情報システムの企画・整備・運用により、本学の教育・研究を支援し、本学の発展に資することを目的としている。

### ii) 活動状況

平成21年1月より、現在の情報センターとして活動し約1年、月1回の会議の他に、情報システムに関する利用者説明会の開催、様々な情報システムに関する企画や整備・運用を行ってきた。以下に平成21年度に実行された情報システム関連の説明会や情報システムの導入、運用の整備状況について主な項目を報告する。当初募った運用の課題については、実施できるものについては積極的に対処し、約1年で完遂した。今後は3年後に迫ったりプレースに向けた各部署の要望のとりまとめ、現システムでの問題の洗い出しなどを行い、より利用しやすい情報システムの構築を目指す。

### iii) 説明会の実施状況

平成21年4月28日 情報システム利用者説明会 オクタホール

平成22年2月26日 安否確認システム説明会 M204

### iv) 情報システムの導入・整備状況

- ・学長ブログの設置
- ・学長目安箱の開発、設置
- ・就職情報データベースの開発と設置
- ・情報センターホームページの整備
- ・安否確認システム（Web 掲示板、メール送信機能）の導入
- ・IP 電話における転送及び留守番電話サービスの導入
- ・平成22年度からのウイルス対策ソフトウェアのキャンパスライセンス契約の締結
- ・成績発表の学外からの閲覧
- ・臨床薬学研修センターのインフラ整備の支援
- ・CBT 運用に関する支援
- ・学内無線 LAN 運用に関する内規の作成
- ・学部別サーバ運用に関する内規の作成
- ・学生の印刷ポイントを半年600ポイント更新から、年1,200ポイント更新へ改善
- ・スキャナの設置@情報処理演習室1、2
- ・教育用端末にライフサイエンス辞書無料版の導入

### 3) キャリアデザインセンター

#### i) 施設の概要

各学部のキャリアデザインをサポートし、社会に有用な卒業生の輩出を目指す専門職業教育支援の拠点とする為、平成21年4月1日にキャリアデザインセンターをM棟1階(M104)に開設した。平成20年度においては当該センターの目標(目的)、業務内容(活動内容)、関係規定等を協議し、キャリアセンター規程並びに当該センターをサポートするキャリアデザイン委員会規程を制定した。更に、専任教授をセンター長に委嘱、専従職員の配備も完了し、卒業年次を対象とした病院説明会や各種ガイダンス、求職情報の提供などの「就職支援」及び、進路を考え、キャリアデザインの基盤作りとなる「キャリア支援」を行うことにより、学生の卒業後の充実した進路選択をサポートしている(活動状況については表1～5.に示す)。

また、低学年のうちから自分の将来像を明確にすることで、その実現に向けて主体的に取り組むことの重要性を学生自身が実感し、日々の授業や実習での学び、学内外での生活を充実させることの大切さへの「気づき」を促すことを第一に考える。

スタッフ：センター長 藤田 幸久

副センター長 林 幸男

センター員 鷺尾 有香(キャリアディベロップメントアドバイザー)

中村 紗恵

場 所：M棟1階(M104)

開室時間：平日 午前8時30分～午後5時まで

#### ii) 活動内容

##### (1) キャリア支援

- ・仕事研究セミナー
- ・病院・施設等職場見学
- ・キャリアデザインガイダンス
- ・進路希望調査(薬学部3年生・看護学部3年生・リハビリテーション学部3年生)

##### (2) 就職支援

- ・学内合同病院説明会(兵庫医科大学病院・兵庫医科大学ささやま医療センター)
- ・社会人スキルガイダンス
- ・社会人スキル対策講座
- ・公務員採用試験ガイダンス
- ・保健師ガイダンス
- ・進路希望登録票
- ・求人票、施設／企業資料ファイリング

##### (3) その他

- ・キャリアデザインセンター広報誌「キャわら版」の発行(年4回)
- ・キャリアデザイン委員会の運営(月1回)
- ・新学期オリエンテーション
- ・オープンキャンパスでのキャリア、就職支援の紹介
- ・PI4大学連携キャリア実務者会議

表 1. 仕事研究セミナー（平成21年度）

回	開催日	テ ー マ	対象	参加者
第 1 回	6 月 30 日 (火)	看護師から高校教諭へ	全学部 全学年	21名
第 2 回	10月 8 日 (木)	MR 女子のため息	全学部 全学年	4 名
第 3 回	11月 5 日 (木)	記者から医療現場へ	全学部 全学年	13名
第 4 回	12月 3 日 (木)	製薬企業研究現場（薬理研究）と企業診療所（管理薬剤師）	全学部 全学年	23名
第 5 回	12月17日 (木)	製薬企業研究現場（合成研究）と EYE ケア・ベンチャーへ	全学部 全学年	24名
第 6 回	1 月 6 日 (水)	作業療法の広がり可能性	全学部 全学年	3 名

表 2. 公務員試験採用ガイダンス（平成21年度）

回	開催日	内 容	対象	参加者
第 1 回	8 月 7 日 (金)	資格職の採用状況、資格職に必要な公務員試験の勉強方法等	全学部 全学年	4 名
第 2 回	9 月 7 日 (月)	資格職の採用状況、資格職に必要な公務員試験の勉強方法等	全学部 全学年	20名

表 3. 保健師ガイダンス（平成21年度）

回	開催日	内 容	対象	参加者
第 1 回	9 月 7 日 (月)	保健師の採用状況、試験内容、対策ポイントの具体的説明等	看護学部 3 年生	20名
第 2 回	2 月 23 日 (火)	保健師の採用状況、試験内容、対策ポイントの具体的説明等	看護学部 3 年生	22名

表 4. キャリアデザインガイダンス（平成21年度）

回	開催日	テ ー マ	対象	参加者
第 1 回	12月24日 (木)	薬学を学ぶことで広がる職業選択の可能性	薬学部 全学年	3 名

表 5. 社会人スキルガイダンス（平成21年度）

回	開催日	内 容	対象	参加者
第 1 回	2 月 23 日 (火)	就職ガイダンス（年間スケジュール、試験対策、ビジネスマナー 等）	看護学部 3 年生	98名
		美肌学講座（スキンケア法、印象の良いメイク法 等）		

## 4) 地域連携実践センター

### i) 施設の概要

地域連携実践センターでは、近隣の地域住民の方々の健康の維持増進と回復のために、本学教員のもつ専門知識や技術を披露し、活用していただくことを目標に実践活動を推進した。開設当初より開始した公開講座・健康相談、教員の研究活動の展示を継続して定着させ、新たに地域交流プロジェクトを立ち上げた。本センターの活動の大方は、平成20・21年度「文部科学省による戦略的大学連携支援事業」として「ボーアイ4大学による連携事業」と並行して行った。

### ii) 公開講座

3学部1センターにより各々企画し、薬学部、看護学部、リハビリテーション学部、共通教育センターの順に毎年、定期的に開催することとした。にあるように、この2年間で8回開催した(表1～2.)。開催の都度に参加者からアンケート調査を行い、出席者の数、年齢構成、職業、居住地、開催情報の入手先、開始時間、講話時間、テーマへの希望、満足度、役立ったか、次回への参加希望などについて結果を集計し検討した(図1～11.)。回を重ねるにしたがって、参加者は30名前後から70名へと増加してきた。テーマが人々のニーズに合致したと思われるものとしては、「中高年における‘うつ’の理解と対応」、「健康のために知っておきたい漢方医学の知識」、「自分でできるストレス緩和策」等があった。「家庭で役立つ看護技術」は、実習室で実技のトレーニングを含んでおり、継続して開催して欲しいとの要望があった。

「特別公開講座」は3回行った(表3.)。内容は、世界天文年に因んで七夕の日に「講演会：ガリレオが見た宇宙」、ブラジルから来日していたHIV感染陽性者による体験を踏まえた「講演会：多様性を認め合う社会へHIV+の僕からあなたへのメッセージ」、「いのちのリレー ―臓器移植の新たな時代を迎えて―」であり、本学の学生も多く参加した。

### iii) 健康相談

健康相談は開設当初から継続している。公開講座を終了した後に本学教員が担当して行った(表4.)。その時の公開講座のテーマに関連する事項に詳しい教員に依頼して、相談を受けることとした。また地域連携委員はそれぞれが担当できるテーマを提示して行った。

担当者名は事前に配布した公開講座のチラシに一覧して掲載した。相談件数と相談内容は10件内外であり、開催された公開講座のテーマに関連した相談内容が大方であった。

### iv) 地域交流プロジェクト

地域交流プロジェクトの目的は、「本学教員の発案により、地域住民の健康の維持増進をめざしてプロジェクトを企画し、新進の講座を運営する」にあり、平成20年度から開始した。平成20年度は1件5万円であったが、21年度からは10万円とした。学内教員を対象に、前年度の秋に公募し、翌年度に実施した。地域連携実践センターを活用することを原則とし、学内で企画している行事と重ならないように採択後に日程調整を行った。PRは地域連携実践センターが主として行うこととした。研究の一環として、企画することも可能であり、次年度に継続する企画については、年度毎に再度申請することとした。地域連携実践センターにおいて本学独自の研究を開始する素地を設ける意図をもっている。「介護予防・生きがいづくりを応援する ―65歳大学―」、並びに「高齢者を介護する人のための支援 ―そのときあなたが困ったら―」は2年間にわたっており、「知っておきたいがんの基礎知識 ―がんとうどう付き合うか―」も含めて、シリーズで開催したので反響は大であった。地域交流プ



プロジェクトにおける平成20・21年度の活動状況について表5. に示す。

なお、平成21年度プロジェクト3件は、「ボーアイ4大学による連携事業」として採択され助成された。

#### v) 教員研究活動の展示

地域連携実践センター内のロビーの掲示板に、3学部Iセンターの教員の研究活動をポスターにして展示し、3ヶ月毎に入れ替えを行った。教員の活動について、他学部の教員、職員、学生はもとより、当センターの来所者に広く見てもらい、PRすることに狙いがある。

#### vi) 図書の開架

地域連携実践センター内のロビーに備えた書架には、平成20年度29冊、21年度63冊の図書を追加し、19年度分と合わせて164冊となった。図書の充実については、健康相談の順番の待ち時間に際して、備えることができた。また、貸出しや持ち出しを禁止する図書のコピーサービスを行うこととした。

#### vii) PR 活動

公開講座の広報先は、平成22年1月までは、主としてポートアイランド内の新聞1社に折り込み、また地区内の生活クラブや医療関連の機関に3,000枚程度のチラシを配布していた。3月からは新聞折り込みを6紙とし、神戸市内灘区まで拡大し、8,700枚程度に増やした(表6.)。

本学のホームページに地域連携センターの活動を掲載した。公開講座や地域交流プロジェクトの前にはチラシを掲載し、事後には講座の内容や反響の様子を載せた。

表1. 平成20年度公開講座

回	開催日時	テ ー マ	所 属	講師 (○代表者)	参加者
第5回 (その1)	5月10日(土) 14:00~17:00	在宅療養における栄養剤の使い方	薬学部	八野 芳巳	9
第5回 (その2)	6月14日(土) 14:00~17:00	在宅療養における栄養剤の使い方 Part 2	薬学部	八野 芳巳	14
第6回	9月20日(土) 14:00~17:00	認知症の人の理解とケア	看護学部	大町 弥生	27
第7回	11月8日(土) 14:00~17:00	中高年における“うつ”の理解と対応	リハビリ テーション学部	湖海 正尋	36
第8回	3月7日(土) 14:00~16:00	いざという時の救急蘇生	共通教育 センター	賀屋 光晴	20

表 2. 平成21年度公開講座

回	開催日時	テ ー マ	所属 講師 (○代表者)	参加者
第 9 回	7 月 25 日 (土) 14:00～17:00	健康のために知っておきたい漢方医学の知識	薬学部 ○戴 毅 岩岡恵実子	48
第10回	10月10日 (土) 14:00～16:00	家庭で役立つ看護技術	看護学部 ○竹田千佐子 水野 暢子、 土田 敏恵、 増田富美子、 岡 みゆき、 土屋 智洋、 笠原 知春、 荻野 待子	34
第11回	11月 7 日 (土) 14:00～16:00	療養を支える —嚥下障害との上手なおつきあい—	リハビリテーション学部 野崎 園子	39
第12回	3 月 6 日 (土) 14:00～16:00	自分でできるストレス緩和策	共通教育センター 磯 博行	77

表 3. 平成21年度特別公開講座

開催日時	テ ー マ	参加者 (学生数)
7 月 7 日 (火) 18:00～19:00	全国同時七夕記念講演会 「ガリレオが見た宇宙」 共通教育センター 講師 加藤 精一	30 ( 8)
12月 4 日 (金) 16:30～18:00	多様性を認め合う社会へ —HIV+ (ポジティブ) のボクからあなたへのメッセージ— ジョゼ・アラウージョ・リマ・フィーリヨ 氏 (担当: 看護学部教授 末原 紀美代 他)	115 (103)
1 月 9 日 (土) 14:00～16:20	いのちのリレー ～臓器移植の新たな時代を迎えて～ 学長 松田 暉 他	294 (230)

表 4. 平成20・21年度健康相談

実 施 日	内 容	担 当 者	件数	合計
11月 8 日 (土)	うつ病などこころの病気の相談	リハビリテーション学部 湖海 正尋	2	7
	呼吸器疾患・糖尿病など長期療養生活の相談	看護学部 土居 洋子	1	
	“うつ” の人への看護	看護学部 新井 信之	2	
	くすりの相談 (一般)	薬学部 前田真貴子	1	
	内科一般の病気	共通教育センター 末廣 謙	1	

実 施 日	内 容	担 当 者	件数	合計
7月25日（土）	漢方医学全般	薬学部 戴 毅	5	12
	生薬について	薬学部 岩岡恵美子	1	
	くすりの相談（一般）	薬学部 清宮 健一	3	
7月25日（土）	呼吸器疾患・糖尿病など長期療養生活の相談	看護学部 土居 洋子	2	3
	脳卒中のリハビリ相談	リハビリテーション学部 坂本 利恵	1	
11月7日（土）	嚥下障害について（医師の立場から）	リハビリテーション学部 野崎 園子	1	5
	嚥下障害について（作業療法士の立場から）	リハビリテーション学部 坂本 利恵	1	
	くすりの相談（一般）	薬学部 大河原知水	1	
	くすりの相談（一般）	薬学部 伊藤 崇志	1	
	呼吸器疾患・糖尿病など長期療養生活の相談	看護学部 土居 洋子	1	
3月6日（土）	内科一般	共通教育センター 末廣 謙	5	11
	ストレスについて	共通教育センター 磯 博行	3	
	くすり一般	薬学部 大河原知水	2	
	障害のある人のストレス予防	リハビリテーション学部 坂本 利恵	1	

表 5. 平成20・21年度地域交流プロジェクト

開催期間	プロジェクト	◎代表者 ○担当・協力者	参加者 (延数)	合計 (延数)
6月27日 ～ 2月13日	ボーアイ65歳大学2008 ～介護予防・生きがいづくりを応援する～ A：自己を再発見するプログラム（全16回）	リハビリテーション学部 ◎有吉 正則	13 (157)	308
	B：文化活動を介した社会的プログラム（全16回）	○伊藤 斉子	12 (151)	
6月28日 ～ 1月17日	高齢者を介護する人のための支援 ～そのときあなたが困ったら～（全5回）	看護学部 ○大町 弥生	36	(153)
	①介護を継続する秘訣	◎平木 尚美		
	②ストレス発散法	廣嶋 泰子	34	
	③腰痛体操	山田 千春	31	
	④介護保険について	リハビリテーション学部 ○坂口 顕	24	
	⑤社会資源の活用		28	

開催期間	プロジェクト	◎代表者 ○担当・協力者	参加者 (延数)	合計 (延数)
4月10日 ～ 9月18日	ボーアイ65歳大学2009 ～介護予防・生きがいづくりを応援する～ 水コース： 文化活動を介した社会的プログラム（全15回）	リハビリテーション学部 ◎有吉 正則	11 (159)	(275)
	金コース： 自己を再発見するプログラム（全15回）		9 (116)	
6月13日 ～ 12月19日	ー健康・生活・安心サポートー 健康生活を守るための介護予防・介護する人の支援 （全3回）（神戸女子大・短大担当回を除く）	看護学部 大町 弥生 ◎平木 尚美 山田 千春 廣嶋 泰子	15	48
	①介護に関する情報収集 「インターネットにふれて みよう！」	共通教育センター 加藤 精一 看護学部 廣嶋 泰子		
	②ポートアイランドの高齢者ケア 「介護する人のための施設サービス」（施設見学）	看護学部 大町 弥生 平木 尚美 山田 千春 廣嶋 泰子	24	
	③大往生するために	看護学部 土居 洋子 鈴木みゆき	9	
8月21日 ～ 2月26日	自由花倶楽部 ーシニアライフのストレス緩和と 脳機能活性のためにー（全6回）	リハビリテーション学部 伊藤 斉子	14名中	73
			13	
			9	
			13	
			12	
			13	
1月20日 ～ 1月28日	知っておきたいがんの基礎知識（全4回）	薬学部 田中 稔之	41	142
	①～がんとどう付き合うか～ 発がんとかんの悪性化			
	①～がんとどう付き合うか～ がん薬物療法の目的	薬学部 岩崎 剛		
	②～がんとどう付き合うか～ 抗がん薬の種類とその作用	薬学部 青木 俊二	32	
	②～がんとどう付き合うか～ 抗がん薬の作用メカニズムと代替療法	薬学部 西山 信好		
	③～がんとどう付き合うか～ 抗がん薬の副作用をどう防ぐか	薬学部 ◎清宮 健一	33	
	③～がんとどう付き合うか～ がん予防のための食生活 ーリスクアセスメントー	薬学部 西原 力		
	④～がんとどう付き合うか～ がんの痛みと上手く付き合おう：基礎の立場から	薬学部 戴 毅	36	
	④～がんとどう付き合うか～ がんの痛みと上手く付き合おう：臨床の立場から	兵庫医科大学病院 柳本富士雄		

表 6. 公開講座広報先

	配布先・掲示先	部数 ～2009.01	部数 2010.03～
新聞折込	神戸新聞（ポートアイランド内）	2,300	
	ポートアイランド内（6紙）		5,900
	神戸新聞灘岩屋専売所		2,150
ポートアイランド内	ふれあいセンター（港島自治連合協議会）	100	100
	兵庫県退職公務員連盟	5	5
	「新老人の会」兵庫支部 世話人 ひまわりの会	5	5
	神戸ポートビレジ管理組合生活クラブ	5	5
	チャレンジショップ	15	15
医療関係	日本調剤ポートアイランド薬局	40	40
	フタツカ薬局ポートアイランド	40	40
	藤本内科クリニック	10	10
	神戸市立医療センター中央市民病院	50	50
	兵庫医科大学病院	100	100
その他	神戸学院大学	50	50
	神戸女子大学・短期大学	70	70
	学内	50	50
	（株）紀伊国屋書店（そごう三宮店分）	50	50
	他講座開催時		
	過去参加者・案内希望者へ郵送・FAX・メール（※）		
	ポータルライナー（三宮・市民病院前）にポスター掲示		
	ニュースリリース（ボーアイ4大学連携推進センターから）		
	合 計	2,890	8,640

※平成21年7月開催分から開始し、平成22年3月終了時点で140名となった。



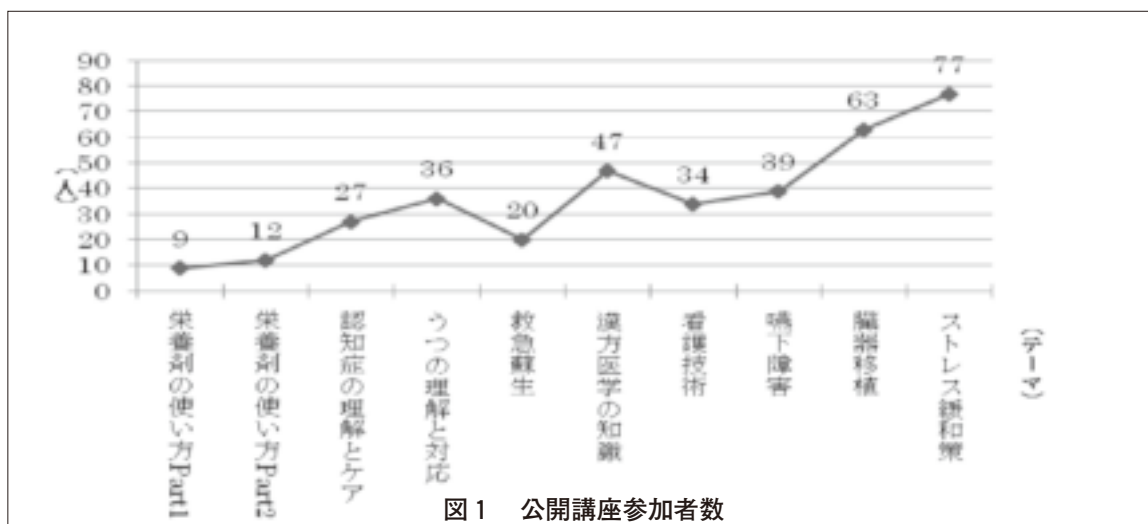


図1 公開講座参加者数

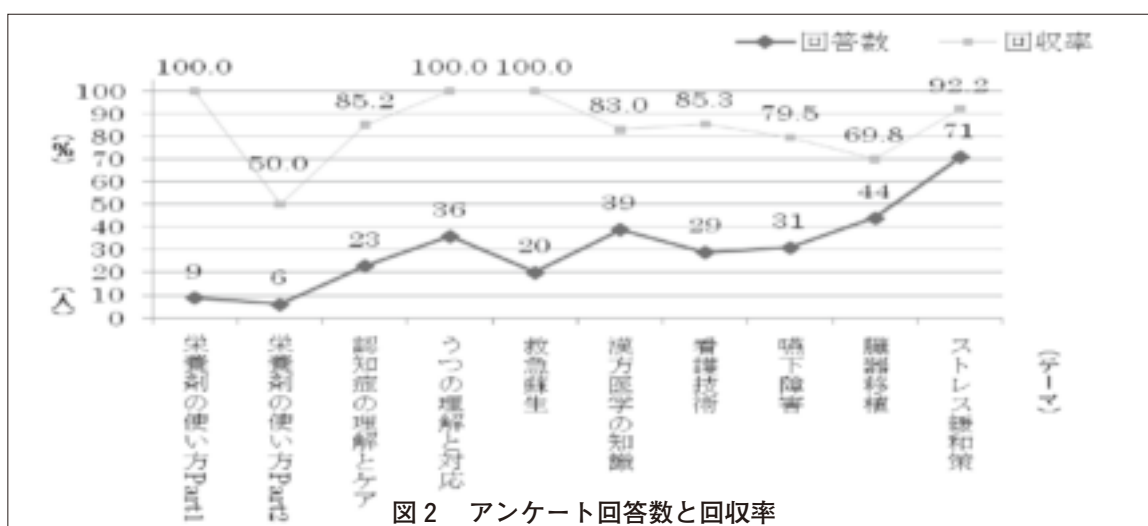
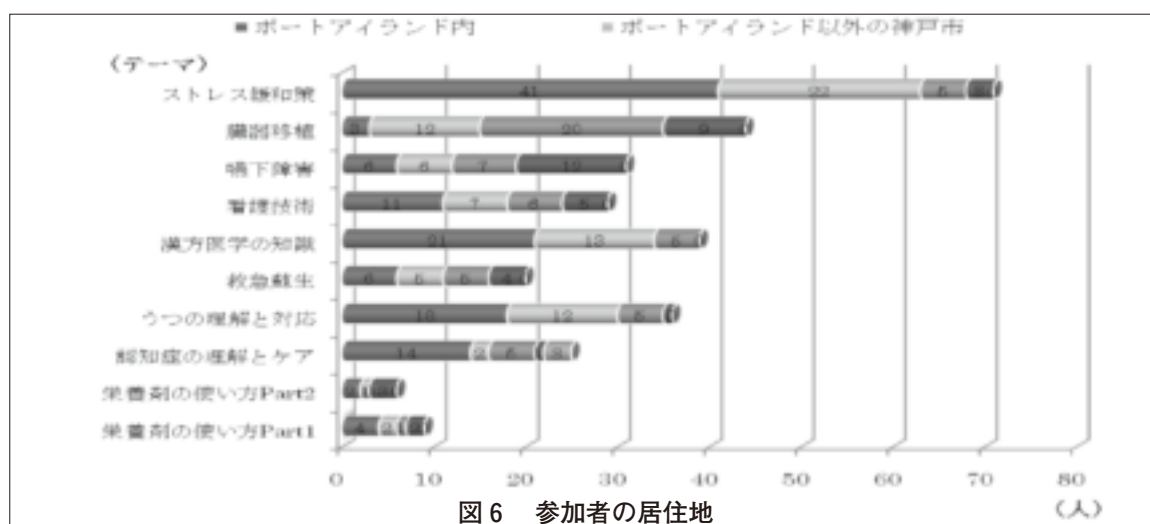
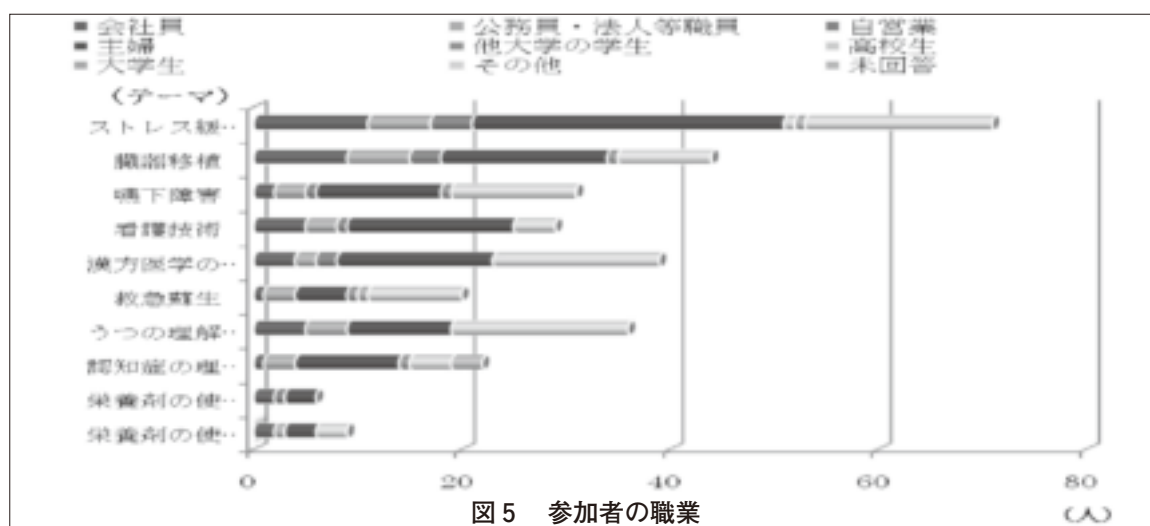
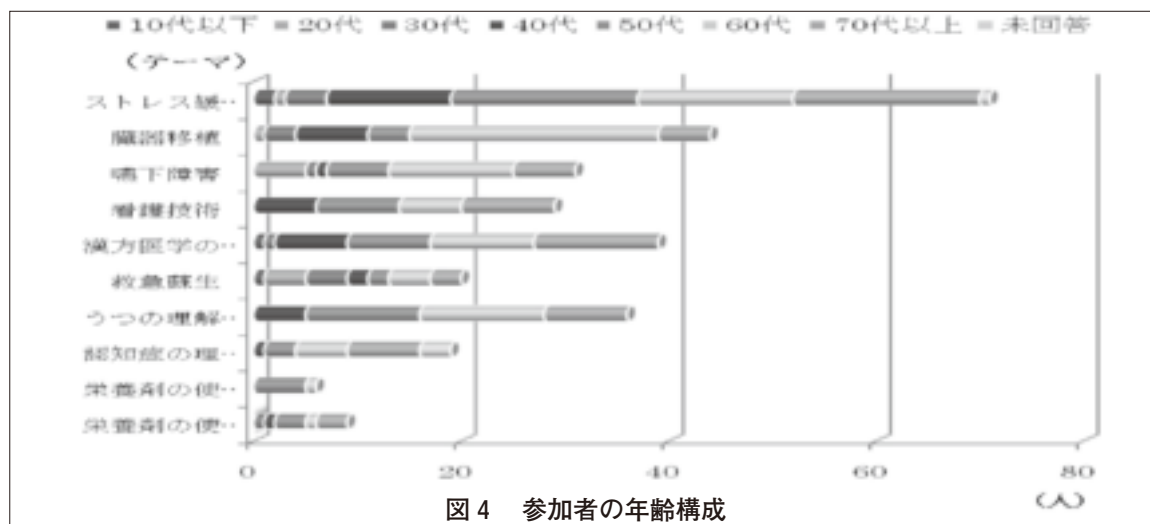
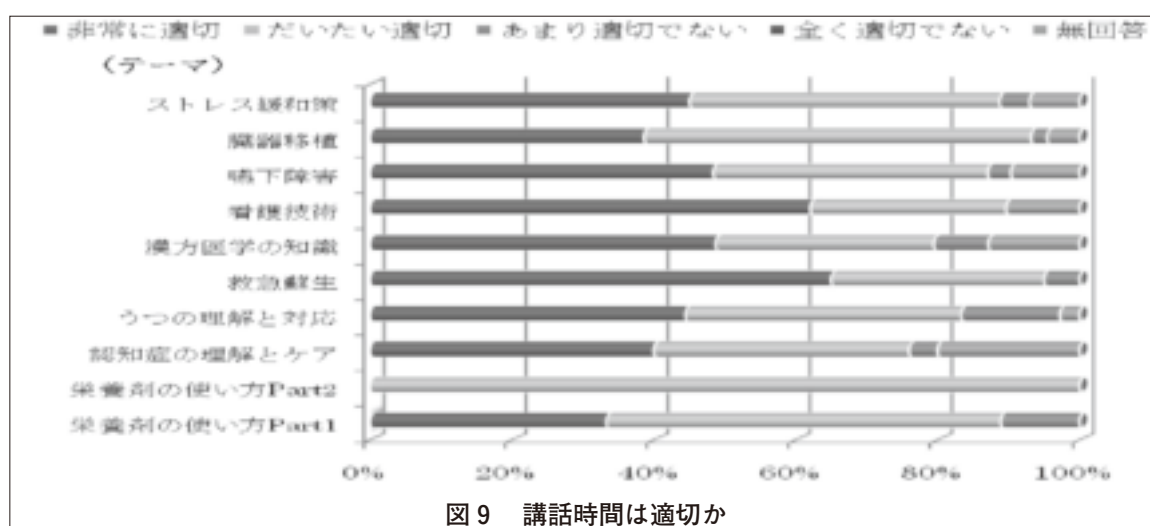
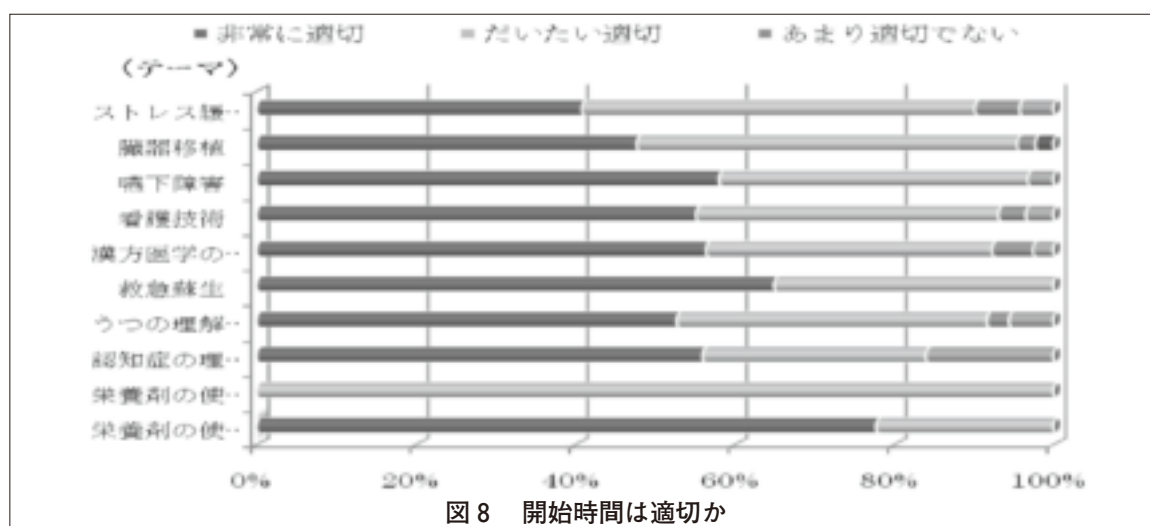
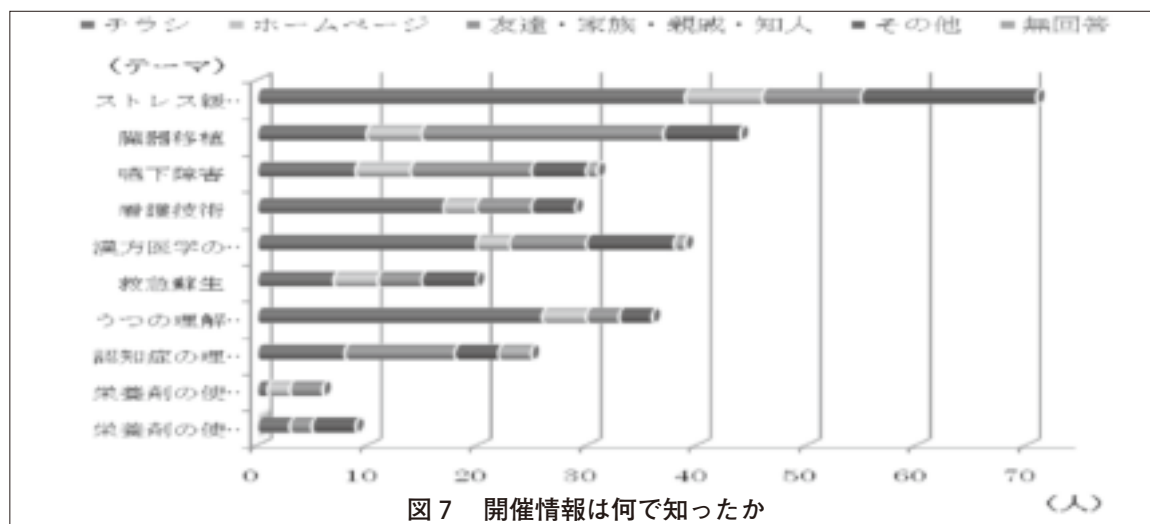


図2 アンケート回答数と回収率



図3 アンケート回答者の性別





## 5) 事務部門（神戸キャンパスオフィス）

### i) 概 要

#### 開学からの推移

本学の事務組織は、開学時より状況の変化に柔軟に対応するために、従来の縦割り組織（部課係制）ではなく、類似性のある業務を大きくグループ化した上で、業務を包括的に捉え、課題毎に問題解決できる横断的な担当制で、機動的に業務を遂行していくフラットなグループ制の組織形態を取り入れた。

また、学部完成年次に向けた学年進行に伴う業務分掌の拡大と業務量の増大に対応するため、既往業務のルーチン化と翌年度以降への創造的業務を重複・並行して実施することが課せられていた。グループ内での協力体制、他業務への理解・協力を深める中で、その後の効率的な業務体制の確立を目指す必要があり、経年的に組織再編成を実施した。組織再編への過程を図1. に示す。

なお、人員配置については、各業務グループ間での協働を前提に、専任職員の配置は役職者を含めて最小限に留め、業務の繁閑に応じて派遣職員等によるスタッフを加える体制とした。

実際の業務遂行に当たっては、毎年度繰り返し新たな学年次を迎え、嵐のように押し寄せる初体験の課題への対応に追われ、あるべきスタッフの意思疎通・業務の標準化・情報の共有化・スキルとマナーの涵養などが、残念ながら後追い状況にある。また、補完的に計画された派遣職員の業務は、繁忙の中で専任職員と同等の責任ある業務を分担する状況にあり、業務改善に向けて工夫をしている。

法人本部事務局（西宮キャンパス）との業務連携は、業務の標準化及び迅速化が望まれるが、西宮キャンパスからの権限の移譲及び各業務システムの整理・統合が遅れていることから、現時点においては業務上、多くの課題を残している。

看護学部及びリハビリテーション学部の完成年次を迎えるに当たって、神戸キャンパスオフィスはこれらの課題を克服し、産みの苦しみの試行錯誤を乗り越え、新大学のエンジンルームとして、その目標達成の強力な支援エネルギーと為らなければならない。

### ii) 神戸キャンパスオフィス組織再編の取り組み

#### (1) 平成20年度

##### 1) 入試・就職グループを分離して入試グループと広報グループを新設

入試企画・入試実施業務は厳正なデスクワーク能力を必要とし、機密性と確実性が不可欠な業務である。一方、就職支援業務は、キャリアデザイン教育を支援するために在学生を始め、学内・外にオープンな職場環境が求められることから学生支援の一環とすることにした。

入試グループを単独設置することで、入学生の確保に欠かせないアドミッションポリシーの確立や入試制度の改善、受験環境の調査・分析及び入試実施等の業務を一貫して遅滞なく推進する体制が期待できる。また、入試広報（学生募集活動）業務は入試グループから分離し、大学全体の学内外に及ぶ広報活動と連動することが求められることから、総体的に機能する広報グループの新設を進めた。

##### 2) 図書館・情報グループを図書館業務と情報業務グループに分離

図書館業務は、図書を扱う司書業務が中心で、所謂、ライブラリアンとしての専門業務が求められる。近年はオンライン学術情報サービスの機能が增大しているが、1ユーザーとして情報システムを活用する立場でもある。一方、情報業務は、大学の全体機能を動かす神経系の役割で、情報システムの構築・管理・運営が主な業務となる。

また、図書館業務と情報業務とでは、スタッフに求められるキャリアが大幅に異なり、同一グループで一人のマネージャーが双方に精通し、指示・統括することは困難であり、グループを分離することが運営面において専門的・機能的にも期待できる。

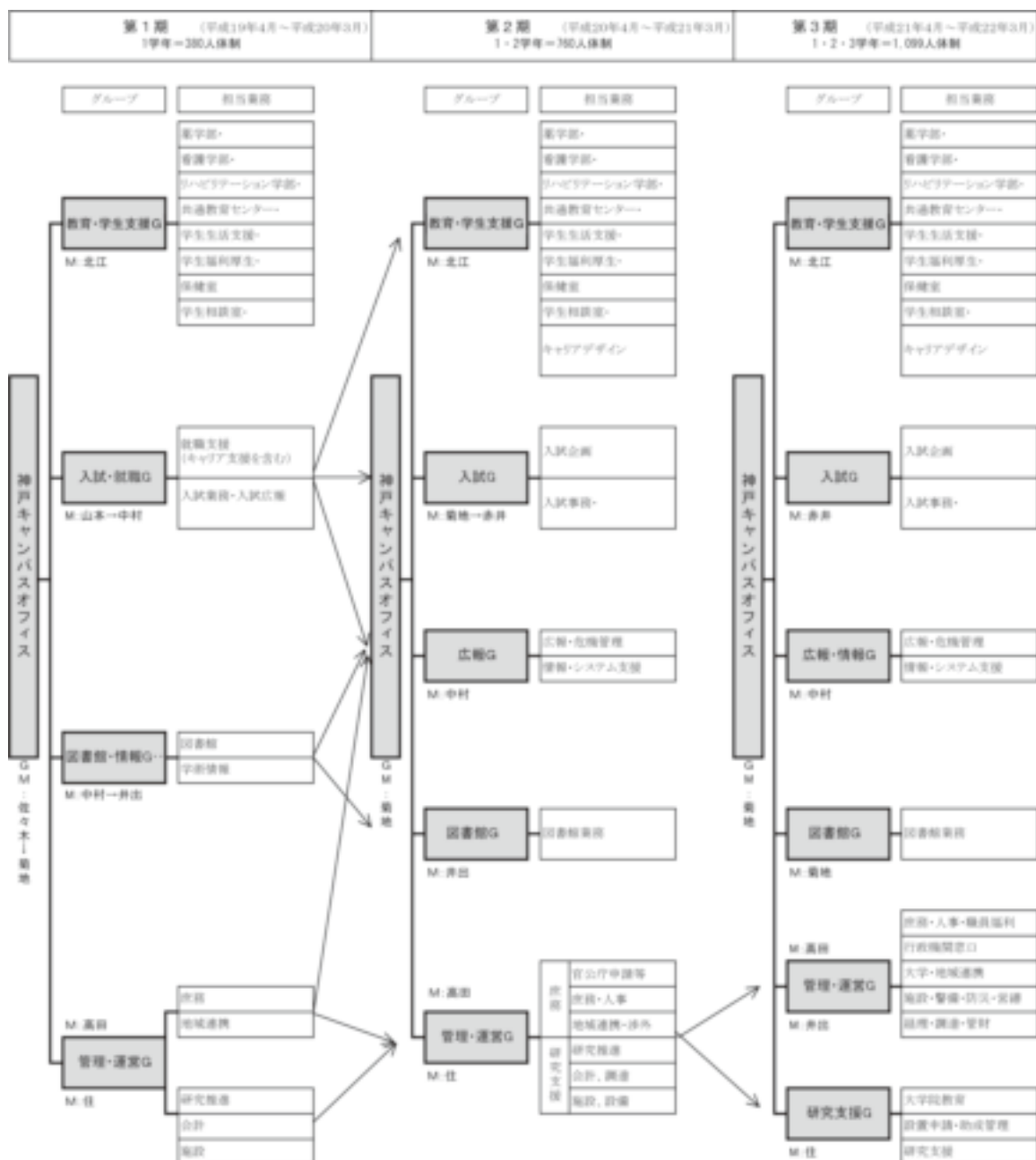


図1. 神戸キャンパスオフィスの組織再編成

## (2) 平成21年度

### 1) 就職支援業務を教育・学生支援グループに包含し学生支援業務と連携

本学の3学部は、いずれも国家試験合格を課せられており、低学年からキャリア形成することを教育の特色としている。その拠点として「キャリアデザインセンター」を設置し、就職支援体制の整備を図った。学生への就職支援は、日常的な学生支援の延長上にあり、生活指導・課外活動・奨学・福利厚生支援等との密接な連携のもとに行うことで、学生個々の育成・支援が一貫してできる体制を作った。

### 2) 広報業務と情報業務を包含し広報・情報グループを設置

新大学にとって、教育・研究・社会貢献等の大学アクティビティを各方面に情報発信し、社会的評価を得て、ブランドメイクすることが急務とされるが、Web情報の活用が必要不可欠となっている。また、広報業務と情報業務は、コンセプトメイク、メディア構築・運営、情報サービス・発信等の業務マインドが一致することから機能的運用を包含し、広報・情報グループを設置した。



### 3) 管理運営グループを分離し、「研究支援グループ」を新設

本学の着任予定教員も出揃い、科研費等の学外研究費の獲得や研究業績の活性化が求められ、研究支援が急務となることから研究支援グループの新設を行った。動物実験センター、RI 実験センター、共同機器室等が稼働することになり、管理体制を明確にすることが求められるなど、将来的には大学院に関する業務を包含し、研究活動全体を担当できるグループへと組織化を進めている。

### iii) 神戸キャンパスオフィスの活動目標

#### 業務目標の設定

平成20年度より、マネージャー・リーダー、スタッフ、派遣職員の職階別ミーティングを通して SD 活動を始動し、オフィス全体ワークショップ及び業務課題別プロジェクトによる OJT 研修を実施した。平成20年度から SD 活動の成果として「神戸キャンパスオフィス業務目標」を制定した。神戸キャンパスオフィスの業務目標を表1. に示す。

さらに、その業務目標を具現化するためのグループ毎の業務目標を定め、PDCA サイクルを意識した業務遂行を実践することにした。また、同時に職場のモラルを高めるために「神戸キャンパスオフィスモットー」を定め、日常の職場風土づくりを行っている。神戸キャンパスオフィスのモットーを表2. に示す。

表1. 業務目標

神戸キャンパスオフィス業務目標
I. 設置計画を高い水準で履行するための管理運営と支援業務の遂行。
II. 平成21年度事業計画の完遂。
①大学院設置計画立案と文部科学省申請準備
②キャリアデザインセンターの開発と活動
③既設キャンパスの教育環境の整備
④臨床薬学研修センターの第2期工事
⑤高大連携教育プログラムの実施
⑥学生モバイル通信システムの導入
⑦兵庫医療大学診療相談室の開設
⑧先端医薬研究センターの整備・拡充
III. 卒業を見据えた業務（国家試験・共用試験・就職・進学等支援）体制・対策の整備。
IV. 臨床・実務・臨地実習等の支援業務体制の確立。
V. 意志決定と情報共有のシステム化とペーパーレス化の実現。
VI. 業務課題抽出とスピード解決。
VII. プロジェクト・ワーキンググループ・研修活動によるスキルアップ・モラルアップ。

表2. モットー

神戸キャンパスオフィス モットー
○学生にとって何がベターかを常に考え、実行します！。
○大学人としての誇りと知識と言動を身につけます！
○課題を発見し、スピード解決します！
○あいさつと声掛けを忘れずに励行します！
○活発な会話で、明朗闊達な職場を作ります！

## 4. 神戸ポートアイランド4大学連携事業 —安全・安心・健康のための総合プログラムを軸として—

### 1) ポーアイ健康・生活支援ステーション

#### i) 概 要

平成20年10月に文部科学省「戦略的大学連携支援事業」の第1期事業として、ポートアイランドにある神戸学院大学、神戸女子大学、兵庫医療大学及び神戸女子短期大学の4大学の取組む総合的連携事業が採択された。このポートアイランド4大学連携は、立地条件や各大学の特徴を最大限に活用することにより、4大学のより安定した大学経営を実現しつつ、学内における教育研究の充実発展並びに地域社会への貢献を目的とするものである。

この目的を効果的に達成するため、統括組織である「ポーアイ4大学連携推進センター」の下、ポーアイ防災推進プロジェクトを担当する「ポーアイ安全・安心ステーション」が神戸学院大学内に、ポーアイ健康推進プロジェクトを担当する「ポーアイ健康・生活支援ステーション」が兵庫医療大学内に設置された。

#### ii) 活動状況

平成20・21年度においては、本学の教員から「ポーアイ健康・生活支援ステーション」へ企画提案された事業を実施している。

ポーアイ健康推進プロジェクトの活動状況を表1～2. に示す。

表1. 平成20年度実施事業

実施日 (回数)	事業名	所 属	担当者	参加者 (延人数)
年度内 (15回)	ポーアイ65歳大学 —介護予防・生きがいづくりを応援する—	リハビリ テーション学部	有吉 正則 伊藤 斉子	308名
年度内 (3回)	高齢者を介護する人のための支援 —そのときあなたが困ったら—	看護学部	大町 弥生 平木 尚美 浩嶋 康子 山田 千春	83名
11月8日	公開講座 「中高年における“うつ”の理解と対応」	リハビリ テーション学部	湖海 正尋	36名
1月9日	学術講演 —ユーザー参加型デザイン／ インクルシブデザインの世界—	薬学部	前田 初男	208名

表 2. 平成21年度実施事業

実施日 (回数)	事業名	所属	担当者	参加者 (延人数)
年度内 (15回)	ボーアイ65歳大学 2009 —介護予防・生きがいづくりを応援する—	リハビリ テーション学部	有吉 正則	275名
年度内 (3回)	健康生活を守るための介護予防・介護する人の支援	看護学部	大町 弥生 平木 尚美 廣嶋 泰子 山田 千春	48名
6月13日	ユーザー参加型医療デザインワークショップ 「使いやすいばんそうこうをデザインする」の巻	薬学部	前田 初男	47名
7月25日	公開講座 「健康のために知っておきたい漢方医学の知識」	薬学部	戴 毅	48名
9月25日 9月26日	ボーアイ健康・生活見守り隊 —ボーアイ健康・生活見守りマップを作ろう—			37名
10月10日	公開講座 「家庭で役立つ看護技術」	看護学部	竹田千佐子	34名
11月5日	ユーザー参加型医療デザインワークショップ 「〈薬を開けて飲む〉をデザインする」の巻	薬学部	前田 初男	39名
11月7日	公開講座「療養を支える —嚥下障害との上手なおつきあい—」	リハビリ テーション学部	野崎 園子	39名
12月4日	講演会 「世界エイズデーによせて」	看護学部	末原紀美代	128名
1月9日	公開講座 「いのちのリレー／ 臓器移植の新たな時代を迎えて」	学長	松田 暉	315名
1月20日 1月21日	知っておきたいがんの基礎知識	薬学部	田中 稔之 岩崎 剛 青木 俊二 西山 信好	142名

この2年間、「ボーアイ健康・生活支援ステーション」は、企画申請書並びにヒアリングに基づき厳選した市民密着型事業について実施した。その結果、市民のニーズにマッチした健康推進活動が行え、地域住民からも概ね好評であった。しかし、これらの事業への学生参加者数が伸び悩んでいる。平成22年度以降は、この問題点を解決し、市民のニーズにマッチするだけでなく、市民の中に新しいニーズを生み出す企画を立案することにより、ボーアイ健康推進プロジェクトをより一層進めていく所存である。

## 2) 実務者会議

### i) 概 要

ポートアイランド4大学連携事業では、神戸市ポートアイランドにキャンパスを置く神戸学院大学・神戸女子大学・兵庫医療大学・神戸女子短期大学の4大学は、隣接しているという利点と各大学の特色を活かしつつ、高度な教育・研究活動で連携し、さらには地域・企業・自治体などとも交流を図ることで、地域社会に貢献することを目的としている。

この4大学連携事業は、具体的には「縦軸のプロジェクト連携」と「横軸のベース連携」のコンセプトから構成されている。

大学の使命でもある「研究」、「教育」、「学生支援」、「社会貢献」、「生涯学習」の各フェイズにおいても有効に機能して行くことを目指しており、縦軸に4大学共通の課題、地域社会からの要請に沿ったプロジェクト「ポアアイ健康推進プロジェクト」と「ポアアイ防災推進プロジェクト」の2つの事業を立ち上げている。横軸には各大学連携のベースとなる「入試広報」、「図書館」、「学生支援」、「教務」、「エクステンション」、「社会貢献」といった専門部会を立ち上げている。

### ii) 4大学連携の活動内容

#### (1) ポアアイ健康推進プロジェクトについて

健康・生活支援ステーションでは、「健康・子育て・介護への支援」をテーマに、様々な取組みを実施している。生活の質を維持・向上していくための専門知識を提供するとともに、地域住民の方々の経験に基づく知恵を交流し紹介していただく相互教育の展開を目的としている。

健康という生涯にわたるテーマから、生活の変化によって立ち現れる問題に対する学びの場の提供を目指している。また、4大学が発信する地域の健康・生活支援プログラムを運営している。

学生による「ポアアイ健康・生活見守り隊」の活動、「健康・生活支援システム研究会」、医療に関する公開講座の開催（健康増進事業）・個別健康相談の開催、市民公開講座（テーマ介護など）の開催（健康増進事業）・個別健康相談の開催、ポアアイ65歳大学（ポアアイ学びの場・生涯学習事業）の開催、くじら倶楽部（子育て支援事業）の開催、ADL 体力アップ教室（健康増進事業）の開催、ハートフルフェスタ（市民啓発事業）への参画、男性のための料理教室の開催、「花倶楽部」の開催、「禁煙キャンパス地区」を目指した禁煙支援活動、疾患と食事についての講座、健康・生活支援、ボランティアに関する教育教材の研究開発などを実施してきた。

#### (2) ポアアイ防災推進プロジェクトについて

安全・安心ステーションでは、「安全・安心」をテーマに、様々な取組みを実施している。神戸は、阪神・淡路大震災の経験を通じて災害への危機管理意識が特に高い地域で、次世代への継承と新たな展開への発信を目的としている。

防災や防犯は勿論のこと、消費生活全般や地球規模の安全への関心を高めて行きたいと考え、グローバルな視野を目指し4大学が発信する安全・安心プログラムを運営している。

学生による「ポアアイ安全・安心見回り隊」の活動、「安全・安心社会システム研究会」、地域消防団活動への参画（地域交流事業）、安全・安心・社会貢献をテーマとした講演会、被災地支援ボランティア活動、ひょうご安全の日関連行事への参画、日本 DMAT 隊員養成研修に運営補助ボランティアとして参画、安全・安心をテーマとした教材の研究開発などを実施してきた。

### (3) 共同プロジェクトについて

ステーションの専門的な「安全・安心・健康」への取り組みが、主に教育・研究面において行われるが、共同プロジェクトでは広く教養的な分野に取り組んでおり、「地域とともに大学が発展すること」を目指して様々なプログラムを実施している。

ポーアイ教養科目の開講、ポーアイセミナー（ポーアイ学びの場 学生・企業・地域交流事業）の開催、留学生研修ツアー、日本語日本文化講座（留学生交流事業）、図書館ポーアイ4大学合同展示、学生研究支援事業 教材開発、ポーアイ4大学オープンキャンパスの開催、大規模災害時の学生安否情報確認システムの導入、災害訓練の実施及び災害後の心身ケア方法の研究、ポーアイ4大学ディベート大会の開催、ポーアイ4大学スポーツ大会の開催、評価と連絡調整のための会議の実施などを実施している。

### (4) ネットワークについて

ネットワークでは、ポーアイ4大学と地域・企業・行政との協同事業や各種イベントを紹介し、地域における知や活動の掲示板として充実していくことを目指している。

このプログラムでは、大学と地域の相互教育も目指しており、大学主催行事だけでなく「安全・安心・健康」に係る地域主体の活動についても広報や参画を支援している。具体的には、企業団体（神戸ファッションタウンネットワーク）の清掃活動への参加や各種資格講習会・講演会の情報提供などを行っている。



### 3) 専門部会

#### i) 概 要

ボーアイ4大学連携事業の土台となる専門部会の活動は、ポートアイランドキャンパス開設前からスタートしている。平成18年8月、ポートアイランドにキャンパスを開設予定の大学による実務者会議を開催した。その際に隣接する大学という立地条件を活かし、各大学が連携することでお互いの学びの領域を広げ、幅広い地域貢献を行うことで合意した。

事務レベルでの交流を図り具体的な案件を実施して行くための場として、「入試広報部会」、「教務部会」、「図書館部会」、「学生部会」を組織した。その後に「エクステンション部会」が追加され、様々な事柄が決定され実施されてきた。このボーアイ4大学連携事業の発足を機に「社会貢献部会」が開設された。

#### ii) 活動状況

##### (1) 入試広報部会

各部会のうち一番早く開設された入試広報部会は、発足当初より合同オープンキャンパス「ボーアイ“学び”ライブ」等を企画し開催してきた。著名人による講演会の他、模擬授業、職業の紹介ブースの設置など様々な催しを実施している。また、各大学で取得できる資格や専門科目を学ぶことで、将来進むことのできる職業を紹介するなど様々な広報活動を行っている。今後は、各地で行われる入試説明会での合同開催等を検討している。

##### (2) 教務部会

元々、単位互換を目的に組織された部会で、立ち上げから半年後に具体的な検討に入り、いよいよ平成22年度から単位互換制度をスタートさせることとし、4大学で合計30科目の授業を開講している。この制度を利用することにより、履修した他大学の科目を自身の大学の教養科目の単位に置き換えることが可能となった。

##### (3) 図書館部会

発足当初から、図書館の相互利用を検討し雑誌目録の交換、複写サービス、電子ジャーナルコンソーシアム、図書館ガイド、共同HPの立ち上げなどの利用サービスをスタートしている。平成21年度からは、各大学の特徴を活かした図書等を出展する合同展示会の開催を実施している。

他大学の学生が本学図書館を利用するために、専用の「図書館利用者カード」を発行している。有効期限は年度末までの1年間である。今後は、外国語雑誌の充実を図って行くことや、各大学が所蔵する希少な蔵書や学術文献を共同公開するという企画も検討している。

##### (4) 学生部会

学生部会の活動は多岐に渡り、基本的には学生の自主性に任されている部会である。開設当初からこれまでに、ポートアイランドの港島自治連合協議会主催の地域イベントやクリスマス時のポトライナー駅構内の飾り付け、キャンパス周辺の清掃活動など、地域に貢献する活動を活発に行っている。平成20年2月には、兵庫県警の協力のうえで、防犯・護身術の講習会を本学において実施している。

##### (5) エクステンション部会

エクステンション部会は、就職支援や資格取得を共同で実施する目的で結成された。他大学からも

受講可能な独自資格講座（資格取得やスキルアップの講座）として設置し連携を進めること。また、将来的には生涯学習やインターンシップに関しても、共同で取り組もうという方向で検討を重ねている。

#### **(6) 社会貢献部会**

ポアイ4大学連携事業の稼働によって新たに発足した部会である。プロジェクトの重要な活動の一つとして組み込まれている。これまで学生部会で行われてきた、地域に対する安全や安心、健康や生活に関連するボランティア活動が引き継がれる予定となっている。

## 編集後記

兵庫医療大学年報 Vol.2（平成20・21年度版）をお届けいたします。この年報は、開学より2・3年目に掛けての業績をまとめ、創設期における活動状況を記録したものです。

来春には、看護学部、リハビリテーション学部において初めての卒業生を出しますが、何とか国家試験に無事合格し、本学の第一期生として立派な医療人となり、また社会人となって巣立って行くことを期待するばかりです。

昨今、少子高齢化社会や大学全入時代を迎え、定員割れをする大学も少なくないと聞きます。本学が、学生のニーズに合致した大学であるかどうか、まさに大学が学生にも社会にも選ばれる時代が到来しています。また一方、医学・医療が高度に分化する中で、全人的医療や信頼されるチーム医療、プライマリーケアの重視とともに、地域密着型医療の一端を担う役割を果たすことが求められています。

このような社会的要求の中で、大学がより一層充実した教育カリキュラムに従って質の高い授業を提供し、学生が医療人として必要な知識・技能・態度をしっかりと身に付けてもらうことも同時に問われます。

本学の建学の精神、教育理念のもと、医療を担う医療専門職者を育成するべく、心新たにして取り組んで行かなければならないと思う次第です。

最後に年報作成にあたりご協力いただいた皆様に感謝し、本年報が今後の発展に向けての資料となることを祈る次第です。

編集委員長	薬学部教授	西原	力
	薬学部教授	清宮	健一
	看護学部准教授	齋藤	雅子
	共通教育センター准教授	紀平	知樹
リハビリテーション学部（理学）講師		森沢	知之
リハビリテーション学部（作業）講師		佐野	恭子
図書館グループマネージャー		松原	良知
広報・情報グループリーダー		八木	正人
図書館グループ主任		津田	雅代

### 兵庫医療大学年報（平成20・21年度）

発行日	平成22年12月20日
編集・発行	兵庫医療大学 年報編集委員会 〒650-8530 神戸市中央区港島1丁目3番6 TEL 078-304-3000 FAX 078-304-2700
印刷	株式会社小西印刷所



# Hyogo University of Health Sciences



学校法人 **兵庫医科大学**

西宮市武庫川町1丁目1番 TEL.0798-45-6111